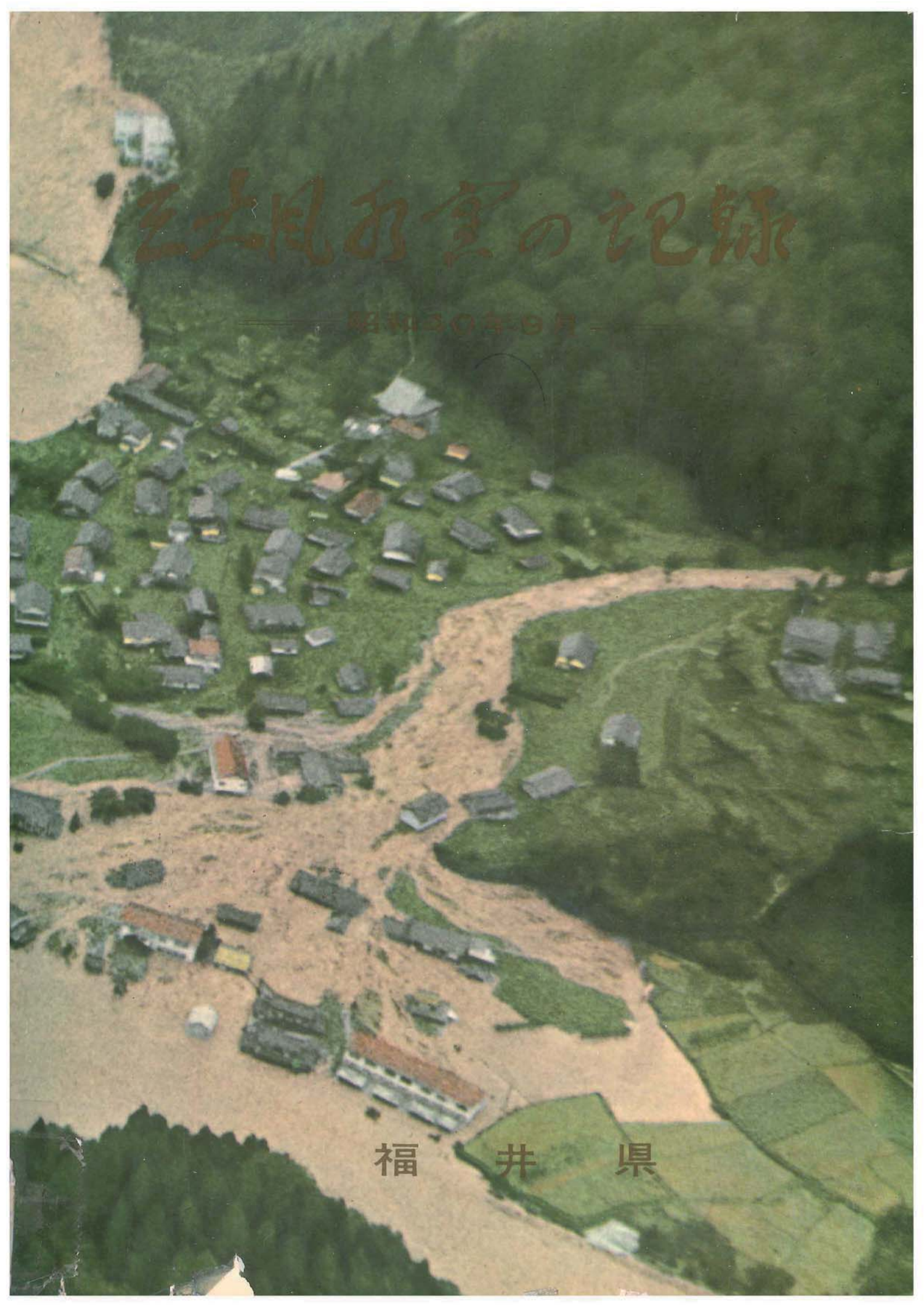


巨大な洪水の記録

昭和30年9月

福井県



台風24号志摩半島に上陸

豪雨県内に新

行く先不明



台風一過！復興

住

豪雨奥越に鋭いツメ跡

母子ら四人が死

山くずれ六



暗夜、雨の中

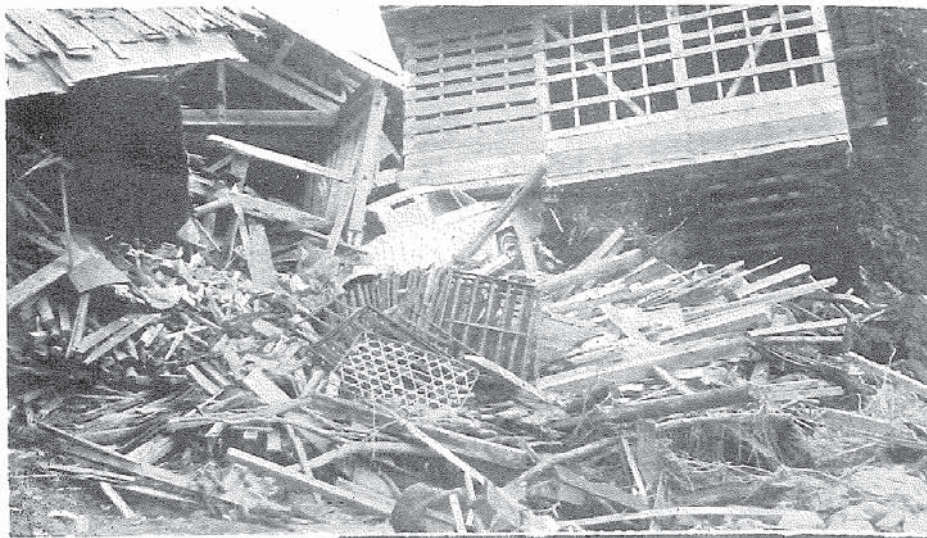
稲おろし

立て13人生

台風23・24号のツメ跡



岩石で埋めつくされた福井県大野郡西谷村中島



西谷村中島



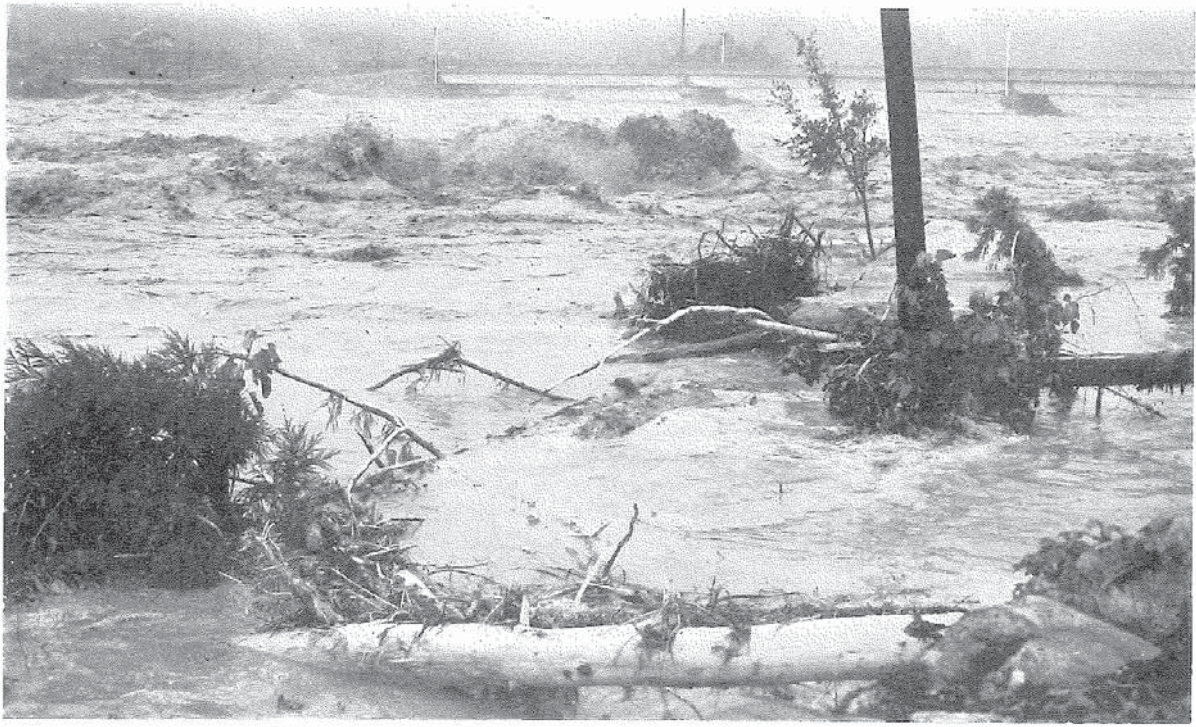
西谷村中島



岩石で校庭は勿論、校内も埋まった中島小学校（福井県大野郡西谷村中島）



西谷村中島へ徒歩で救援物資を輸送する自衛隊員（大野市木ノ本）



集中豪雨で流出した佐開橋（福井県大野市佐開）



山くずれで一瞬に4戸が倒壊死者10人をだした今立町（福井県今立町大滝）



激しい流れの川と化した町を目抜通り（福井県三方郡三方町）



（三方町三方）



田畑の中に流されてきた自動車、豪雨のものすごさを示す（福井県遠敷郡上中町）



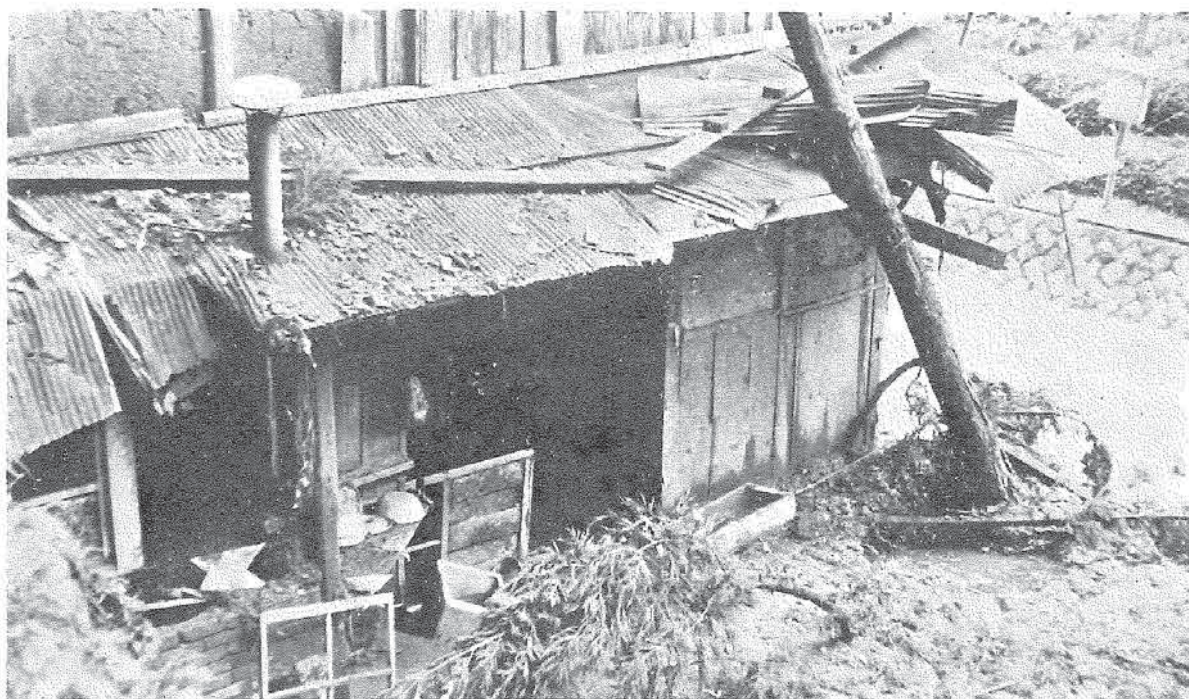
台風24号で床上浸水した鯖江市（福井県鯖江市河端町）



未曾有の豪雨は
多数の橋を押し
流し永久橋まで
も破壊した
（武生市平吹橋）

土砂止めの鉄骨もろとも寺院を押しつぶし犠牲者をだした福井県小浜市





流失はかろうじてまぬがれたものの住めそうにない民家（福井県遠敷郡名田庄村）



（高浜町小黑）



三方町の被災地を視察する中央防
災会議規察団々長の一行



参議院議員視察団の一行、大野市視察



西谷村中島小・中学校へ集った
大野市への避難者達



ヘリコプターで救出された
老婆（西谷村中島）



台風一過「もみ」ほしする主婦



序によせて

昭和40年は当初から低温がはなはだしく、米作をはじめ農産物に被害があることが予想されたため、5月に「福井県農作物等冷害対策本部」を設置して適切な総合指導を行っていたところ、9月10日本県を襲った台風二十三号は大きなツメ跡を残し、更に9月14日からの前線活動による集中豪雨は、奥越地方特に西谷村に壊滅的な打撃をもたらした。そして9月17日またしても二十四号の強烈な台風が県下全域を非常に追い打ちをかけ、多数の尊い人命をのみ、あらゆるものを破壊した。県はこれらの惨禍を「40・9三大風水害」と名づけ、即日福井県災害対策本部を設置し各地の被害状況の把握に努めるとともに、被害激甚な地方に災害救助法を発動して応急救護に万全を期したのである。かくして、本県不断の防災準備と、県民挙げての応急措置により、災害を最小限度に阻止し得たのであるが、その後の復旧もまた着々と進み転禍為福のたくましい道を進みつつある事は、誠に意を強くするものであり、関係の方々に対して、心から謝意を表すものである。

ここに本災害の実態を出来る限り詳細に記録して、広くその実情をお伝えするとともに、本書が今後の恒久復旧対策の樹立に役立つならば、きわめて意義深いものと信ずる。最後に本災害に於て犠牲となられた諸霊のご冥福を心からお祈りしてやまない。

昭和41年3月

福井県知事 北原 謙造

目 次

序 文

第一章 気象の状況

- 1 台風23号関係…………… I
- 2 奥越地方の集中豪雨関係……………16
- 3 台風24号関係……………28

第二章 被害の状況

- 1 人および家屋の被害……………43
- 2 農林水産関係の被害(総括)……………45
- 3 農作物の被害……………49
- 4 畜産関係の被害……………53
- 5 耕地関係の被害……………56
- 6 林業関係の被害……………60
- 7 水産関係の被害……………63
- 8 農協関係の被害……………65
- 9 公共土木施設の被害(総括)……………68
- 10 道路の被害……………77
- 11 河川の被害……………82
- 12 砂防の被害……………86
- 13 港湾の被害……………89
- 14 都市の被害……………90
- 15 商工業関係の被害……………94
- 16 教育関係施設の被害……………97
- 17 文化財の被害……………102
- 18 衛生施設関係の被害……………105
- 19 日本国有鉄道の被害……………109
- 20 私鉄関係の被害……………117
- 21 電力関係の被害……………123
- 22 電信電話施設の被害……………133

第三章 救援・救護

- 1 県災害対策本部の設置と災害救助の状況……………139
- 2 応急医療活動……………143
- 3 防疫活動……………144
- 4 水防活動……………149
- 5 災害見舞金・見舞品の配分状況……………156

- 6 県税の減免……………161
- 7 災害調査団……………162
- 8 表彰……………163

第四章 災害復旧計画

- 1 農林水産関係の応急措置とその経過……………169
- 2 農林水産関係の災害復旧対策……………172
- 3 公共土木災害復旧計画(総括)……………177
- 4 道路の復旧計画……………196
- 5 河川の復旧計画……………197
- 6 砂防の復旧計画……………202
- 7 港湾の復旧計画……………203
- 8 都市の復旧計画……………205
- 9 建物の復旧計画……………205
- 10 教育関係施設の復旧計画……………207

第五章 県議会の活動

第六章 県警察の活動

第七章 各種団体の活動

- 1 自衛隊の活動……………225
- 2 日本赤十字社の活動……………229
- 3 県連合青年団の活動……………234
- 4 県連合婦人会の活動……………235
- 5 県社会福祉協議会の活動……………236

第八章 資料編

- 1 県から政府各省庁にあてた陳情書……………239
- 2 応急対策の経過……………247
- 3 災害対策本部の活動状況……………254
- 4 消防機関の活動状況……………262
- 5 40.9 三大風水害についての所見……………268
- 6 九頭竜川水系を一級河川に指定する政令の一部改正に対する請願書……………275

第一章 気象の状況

第一章 気象の状況

1 台風23号関係

(一) 気象概要

(1) 台風の経過概要(第1、2図参照)

- ア、昭昭40年9月2日9時、ガム島の南約280キロの海上に、弱い熱帯性低気圧として発生した。中心気圧1,008ミリバール。
- イ、6日6時硫黄島の南約350キロの海上北緯21.2度東経141.5度にて発達して、台風23号となる。中心気圧990ミリバール、ゆっくり北上した。
- ウ、その後進路を西北西から北西に変えながら、次第に発達9日6時には南大東島の北西約50キロの海上北緯26.3度東経131.7度に達し、その後次第に北に転向した。中心の気圧940ミリバール。
- エ、台風は9日21時頃から進路を北々東に変え、加速しはじめ、10日8時30分高知県安芸市に上陸した。上陸当時の中心気圧940ミリバール最大風速50メートル25メートル以上の暴風半径150キロで上陸直前がこの台風の最盛期であった。
- オ、台風は北々東に毎時60キロの速度で進み、瀬戸内海から姫路市付近に再上陸し、近畿地方を突走って12時過ぎ、京都府宮津付近を通過して若狭湾に出た。12時の中心気圧960ミリバール最大風速40メートル以上の暴風半径150キロで衰えずに、福井県の沖約50キロの海上を北々東に進んだ。
- カ、16時には輪島の北約25キロを通り毎時70キロの早さで北東乃至北々東に進み、北海道の沿岸を通り、11日4時には留萌付近に達した。4時の中心気圧965ミリバール最大風速25メートル

(2) 強風、降雨状況

9日は日本の西方で気圧の谷が深まり、台風の影響も加わって、8時～9時頃から全県に雨が降り初めた。10日9時迄の雨量は嶺北山沿い地方で多く100ミリ前後であったが、山沿い地方でも割合に範囲がせまく、その他は30～50ミリであった。

10日台風が瀬戸内海から姫路市付近に再上陸する11時頃から風雨が強くなり始め、近畿地方を通過して京都府の奥丹後半島から日本海に抜ける12時頃から県下全般に暴風雨圏内にはいった。

南寄りの暴風は敦賀で14時頃迄、福井では15時頃まで続き、福井では13時43分南の風最大瞬間風速42、5メートルを観測し、敦賀では13時40分南の風最大瞬間風速40.7メートルを観測した。福井、敦賀とも今迄の観測記録の1位、2位となるもので、福井ではジェーン台風時の40.7メートルをしのぐもので各地で風による可成りの被害を出した。

一方奥越山間部では11時頃から雨が強くなり12時、13時頃は時間雨量30ミリをこしたが、14時頃から弱くなった。台風が能登半島北端付近を通過した16時頃には県下の風は峠をこしたが、海岸地方では10日夜半過ぎまで西ないし北西のやゝ強い吹き返しの風が続いた。

(3) 23号台風の特徴

ア、風の息が強く、福井では気象台開設（明治30年）以来第1位の最大瞬間風速南の風42.5メートルを観測した。又敦賀でも第2位の南40.7メートルを観測した。

イ、降雨による被害が少なかった。

奥越山沿い地方で2日間で200ミリ前後の雨が降ったが、降り方が割合平均的であったこと、雨の多い範囲がせまく、平野部では雨が比較的少なかったことで、山沿い地方の小河川で若干被害が出たが少なかった。（第4図参照）

ウ、農作物の被害が大きかった。

暴風による被害総額の50%は農作物の被害であった。

(二) 気象観測資料

(1) 気象観測表

地名 要素 時刻	福井地方気象台						敦賀測候所						大野気象通報所					
	気圧	風向	風速	気温	湿度	天	気圧	風向	風速	気温	湿度	天	気圧	風向	風速	気温	湿度	天
	海面 mb	16 方位	m/s	°C	%	気	海面 mb	16 方位	m/s	°C	%	気	海面 mb	16 方位	m/s	°C	%	気
日 時																		
9 9	1013.7	S	1.5	18.9	90	⊗	1013.8	SE	1.3	20.1	85	●	1014.2	S	0.8	18.3	92	●
12	1013.8	SSW	3.3	20.1	89	●	1013.9	S	0.8	19.4	81	●	1014.5	WNW	0.3	19.7	91	●
15	1012.6	WSW	2.5	19.8	93	●	1012.1	SSE	1.3	19.5	88	●	1012.3	NW	0.5	19.3	92	●
18	1011.2	W	1.2	19.0	91	●	1011.3	SW	0.7	19.2	93	●	—	NNW	0.8	18.5	93	●
21	1009.3	NW	1.8	18.2	92	●	1009.2	ENE	0.5	18.9	93	⊙	—	SSE	0.5	18.1	97	●
24	1006.6	SSE	0.7	18.1	95	●	1006.1	NNE	1.8	19.7	93	●	—	S	1.5	17.8	97	●
10 3	1003.1	〃	1.0	17.8	97	●	1002.4	S	5.7	23.0	86	▽	—	WSW	1.0	18.6	97	●
6	1000.2	SSW	0.8	17.8	97	●	999.0	SSE	6.2	23.4	90	▽	—	NNW	1.0	20.7	98	●
2	994.0	N	3.3	19.2	97	●	991.0	〃	8.3	26.9	69	▽	933.8	E	1.8	23.7	80	●
10	990.1	NW	2.2	21.7	92	●	986.2	〃	9.8	28.0	61	▽	—	SE	5.5	25.0	70	●
11	984.6	SE	7.3	25.2	77	●	980.2	SE	13.0	26.8	72	▽	986.3	〃	6.7	24.8	71	●
12	978.7	ESE	7.5	23.6	90	●	975.1	SSE	16.0	26.9	77	▽	982.3	S	5.8	22.0	97	●
13	973.8	SSE	18.2	28.6	64	●	978.0	S	21.2	27.0	74	▽	978.7	SSE	13.7	22.8	89	●
14	978.7	S	24.5	28.6	60	▽	983.2	〃	17.8	26.4	72	▽	980.3	〃	13.2	25.7	77	●
15	985.9	〃	18.5	27.9	63	▽	989.9	SSE	12.0	26.1	75	⊙	987.1	〃	11.5	26.4	63	●
16	991.9	SW	7.8	23.8	89	▽	992.9	S	4.8	26.0	75	⊙	—	W	5.8	24.5	82	●
17	994.1	〃	6.0	23.1	93	▽	994.6	〃	2.0	25.6	80	⊙	—	NE	1.2	23.3	91	●
18	994.6	SSW	5.3	22.9	94	▽	995.5	SSE	3.5	25.0	93	⊙	—	SSW	1.5	22.9	91	⊙
21	999.6	〃	4.3	22.0	91	▽	1001.1	WNW	7.5	21.1	90	▽	—	W	4.3	21.7	85	▽
24	1003.2	S	2.2	20.8	92	▽	1003.7	〃	2.3	21.0	84	▽	—	WNW	1.8	19.8	86	⊙
11 3	1003.9	SSE	1.3	20.0	96	▽	1004.0	SSW	1.0	20.1	94	▽	—	—	0.2	18.9	92	⊙
6	1004.9	〃	1.3	19.5	96	▽	1005.0	NE	0.3	20.1	93	▽	—	—	0.0	18.3	96	⊙
9	1006.6	N	1.8	23.4	79	⊙	1006.6	ESE	1.2	21.2	90	⊙	1006.1	SW	3.0	20.2	84	▽

(2) 気象極値観測表 (9月10日)

要素 地名	最低気圧		最大風速		最大瞬間風速		最大10分間 降 水		最大1時間 降 水		総 降 水 量	
	海面 mb	起時 時分	風速 m/s	風 向 時分	風速 m/s	風 向 時分	mm	時 分	mm	時 分	mm	日時 ~日時
福 井	973.2	12.47	24.5	S 14.00	42.5	S 13.43	4.0	15.04	7.7	15.04	65.5	9. 9 ~11. 9
敦 賀	973.0	12.12	24.0	S 13.40	40.7	SSE 13.07	2.0	06.10	6.4	9日 11.28	81.8	9. 6 ~11.15
大 野	×	×	15.0	SSE 13.50	24.4	SSE 13.10	5.7	11.58	18.9	12.38	107.6	9. 9 ~11. 9
舞 鶴	966.1	11.59	20.2	SSE 12.00	39.6	SSE 11.59	—	—	—	—	113.5	9. 5 ~11. 9

最大瞬間風速の極値順位の更新

(福井地方気象台)

順 位	1 位	2 位	3 位
最大瞬間風速	42.5メートル	40.7メートル	35.5メートル
原 因	台 風 23 号	ジ ェ ー ン 台 風	第 2 室 戸 台 風
月 日	昭和40年 9月10日	昭和25年 9月 3日	昭和36年 9月16日

(3) 県内の風の観測表

時刻	地点	三 国 (県)		本 戸 (県)		森 田 (国鉄)		勝 山 (市消防署)		
		風 向	風 速	風 向	風 速	風 向	風 速	風 向	風 速	
10日	9時	NE	m/s 5.7	SSW	m/s 7.6		m/s 5			
	10	"	4.7	"	10.8		5			
	11	ENE	4.7	"	10.5		15	11 10m SE	m/s 15	
	12	ESE	6.3	"	9.8		11	12 10m SE	5	
	13	SE	15.0	"	14.2		19	SE	20	
	14	SSE	22.3	"	17.1		27	S	18	
	15	SSW	16.7	"	14.9		21	S	14	
	16	WSW	18.3	SE	1.7		12	SW	6	
	17	W	13.3	"	0.2		6	NW	3	
	18	"	9.7	S	0.0		7			
	19	"	8.0	SE	2.2		6			
	20	"	11.7	N	0.7					
	21	"	10.3	NW	3.4		最大風速	最大風速		
	22	WNW	13.7	"	1.1		13h44m	12h50m		
	23	NW	12.7	"	0.4		43.5m/s	SE 38m/s		
	24	"	8.0	N	0.0					
11日	3	NNW	7.3							
	6	NE	3.8							
測器		風杯型風程式 自記風速計 (3杯)		風杯型風程式 自記風速計 (3杯)			風杯型自記風速計 (3杯発電式)		風車型風向風速計 (プロペラ型発電式)	

(4) 県内の降水量観測表

ア 日降水量表 単位 mm

9月8日9時～11日9時まで

(単位 mm)

地名	8日	9日	10日	合計	地名	8日	9日	10日	合計
福井	—	29	38	67	小谷堂	4	101	95	200
武生	3	29	40	72	西田中	—	32	43	75
今庄	1	34	71	106	池田	1	59	60	120
勝山	0	32	33	65	南今庄	1	48	46	95
大野	0	40	64	104	稲荷	0	56	79	135
朝日	5	78	102	185	下中島	2	95	122	219
三国	—	20	19	39	南大谷	4	110	119	233
梅浦	—	19	21	40	久坂	7	53	66	126
河野	1	27	23	51	笹力峰 ロボット	7	54	(38)	(99)
敦賀	4	43	37	84	緑谷山 ロボット	3	71	101	175
小浜	5	53	77	135	水無山 ロボット	2	87	84	173
高浜	5	49	55	109					
下田	16	50	47	113					
熊川	11	68	41	120					
三方	7	58	73	138					
山口	—	30	87	117					
下一光	—	24	77	101					
中島	1	93	118	212					
大谷	0	100	116	226					
杉箸	23	64	38	125					

イ 毎時降水量

9月9日10時～10日 9時

(単位 mm)

地名	時刻																								計
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
福井	0	0	2	1	1	2	4	2	0	0	1	1	0	—	0	2	1	1	0	0	3	1	4	3	29
敦賀	2	5	6	1	3	1	1	0	0	1	0	—	1	3	3	4	1	0	1	0	1	5	3	2	43
大野	0	2	3	2	2	2	3	0	0	1	1	2	1	1	0	3	3	1	2	3	1	3	3	1	40
笹力峰	1	5	7	2	3	1	2	—	1	2	1	—	1	—	2	2	—	3	—	—	5	3	6	5	54
緑谷山	—	4	5	3	1	3	2	—	1	1	1	1	1	1	7	5	—	—	—	16	4	7	6	2	71
木無山	1	1	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38	—	—	14	87
南今庄	0	3	4	2	2	1	2	0	0	1	2	0	1	0	1	3	4	2	2	1	4	2	7	4	48
稲荷	0	3	3	3	1	2	2	1	0	2	0	1	0	0	1	3	3	1	4	3	5	7	8	3	56
下中島	0	4	5	4	2	1	2	1	0	0	2	6	4	2	3	7	8	6	9	6	6	7	7	3	95
南大谷	1	2	3	6	2	2	1	1	0	1	1	5	8	2	1	6	3	8	5	12	5	11	10	14	110
久坂	8	13	3	2	4	2	1	1	0	1	1	0	0	1	2	1	3	1	1	0	3	3	0	2	53
繁倉山(北電)	1	1	3	8	2	2	1	1	0	2	0	5	8	2	2	5	6	8	6	14	8	12			
部子山(〃)	2	2	5	3	2	2	2	1	0	0	1	1	0	1	1	2	1	1	2	2	2	2	2	2	39
中村(建)	0	1	4	3	1	2	2	0	0	1	1	1	7	0	1	2	1	4	3	5	8	1	1	2	51
石徹白(〃)	0	0	2	1	0	3	1	2	4	2	2	1	0	1	2	4	3	5	21	15	11	10	10	102	
朝日(電発)	0	2	3	5	1	1	2	0	1	1	1	4	9	1	2	5	6	5	5	5	5	4	8	6	82
本戸(県)	1	2	5	5	2	2	1	1	0	3	5	6	2	2	6	5	4	6	5	2	—	6	8	3	82

(注) (北電)は北陸電力kk(建)は近畿地建福井工事々務所、(電発)は電源開発kk、(県)は福井県所属を示す。

9月10日10時～11日 9時

(単位 mm)

地名	時刻		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計				
	時	分	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3		4	5	6	7
福井	0	1	7	2	0	0	8	2	0	2	2	7	0	0	0	1	0	2	1	1	1	1	0	0	1	1	1	38			
敦賀	0	3	5	4	0	0	0	0	0	0	—	0	1	4	2	1	0	0	3	1	1	1	1	1	2	7	1	37			
大野	3	3	15	16	9	2	0	3	0	3	0	0	2	5	2	1	2	—	0	0	1	0	—	—	—	—	0	64			
征力峰	1	1	6	1	4	1	2	1	1	1	1	—	3	3	3	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38				
緑谷山	4	4	32	27	3	1	3	1	—	—	—	3	2	4	3	5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	101				
木無山	10	9	21	10	6	5	1	2	1	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	84				
南今庄	1	5	3	1	2	0	1	1	1	0	0	0	5	12	5	7	1	2	0	0	—	—	—	—	—	—	46				
稲荷	3	6	26	14	2	0	2	2	0	2	0	0	7	4	4	5	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	79				
下中島	7	13	34	29	21	5	4	2	0	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	—	—	—	112				
南大谷	13	14	30	19	22	8	6	0	0	0	0	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	119				
久坂	10	18	19	8	2	4	1	1	1	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66				
繁倉山(北電)																															
部子山(〃)	1	1																													
中村(建)	6																														
石徹白(〃)	11	13	37	25	9	6	5	0	1	1	0	0	10	1	1	0	1	0	—	0	0	—	—	—	—	—	120				
朝日(電發)	12	10	24	19	15	8	3	0	2	1	1	11	0	0	0	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	108				
本戸(県)	2	6	18	8	7	4	4	5	2	1	1	4	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				

(三) 河川水位観測表

(単位 m)

河川名	観測所名	所屬	通報水位	警戒水位	洪水水位	日										日 11								
						10時	11	12	13	14	15	16	17	18	19		20	21	22	23	24			
九頭竜川	勝山	建	1.50	2.00	3.62	1.70	1.70	1.80	2.00	2.40	3.30	3.55	3.54	3.50	3.50	2.53								
	下荒井	"	1.10	2.30	4.50	1.00		2.60	2.10	2.00	1.40	1.30	1.10											
	五松橋	"	2.00	3.00	4.00	1.85	1.85	2.20	2.65	2.40	2.30	2.15	2.00	1.95										
	中角	"	5.00	7.50	10.00	2.00	2.00	4.00	4.75	6.05	6.50	6.50	6.35	6.15	5.90									
	布施田	"	3.50	5.00	6.30	0.55	0.60	0.70	0.70	1.04	1.54	2.29	3.66	3.79	3.86	3.80	3.70	3.60	3.40	3.30	3.15	3.00	2.90	
日野川	久喜津	"	5.50	7.70	10.00	1.66	2.40	3.02	3.70	4.70	5.04	5.40	5.58	5.50										
	深谷	"	4.00	6.00	8.75	1.25	1.49	2.20	2.90	4.04	4.90	5.30	5.32	5.32	5.17									
真名川	井ノ口	県	1.20	1.40	3.00		2.40	2.40	2.90	2.90	1.30													
清池川	新在家	"	1.20	1.50	2.10	1.20	1.64	1.64	1.55	1.50	1.10													
赤根川	大橋	"	1.30	1.60	2.90	1.30	2.10	2.10	1.90	1.70	1.62													

(四) 警戒状況

(1) 注意報、警報、情報等の発表

ア. 福井地方気象台発表の注意報、警報、情報

種 別	発表時刻	解除時刻	記 事
大雨注意報	9月9日 14時00分		平野部50～70ミリ、嶺南地方の山沿地方、奥越地方100～150ミリ、明日は台風23号が接近する。
(放送用) 台風情報 第1号	9月10日 (午前) 6時30分		今後速度をまし四国南岸に上陸し、福井県地方に最も接近するのは、お昼近く、河川の増水、山くずれに警戒を要す。
風雨注意報 波浪注意報	9月10日 7時00分 "		昼前から風雨が烈しくなる。今後の雨量は山沿方面100ミリ～200ミリ、平野部50～100ミリ、最大風速陸上10～15メートル、海上20メートル、風波著るしく高くなる。
台風情報 第2号	9月10日 8時45分		昼頃には福井県地方のすぐ近くを通る見込み。昼前には暴風雨となるおそれ、各方面とも嚴重な警戒が必要、現在までの降雨量……。
暴風雨警報 波浪警報 洪水注意報	9月10日 9時30分 " "		風雨注意報、波浪注意報を切り替え、暴風雨警報、波浪警報および洪水注意報を発表します。福井県下全般に今日の昼前から夕方にかけて、南のち北西の暴風雨となり、河川は急げきに増水はんらんし、山くずれやがけくずれなど、大きな災害の起るおそれがあり、海上は大しけになりますから、各方面とも嚴重に警戒して下さい。最大風速は陸上では20メートル前後、海上では20～25メートルに達しよう、今後の雨量は平野部100ミリ前後、山沿地方と峰南地方では150～200ミリに達しよう。
台風情報 第3号	9月10日 11時30分		まもなく県下全般に暴風雨となろう。すでに嶺南地方で暴風となっている。福井県地方は台風の通過する正午頃から1～2時間が最も風雨が烈しい、台風通過後も北よりの風雨が強く、今日日中は引続き警戒が必要。
台風情報 第4号	9月10日 12時20分		台風はまもなく若狭湾に入り、福井県地方のすぐ北を通る見込み、これから1～2時間は南東の風雨が最も烈しい、その後風向は西から北に変わり、日中一杯は風雨が強い。各方面とも風と雨に対する嚴重な警戒が必要。
台風情報 第5号	9月10日 13時45分		台風は午後3時頃には能登半島に達する、福井県地方は現在が最も影響の大きいときでこの烈しい南よりの風雨は2時間くらいで弱くなる。現在までの風速、降雨量……。
台風情報 第6号	9月10日 15時30分		台風は午後3時頃能登半島中部に達した。しかし、海岸および海上では、まだ2～3時間は風はまだ強い。

種 別	発表時刻	解除時刻	記 事
風雨注意報 波浪注意報 洪水注意報	9月10日 16時35分 " "		台風の影響は峠を越えた。しかし、風は北よりに変ってよいのうちでまだ強い。最大風速は、陸上で10メートル、海上15～20メートル、風波がまた高い、雨量は山沿や嶺南地方を中心にして、今後まだ50～70ミリ、河川は増水しよう。
(放送用) 台風情報 第7号	9月10日 21時45分		台風は北海道方面へ去ったため、福井県地方の影響は殆んどなくなった。しかし山沿地方では明朝まで時々雨が降る。地盤の弱いところは土砂くずれ、山くずれなどに注意。
風雨注意報 波浪注意報 洪水注意報		9月11日 5時00分 " "	解 除

イ. 敦賀測候所発表の台風情報

第 1 号	9月10日 10時30分	台風23号は10時には淡路島、西方を毎時約70キロで北北東に進み、当地方はまもなく暴風雨となり、昼前後が当地に最も接近する見込。十分な警戒を要す。
第 2 号	9月10日 14時00分	台風23号は越前岬沖を北々東進しており、午後3時ごろ能登半島付近に達する見込。南風は峠を越したが、今後北風に変り夕方までは強い風が吹くおそれがあるから警戒を要します。

(2) 鉄道気象通報

予 報 区	警 文	発 表 時 刻	解 除 時 刻
カナ3. 1. 2. 3	テ ケ ヘ	9日 14.00	
"	情報 第 1 号	10日 06.30	
"	テ ケ ロ	07.00	
"	情報 第 2 号	08.45	
"	テ ケ ニ	09.30	
"	情報 第 3 号	11.30	
"	情報 第 4 号	12.20	
"	情報 第 5 号	13.45	
"	情報 第 6 号	15.30	
"	テ ケ ロ	16.35	
"	テ ケ ン		11日 05.00

(五) レーダーによる観測状況

福井気象レーダーが運用を開始してから、台風らしいレーダー・エコーを観測したのは、これが始めてである。

さきに台風 15 号及び台風 17 号を観測したが、いずれも福井県地方には肩すかしを喰わせ、形のくずれた雨のエコーを観測したにすぎなかった。

(1) 報道陣の取材活動について

台風 23 号は福井県地方へまともにくる。との予報に緊張した報道陣は、東尋坊気象レーダー観測所や福井地方気象台レーダー室へ詰めかけた。そして、争う様にしてエコーを撮影し忙がしい観測の妨げになるほどであった。翌 11 日の各新聞地方版には 3～4 段抜きの大見出しで写真入りの記事が大きくのせられた。

また、NHK福井放送局でも 10 日は、しばしばエコーの写真をテレビ放送し、10 日 15 時には全国中継放送まで行なった。

(2) 台風の観測について (第 3 図参照)

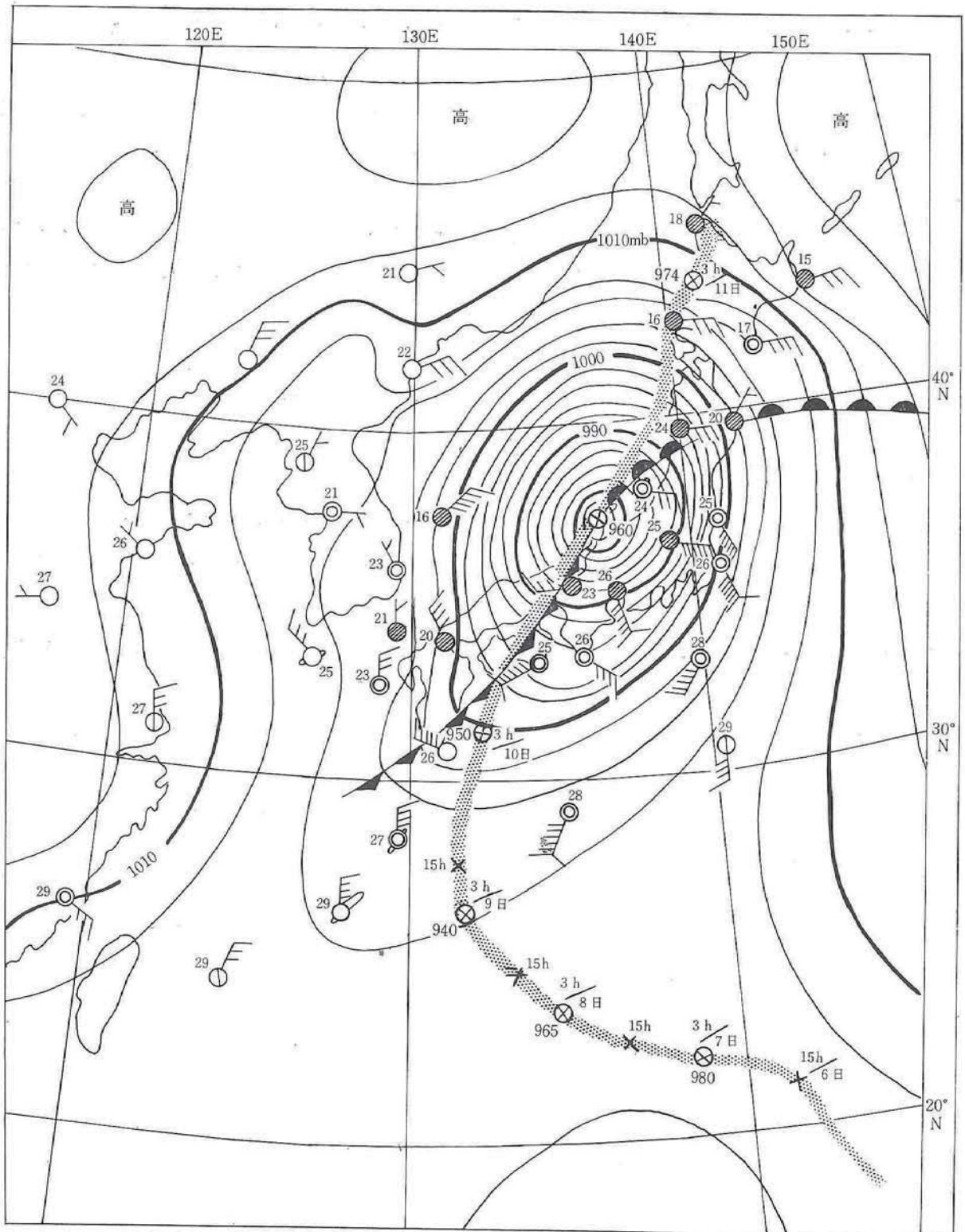
台風 23 号が四国に上陸してから、ようやく台風特有のらせん状エコーが、ブラウン管の片すみにあらわれはじめた。そして 10 日 10 時少し前には、弧状をなした小さなエコーを淡路島付近に発見した。

エコー高度は 10 キロメートルもある。気圧中心と比較して、これが台風の眼のまわりのエコー (Eye Wall) であることがわかった。モデル的な円形ではなく前面の一部分だけである。確実な中心位置は決めにくい、台風の動きはよく捕えられるので、その後はこのエコーを追跡し、台風予報を有利におしすすめることができた。

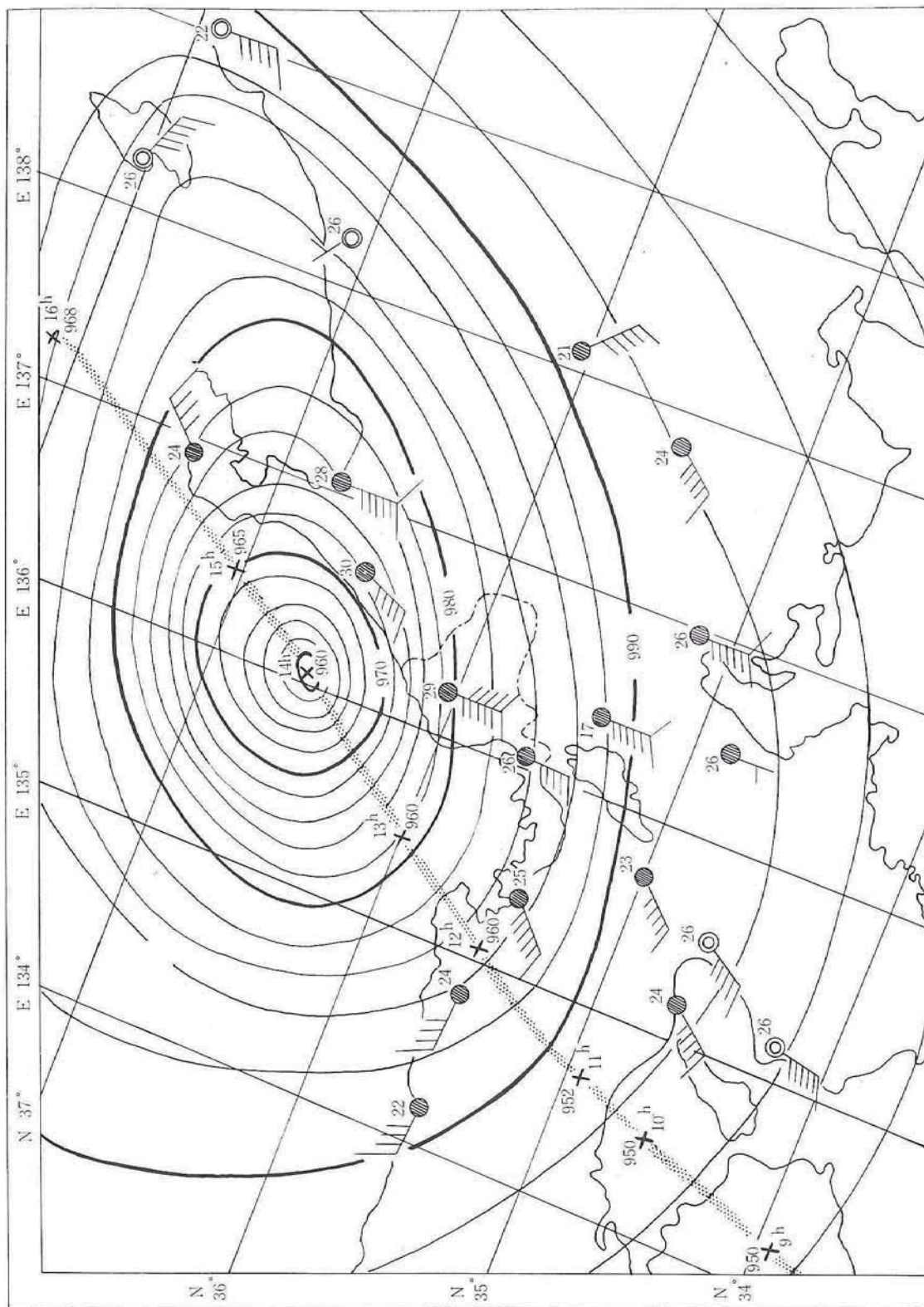
台風が四国へ上陸してから丹後半島を経て海上へ抜けるまでの間、レーダーの中心は、気圧中心より東側へ 30 キロぐらいいずれていることもわかった。

14 時すぎ越前沖を通過する頃には、形が大きいくずれ、もはや中心を推定することはむづかしくなった。

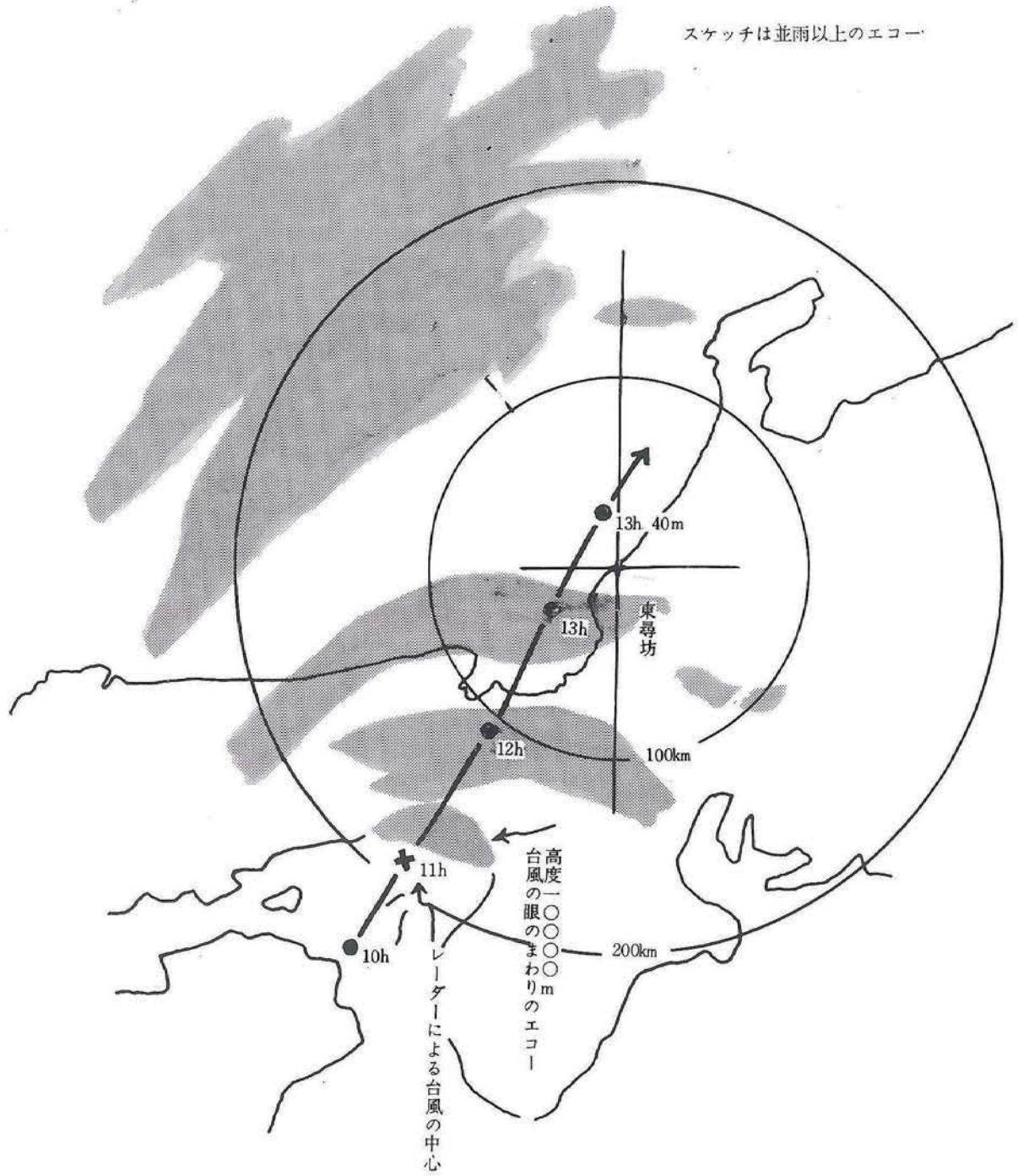
第 1 图



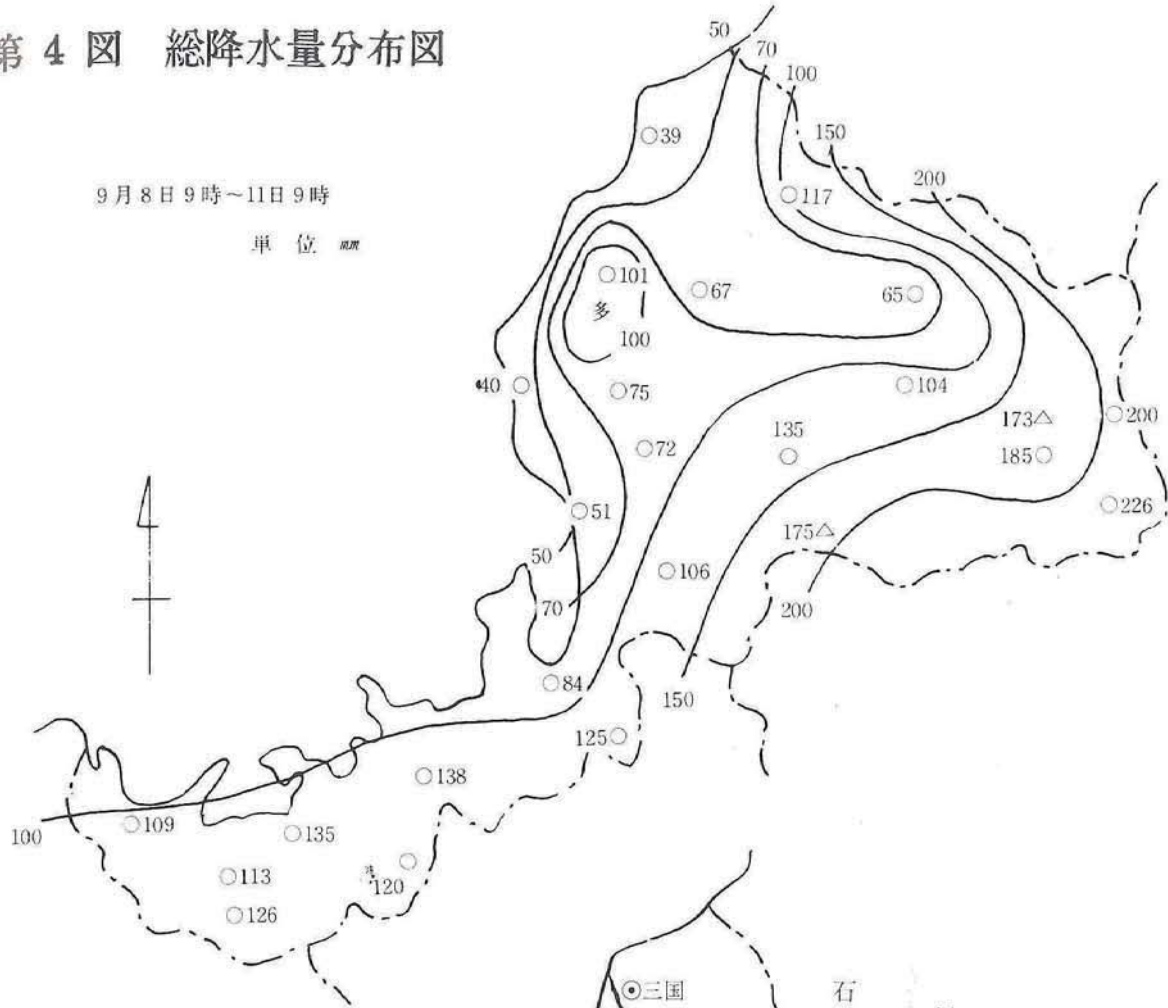
第 2 图



第 3 図 台風 23 号に伴うレーダーエコー



第4図 総降水量分布図



第5図 観測所位置図



2 奥越地方の集中豪雨関係

(一) 気象概要

(1) 豪雨の特性

ア、この豪雨は、雨の強さ、量ともに長崎県諫早（昭和32年7月25日）の集中豪雨に匹敵する稀有のものである。

イ、このような集中豪雨は梅雨末期に多く、秋に発生したものは珍しいといえよう。

ウ、特に雨の強い区域は、ほぼ南北に長く、幅10数キロ、長さ50キロくらいの広がりをもっている。

エ、著しい降雨の局地性を示し、本戸の1,044ミリに対し、わずか14キロはなれた緑谷山では180ミリ、更に9キロはなれた稲荷では85ミリにすぎなかった。

(2) 経過概要

日本の南の海上にあった前線は、台風24号の北上とともに北へおし上げられ13日午後には西日本各地は雨となった。そして14日には、本州上に停滞して殆んど動かず、南からの顕著な暖湿気流は前線上いたるところで集中豪雨を降らせた。またこの日、日本の上空は10キロ以上まで、強い真南の風が卓越していた。

福井県地方は、14日の日中は全般に一様な雨が降っていたが、夜に入ってこれらの雨を一点に集めるかのように奥越地方に集中して激しく降った。特に雨の激しかった21時前後には雷も伴った。

福井気象レーダーによると、強い雨の区域はほぼ南北に細長く、岐阜県揖斐川上流から福井県西谷村にのびている、幅10数キロ、長さ50キロくらいの広がりを持ち、雨雲の高度は10キロにも達していた。そしてこれらの発達した雲は、主に岐阜県側で生成され、上空の強い真南の風によって福井県側へ流されていることがわかった。

2～3時間、この強い雨の区域を監視しても全く変らなかった。15日朝になっても殆んど変わらず、災害発生のため雨量通報が途絶えた。この地区の状況は、専らレーダーにより把握した。14時すぎになって、ようやくレーダーエコーのもようが変りはじめ、強雨域は狭くなった。そして、15時を過ぎてからは更に狭くなると共に分散しはじめ、東の方へ動きだして、集中豪雨は解消に向った。

上空の強い南風も、幾分西にかたよりやゝ弱まってきた。

(二) 氣象觀測資料

(1) 氣象觀測表

地名 要素 時刻	福井地方气象台						敦賀測候所						大野氣象通報所								
	氣	海	風	風	氣	濕	天	氣	海	風	風	氣	濕	天	氣	海	風	風	氣	濕	天
	庄	面	向	速	温	度		庄	面	向	速	温	度		庄	面	向	速	温	度	
刻	mb	16方位	m/s	°C	%	氣	mb	16方位	m/s	°C	%	氣	mb	16方位	m/s	°C	%	氣			
14日																					
6	1015.3	WSW	0.8	17.5	91	●		NNW	6.5	19.0		●		NE	1.0	17.5	95	●			
9	1012.4	NW	1.3	18.2	93	●	1012.2	NNE	1.5	19.4	93	●	1012.3	NNE	0.7	18.3	93	●			
12	1011.1	SW	1.5	18.6	95	●		N	1.3	21.0		●	1010.5	NNW	1.3	21.6	93	●			
15	1011.0	—	0.2	19.8	96	●	1011.3	SSW	1.7	21.1	95	●	1010.1	N	3.5	20.7	94	●			
18	1012.3	NW	1.0	20.0	97	●		—	0.2	20.6		●		WSW	0.8	20.1	96	●			
19	1013.2	N	1.0	20.0	97	●								W	1.3	19.8	97	●			
20	1013.7	S	1.2	20.0	97	●								NW	0.8	19.7	96	▽			
21	1013.8	N	1.0	20.1	97	●	1013.5	SSW	0.7	20.2	95	●		S	0.8	19.7	96	▽			
22	1014.1	NE	1.7	20.1	97	●								SSE	1.2	19.5	97	▽			
23	1014.1	N	0.8	20.1	97	●								SSW	0.5	19.4	97	▽			
24	1014.0	N	1.3	20.1	97	●		SE	0.5	20.0		▽		SSW	0.7	19.3	97	▽			
15日																					
1	1014.0	NE	1.0	20.0	97	●								NE	0.5	19.2	97	▽			
2	1013.8	NNE	0.7	19.9	97	●								SW	0.5	19.2	97	▽			
3	1013.5	NNW	0.3	19.8	97	●	1013.1	—	0.0	19.9	96	▽		N	0.5	19.2	97	▽			
4	1013.5	—	0.2	19.7	97	◎								—	0.2	19.3	97	▽			
5	1013.3	S	0.7	19.7	97	◎								SSE	0.5	19.3	97	▽			
6	1013.3	S	0.7	19.7	97	◎		SSW	0.3	20.0		●		SE	0.5	19.2	97	▽			
7	1013.7	ENE	0.3	19.9	96	●								NNE	0.5	19.3	97	▽			
8	1013.1	N	1.2	20.5	96	◎								S	1.0	19.7	97	●			
9	1013.0	W	0.5	21.5	91	◎	1013.1	WSW	0.8	21.5	93	◎	1012.7	NW	1.0	19.8	98	●			
12	1013.1	NW	1.0	21.9	95	▽		E	2.3	22.2		▽	1012.1	NW	2.0	22.5	96	●			
15	1011.5	S	1.0	24.2	87	◎	1011.1	NNW	1.7	24.3	89	◎	1012.3	SSE	0.8	22.6	95	▽			

(2) 降水量観測表

イ 日降水量観測表

9月13日9時～16日9時

単位：mm

福 井 県						地 名	所属	13日	14日	15日	合 計
地 名	所属	13日	14日	15日	合 計						
西勝原 1	北電					西勝原 1	北電	28	372	193	593
福 井	気	30	51	2	83	” 2	”	28	427	178	633
武 生	”	33	65	3	101	五 条 方	”	26	18時まで 96		
今 庄	”	37	53	4	94	金 津	国鉄	18	60	18	96
勝 山	”	27	232	27	286	大 宮	”	25	46	12	83
大 野	”	29	257	39	325	勝 原	”	35	270	85	390
朝 日	”	38	208	64	310	岐 阜 県					
三 国	”	20	70	26	116	地 名	所属	13日	14日	15日	合 計
梅 浦	”	37	83	28	148	高 鷲	気	44	60	40	144
河 野	”	21	80	5	106	白 鳥	”	47	81	56	184
敦 賀	”	45	80	5	130	白 尾 山	”	38	10	38	86
小 浜	”	55	105	7	167	蕪 山	”	36	11	61	108
高 浜	”	58	163	2	223	松 田	”	39	49	46	134
下 田	”	60	96	56	212	権 現 山	”	29	708	161	898
熊 川	”	58	59	19	136	徳 山	建	34	711	206	951
三 方	”	53	59	21	133	広 瀬	”	27	71	38	136
山 口	”	25	52	5	82	黒 津	”		486	92	
下 一 光	”	34	58	22	114	塚	”		263	61	
大 谷	”	96	63	10	169	門 入	”		216	49	
杉 箸	”	39	77	10	126	藤 橋	”		263	96	
西 田 中	”	31	60	5	96	川 上	”		171	45	
池 田	”	32	49	8	89	根 尾	”		50	19	
南 今 庄	”	35	55	4	94	石 川 県					
稲 荷	”	30	48	7	85	地 名	所属	13日	14日	15日	合 計
下 中 島	”	21時30分 まで189				金 沢	気	18	75	7	100
南 大 谷	”	38	98	64	200	目 附 谷	”	26	135	29	190
久 坂	”	57	84	1	142	枯 淵	”	23	51	4	78
笹 ケ 峰	”	26	76	25	127	新 保	”	27	16	18	61
緑 谷 山	”	29	120	31	180	女 原	”	26	16	23	65
木 無 山	”	46	291	57	394	大 聖 寺	”	17	67	6	90
本 戸	県	41	844	159	1,044	大 杉	”	26	94	21	141

□ 毎時降水量観測表

9月13日18時~16日3時

地名	時刻	所属	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日									
			18h 21h	21 24	0 3 6	3 6 9	6 9 10 11 12 13 14 15 16	9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19	12 13 14 15 16 17 18 19	15 16 17 18 19	18 19 20								
福井県	井 賀	気象台	—	0	4	20	5	2	3	7	10	4	1	3	3	1	2	0	
	敦 賀	〃	—	1	9	26	12	7	8	9	15	6	4	5	3	2	0	0	
	大 野	〃	—	1	5	18	5	0	2	1	5	4	2	8	9	17	1	4	
	笹ヶ峰	ロボット	〃	—	—	→24	2	1	2	4	5	1	3	10	9	5	1	1	
	緑谷山	〃	〃	—	—	5	17	7	2	5	6	7	3	7	7	12	8	→8	
	木無山	〃	〃	—	—	→32	11	→137											
	南 今 庄	〃	—	0	8	22	5	2	5	8	10	2	1	5	1	3	1	1	
	稻 荷	〃	—	0	6	20	4	0	3	4	5	2	1	3	6	7	1	1	
	下 中 島	〃	〃	—	—	—	—	—	→14	—	→25	13	17	—	→13	17	—	—	
	南 大 谷	〃	—	—	7	20	11	0	6	8	12	8	4	4	1	0	1	3	
	久 坂	〃	—	0	13	27	17	9	7	5	12	10	3	9	9	12	6	1	
	本戸(笹生川ダム)	県	—	—	6	23	12	1	4	4	17	18	10	10	13	32	32	72	
福井県	西 勝 原 第1	北 電	—	1	→	27	—	→23											
	〃 第2	〃	—	1	→	27	—	→15											
	五 条 方	〃	—	—	→	26	—	→22											
	中 村 見	建	—	—	—	—	5	0	2	2	5	6	4	0	1	4	13	15	
岐阜県	下 味 見	〃	—	—	—	—	—	2	3	6	1	0	1	10	8	0	1		
	権 現 山	気象台	—	—	—	—	—	→11	11	12	7	5	→	29	→	29	34		
	徳 山 津	建	—	—	—	—	—	→261											
	黒 門 入	〃	—	—	—	—	—	→20	→	56	→	52	1	33	44	—	—		
	藤 橋 鷺	〃	—	—	—	—	—	→107											
	高 鷺 鷺	〃	—	—	—	—	—	→65											
	高 鷺 鷺	気象台	—	—	5	22	17	0	3	3	2	5	5	0	3	7	2	1	
	白 鳥 山	〃	—	0	0	6	23	18	0	2	4	2	2	9	1	10	11	3	1
	燕 山 瀬	〃	—	—	—	—	—	6	1	→	2	→	4	→1					
	広 塚	建	—	—	—	—	—	—	→16	0	0	0	→	7	2	1	—	—	
岐阜県	川 上 白	〃	—	—	—	—	—	→96											
	石 徹 白	〃	—	—	—	—	—	→72											
	石 目 附 谷	気象台	—	2	2	16	5	0	1	1	1	8	6	1	4	3	11	25	
石川県	枯 淵	〃	—	—	3	14	5	1	2	3	7	3	1	5	8	4	1	0	
	金 沢	〃	—	0	1	13	5	0	1	1	0	3	3	0	3	2	7	8	

単位：mm

14日	20	21	22	23	15日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16日	0h	3h							
21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	18	21	24	0h	3h								
0	1	11	1	0	0	1	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	0	2	1	0	0	—	—	0	—						
0	9	4	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	0	—	0	0						
3	32	31	18	30	12	15	12	10	26	6	1	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1	—						
4	11	1	1	1	13	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
4	18	7	6	8	1	—	—	—	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	2						
30	15	15	13	10	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	4	2						
0	2	12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—						
0	8	1	0	3	2	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—						
42	21.30 まで48 以降観測不能																														
5	9	11	8	1	1	0	2	2	2	5	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	6	2	1						
—	—	0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
89	79	78	82	41	33	9	1	8	49	56	53	53	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	2	4	1						
→ 248																→ 46						→ 169						→ 19		→ 5	
→ 268																→ 82						→ 144						→ 32		→ 2	
以 降 観 測 不 能																															
26	9	9	7	4	6	1	0	0	4	9	33	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
1	4	3	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
88	77	77	50	—	67	25	23	32	39	32	19	41	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
86	94	78	48	20	50	31	10	59	17	19	5	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
27	30	17	5	9	2	1	0	5	38	74	45	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
13	33	10	10	23	2	1	0	0	0	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
24	35	31	17	1	0	0	1	33	9	4	6	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
1	0	2	5	3	2	0	1	0	1	4	8	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
1	0	1	6	3	3	1	2	0	3	4	9	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
2	1	4	0	1	1	0	5	11	9	3	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
15	33	27	25	11	0	0	1	19	3	1	0	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
16	26	0	7	19	5	0	0	2	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
5	9	6	9	4	0	1	0	0	0	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
25	11	3	4	5	4	0	1	0	0	6	11	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
1	3	7	0	0	1	3	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
2	2	16	8	7	5	1	0	0	1	2	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						

(三) 河川水位観測表

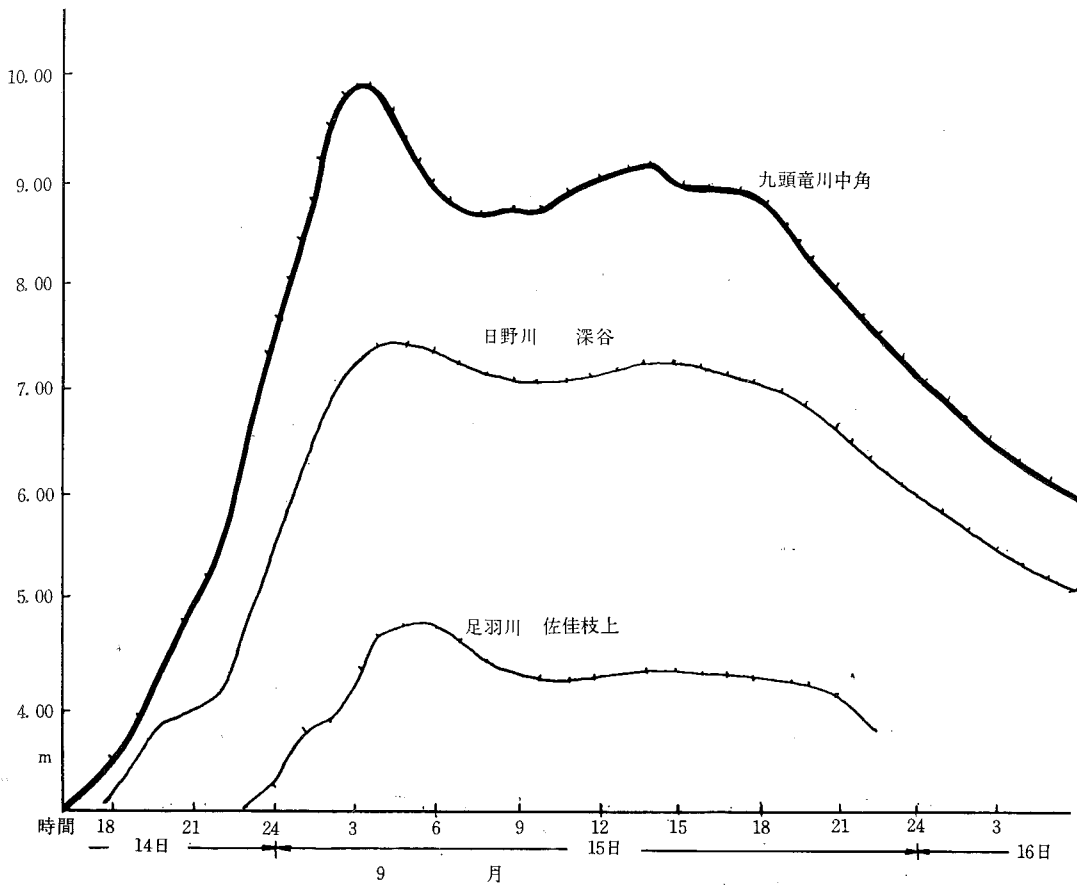
9月13日18時～16日6時

所 属			水 位		14日 時									15日								
			警戒	洪水	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
建	九頭竜川	中 角	7.50	10.00	3.50	3.95		5.00	5.50	6.40	7.50	8.35	9.50	9.80	9.75	9.35	8.95	8.70	8.55	8.60		
"	"	布施田	5.00	6.30	1.70	1.88	2.20	2.60	2.90	3.40	4.20	4.80	5.50	5.72	5.95	5.90	5.81	5.72	5.55	5.45		
"	"	五松橋	3.00	4.00						3.05	3.20	3.57	3.65	3.46	3.20	2.95	2.75	2.60	2.53	2.75		
"	"	小舟渡	2.80	5.00				3.50		4.20	4.80	4.60	4.60	4.50	4.50	4.40	4.20	4.20	4.10			
県	"	比 島	2.50	3.20	2.20	2.20	3.60	4.20			4.80 4.70				3.50							
"	"	岸 水	5.20	6.00					5.15	5.60	6.30	6.80	7.20	7.26	7.18	7.00			6.68	6.66		
"	"	平 木	1.50	1.80									1.75	1.84	1.84	1.74	1.60					
建	日野川	深 谷	6.00	8.75	3.14		3.84	4.00	4.12	4.90	5.46	6.20	6.82	7.19	7.44	7.46	7.36	7.22	7.07	7.02		
"	"	朝 日	8.50	10.26		4.46	4.60	4.76	4.90	5.12	5.50	6.00	6.40	6.92	7.17	7.28	7.32	7.26	7.12	7.00		
県	"	下 市	5.80	7.75									6.75	7.28	7.34	7.36	7.28		6.97	7.00		
建	"	久喜津	7.70	10.00	4.00	4.50		4.70		5.70		6.78		7.50		7.52	7.50	7.35	7.24			
県	足羽川	佐佳枝上	5.00	6.00			2.40		3.00	3.20	3.78	3.80	4.40	4.65	4.75	4.72	4.56	4.40	4.32			
"	荒 川	豊島中	3.80	4.50			2.10	2.35		2.65	2.85	3.50	3.20	4.00	4.05	3.99	3.87	3.67	3.63			
"	真名川	井ノ口	1.40	3.00	2.40											3.50			3.40			
"	竹田川	岩 崎	2.30	3.50										2.54		2.64	2.51					

単位：mm

														16日						
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
8.60	8.80	8.90	9.00	9.05	8.95	8.85	8.82	8.73	8.50	8.20	7.90	7.90	7.38	7.13	6.91	6.73	6.51	6.33	6.12	6.00
5.48	5.48	5.49	5.60	5.60	5.58	5.56	5.52	5.48	5.39	5.24	5.00	4.92	4.72	4.56	4.25	4.20	4.05	3.90	3.79	3.65
2.90	2.95	2.05	3.05	2.90	2.90	2.90	2.80	2.70	2.60	2.45	2.30									
4.10	4.00	4.00	3.90	3.80	3.30	4.00	3.70	3.60	3.60	3.20										
3.60		3.40				3.36	3.40	3.40	3.40	3.30										
6.66	6.70	6.80		6.90	7.00	6.80	6.76	6.70	6.58	6.44	6.20	6.00								
				1.54		1.58	1.55	1.50	1.48	1.42										
7.01	7.02	7.10	7.14	7.21	7.20	7.14	7.10	7.04	6.93	6.81	6.59	6.36	6.18	6.00	5.86	5.64	5.46	5.32	5.19	5.05
6.94	6.88	6.92	6.95	7.00	7.02	6.95	6.88	6.80	6.68	6.50	6.28	6.06	5.88							
6.94	6.94	7.00		7.10	6.88	7.03		6.88	6.72	6.52	6.32									
7.20	7.17	7.14	7.20																	
4.27	4.25	4.27	4.28	4.35	4.36	4.31	4.30	4.28	4.20	4.18	4.07	3.90								
3.55	3.55	3.54	3.59	3.63	3.65	3.33	3.57	3.54	3.48	3.38	3.35	3.15								
2.85								3.50												
	2.40			2.50				2.50				2.20								

奥越豪雨水位曲線



(四) 警戒状況

(1) 福井地方気象台発表の注意報、警報、情報

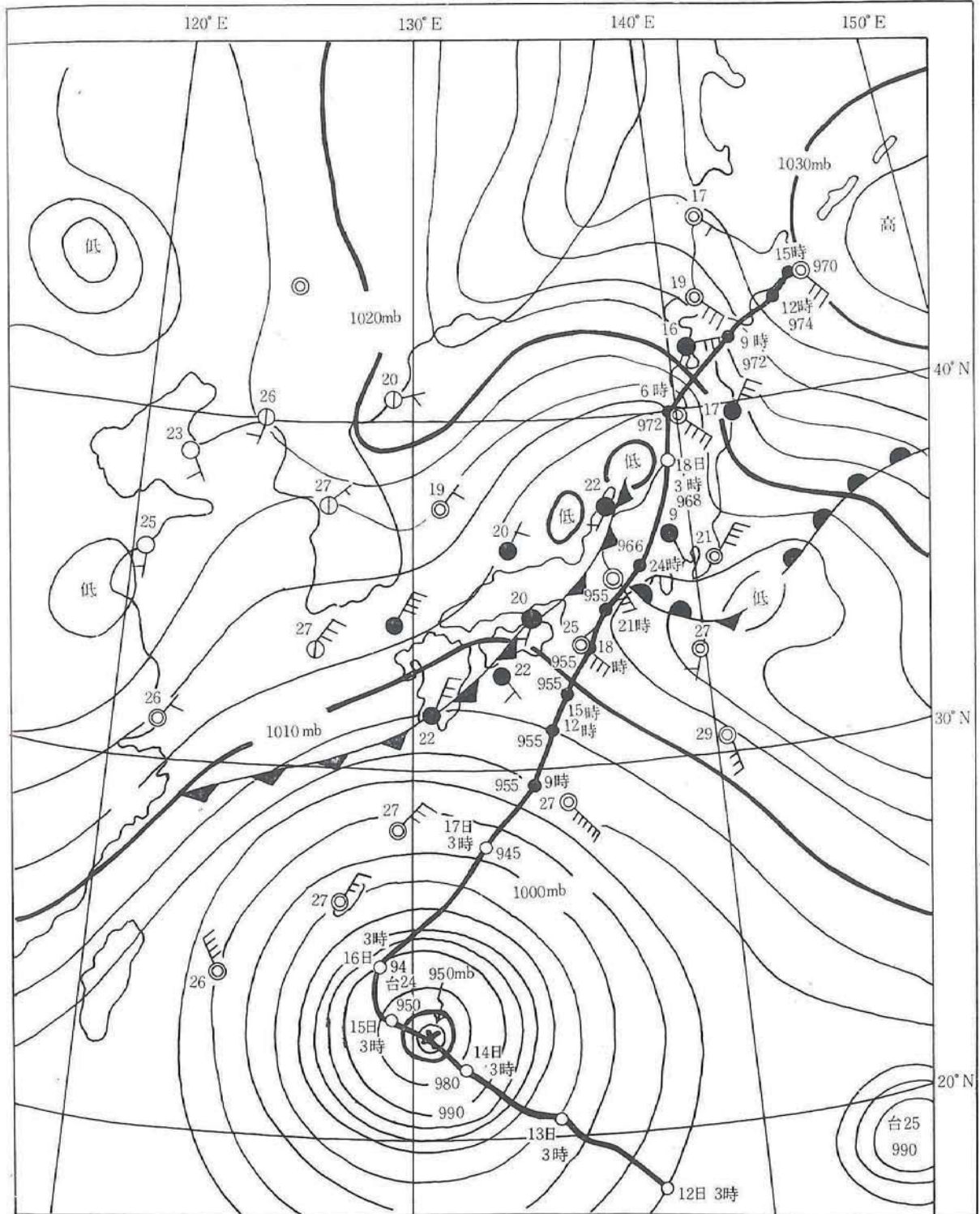
種 別	発表時刻	解除時刻	記 事
大雨注意報	14日 10 h 30 m		山沿地方や嶺南地方で70~100ミリ、所により100~150ミリ河川の増水、山くずれ等に注意
大雨注意報 洪水注意報	14日 17 h 00 m		山沿地方や嶺南地方で大雨、今後の雨量は70~100ミリ、所により100~150ミリ、中小河川のはんらん、山くずれ、がけくずれに注意
大雨警報 洪水警報	14日 23 h 50 m		奥越地方では、局地的な豪雨により河川のはんらんや規模の大きな大きな山くずれなどが起る。明日の朝までは嚴重な警戒を要す。すでに集中豪雨の降っている奥越地方では、今後ともまだ雷を伴って、短かい時間に100~200ミリという記録的な強い雨が予想される。このため河川の急激な増水やはんらん、堤防の決壊山くずれなど集中豪雨による被害がある。明日の朝まで嚴重に警戒されたい。
大雨情報	15日 7 h 00 m		福井気象レーダー観測による強い降雨地帯は巾10キロ、長さ50キロで殆んど動かず。 各地の雨量……。
大雨情報	15日 15 h 00 m		レーダーの観測では強い雨の区域は殆んど動いていないが、幾分範囲は狭くなった。 九頭竜川下流の水位は、最高水位をすぎて横ばい状態、まだ警戒体制をゆるめないよう。
大雨注意報 洪水注意報	15日 16 h 20 m		強い雨の区域はかなり狭くなり、一応峠をこえた。
大雨注意報 洪水注意報		16日 5 h 30 m	解 除

(2) 鉄道気象通報

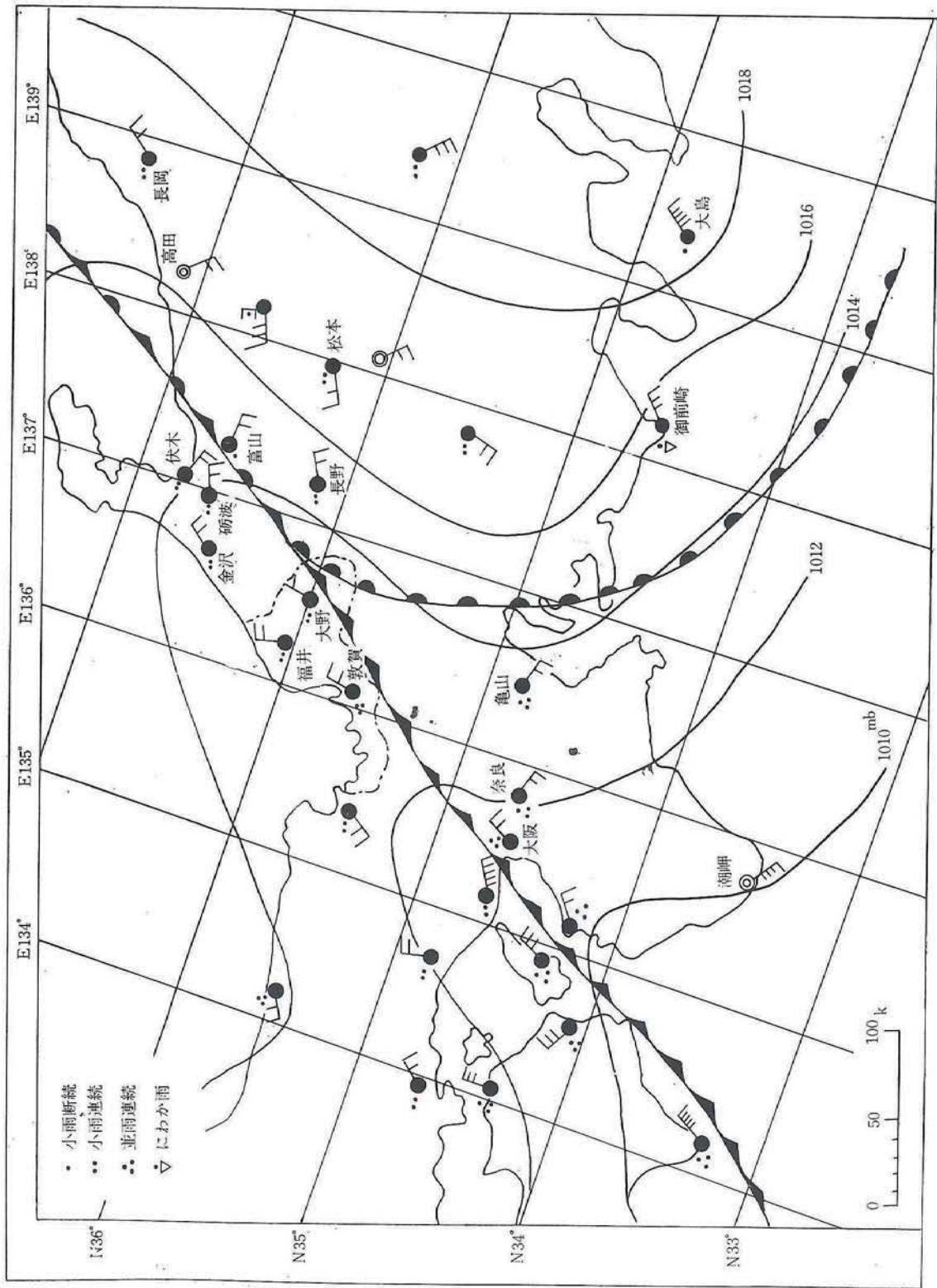
予 報 区	警 文	発表時刻	解除時刻
カナ3、1.2.3.	テケヘ	14日 10. 30	
〃	テケヘ	17. 00	
〃	テケヘ	23. 50	
〃	大雨情報 第1号	15日 07. 00	
〃	〃 第2号	15. 00	
〃	テケヘ	16. 20	
〃	テケン		16日 05. 30

第1図 台風24号の経路と地上天気図

昭和40年9月14日 15時



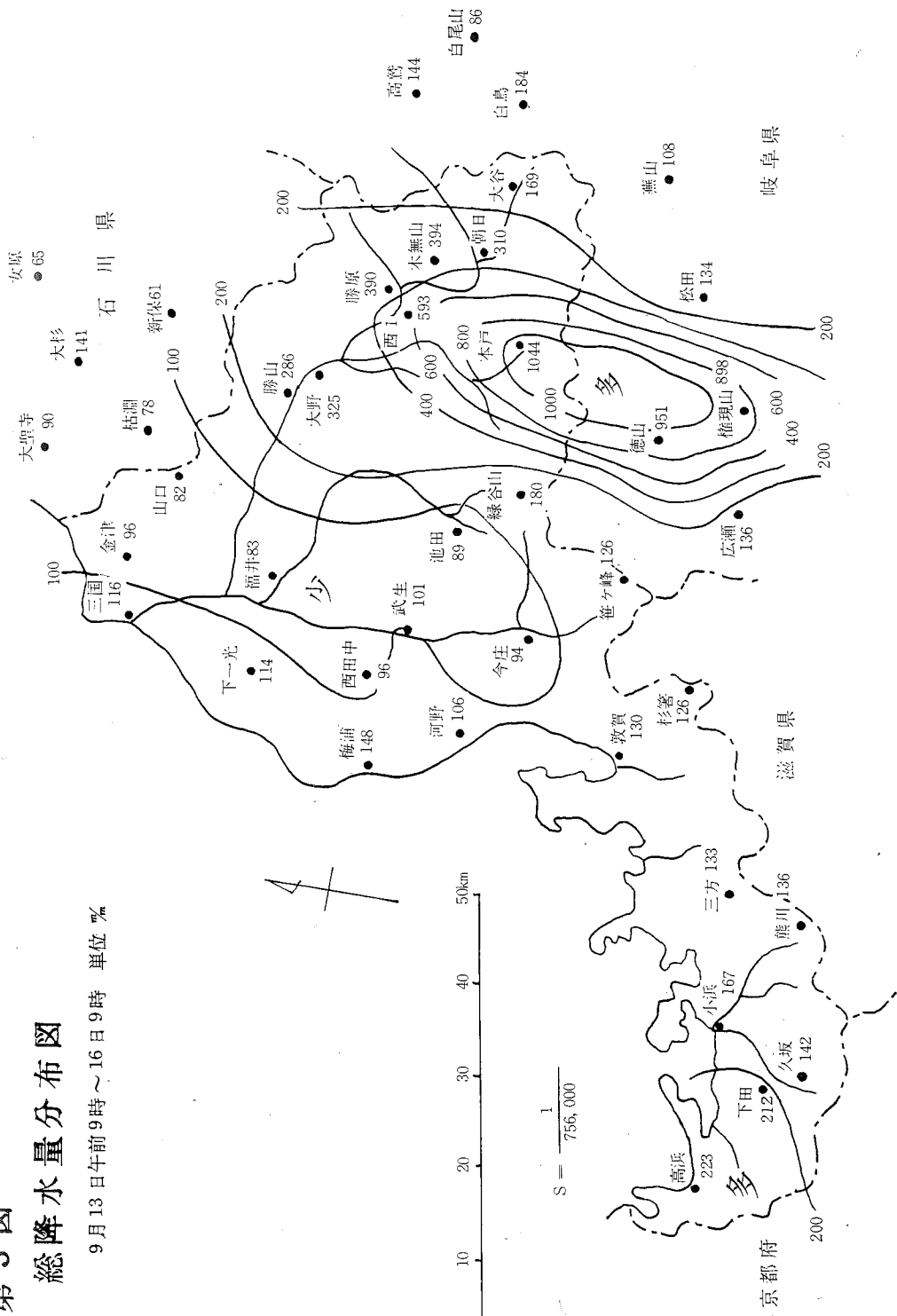
第2図 奥越地方集中豪雨のときの地上天気図



第3図

総降水量分布図

9月13日午前9時～16日9時 単位%



3 台風 24 号 関係

(一) 気象概要

(1) 台風 24 号の特性

ア 本州上の前線を刺激し、13 日午後よりすでに西日本各地に強い雨を降らせた大型の雨台風である。

イ 愛知県三河地方を通過した台風 13 号（昭和 28 年 9 月 25 日）と非常によく似たコースをとり、現象もこれによく似て雨は嶺南地方で圧倒的に多かった。

ウ 台風 23 号（9 月 10 日）、奥越地方の集中豪雨（9 月 14 日～15 日）と続く災害に、追い打ちをかけるようにして被害を一段と大きくした。

エ 16 日 15 時の最盛期における台風は

中心気圧	930 ミリバール	最大風速	60 メートル
暴風半径	25 メートル以上は 200 キロ		
	15 メートル以上は 600 キロ		

(2) 台風の経過概要

9 月 10 日 3 時 沖の鳥島の南々東 600 キロの海上、北緯 15.0 度、東経 139.0 度に弱い熱帯低気圧として発生した。中心気圧 1004 ミリバール。

11 日 9 時 沖の鳥島の南々東 400 キロの海上 北緯 16.9 度、東経 137.6 度で台風 24 号となる。中心気圧 995 ミリバール。

14 日 9 時 南大東島の南 400 キロの海上。北緯 22.3 度、東経 130.9 度で、中心気圧 950 ミリバール。最大風速 50 メートル、25 メートル以上の暴風半径 200 キロに発達した。

15 日 21 時 沖縄の南 300 キロの海上で殆んど停滞し、転向のきざしがみえはじめる。

16 日 15 時 南大東島の西方 100 キロの海上で最も発達し、日本へ向って北東に進む。本土上陸のおそれがでてきた。

17 日 12 時 室戸岬の南 250 キロの海上、北緯 31.0 度、東経 134.5 度で次第に加速し毎時 45 キロとなる。本土上陸は必至となり、福井県地方のかなり近くを通りそうだ。

17 日 18 時 潮岬の南すぐ近くを通る。中心気圧 955 ミリバール、最大風速 40 メートル。

17 日 22 時 愛知県の渥美半島に上陸し、中部地方内陸部を北東に進む。

これまでに県内各地とも最低気圧を観測した。

18 日 0 時 大井川上流を通過し、福井県地方への影響は小さくなりはじめる。

中心気圧 966 ミリバール、最大風速 40 メートル。

(3) 気象状況

台風が襲来する前の日 16 日午前中は、県下各地に晴れ間があらわれた。奥越地方の集中豪雨から一夜明けてほっとしたのもつかの間、午後からは又も雨が降り出した。そして若狭方面では 16 日夜には早くも 70～80 ミリの雨量に達した。一方、台風 24 号は本土に向って北東へ進んでおり、雨はいよ

いよこれからといった状況である。翌17日の日中は雨は降り続いたが余り大きな変化はなかった。

台風が潮岬近くを通りすぎる夕方頃から、嶺南地方では烈しい雨が降るようになり、愛知県東部に上陸するころまで続いた。北川上流の熊川では、この数時間で200ミリをこえる豪雨を観測した。このため嶺南地方の小さな各河川は、あっという間に洪水水位をこえて堤防決壊やはんらんが続出した

レーダーの観測によれば、このように壊滅的打撃を与えた強い降雨域は台風の北東進と共に日野川流域にも及んだが、それより東へ移るに従い急に弱くなった。結局、台風24号による雨は、嶺南地方に集中して多く400ミリをこえたところがあり、豪雨直後の奥越地方では比較的少く200ミリ以下であった。

風も雨と同じように夕方頃から強くなりはじめ、平野部で平均10～15メートル、瞬間では25メートルくらいの北よりの風が夜半過ぎまで吹きつづいた。そして福井では19時06分に最大瞬間風速28.0メートル。敦賀では23時02分に26.1メートルを観測したが、特に大きなやま場はなかった。

(二) 気象観測資料

(1) 気象観測表

地名 要素 時刻	福井地方気象台						敦賀測候所						大野気象通報所						
	気圧	風	風速	気温	湿度	天	気圧	風	風速	気温	湿度	天	気圧	風	風速	気温	湿度	天	
	海面 mb	向	m/s	℃	%	気	海面 mb	向	m/s	℃	%	気	海面 mb	向	m/s	℃	%	気	
16日	9	1005.2	SSE	2.7	28.1	72	⊗	1005.7	S	5.0	26.6	72	⊙	1005.8	SE	1.8	26.2	69	⊙
	12	1003.9	S	5.3	28.9	63	⊙	1004.5	S	5.5	26.6	73	●	1004.1	S	3.7	27.8	65	⊙
	15	1003.1	SW	3.8	25.0	87	●	1003.1	S	2.2	24.9	87	●	1002.7	SSE	3.8	26.1	66	●
	18	1003.1	SW	1.7	23.5	97	●	1002.9	S	0.5	24.3	90	▽		SSW	0.5	23.1	91	●
	21	1004.1	S	2.7	22.8	96	●	1004.6	E	0.8	22.4	93	▽		—	0.2	22.2	93	●
	24	1004.4	WSW	2.3	22.3	97	●	1004.2	E	1.7	22.1	95	▽		—	0.2	21.9	92	●
17	3	1003.6	NNE	4.2	21.5	96	●	1002.9	SSW	1.2	21.8	96	▽		SSE	0.3	21.7	93	●
	6	1003.5	NNE	1.5	20.9	96	▽	1003.0	WSW	1.3	20.6	95	▽		SE	0.5	20.7	90	⊙
	9	1001.9	N	4.5	22.4	83	⊙	1001.5	NNE	1.7	22.3	85	⊙	1001.5	SW	0.8	21.2	89	⊙
	12	999.5	N	4.8	21.2	94	●	998.8	NW	1.3	22.1	87	⊙	999.5	ENE	0.8	20.8	92	●
	15	994.3	NNW	8.7	19.9	93	▽	993.8	NNW	5.8	20.2	93	▽	992.7	NW	1.3	20.8	92	▽
	18	991.6	N	12.8	19.4	88	▽	990.5	N	7.8	19.8	89	▽		N	1.3	19.4	89	▽
	19	989.5	N	12.5	19.2	92	▽	987.8	N	10.2	19.5	91	▽		N	4.2	19.4	86	▽
	20	987.6	N	16.0	19.0	91	▽	985.7	N	13.5	19.9	89	▽		N	4.5	19.6	82	▽
	21	986.5	N	12.3	18.9	93	▽	985.8	N	11.8	19.6	88	▽		NNW	7.3	19.6	73	▽
	22	986.6	N	15.0	19.0	92	▽	987.6	NNW	12.3	19.3	90	▽		NNW	5.5	19.3	74	▽
18	23	988.0	NNW	14.8	18.6	92	▽	989.2	NNW	15.7	19.4	85	▽		WNW	6.7	18.7	79	▽
	24	991.5	NNW	12.5	18.1	89	▽	991.0	NNW	15.2	19.5	85	▽		WNW	8.2	18.2	83	▽
	1	994.1	NNW	10.0	17.5	86	▽	994.0	N	13.2	19.1	80	▽		NW	7.0	18.1	75	▽
	2	996.3	NNW	6.7	17.4	91	▽	996.5	N	12.3	18.8	84	▽		W	4.3	17.0	80	▽
	3	998.2	NNW	7.2	17.9	87	▽	998.6	NNW	8.3	18.6	87	▽		W	3.8	17.1	85	▽
	6	1004.1	N	4.0	17.8	89	⊙	1004.2	NW	6.8	19.2	79	▽		NNW	4.3	17.9	72	⊙
	9	1007.4	NNW	6.7	20.9	79	▽	1007.0	N	7.5	21.9	73	⊙	1007.1	WSW	2.8	19.3	74	▽

(2) 極値観測表

福井地方気象台	敦賀測候所	大野気象通報所
最 低 気 圧		
985.2 mb 17日 21時 22分	985.4 mb 17日 20時 42分	× 17日 21時 20分
最 大 風 速		
N 16.2 m/s 17日 21時 30分	NNW 16.7 m/s 17日 23時 05分	WNW 8.2 m/s 17日 24時 00分
最 大 瞬 間 風 速		
N 28.0 m/s 17日 19時 06分	NNW 26.1 m/s 17日 23時 02分	NNW 14.7 m/s 18日 01時 14分
総 降 水 量		
189 mm	281 mm	134 mm

(3) 県内の風速観測表

日	時	森田(国鉄)	三方(国鉄)	日	時	森田(国鉄)	三方(国鉄)
17日	11時	5 m/s	0 m/s	17日	24時	17	15
	12	6	1	18日	1	10	12
	13	9	1		2	7	9
	14	10	2		3	7	11
	15	9	2		4	10	2
	16	12	2		5	8	5
	17	11	3		6	5	8
	18	13	4		7	6	9
	19	12	11		8	7	7
	20	13	9				
	21	13	12	最大風速		最大瞬間 26 m/s 19時56分	" 34m/s 21時45分
	22	14	20	風速計		風杯型自記 (3杯発電式)	"
	23	14	17				

(4) 降水量観測表

ア 日降水量観測表

9月16日9時～18日 9時

単位 mm

地名	所属	16日	17日	計	地名	所属	16日	17日	計
福井	気	26	163	189	池田	気	33	175	208
武生	〃	39	182	221	南今庄	〃	46	211	257
今庄	〃	50	221	271	稲荷	〃	31	168	199
勝山	〃	34	67	101	南大谷	〃	30	109	139
大野	〃	32	102	134	久坂	〃	70	273	343
朝日	〃	50	103	153	笹ガ峰	〃	37	213	250
三国	〃	21	190	211	緑谷山	〃	31	142	173
梅浦	〃	41	114	155	木無山	〃		134	
河野	〃	50	153	203	本戸	県	26	135	161
敦賀	〃	73	208	281	熊川	〃	88	417	505
小浜	〃	60	265	325	石徹白	建		123	
高浜	〃	81	290	371	中村	〃		65	
下田	〃	83	266	349	下味見	〃		186	
熊川	〃	82	344	426	瀬戸	〃		259	
三方	〃	90	304	394	金津	国鉄	22	161	183
山口	〃	26	187	213	勝原	〃	42	145	187
下一光	〃	33	190	223	小浜	〃	62	290	352
大谷	〃	30	105	135	高浜	〃	86	300	386
杉箸	〃	31	207	238	新庄	関電	77	254	331
西田中	〃	30	131	161	美浜	県	65	205	270

イ 毎時降水量観測表

17日9時~18日9時

単位 mm

地名	時刻	17日												18日											
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7	8
福井	氣象台	0	5	4	2	9	28	10	2	29	3	18	10	6	9	5	3	3	4	5	1	3	0	1	1
敦賀	"	—	3	0	5	24	12	14	13	22	28	16	12	19	18	4	1	2	2	7	5	1	0	0	0
大野	"	2	5	10	9	5	2	1	5	6	8	16	11	6	5	3	4	0	0	1	0	0	0	0	0
笹ガ	"	4	2	4	1	23	20	9	29	5	16	22	21	13	13	7	2	3	4	4	6	2	1	1	1
緑谷山	"	3	3	10	5	7	4	3	22	4	12	17	12	8	11	6	3	1	2	2	4	1	1	0	1
木無山	"																								
南今庄	"	4	5	0	3	14	3	5	28	16	28	27	22	18	17	6	2	2	2	2	3	1	1	0	2
稲荷	"	2	2	6	4	20	10	3	12	13	12	17	19	13	12	7	4	2	2	2	3	1	0	2	0
南大谷	"	3	7	12	2	3	10	2	7	1	10	14	11	10	7	5	2	0	0	0	1	0	1	1	0
久坂	"	1	6	3	6	36	13	6	8	11	22	42	32	18	5	5	12	11	9	7	6	3	4	2	5
本戸	県	3	7	10	4	6	4	5	8	2	11	25	16	14	10	6	1	1	0	0	1	0	0	1	0
熊川	"																								
石徹	建																								
中村	"	2	6	2	1	0	7	7	3	3	12	4	8	3	0	3	2	1	0	0	1				
下見	"	0	3	9	3	13	8	2	9	27	6	28	22	13	11	11	6	2	2	5	2	2	0	1	1
瀬戸	"																								
新庄	関電	0	3	1	6	17	7	3	26	21	32	34	43	27	9	3	0	2	3	4	2	11	0	0	0

(三) 河川水位観測表 (昭 40. 9. 17 ~ 18 台風 24 号による豪雨)

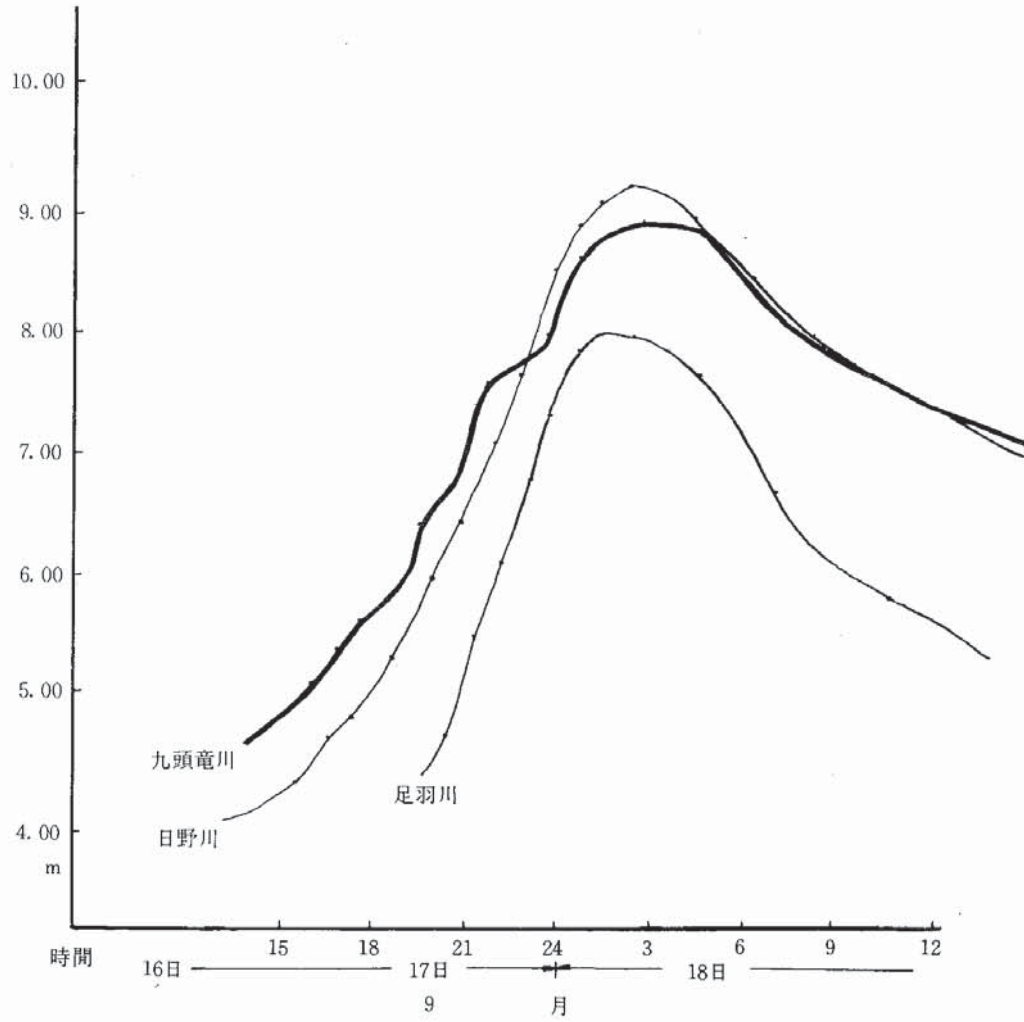
河川名	観測所	所属	警戒水位	洪水水位	17日 13時	14	15	16	17	18	19	20	21	22
九頭竜川	下荒井	建	4.00	5.20						1.50	1.60	1.80	1.80	2.00
"	小舟渡	"	2.80	5.00			1.90		2.20	2.40	2.50	2.60		2.80
"	五松橋	"	3.00	4.00									1.98	2.10
"	中角	"	7.50	10.00		4.50	4.80		5.15	5.50	5.70	6.40	6.60	7.30
"	岸水	県	5.20	6.00					4.20		4.70	5.00	5.60	5.90
"	平木	"	1.50	1.80									1.00	1.20
"	布施田	建	4.50	6.50		2.25			2.90			3.70	4.20	4.50
日野川	今庄	県	2.10	2.80							1.00		1.35	1.80
"	姫川	"	3.00	4.00					1.40	1.90	2.20	2.50	2.80	2.80
"	下市	"	5.80	7.75					4.70		5.46	7.02	7.05	7.20
"	三尾野	"	7.50	8.50					3.30					
"	久喜津	建	7.70	10.00				4.70		5.40	5.90	6.80	7.40	8.50
"	深谷	"	6.00	8.75	3.86			4.16	4.66	4.87	5.32	5.75	6.30	6.80
"	朝宮	"	8.50	10.26				4.52	4.90	5.40	6.00			7.30
足羽川	稲荷	県	2.00	3.00						1.10		1.50	1.80	2.10
"	宿布	"	3.00	3.80										3.80
"	佐佳枝上	"	5.00	6.50					2.95		4.30		4.85	5.50
荒川	豊島中	"	3.80	4.50						3.45		4.10	4.85	5.10
"	河増	"	3.00	4.00					2.53	3.00				
赤根川	大橋	"	1.60	2.90									2.90	
竹田川	大日	"	3.50	4.70			1.80	2.20		2.40	2.72	2.92	3.13	3.47
"	岩崎	"	2.30	3.50								1.80	1.90	2.20
天王川	宝泉寺	"	3.50	4.20			1.30		1.70	2.10	2.60	2.70		3.10
鞍谷川	粟田部	"	1.50	2.00				1.80	21.0	2.30		2.30	2.91	2.91
笙ノ川	三島	"	1.80	2.40						1.40	1.50			2.80
耳川	河原市	"	1.70	2.80						1.45	1.60	1.70	1.80	1.90
北川	高塚	"	1.80	4.50		1.40		1.50		1.60	2.00	2.00	3.20	4.00
南川	和久里	"	1.80	3.60		1.70	2.00	2.20		2.50	2.90	3.50	4.30	5.60
鱒川	鳥浜	"	1.20	2.00						1.50	1.80			3.00
遠敷川	遠敷	"	2.10	2.70						1.40	1.70		2.40	3.00
佐分利川	本郷	"	1.20	2.10			1.20				2.30		3.25	

9月17日13時～18日15時

単位 m

23	24	18日 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
2.30	24.0	2.20	2.00	1.80	1.70	1.50	1.50	1.50	1.50							
3.00	3.10	3.10	3.20		3.00		2.50									
2.14	2.25	3.30	2.34	2.30	2.20	2.10	1.95									
7.70		8.40		8.70	8.68	8.68	8.45	8.10	7.80	7.70	7.55	7.35	7.25	7.05	6.95	6.60
6.46	6.80	7.20	7.50	7.60	7.80	7.70	7.30	6.94				6.20				
1.30	1.50	1.70	1.80	1.86		1.98	1.80	1.75	1.60							
4.80	5.35	5.73	6.05	6.18	6.19	6.15	5.90	5.86	5.70	5.52	5.36	5.20	5.10	4.98	4.86	4.64
		2.00	2.00	1.50												
3.00	2.75	2.65	2.30	2.10	2.00	1.70	1.50									
8.04	8.90	9.55	9.72	9.68	9.55	9.20	8.90					7.97				
7.70	7.85		8.00	7.70	7.40	7.00	6.80	6.70								
9.00	9.70	10.40	10.50	10.40	10.22	9.96	9.74		9.22	8.94	8.74	8.70	8.50	8.42	8.22	8.00
7.48	8.16	8.63	8.93	9.00	8.90	8.72	8.48	8.10	7.98	7.72	7.58	7.38	7.13		6.96	6.79
9.60	10.00	10.50							9.10	8.64	8.80					
		2.00	1.85		3.65		1.26									
4.10		4.00	3.85	3.70	3.65	3.30	3.05	2.50								
6.30	7.00	7.63	7.75	7.65	7.55	7.38	7.10		6.11			5.60				
5.35	5.30	5.37	5.45	5.55	5.55		5.50		5.38			5.10				
							3.90					3.85				
2.75		2.85														
3.70	4.10	4.22	4.35	4.44	4.42		4.36	4.30	4.28	4.22						
2.30	2.55		3.00	3.15		3.15										
			2.90	2.68	2.60	2.60	2.50	1.90								
		2.00	1.80	2.30		2.00	1.30									
		2.65	2.30	2.10	1.80	1.70	1.65			1.50						
3.90			3.70					2.50	1.70							
5.40			3.90					2.70	2.60							
3.20																
2.70			3.00					2.00	1.60							

台風 24 号 水位 曲線



(四) 警戒状況

(i) 福井地方気象台発表の注意報、警報、情報等

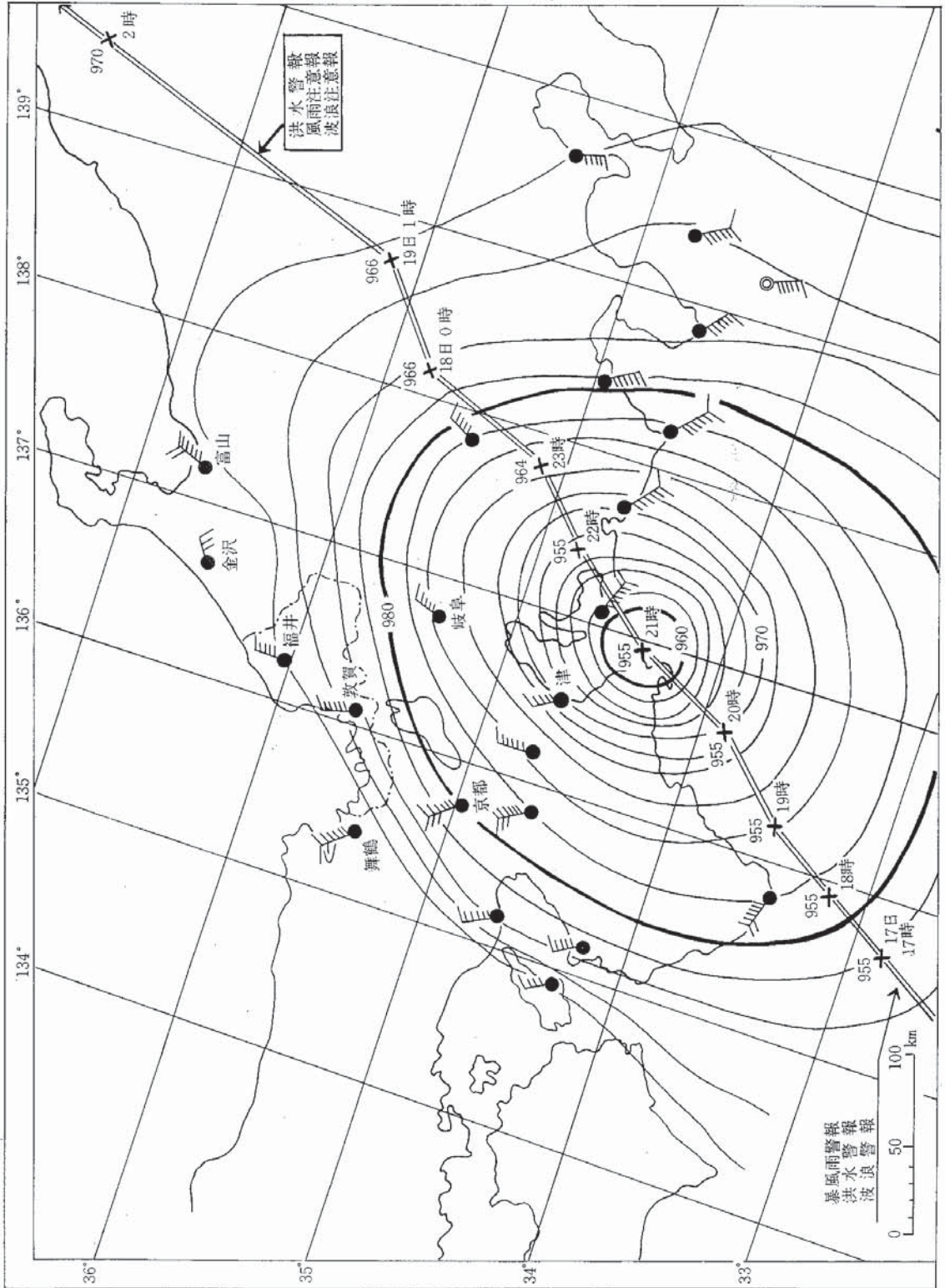
項目	発表・解除時刻	概要
大雨注意報	9月16日 18時10分 発表	台風24号の前面にある前線の影響で今晚から強い雨が降る。 主として嶺南地方や山沿地方が多い。大雨のすぐあとなので各方面とも十分注意を要する。 今後の雨量は50～70ミリ。
台風情報 第1号	9月17日 10時15分 発表	台風24号は福井県の南方を通る公算大、風よりも雨の影響が大きい見込み。 今後関東から東海道の海岸に上陸または接近するおそれがある。 雨は午後から再び強く降り、夜半頃まで大雨に対する警戒が必要
風雨注意報 波浪注意報 洪水注意報	9月17日 12時10分 " 発表 "	明日にかけて雨が時々強く、風雨が最も強くなるのは今日よいのうちから夜半ごろ、北よりの風で最大風速は陸上10～15メートル、海上15～20メートル風波が高くなる。 今後の雨量、平野部50～70ミリ、山沿地方100～150ミリ、河川の増水、がけくずれのおそれがあり、特に奥越地方は嚴重な警戒を要する。
台風情報 第2号	9月17日 14時45分 発表	台風は今晚、東海地方に上陸する公算が大きくなった。福井県地方は夕方頃から夜半にかけて北よりの風雨が激しくなり、雨は奥越地方、嶺南地方で今後100～200ミリ、平野部100ミリ位、北よりの最大風速陸上15メートル、海上20メートル前後、再び河川のはんらん、山くずれが各地に発生のおそれ、復旧作業には万全の注意、又非常に風波が高くなる。
暴風雨警報 洪水警報 波浪警報	9月17日 16時30分 発表	台風24号は紀伊半島南端を経て、福井県地方の南方をかなり接近し通過する見込み。このため福井県地方はよいのうちから夜半にかけ暴風雨となり、再び豪雨による災害が予想されるので、災害地は勿論、各方面とも嚴重な警戒が必要。 今後の雨量は嶺南および山沿地方では200ミリ位、平野部で100ミリ、河川のはんらん、堤防の決壊、山くずれなどが大規模に起るおそれがあり万全の警戒体制が必要。 また北よりの風激しく、最大風速は陸上20メートル海上25メートル前後、海上は大しけとなる。

項目	発表・解除時刻	概要
台風情報 第3号	9月17日 18時55分 発表	台風24号は伊勢湾を通り北東に進む見込み。 福井県地方で風雨の最も烈しくなるのは夜半前の3～4時間で特に 嚴重な警戒が必要。 今のところ昭和28年9月の台風13号によく似た進路をとっている。 現在までの雨量……
台風情報 第4号	9月17日 20時45分 発表	台風は愛知県東部に上陸する見込み。 すでに嶺南地方では暴風雨となり、1時間に50～60ミリの強い雨で 被害が多くなりはじめています。この激しい雨は嶺北地方へも移り、こ れから3～4時間は激しい風雨となる。 各方面とも嚴重な警戒を要す。
台風情報 第5号	9月17日 23時30分 発表	台風は愛知県東部に上陸し、中部地方内陸部を北北東進中。 台風は当地方から次第に遠ざかっている。福井気象レーダー観測によ れば、嶺南地方の雨は幾分弱まってきた。 嶺南地方はすでに300ミリをこえる雨の所があり、災害が増大してい る。しかし嶺北地方の山沿方面では現在強く降っており、今後も各河 川は増水する。 風は峠を越えたようだが、今晚中は北よりの風と雨が時々強く降る見 込み。
洪水警報 風雨注意報 波浪注意報	9月18日 01時30分 発表	暴風雨と波浪の警報を風雨、波浪注意報に切り換え、洪水警報は今後 もつづく、福井気象レーダーによると強い雨の区域は台風とともに北 の方へ移動し、福井県地方の雨は一般に弱くなった。今後の雨量は30 ～50ミリ、今まで降った雨のため河川の中、下流域では増水やはんら んが予想されるから警戒が必要。風は陸上10メートル位、海上15～ 20メートル、漁船は注意が必要。
洪水注意報	9月18日 06時00分 発表	洪水警報を洪水注意報に切り換え、風雨波浪注意報は解除する。県下 の各河川は一部下流で増水しているほかは、一般に減水しはじめた。 今後大雨により特に増水するようなことはないが、水かきが多いので、 まだしばらく注意が必要。
洪水注意報	9月18日19時 20分解除	

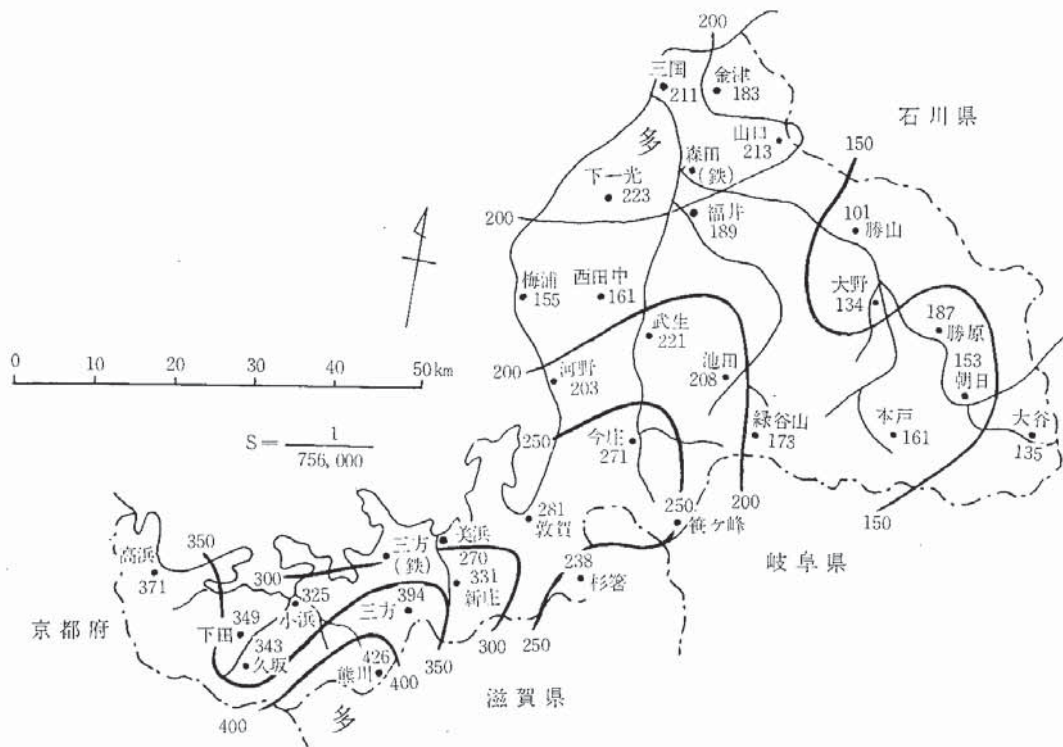
(2) 鉄道気象通報

予報区	警文	発表時刻	解除時刻	予報区	警文	発表時刻	解除時刻
カナ3.1.2.3.	テケヘ	16日18時10分		〃	台風情報 第3号	18. 55	
〃	台風情報 第1号	17日10. 15		〃	〃 第4号	20. 45	
〃	テケロ	12. 10		〃	〃 第5号	23. 30	
〃	台風情報 第2号	14. 45		〃	テケロ	18日01. 30	
〃	テケニ	16. 30		〃	テケン		18日06時00分
〃	テケカ	〃					

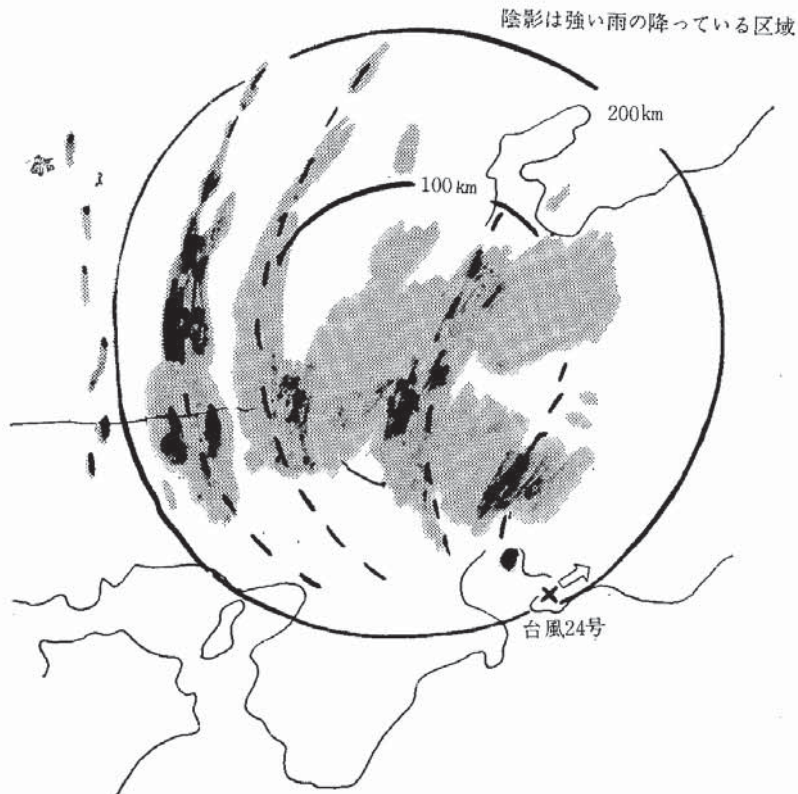
第 1 図 台風 24 号の経路と地上天気図



第2図 総降水量分布図 9月16日9時～18日9時 単位 mm



第3図 台風24号に伴うレーダーエコー
(昭和40年9月17日21時45分)



第二章 被害の状況

第二章 被害の状況

9月10日福井県を襲った台風23号は、その瞬間風速福井市42.5メートル高浜町48.6メートルに達し、本県としては、未曾有の烈風のため、その被害額31億余万円の巨額に達した。その応急復旧に努めていたところ、9月14日からの前線活動による集中豪雨は、岐阜県境、奥越地方に、これ又14日から15日までの約36時間において福井気象台創設以来、未曾有の1,044ミリの雨量をもたらした。ために、真名川・九頭竜川は決壊し、特に大野・勝山両市と西谷・和泉の両村を含む奥越地方は壊滅的打撃を受け、その被害は156億円以上の巨額にのぼり、県では直ちに前記市町村に対して災害救助法を発動し、自衛隊の支援を受け、応急対策をすすめている際、更に三重苦というべき、台風24号の大災害となった。即ち9月17日志摩半島に上陸した本年最大の24号台風は、県下全域に猛威をふるい、嶺南、南越を中心にまたまた全県下に大被害を生じその額は実に163億余万円の龐大な額に達したのである。

以上の三大風水害により、33名の尊い生命が奪われ、罹災者は20万有余名にのぼり、公共土木における159億余万円を始め、被害総額は実に合計351億余万円に達する大被害を被ったのである。以下その詳細を順次あきらかにしたい。

被害の概況

区 分	23号台風	奥越豪雨	24号台風	合 計	備 考
死者(含行方不明)	人 3	人 11	人 19	人 33	含行方不明
重 傷 者	20	5	5	30	
軽 傷 者	70	19	73	162	
家屋全半壊	戸 1,262	戸 1,272	戸 3,185	戸 5,719	含流失床上浸水
家屋一部破損	42,513	3,470	12,535	58,518	含床下浸水
罹 災 者	人 55,535	人 86,260	人 61,968	人 203,763	
被 害 総 額	百万円 2,880	百万円 15,674	百万円 16,550	百万円 35,104	
① 公 共 土 木	(52カ所) 253	(636カ所) 8,647	(2,166カ所) 6,971	(2,854カ所) 15,871	
河 川	(33カ所) 192	(290カ所) 3,946	(1,195カ所) 3,999	(1,518カ所) 8,137	
砂 防	(7カ所) 6	(90カ所) 2,241	(524カ所) 1,771	(621カ所) 4,018	
道 路	(9カ所) 7	(188カ所) 2,226	(352カ所) 747	(549カ所) 2,980	
橋 梁	(3カ所) 48	(68カ所) 234	(88カ所) 375	(159カ所) 657	
海 岸			(7カ所) 79	(7カ所) 79	
内訳				(1,882カ所)	
{ 県 工 事 計	(44カ所) 200	(422カ所) 7,283	(1,416カ所) 5,409	12,892	
{ 市町村工事計	(8カ所) 53	(214カ所) 1,364	(750カ所) 1,562	(972カ所) 2,979	
② 農 林 水 産	1,431	3,457	5,192	10,080	

区 分	23号台風	奥越豪雨	24号台風	合 計	備 考
(イ) 農 産 物	1,221	641	1,630	3,492	
主要食糧物	1,082	595	1,508	3,185	
そ さ い	48	25	83	156	
果 樹	91	21	39	151	
(ロ) 耕 地	20	1,56	1,707	3,292	
農 地		559	399	995	
農業施設	20	969	1,308	2,297	
(ハ) 畜 産	40	11	47	98	百万円
家 畜	2	3	4	9	
施 設	38	7	38	83	
そ の 他		1	5	6	
(ニ) 林 業	126	1,242	1,565	2,933	
林 地		621	777	1,398	
林 道		253	418	671	
治山施設		41	32	73	
造 林		91	4	95	
そ の 他	126	236	334	696	
(ホ) 水 産	23		242	265	
漁 港	5		57	62	
漁船・漁具	5		93	98	
養 殖	11		91	102	
そ の 他	2		1	3	
③ 商 工 業	171	1,683	2,695	4,549	
商 業	115	201	680	996	
織 維	43	659	1,373	2,075	
工 鉦 業	13	823	642	1,478	
④ 公 共 施 設	131	66	37	234	
⑤ 県 営 発 電 施 設		525		525	
⑥ 家 屋	894	1,296	1,655	3,845	

1. 人および家屋の被害

(一) 人的被害

市町村	死 者				行 方 不 明				重 傷				軽 傷			
	台風23号	奥越豪雨	台風24号	計	台風23号	奥越豪雨	台風24号	計	台風23号	奥越豪雨	台風24号	計	台風23号	奥越豪雨	台風24号	計
福井市													2			2
敦賀市									1			1	2		4	6
武生市	1			1					4			4	17		15	32
小浜市			4	4												
大野市		1		1					1	2		3	1	11		12
勝山		6		6						2		2	5	4		9
鯖江市									2			2	5			5
足羽町													3			3
美山町																
森岡町																
松平寺村						1		1								
永上西谷						1		1								
和泉村	2	1		3						1		1		3		3
三国町													1			1
芦原町									1			1				1
金津町									1			1	3			3
丸岡町																
春江町									2			2	7			7
坂川町			1	1												
今立町			10	10					4		3	7	1	11	12	
池田町													2			2
南条町													4			4
今野村																
朝日村													3			3
越前町																
越前町																
織田町																
清水町									1			1	2			2
三美町			1	1					1		1	2	3		7	10
美上町													2			2
名田庄			2	2							1	1	1		2	3
高浜町			1	1											15	15
大飯町									1			1	6		18	24
大飯町															1	1
計	3	9	19	31		2		2	20	5	5	30	70	19	73	162

(二) 家屋の被害

単位 千円

区 分		23 号 台 風		豪 雨		24 号 台 風		計	
		被害量	被害金額	被害量	被害金額	被害量	被害金額	被害量	被害金額
住 家	全 壊	64	88,454	226	710,853	52	139,201	342	938,508
	半 壊	201	101,696	76	71,620	102	63,243	379	236,559
	一部破損	24,649	385,908	22	564	1,549	61,960	26,220	448,432
	床上浸水			701	167,081	2,556	1,135,171	3,257	1,302,252
	床下浸水	11	420	2,836	32,142	9,836	105,688	12,683	138,250
非 住 家	全 壊	414	102,529	144	185,883	112	89,382	670	377,794
	半 壊	583	58,089	125	95,501	363	44,301	1,071	197,891
	一部破損	17,853	156,980	612	32,032	1,150	16,534	19,615	205,546
計			894,076		1,295,676		1,655,480		3,845,232

2. 農林水産関係被害（総括）

台風23号は、主として風台風で武生市北日野のビニールハウス26棟倒壊、美山町の鶏舎4棟倒壊をはじめ、県下の多くの野菜、ビニールハウス、畜舎、果樹園に被害を与えた。水稲は中晩稲（作付面積の4割）が県全域で倒伏した。

奥越豪雨は主として大野山間部に集中し真名川・雲川・清滝川の流域をはじめとして各所に山崩れ河川のはん濫等により、林道治山施設農業用施設に甚大な損害を与え、又、多くの田畑が流失あるいは埋没した。

台風24号は強い暴風雨で嶺南の三方地方をはじめ、県下全般に山崩れ、堤防の決かいを見る豪雨を伴い、各所の田畑の流失、灌漑施設、林道、治山施設、漁船および水産施設に被害が続出した。

この三被害を総括して「40・9三大風水害」と名付け、その被害総額は100億余円に上ることとなったのである。



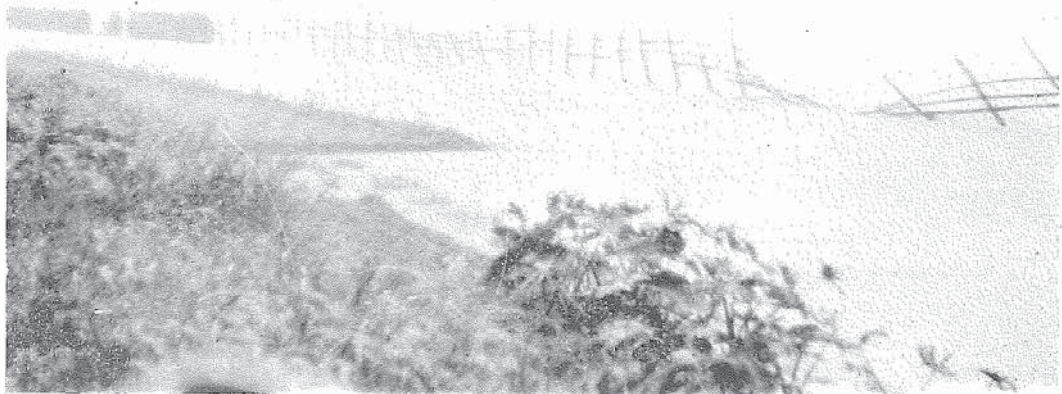
武生市北日野ビニールハウス



金津町矢地冠水現場



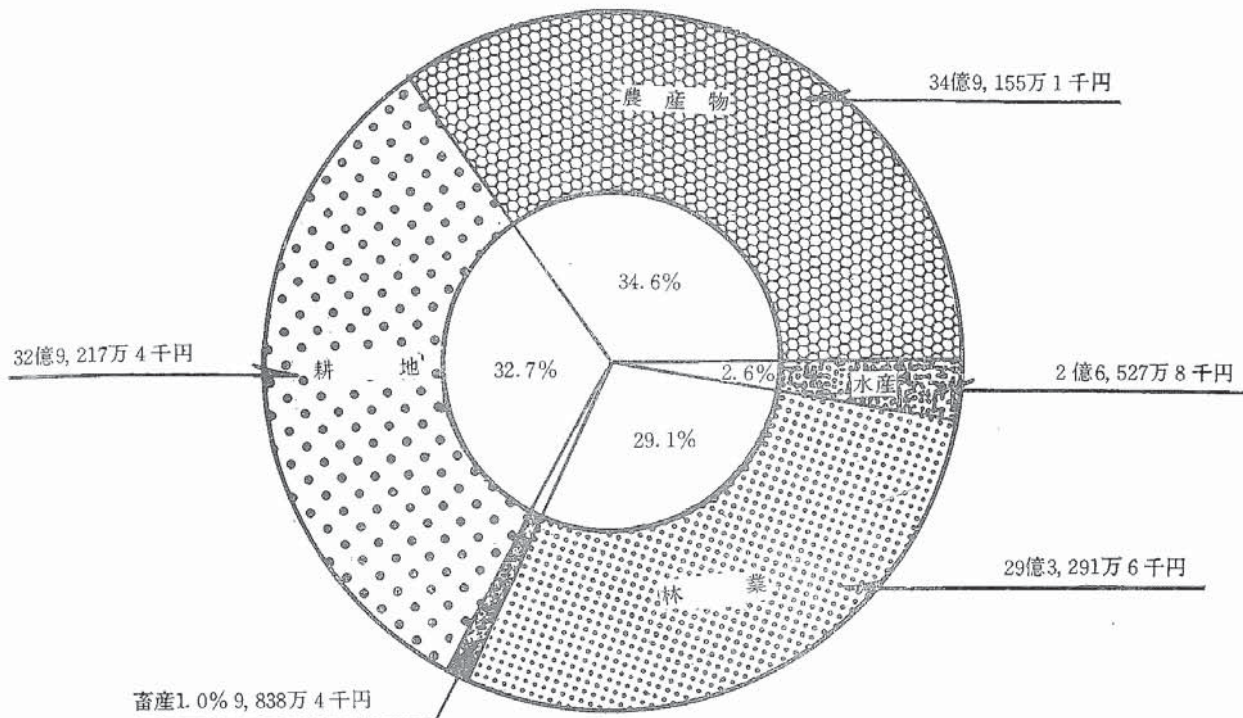
大野市 田畑浸水（3日目）



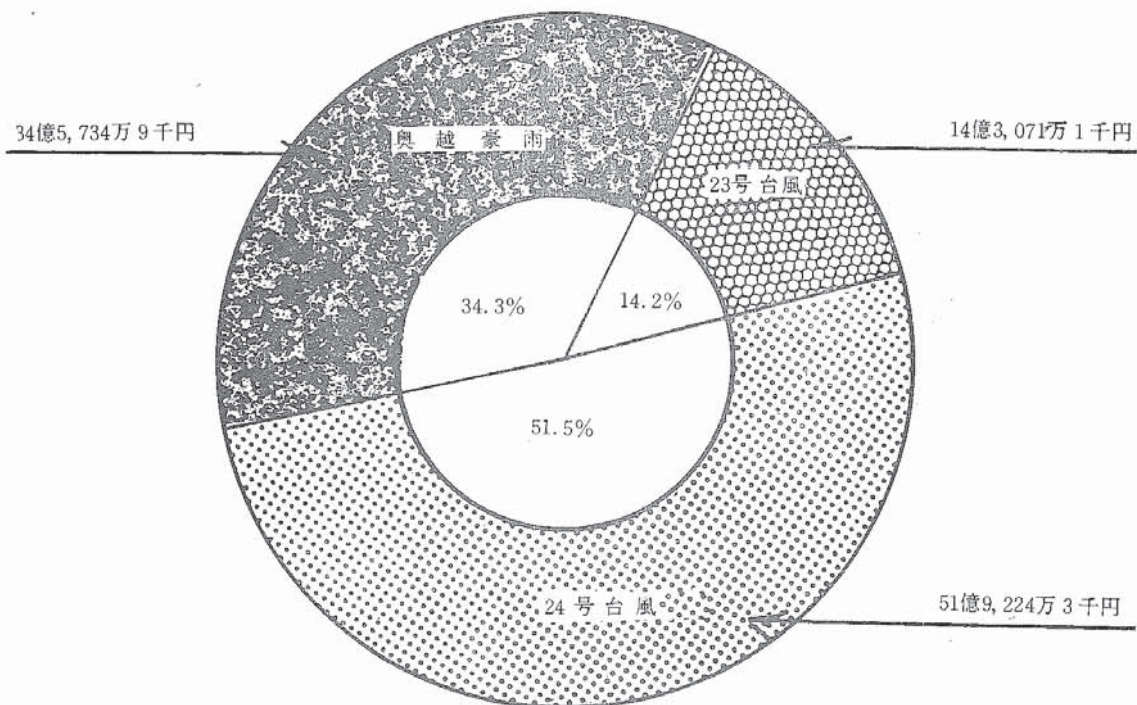
三方地区冠水現場

農林水産関係被害総額 100億8,030万3千円

(イ) 各事業別状況



(ロ) 災害別状況



農林水産関係被害総括表

			A) 農産物	B) 樹 休	C) 耕 地	D) 畜 産	E) 林 業	F) 水 産	総 計
福 井 市			177,260	11,025	28,350	415	36,100	2,500	255,650
敦 賀 市			107,835	12,300	181,210	1,596	62,429	5,250	370,620
武 生 市			223,096	6,642	14,300	10,510	14,456		269,004
小 浜 市			208,911	1,400	374,620	9,773	218,160	83,280	896,144
大 野 市			494,857	4,839	768,740	12,308	564,365	1,360	1,846,469
勝 山 市			97,093	5,861	279,156	1,574	122,529	290	506,503
鯖 江 市			235,649	405	11,080	4,446	3,596		255,176
足 羽 町			56,817		4,730		3,700	110	65,357
美 山 町			4,320		12,300	11,430	5,620		33,670
森 田 町			17,389			375			17,764
松 岡 町			11,394		750				12,144
永 平 寺 町			19,650	500	57,440				77,590
上 志 比 村			8,976	14,238	6,990				30,195
西 谷 村			5,715	350	500,100	1,652	538,820		1,046,637
和 泉 村			19,924		18,680	1,080	58,006		97,690
三 国 町			101,919	1,600	16,530	620	600		121,269
芦 原 町			186,682	2,000	4,700	2,820	1,110		197,312
金 津 町			99,167	115	5,600	50	7,330		112,262
丸 岡 町			81,073		7,120		8,455		96,648
春 江 町			100,152	400	6,150				106,702
坂 井 町			50,718		4,388				55,106
川 西 町			55,020	5,100	17,030	430	49,612		127,192
今 立 町			53,179	644	6,300		3,860		63,983
池 田 町			35,738	164	23,550		29,890		89,342
南 条 町			46,866		93,430	50	15,400		155,746
今 庄 町			38,416	1,095	34,900		26,622		101,033
河 野 村			6,998	2,152	7,150		8,400	2,500	27,200
朝 日 町			42,003	346	9,970		3,000		55,319
宮 崎 村			12,304		3,630	400	2,550		18,884
越 前 町			6,042	1,000	1,070		1,200	2,180	11,492
越 廼 村			3,353		800		2,393	1,222	7,768
織 田 町			25,274	64	8,010	300	3,600		37,248
清 水 町			96,679		2,740		3,159		102,578
三 方 町			164,391	16,710	275,570	2,888	194,759	52,701	707,019
美 浜 町			89,544	808	280,730	3,097	366,925	22,420	763,524
上 中 町			150,336	1,160	103,510	16,003	128,596		399,605
名 田 庄 村			87,779	1,814	43,350	1,217	227,133		361,293
高 浜 町			58,491	12,626	40,700	889	44,371	41,830	198,907
大 飯 町			104,210	982	36,800	14,461	176,170	49,635	482,258
県 計			3,385,211	106,340	3,292,174	98,384	2,932,916	265,278	10,080,303

3. 農産物の被害

台風23号で倒伏した中晩稲が鯖江市河端地区をはじめ、県下各所で泥水冠水状態となり、中稲に穂発芽が続出し、秋野菜は二度の台風による茎葉の折損と冠水で莫大な損害を受け、果樹は三方町の梅園地の崩壊をはじめ各所で風雨のため落果・倒伏・折損等甚大な損害を受けた。



三方町梅樹倒伏



今立町桃樹の裂損

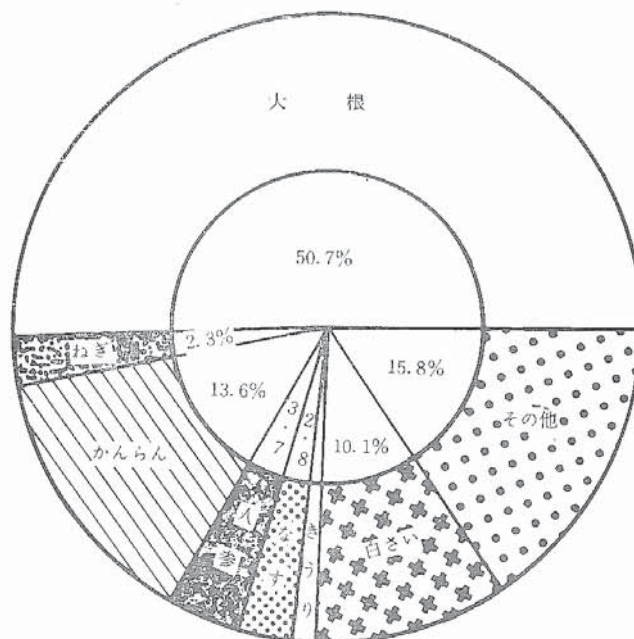


倒伏稲の被害(穂発芽が多く見られる)

(イ) 主要食糧作物被害総額 31億8,453万9千円

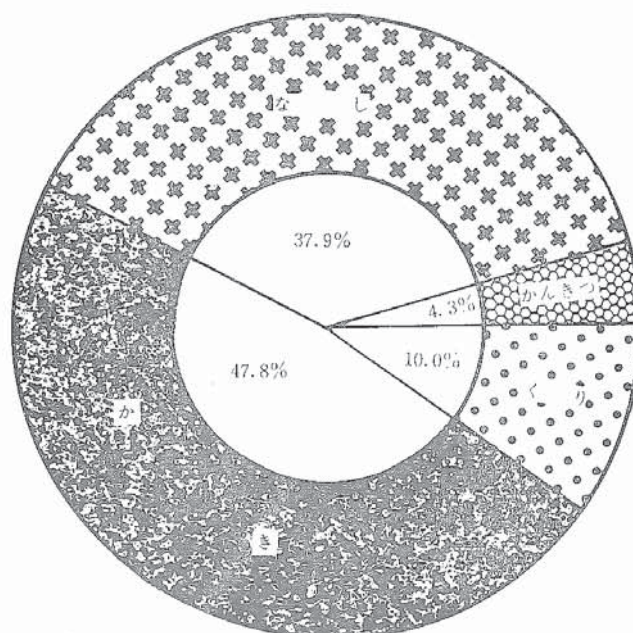
内 99.4%は水稲0.4%は豆類、かんしょ その他

(ロ) 野菜被害総額 1億5,570万2千円



(ハ) 果樹被害総額 1億5,131万円

内 樹体被害 70.3% (1億634万円)



農 産 物

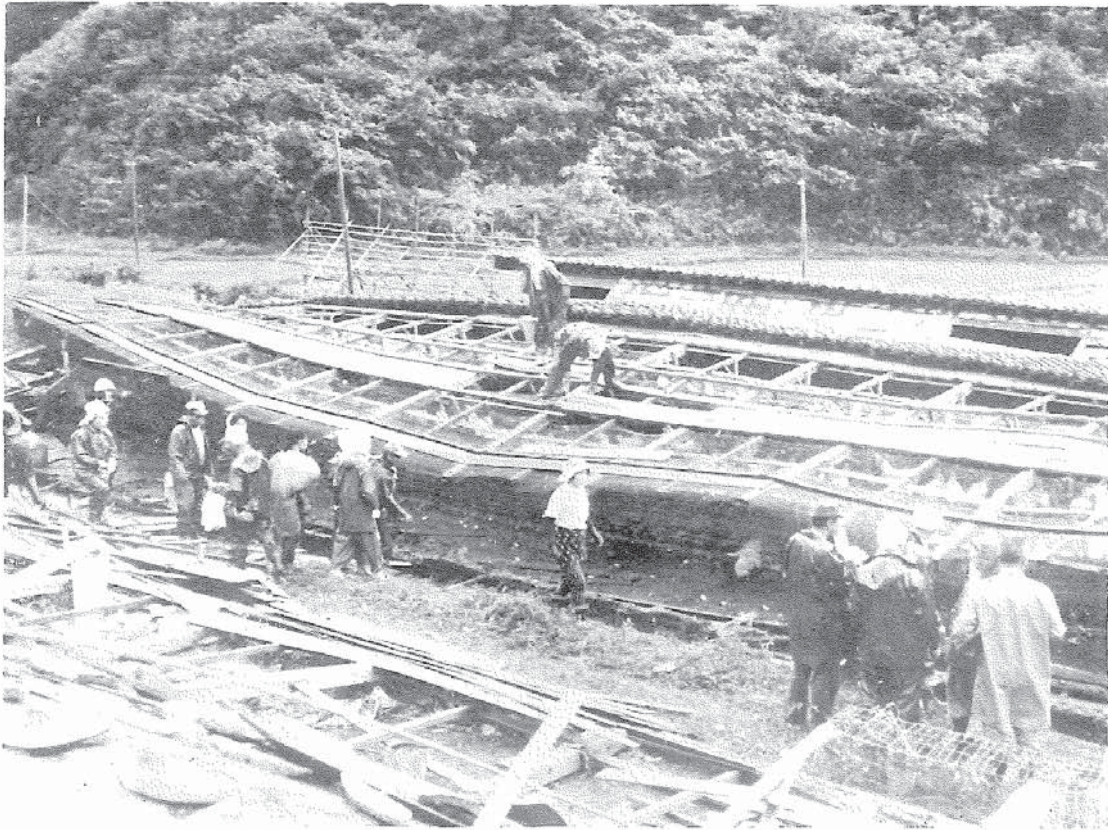
	主 要 食 糧 作 物				そ さ い				果 樹			
	栽培面積	被害面積	減収量	被害金額	栽培面積	被害面積	減収量	被害金額	栽培面積	被害面積	減収量	被害金額
	ha	ha	t	千円	ha	ha	t	千円	ha	ha	t	千円
福井市	5,665	1,394	1,368	146,376	115	88	1,885	30,124	4	4	8	760
敦賀市	1,987	850	894	95,658	144	124	656	9,367	40	38	71	2,810
武生市	4,028	2,500	2,078	222,346	38	14	24	560	2	2	2	190
小浜市	1,976	735	1,858	194,981	80	58	518	11,070	25	23	90	2,860
大野市	4,044	1,493	4,444	474,728	106	86	843	14,959	21	21	62	2,340
勝山市	2,180	712	730	77,153	126	102	565	18,500	15	15	48	1,440
鯖江市	2,929	1,180	2,061	220,527	51	51	915	15,122	19	19	85	2,830
足羽町	1,933	1,094	531	56,817								
美山町	550	45	40	4,280					2	2	1	40
森田町	294	150	152	16,264	12	9	65	1,125				
松岡町	432	150	102	10,914	7	5	31	480				
永平寺町	402	199	180	19,260					3	3	9	390
上志比村	333	91	81	8,667	5	5	10	150	1	1	1	150
西谷村	29	22	45	4,815	3	3	60	900				
和泉村	141	66	182	19,474	2	2	30	450				
三国町	1,317	500	844	83,099	399	143	340	7,620	12	12	280	11,200
芦原町	1,477	901	1,524	163,015	55	55	1,218	20,747	10	10	74	2,920
金津町	1,557	577	911	97,477					11	11	39	1,690
丸岡町	2,253	480	749	80,143					4	4	17	930
春江町	1,658	598	936	100,152								
坂井町	2,286	400	474	50,718								
川西町	1,353	390	490	52,430					12	12	86	2,590
今立町	584	310	497	53,179								
池田町	625	340	334	35,738								
南条町	604	250	438	46,866								
今庄町	584	240	353	37,771	10	5	43	645				
河野村	88	60	64	6,848					15	1	3	150
朝日町	732	340	368	39,376	8	8	93	1,487	27	27	17	1,140
宮崎村	425	160	112	11,984					2	2	8	320
越前村	81	70	56	5,992					12	12	1	50
越廼村	60	40	29	3,103					4	4	5	250
織田町	389	320	232	24,824					3	3	15	450
清水町	1,136	274	894	94,984	14	11	65	1,035	6	6	14	660
三方町	1,052	451	1,610	154,205	55	47	581	7,386	21	21	84	2,800
美浜町	1,057	444	822	87,954	5	2	5	130	10	10	44	1,460
上中町	1,280	590	1,564	145,776	20	10	200	3,000	13	13	52	1,560
名田庄村	214	461	817	87,419					3	3	12	360
高浜町	643	326	609	49,431	43	41	400	7,730	14	14	39	1,330
大飯町	681	340	970	99,795	16	13	135	3,115	7	6	42	1,300
県 計	50,418	19,543	30,443	3,184,539	2,066	882	8,682	155,702	318	299	1,209	44,970

農産物減収率表 (単位 t)

種 目	昭和39年 生産量	被害減収量	減収率 %
水 稲	220,800	29,222	13.23
大 根	28,103	5,268	18.78
ね ぎ	2,435	119	4.88
か ん ら ん	4,188	950	22.68
人 参	1,614	138	8.55
な す	4,444	250	5.62
き う り	1,614	156	9.66
白 さ い	5,148	847	16.45
か ん き つ	1,058	39	3.68
な し	790	428	54.17
か き	2,913	712	24.44
く り	106	30	28.30

4. 畜産関係の被害

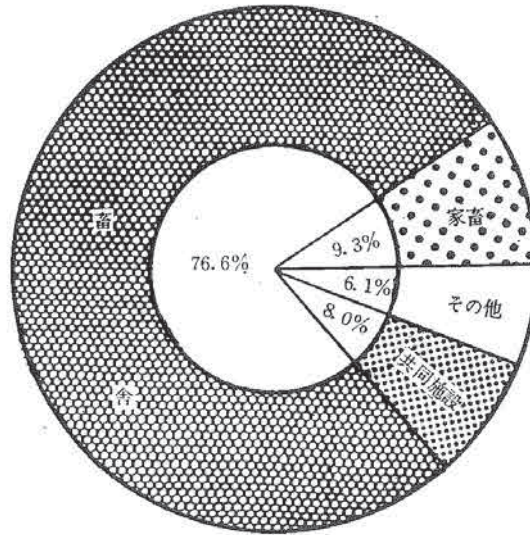
台風23号、24号及び奥越集中豪雨による被害は西谷村の畜舎8棟の流失をはじめ県下全域にわたり流埋没及び多数の損傷がありその為家畜の圧死流失死亡が約6,000頭羽に、その他浸水による病傷及其の影響による畜産物の生産低下、道路決壊による牛乳の廃棄又上中町における牧道400m決壊流失等県下全般にわたり甚大な被害を受けた。



美山町野坂 鶏舎全壊

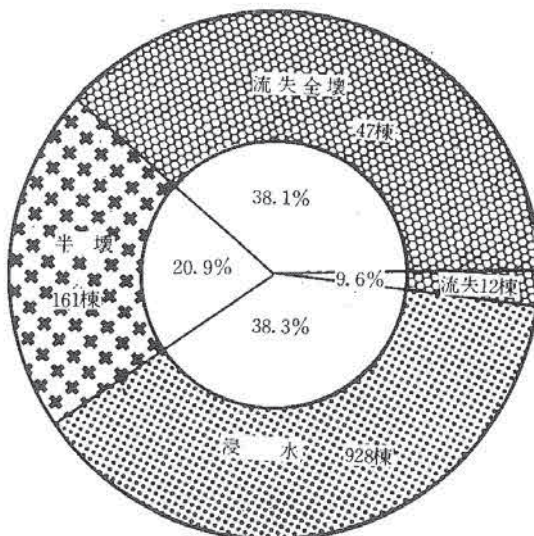
畜産関係被害総額 9千838万4千円

(イ) 種目別状況



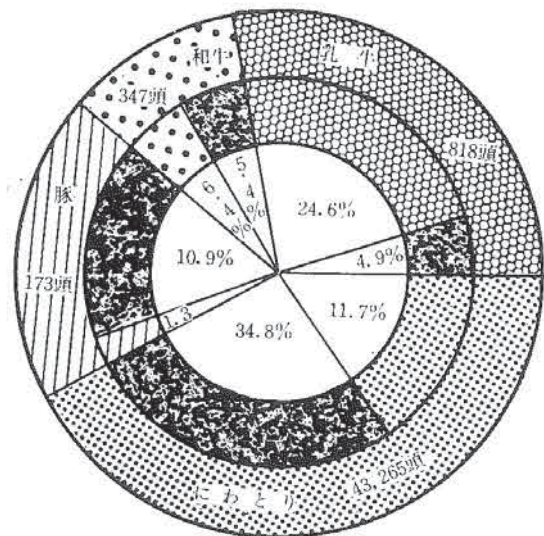
(ロ) 畜舎被害状況

総額 7,537万6千円



(ハ) 家畜別被害状況

総額 917万1千円



畜 産

	家 畜		施 設		そ の 他
	頭 羽	金 額	カ 所	金 額	金 額
福敷武小大勝鯖	50 270 1,530 2,222 8,740 60 271	115 135 765 684 1,039 900 366	1 23 8 164 184 4 8	300 1,191 9,745 7,480 9,435 660 4,080	270 1,609 1,834 14
井賀生浜野山江					
市市市市市市市					
町町町町町村村	500	400	6 1	11,030 375	
足美森松永上西和					
羽山田岡寺比					
平志谷泉	985 305	692 450	8 6	960 630	
三芦金丸春坂川					
国原津岡江井西	41	170	5 6 1	620 2,650 50	
町町町町町町町					
今池南今河	80	40	4	390	
立田条庄野					
町町町町村			1	50	
朝宮越越織清					
日崎前廻田水			1 2	400 300	
町村町村町町					
三美上名高大					
方浜中庄	108 528 28,094 357 38 424	345 595 1,918 54 27 476	53 68 211 18 6 358	1,915 2,270 13,610 1,050 780 13,230	628 232 475 113 82 755
県 計	44,603	9,171	1,147	83,201	6,012

被 害 率

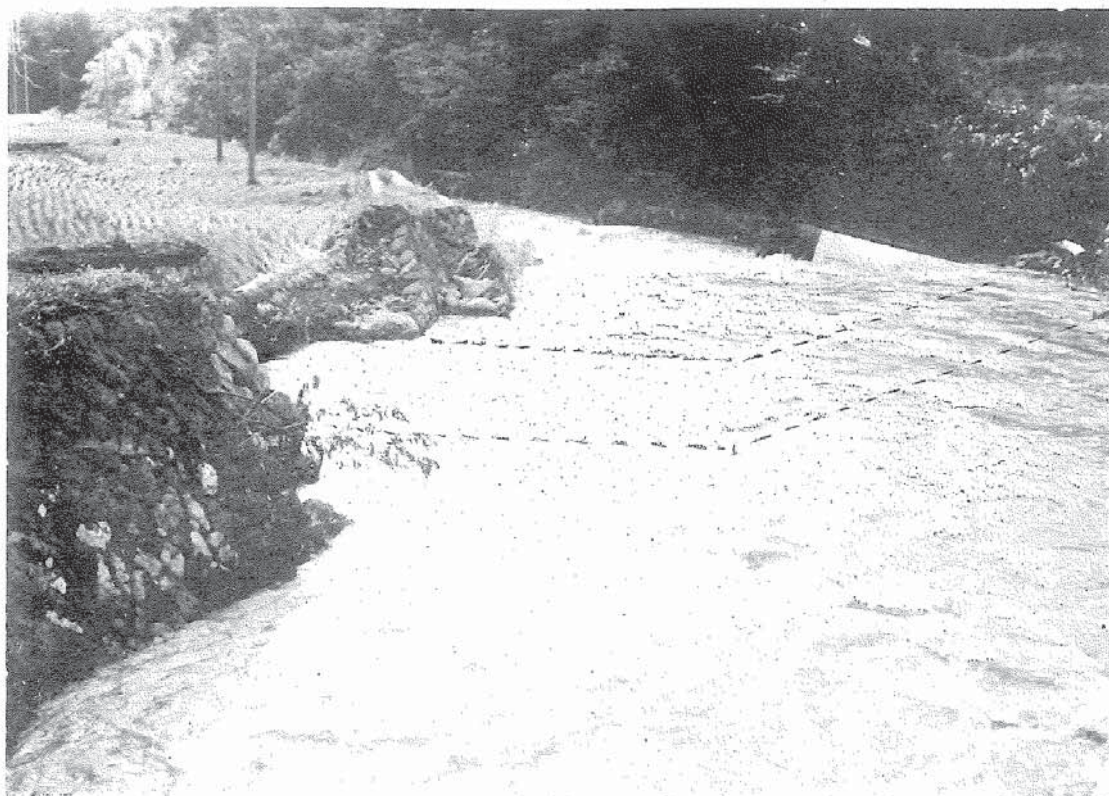
種 目	39年現在数	被 害 数	被 害 率
畜 舎	14,030	1,136	8.09%
和 乳 牛	8,474	1,165	13.74
豚	9,059	173	1.90
に わ と り	562,530	43,265	7.69

5. 耕地関係の被害

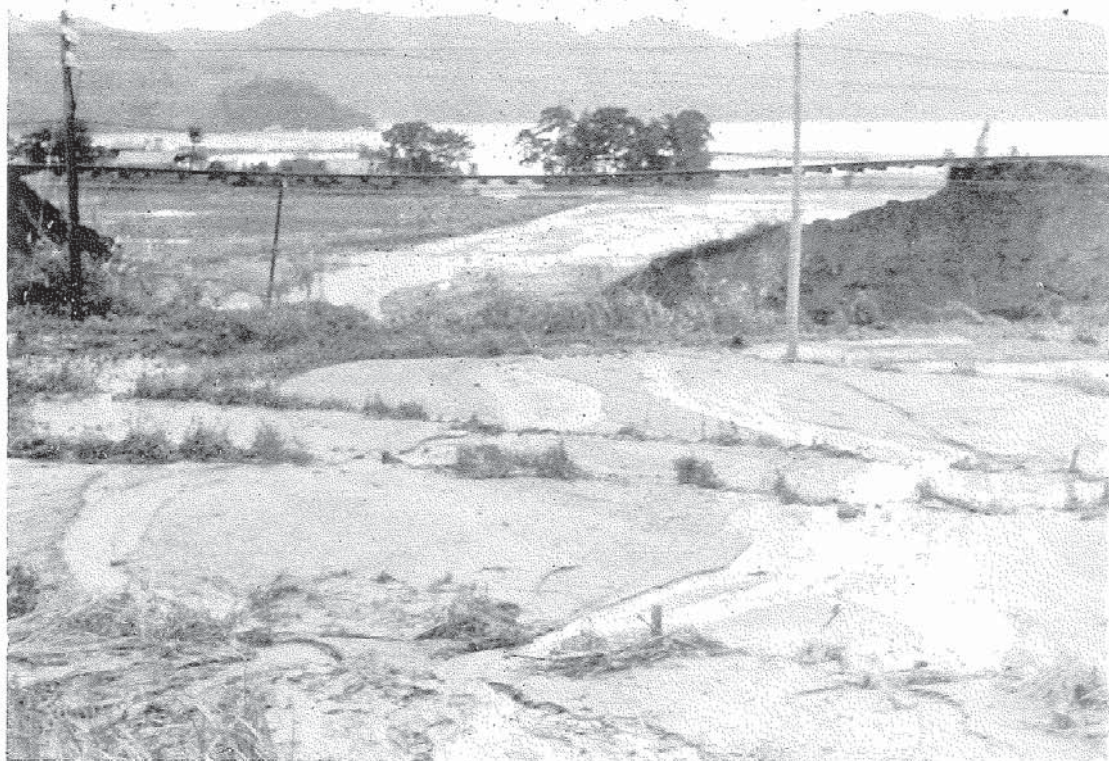
風台風であった23号による被害は軽少で全被害の0.7%であったが、奥越豪雨および24号による各地河川のはんらんによる被害は甚大であった。とくに水路の増水は県下1362ヶ所の頭首工の約51.3%に当る700ヶ所に被害を出し、奥越豪雨により大野市、西谷村等の農地に流失、埋没の被害が続出し、つぎく24号は三方地区を中心に農地、農業用施設に甚大な被害を及ぼした。



大野市五条方 田畑埋没現場



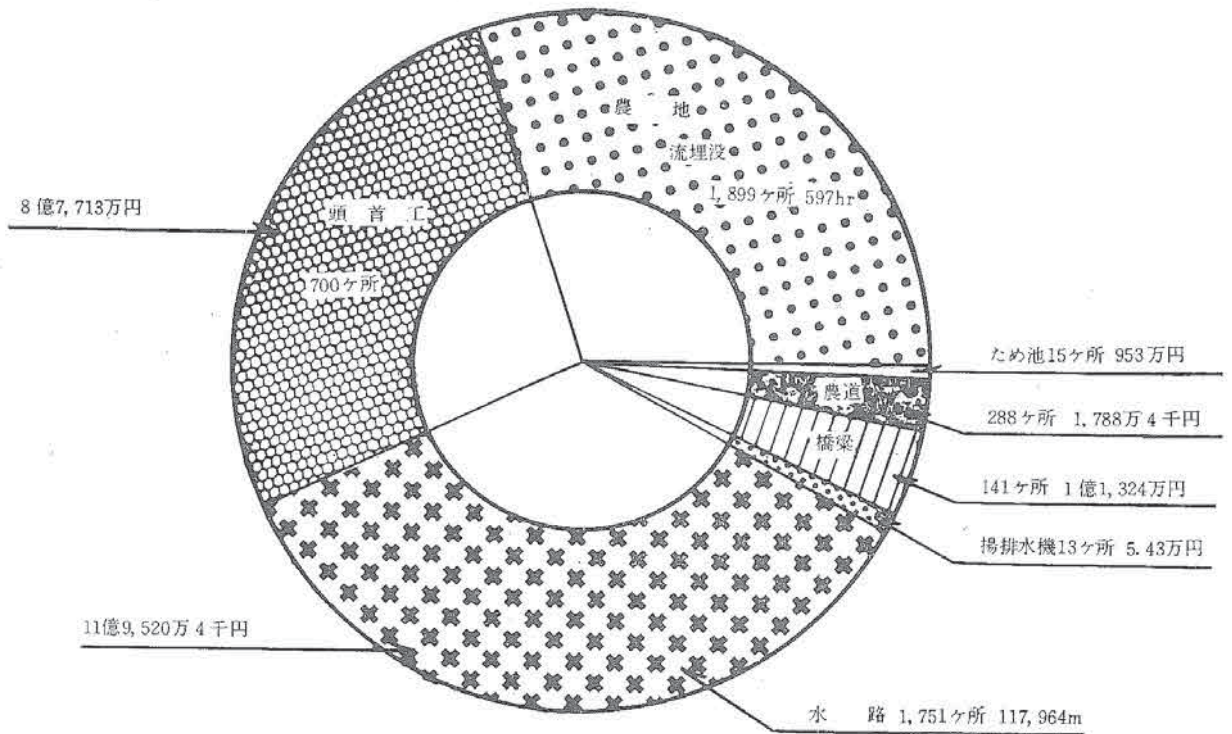
河野村赤萩地係 頭首工流失



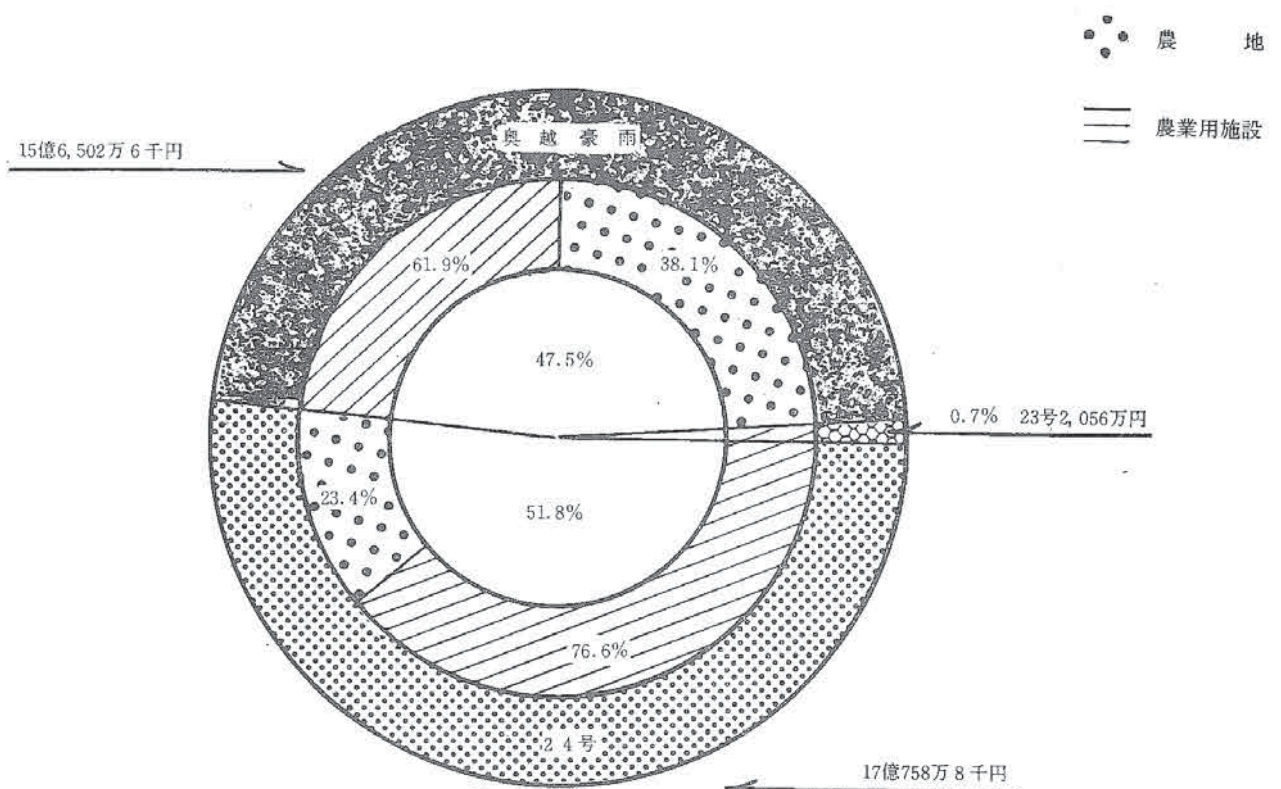
三方町三方 田畑流失

(d) 耕地関係被害状況

総額 32億9,217万4千円



(e) 災害別被害状況

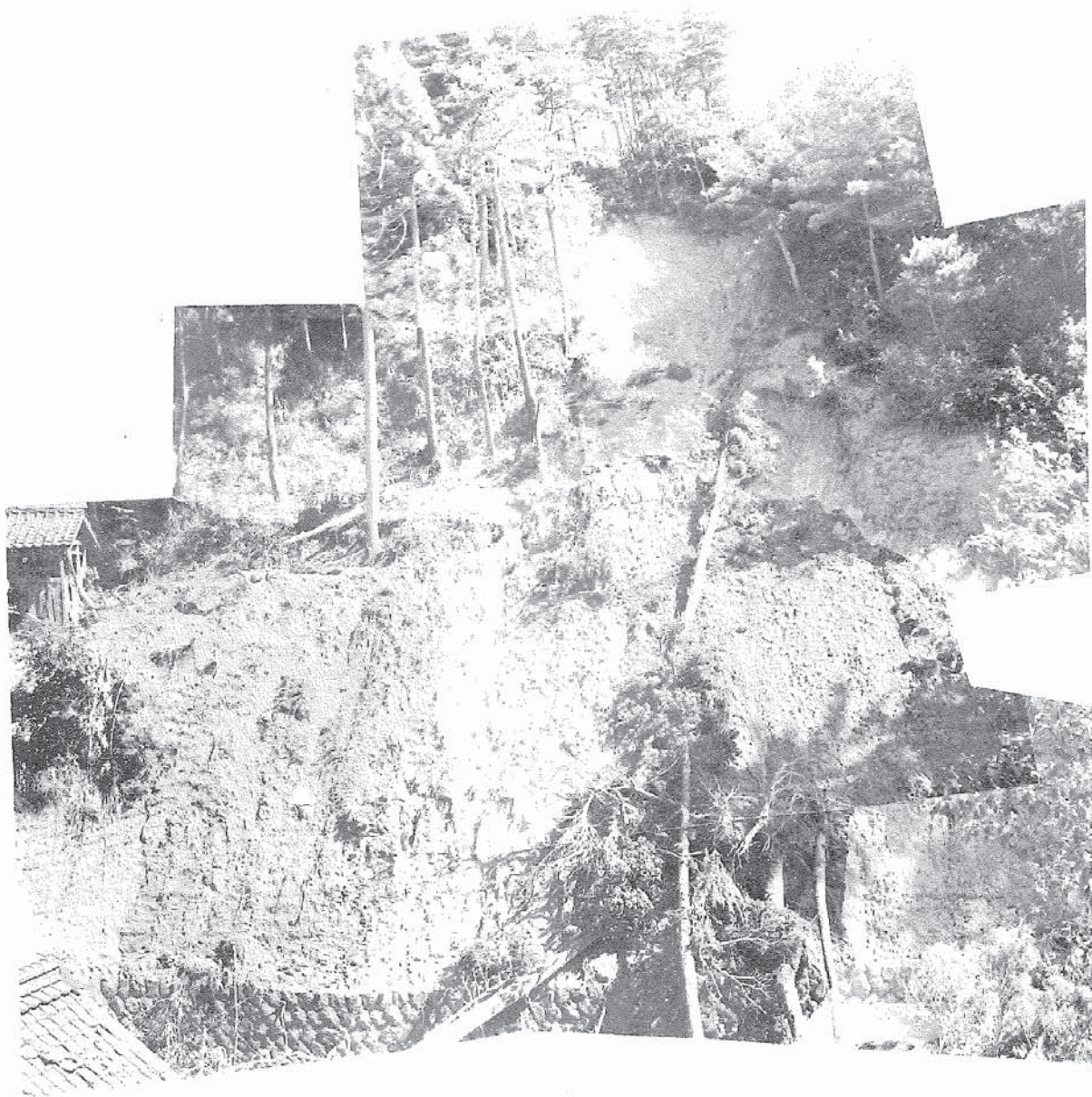


耕 地

			農 地			農 業 用 施 設		
			力 所	面 積	被 害 金 額	力 所	被 害 金 額	
			ha	千円	千円			
福 井 市	180	7.5	15,560	149	12,790			
敦 賀 市	32	11.5	10,610	96	170,600			
武 生 市	22	0.2	1,100	58	13,200			
小 浜 市	264	37.3	53,630	273	320,990			
大 野 市	201	222.5	252,820	454	515,920			
勝 山 市	190	69.6	164,450	170	114,706			
鯖 江 市	12	0.4	850	39	10,230			
足 羽 町	10	1.0	2,100	6	2,630			
美 山 町	10	0.5	300	7	12,000			
森 田 町								
松 岡 町	1	1.0	400	1	350			
永 平 寺 町	5	0.6	800	9	56,640			
上 志 比 村	1	1.0	390	2	6,600			
西 谷 村	72	25.0	163,900	153	336,200			
和 泉 村	15	3.1	15,000	21	3,680			
三 国 町	19	51.3	6,600	21	9,930			
芦 原 町	9	0.4	600	15	4,100			
金 津 町	9	0.5	950	18	4,650			
丸 岡 町	7	0.2	280	10	6,840			
春 江 町	14	22.0	1,200	15	4,950			
坂 井 町	4	16.5	2,510	7	1,878			
川 西 町	222	9.4	9,540	82	7,490			
今 立 町	13	1.5	2,300	40	4,000			
池 田 町	38	0.7	2,700	69	20,850			
南 条 町	68	0.3	4,170	105	89,260			
今 庄 町	42	1.5	5,000	75	29,900			
河 野 村	18	0.9	1,750	16	5,400			
朝 日 町	5	1.0	1,320	5	8,650			
宮 崎 村	8	1.0	2,170	3	1,460			
越 前 町	4	1.1	770	1	300			
越 廼 村	1	0.1	800					
織 田 町	8	11.2	1,370	24	6,640			
清 水 町	4	1.0	1,170	5	1,570			
三 方 町	131	52.0	124,330	211	151,240			
美 浜 町	107	28.3	64,830	168	215,900			
上 中 町	55	8.3	19,600	17	83,910			
名 田 庄 村	18	4.0	6,450	27	36,900			
高 浜 町	47	2.4	32,930	16	7,770			
大 飯 町	33	10.5	19,970	24	16,830			
県 計	1,899	597.22	995,220	2,412	2,296,954			

6. 林業関係の被害

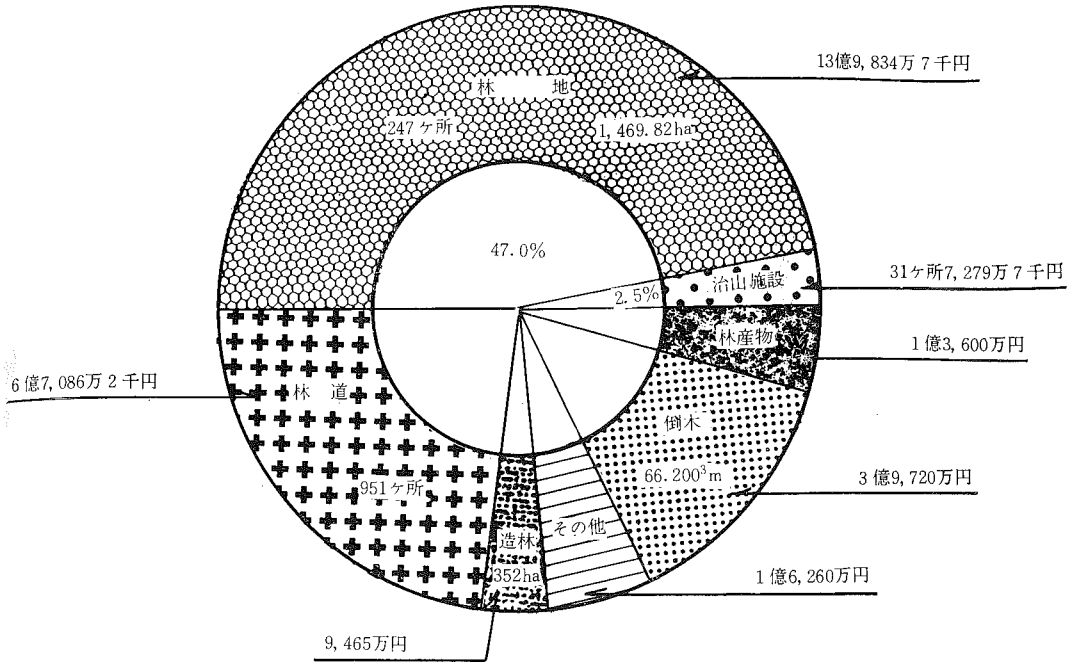
23号の風台風は21,100 m³に及ぶ倒木被害をもたらし、つどく奥越豪雨、24号は嶺北嶺南山間部に集中的な豪雨を降らせた。その為多数の人命と共に247ヶ所に及ぶ山崩れを引起し各所にある林道治山施設を流失、ほうかい等の被害が発生、特に山間部に於ける炭窯の被害は県全体(2,284基)の34.1%に当る780基を全半壊せしめ本県の木炭生産に打げきを与へ又特産の黄蓮をはじめ林産物の生産低下をまねく被害があった。



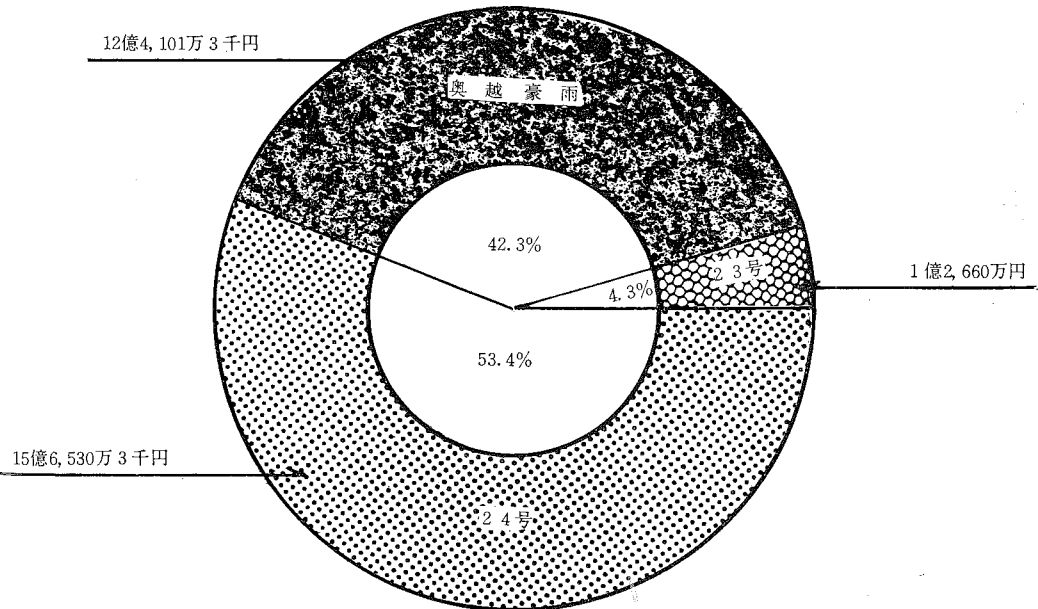
川西町市ノ瀬 山地崩壊

○ 種目別被害状況

総額 29億3,291万6千円



○ 災害別被害状況



林 業

	治山施設		林 地			林 道		造 林		非共同施設		林産物
	力所	金 額	力所	面 積	金 額	力所	金 額	面 積	金 額	力所	金 額	金 額
								ha	千円		千円	千円
福井市			2	7.1	10,600	12	3,000	0.2	50	4	10,100	12,400
敦賀市			6	13.56	41,773	19	11,806	2.1	340	21	6,000	2,800
武生市			2	1.39	2,916	9	3,900	30.	900	2	100	7,200
小浜市	2	5,000	32	91.16	98,263	112	74,800	187.0	52,520	115	16,400	22,797
大野市	6	10,000	31	455.666	283,519	76	92,600	11.6	2,740	79	23,750	101,976
勝山市	1	2,000	7	68.80	39,190	51	24,200			87	16,000	38,399
鯖江市	1	396				2	200					3,000
足羽町						2	1,000			18	900	1,800
美山町						2	820					4,800
松岡町												
永平寺村												
上志比村	9	27,436	22	314.59	278,156	190	120,000	132.0	34,780	23	6,100	72,348
西谷泉村	1	1,000	3	28.20	17,900	15	15,980	5.0	1,250	17	10,750	11,126
三国町												600
芦原町						3	450	0.4	60			600
金津町						1	480	0.3	50		5,000	1,800
丸岡町						4	740	0.1	15	7	5,300	2,400
春江町												
坂井町												
川西町			2	15.27	34,437	8	1,310	0.2	35	11	10,450	3,380
今立町						3	200	0.3	60			3,600
池田町						28	7,100	0.5	110	90	4,500	18,180
南条町						15	2,400			20	1,000	12,000
今庄町						47	10,400	0.2	40	80	4,000	12,182
河野村						5	900			30	1,500	6,000
朝宮町												3,000
越前町						1	150					2,400
越廼町			1	0.4	2,293			0.5	100			1,200
織田町												3,600
清水町			1	1.0	1,209	1	150					1,800
三方町	1	352	15	94.0	101,152	72	59,970	1.3	275	20	10,900	22,110
美浜町	2	6,000	31	127.02	167,800	66	133,420	0.8	145	77	13,750	40,810
上中町			14	84.75	90,415	109	25,716	0.8	145	26	6,250	6,070
名田庄村	7	20,363	27	74.55	80,228	48	63,300	3.2	560	63	8,600	54,082
高浜町			8	23.79	26,016	20	10,180	0.5	75			8,100
大飯町	1	250	46	96.78	122,480	30	5,690	2.0	400	25	1,250	46,100
県 計	31	72,797	250	1,498.020	1,398,347	951	670,862	352.0	94,650	816	162,600	533,660

7. 水産関係の被害

台風 23 号、24 号は大飯町大島漁港の護岸 6 ヶ所 241m を崩壊し、県下各地の漁港にけい留中の漁船 101 隻に減失（23 隻）および損傷を与え、特に 24 号台風による豪雨は三方湖沼郡を取り巻く各中小河川がはんらん泥水化し、三方湖沼に激入したため、年々生産増強中の養殖施設を破壊した。特に真珠の施術貝母貝、14,867 貫を死滅せしめかつ又その他養殖中の魚類およびこれらの施設に甚大な被害を与えた。

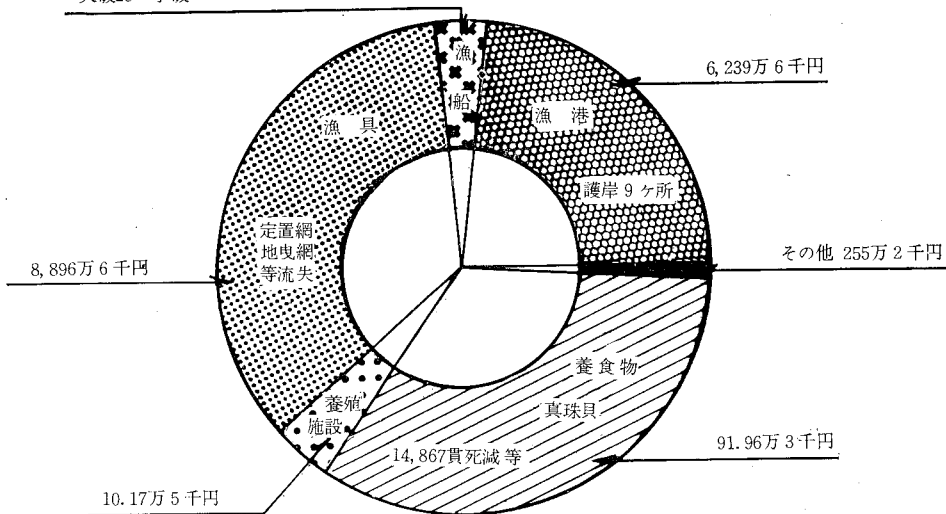


漁船減失現場

(4) 各種目別被害状況

総額 2億6,157万6千円

漁船 922万6千円
 減失23隻中破19隻
 大破28 # 小破21 #



(5) 水産関係被害状況

市町村名	漁港施設	漁船	漁具	養殖関係	共同利用施設	非共同利用施設	合計
	被害額	被害額	被害額	被害額	被害額	被害額	
福井市	2,500						2,500
敦賀市	24,500			1,250		330	26,080
小浜市		230	4,200	54,260		90	58,780
大野市				1,340		20	1,360
勝山市				240		50	290
足羽町				60		50	110
河野村	2,500						2,500
越前町	700	940	220		300	20	2,180
越廼村						1,222	1,222
三方町		3,860	41,276	7,255	310		52,701
美浜町	1,050	346		15,684			17,080
上中町			5,100			240	5,340
高浜町	3,450	1,460	34,500	2,400	20		41,830
大飯町	27,664	2,390		19,549			49,603
	62,396	9,226	88,966	102,038	630	20,22	261,576

8. 農協関係の被害

台風23号、24号の強風による共同利用施設に対する被害がその大半でありその内容は有線放送放送施設の通話用の電線切断、電柱の倒壊、ついで農業倉庫等の全半壊および浸水による貯蔵物品の損失被害である。豪雨による被害は西谷村の山崩れによる農協事務所、その他施設の流失で1,270万の被害を出し、現金500万その他重要書類入の金庫が埋没現在なお行方不明である。

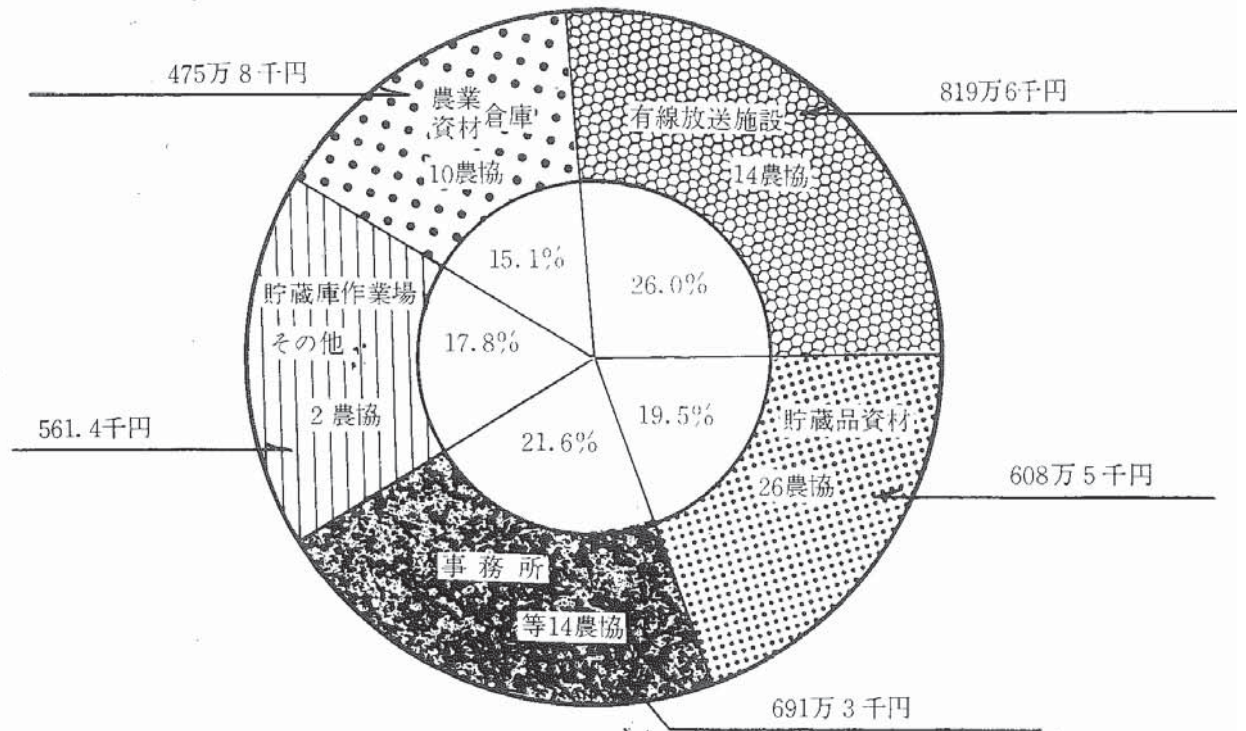


西谷村農業協同組合

流埋没跡	事務所	46坪
	集荷場その他	162坪

(4) 種目別被害状況

総額 3,152 万 3 千円



勝山農協倉庫全壊



小浜市山崩れによる
中継線切断

共同利用施設

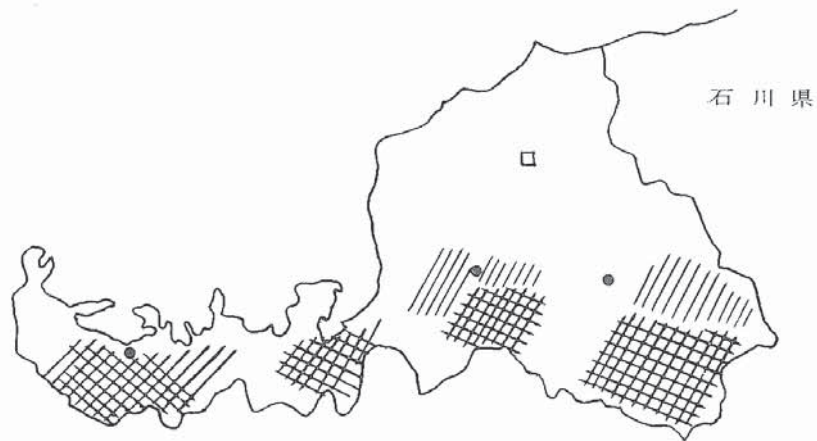
	有線放送施設		農業資材倉庫		その他		合計	事務所等		資材		総合計	災害別
	農協数	金額	農協数	金額	農協数	金額	金額	農協数	金額	農協数	金額		
福井市	4	819			1	254	819	5	100			1,130	23号
敦賀市	1	19	1	18			37	1	54			91	"
武生市	1	2,745	1	1,042			3,787	1	170			3,957	"
小浜市	1	402					402			2	966	1,368	24号
大野市			1	934			934	1	74	2	118	1,126	豪雨
鯖江市								1	223			223	"
鯖江市	1	1,752	1	407			2,159	1	150	1	195	2,504	23号
足羽町			1	177			177	3	50			227	23号
美山町								1	15			15	"
森岡町													
永平寺町													
上志比村			1	1,320	1	5,360	6,680	1	5,751	1	334	12,765	豪雨
西谷村													
三芦町										1	10	10	23号
金丸町								1	20	2	97	117	"
丸春町										1	202	202	"
坂井町	1	498					498	1	20			20	"
川西町								1	300			798	"
今立町								2	84	2	40	124	24号
池田町	1	217					217			1	82	299	23号
南条町	1	200					200			1	36	200	"
今庄町	1	637					637					673	"
河野村								4	28	1	43	71	"
朝日村	1	433					433					433	"
越前村													
越田村			1	141			141			1	293	434	"
清田町													"
三美町	1	474					474			3	2,131	2,605	24号
上名町										2	535	535	"
高田村			1	360			360			1	582	942	"
大飯村			2	359			359			1	80	80	"
大飯町										3	207	566	"
大飯町										1	8	8	"
県計	14	8,196	10	4,758	2	5,614	18,314	24	6,913	26	6,085	31,523	

9. 公共土木施設の被害（総括）

（一）概 況

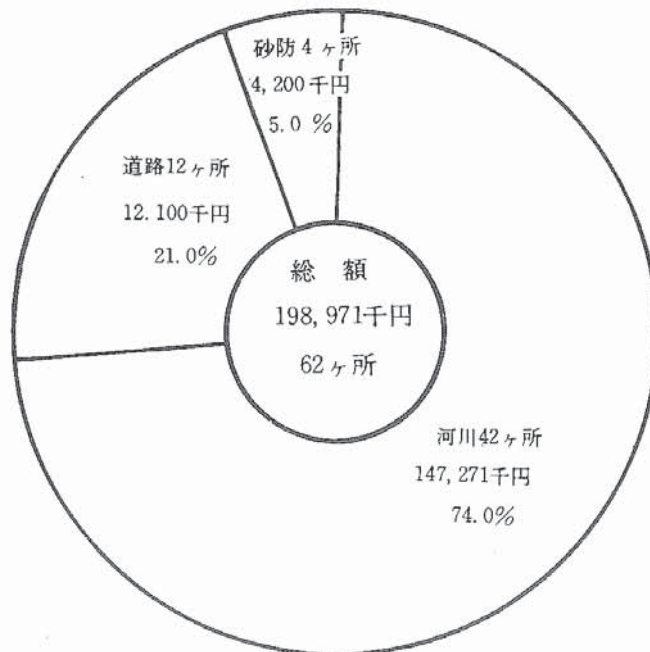
40・9・3大風水害は、9月10日から18日までの短時日のうちに二つの記録的台風が襲来し、かもその中間の14日から15日にかけて奥越地方には、局地的驚異的な集中豪雨をもたらした。そのため、公共土木施設は、河川、道路、橋梁、砂防の施設において多大の被害を受けた。特に奥越地方は、激甚を極め交通が杜絶し孤立状態に立ちいたった。又いたる処に山腹崩壊とそれによる土砂石の流出が著しかった。

（二）主な被災地域

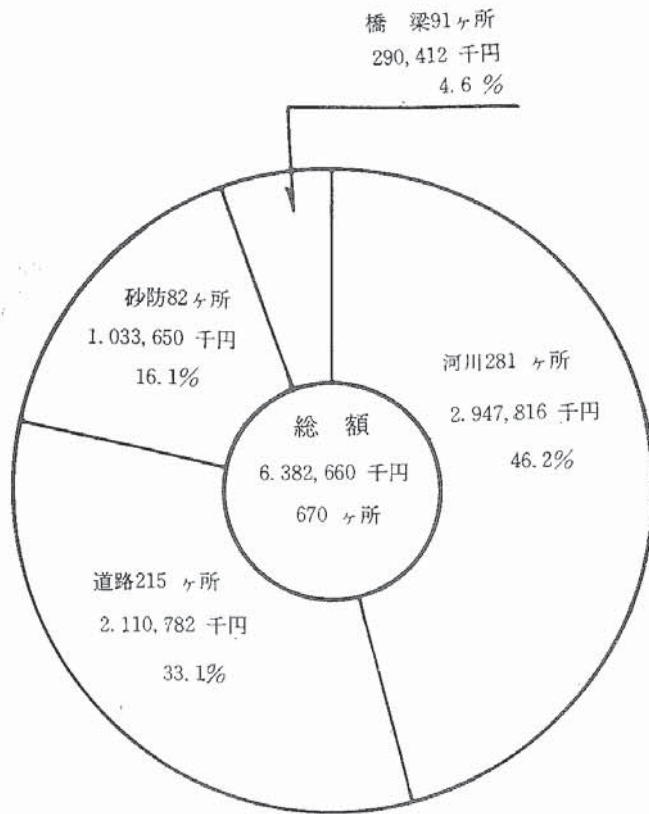


（三）異常気象別被害状況

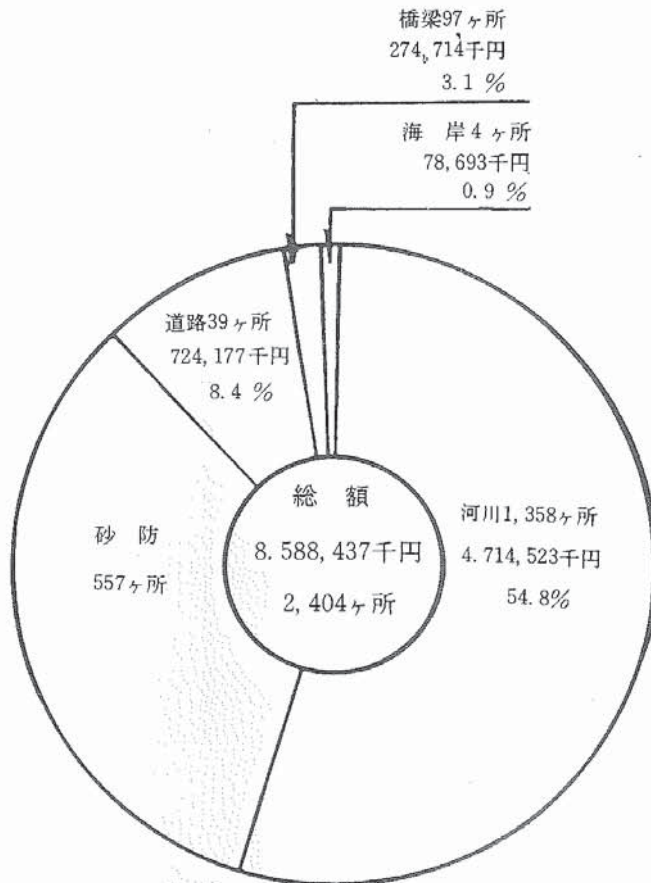
9月10日～11日 台風23号災害



9月14日～15日 奥越地方集中豪雨

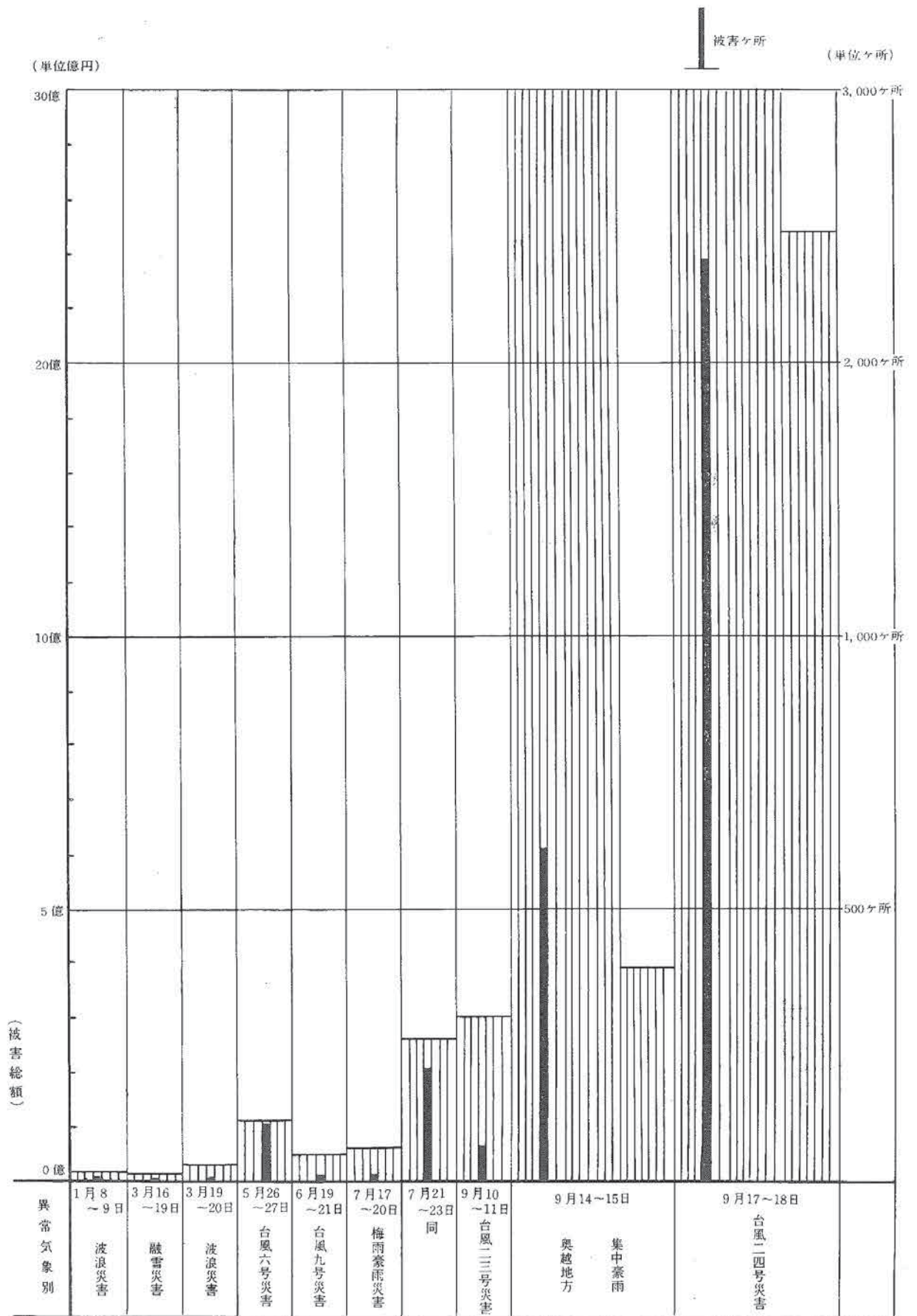


9月17日～18日 台風24号災害



なお参考までに40年異常気象別、公共土木施設の被害概況をまとめれば次のとおりである。

昭和40年異常気象別公共土木施設被害概況



昭和40年異常気象別の被害状況

(単位 千円)

異気象別	県										市 町 村 工 事										合 計		
	河 川		海 岸		砂 防		道 路		橋 梁		計		河 川		道 路		橋 梁		計		合 計		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
1月8~9日 波	—	—	1	1,450	—	—	1	2,402	—	—	2	3,852	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3,852	
3月16~19日 融雪	1	4,168	—	—	—	—	2	3,464	—	—	3	7,632	—	—	1	1,116	—	—	—	1	1,116	4	8,748
3月19~20日 波	—	—	2	10,471	—	—	1	2,859	—	—	3	13,330	—	—	—	—	—	—	—	—	3	13,330	
5月26~27日 台風6号	26	50,810	—	—	13	14,824	3	8,055	—	—	42	73,689	1	616	2	978	—	—	—	3	1,594	45	75,283
6月19~21日 台風9号	3	6,221	—	—	4	6,429	3	6,044	—	—	10	18,694	—	—	1	1,693	—	—	—	1	1,693	11	20,387
7月17~20日 豪雨	13	64,750	—	—	2	2,465	4	13,580	—	—	19	80,795	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	80,795
7月21~23日 豪雨	51	57,772	—	—	49	46,661	18	28,354	—	—	118	132,787	12	18,694	18	10,107	3	1,600	33	30,401	151	163,188	
9月9~10日 台風23号	31	188,352	—	—	7	6,300	6	5,041	—	—	44	199,693	2	3,837	3	1,733	3	47,905	8	53,475	52	253,168	
9月14~18日 台風24号	885	6,231,368	7	79,272	614	4,011,459	292	2,154,064	40	215,799	1,838	691,962	600	1,714,034	248	819,020	116	392,834	964	2,925,888	802	617,850	
計	1,010	6,603,441	10	91,193	689	4,088,138	330	2,223,863	40	215,799	2,079	222,434	615	1,737,181	273	834,647	122	442,339	1,010	3,014,167	089	236,601	

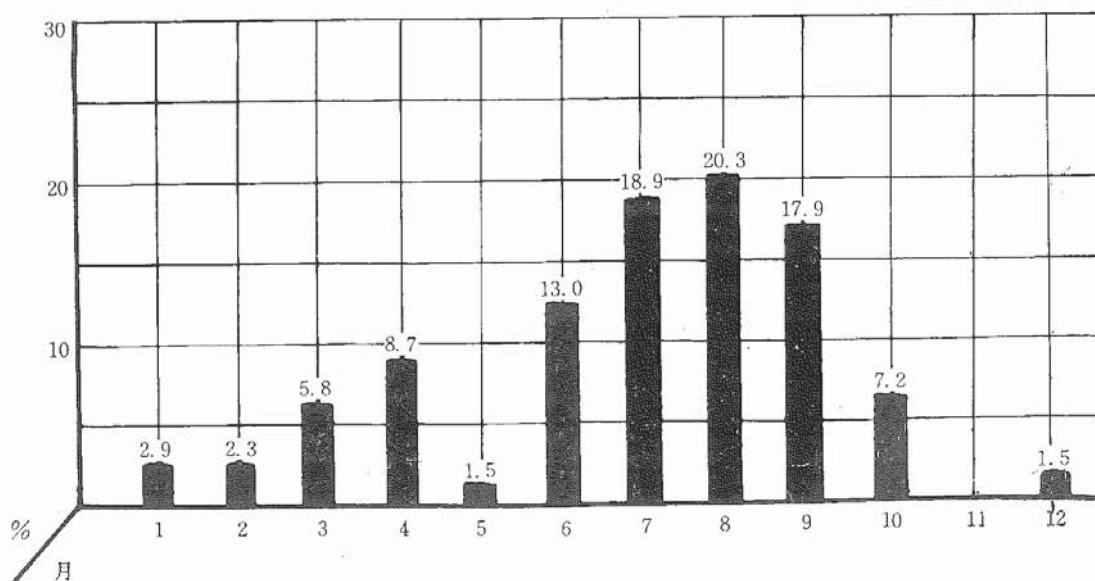
(五) 県公共土木施設年災別被災状況

昭和23年以降の年災別被災状況は次のとおりである。

(建設省災害年報から)

年 災 別	被 災 状 況		備 考
	災害査定額	カ所数	
昭和23年	千円 2,680,227		福井地震(震度6 M=7.45)
24	223,286		
25	199,684		
26	144,049		
27	154,115		
28	3,607,033	1,353	13号台風
29	143,362	151	
30	44,183	26	
31	148,321	156	
32	153,138	113	
33	406,252	267	
34	3,503,728	1,733	伊勢湾台風
35	1,489,465	569	
36	8,983,640	1,724	梅雨前線豪雨 北美濃地震(震度4 M=7.2)
37	2,016,090	446	
38	2,358,392	805	38.1 豪雪
39	2,554,704	980	

このように、福井県は「災害県」として、いつも自然の試練にさらされているが、明治35年(1902年)から昭和10年(1935)までの34年間における月別被害回数割合は、次のようになっている。



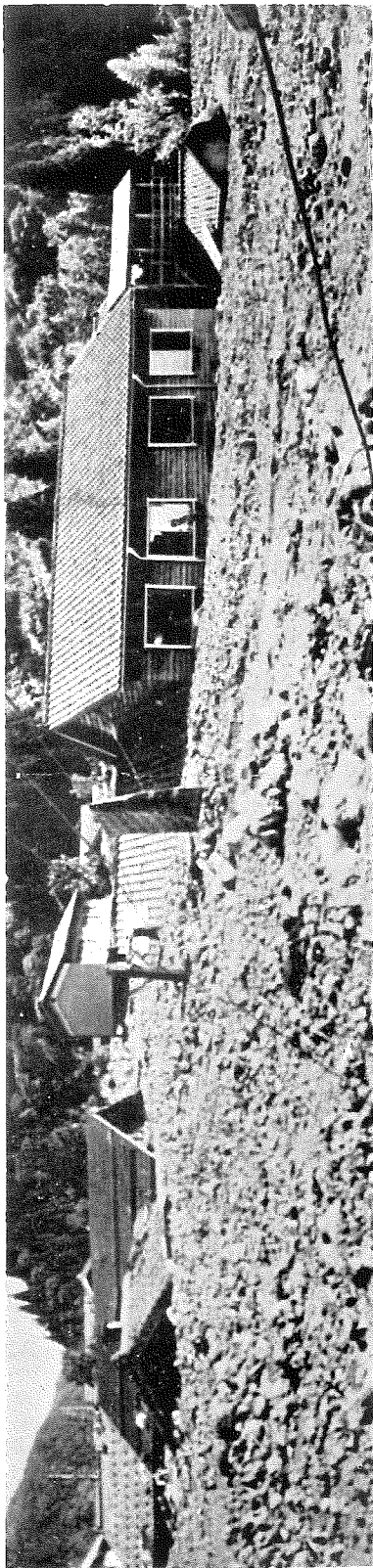
(六) 平均台風襲来期間 (980 m 以下)



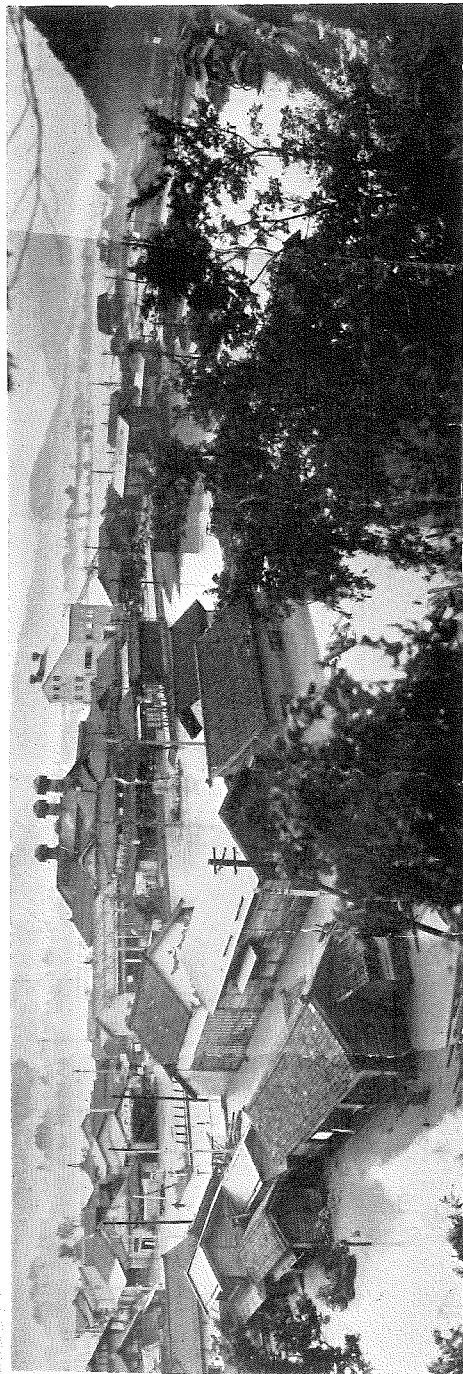
この図は、地点別に 980 mb 以下の台風の襲来した年平均値の逆数を示しており、また、襲来の超確立年数であるとも考えられる。

これによれば琉球附近が最も多く、次いで南九州、高知県および紀伊半島の南、東海道地方、房総半島を結ぶ線が続いており、また関東より西の地方は、大体 3 年間に一回の割合で激甚な台風の洗礼を受けていることになっている。福井県も大体この周期に入っている。

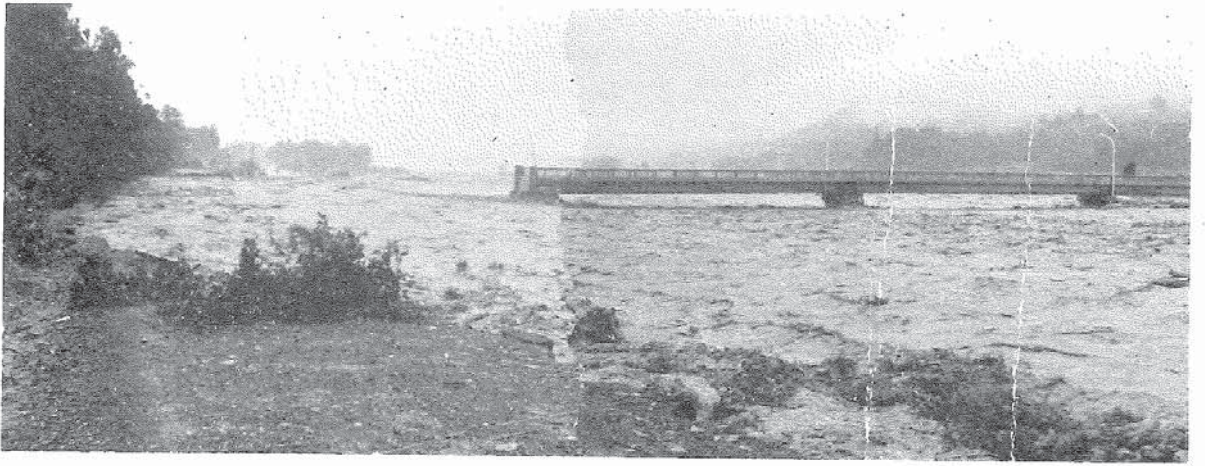
各所に受けた災害の惨状



奥越地方集中豪雨により流出せる土砂に二階を越し屋根まで埋れた民家の悲惨な光景



九頭竜川堤防欠壊により浸水せる勝山市



奥越地方 真名川の氾濫状況（大野市佐開地係にて）



10. 道路の被害

(一) 概況

県下各地に於て、道路が寸断され交通不能になったが、道路の被災ヶ所は、341ヶ所（延長29,694.8メートル被災額1,199,282千円）、橋梁の被災数45橋（延長1,176.5メートル被災額227,243千円）に及んだ。

特に大野・小浜・敦賀の土木出張所管内は、その被害激甚を極めたが、その主なるもの一般国道157号線の君ヶ代橋から岐阜県境までの40キロメートル、主要地方道大野墨俣線の五条方から西谷村中島までの16キロメートルと1級国道27号線の三方町気山から小浜市平野に至る34キロメートル等であった。

その他の道路にあっても、何れも長区間に亘り被災した。これら被災道路の多くは、迂廻路なく、被害状況の把握に最も困難を極め、応急工事も極めて困難であった。この為、被災地内の交通状況は一時全く麻痺の状態にあった。

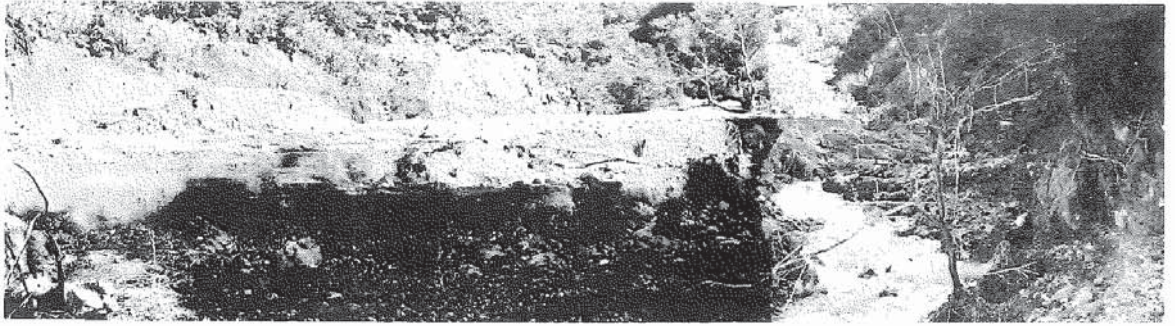
この状況を1日も早く解消する為、各土木出張所と終始綿密なる連絡を保ちつゝ、直ちに仮工事に着手した。

完成に至るまでの間における関係者の不眠不休の作業により、何れも予定月日より早く完成したのであるが、主要地方道大野墨俣線の西谷村中島より岐阜県境に至る約18キロメートルは、被災後1ヶ月後の10月20日に至り漸く工事用車両のみ又国道157号線の下荒井橋は、11月1日に至り大型車も交通可能となり、県下の交通は旧に復した。

被害激甚を極めた主たる路線の被害状況は、下記のとおりであって、その被害の甚大なることを如実に物語っている。



大野市蕨生・道路は瓦礫で埋った



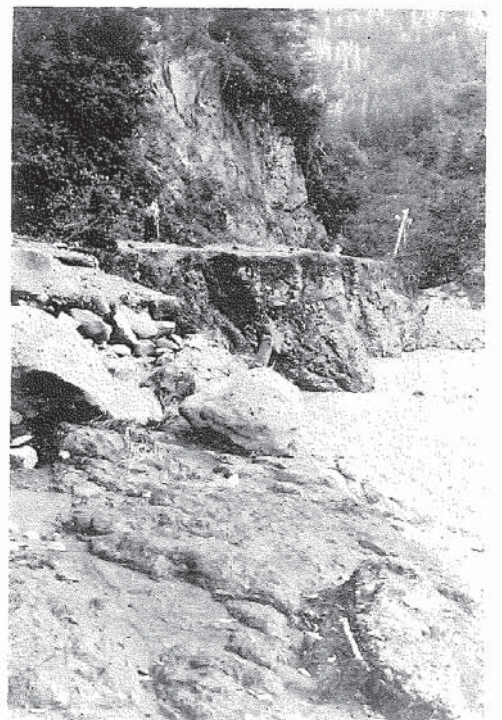
県道 大谷秋生大野線



一般国道 157 号線 勝山市 下荒井橋

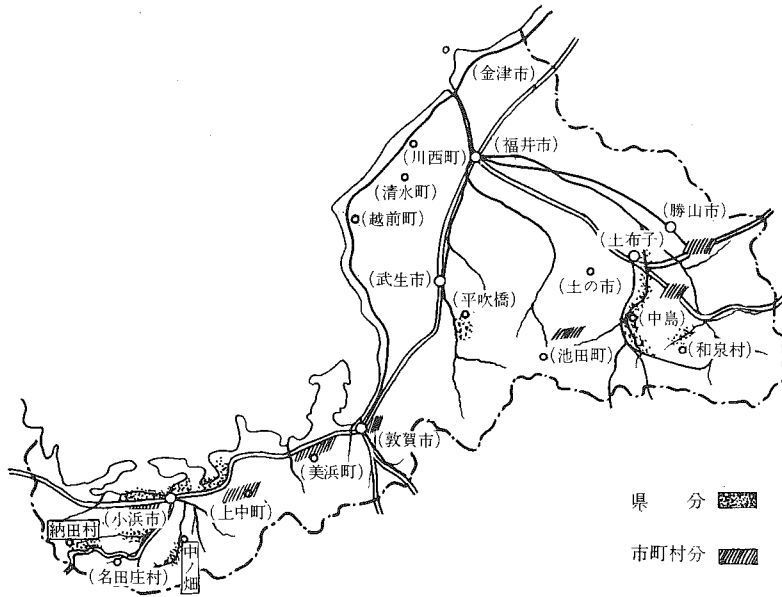


県道 大谷秋生大野線



県道 染ヶ谷小倉線

道路施設の被害ヶ所（橋梁を含む）

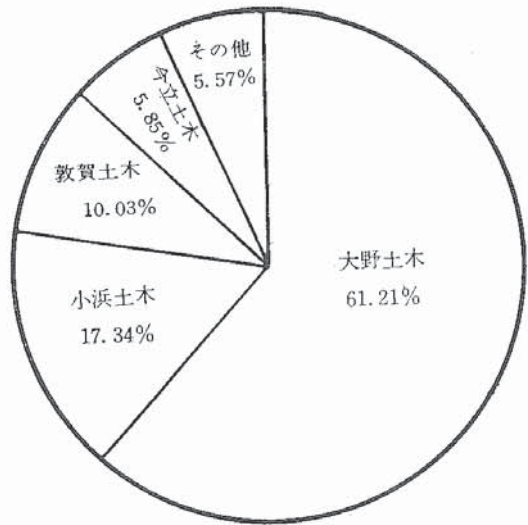
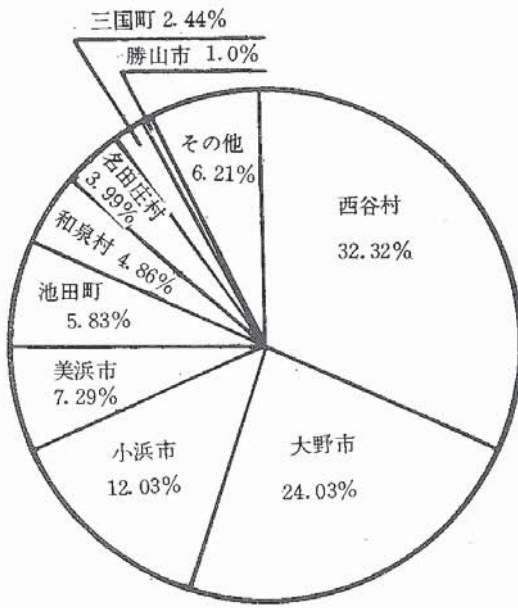


(二) 土木出張所別被害状況

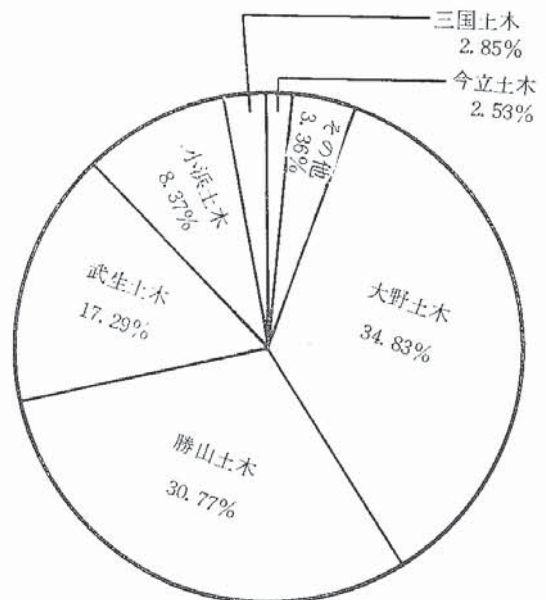
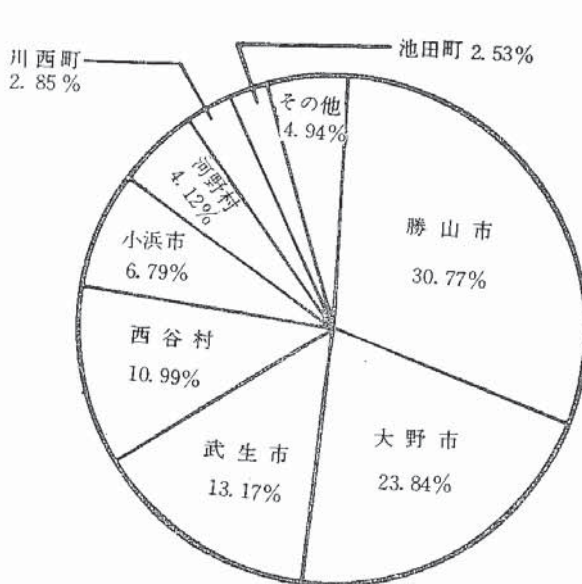
土木出張所	道 路			橋 梁		
	カ所数	延 長	被 害 額	カ所数	延 長	被 害 額
福 井	14	627.5 m	20,632 千円	1	108.0 m	2,238 千円
三 国	6	136.0	3,599	1	13.8	6,477
大 野	141	17,588.0	734,095	16	510.1	79,144
勝 山	10	570.4	11,996	5	208.2	69,933
鯖 江	6	787.0	3,147	—	—	—
武 生	13	639.0	19,573	6	202.1	41,842
朝 日	8	181.0	7,760	—	—	—
今 立	16	1,426.0	70,162	4	16.0	5,760
敦 賀	44	3,085.0	120,323	5	42.3	2,834
小 浜	83	4,654.9	207,995	7	76.0	19,015
計	341	29,694.8	1,199,282	45	1,176.5	227,243

土木出張所	路 線 名	カ所数	延 長	被 災 額	備 考
大 野	大野墨俣	53	8,318.7 m	264,911 千円	
"	上大納下山	22	1,768.0	58,226	
"	大谷秋生大野	45	5,397.4	348,963	
敦 賀	松屋河原市	10	850.0	73,216	
小 浜	久坂中ノ畑小浜	13	1,374.0	113,178	

(1) 道路の土木出張所別被害額



(2) 橋りょうの土木出張所別被害額



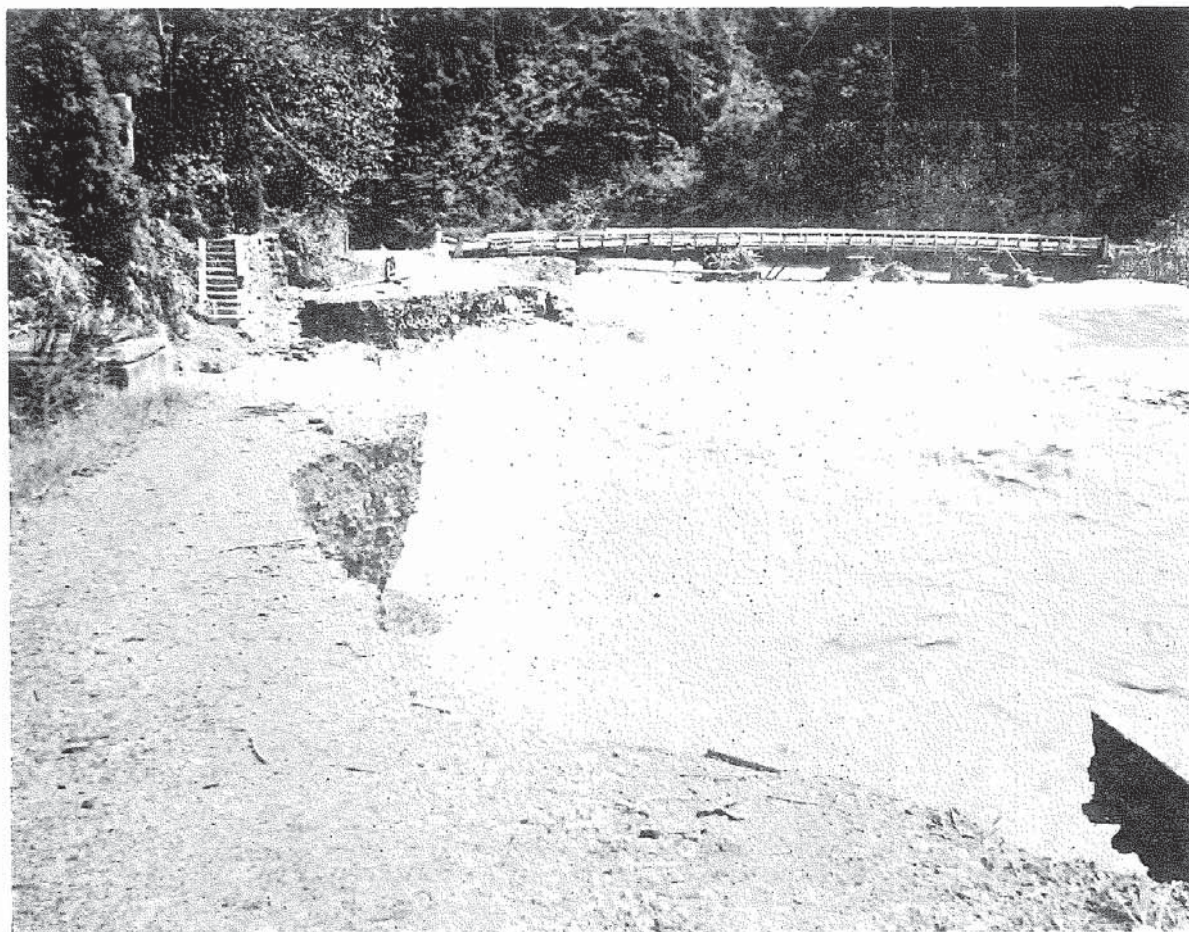
(三) 市町村別被害状況

市町村名	道 路			橋 梁		
	力所数	延 長	被 害 額	力所数	延 長	被 害 額
		m	千円		m	千円
福井市	10	460.5	11,859			
敦賀市	7	149.0	3,775	2	29.0	1,332
武生市	1	11.0	824	2	167.0	29,927
小浜市	29	2,123.2	144,370	6	57.0	15,407
大野市	68	8,172.9	288,220	9	252.3	54,178
勝山市	10	570.4	11,996	5	208.2	69,933
鯖江市	6	787.0	3,147			
足羽町	2	79.0	3,277	1	108.0	2,238
美山町	1	32.0	2,424			
上志比村	1	56.0	3,072			
三国町	2	45.0	978			
金津町	1	13.0	263			
丸岡町	1	25.0	987			
川西町	2	53.0	1,371	1	13.8	6,477
西谷村	51	7,647.1	387,649	1	257.8	24,966
和泉村	22	1,768.0	58,226			
今立町	1	9.0	187			
池田町	15	1,417.0	69,975	4	16.0	5,760
宮崎村	1	21.0	364			
越前町	4	45.0	1,398			
越廼村	1	51.0	4,555			
清水町	2	64.0	1,443			
南条町	1	60.0	422			
今庄町	7	428.0	10,337	2	8.4	2,547
河野村	4	140.0	7,990	2	26.7	9,368
三方町	16	649.0	29,242	3	13.3	1,502
美浜町	21	2,287.0	87,306			
上中町	5	179.0	2,793			
名田庄村	36	1,393.6	47,858	1	19.0	3,608
高浜町	12	369.1	12,577			
大飯町	1	590.0	397			
計	341	29,694.8	1,199,282	45	1,176.5	227,243

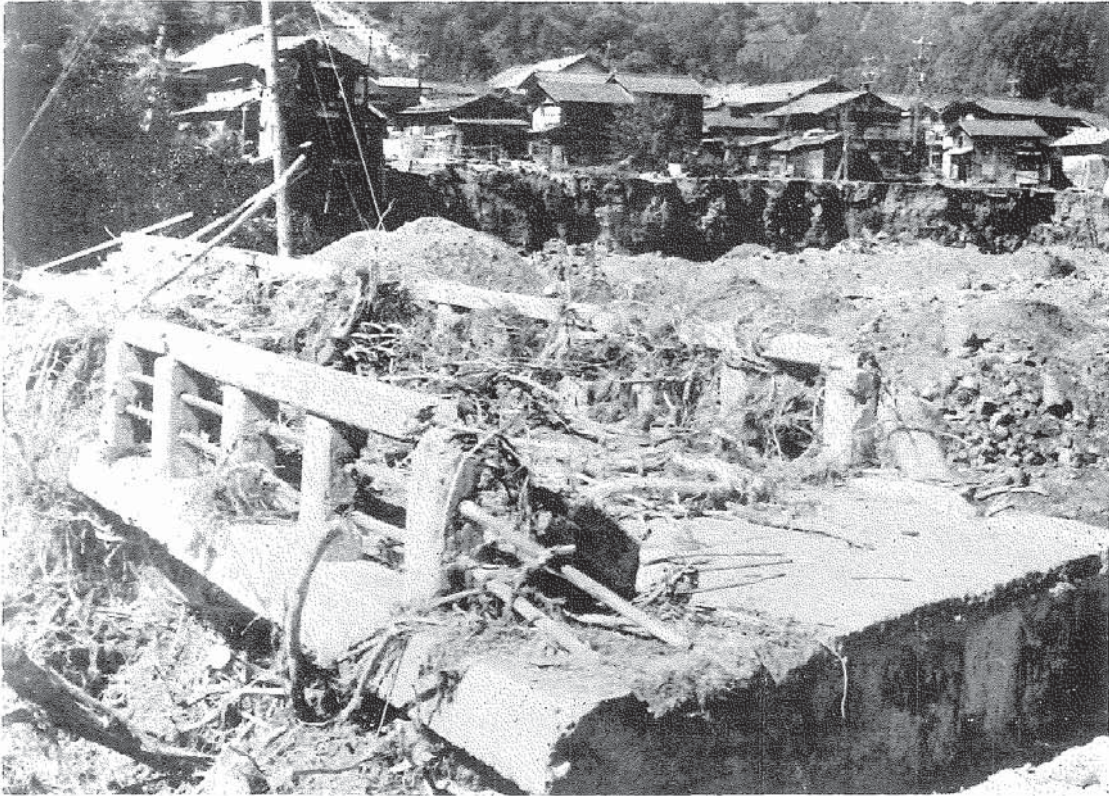
11. 河川の被害

(一) 概要

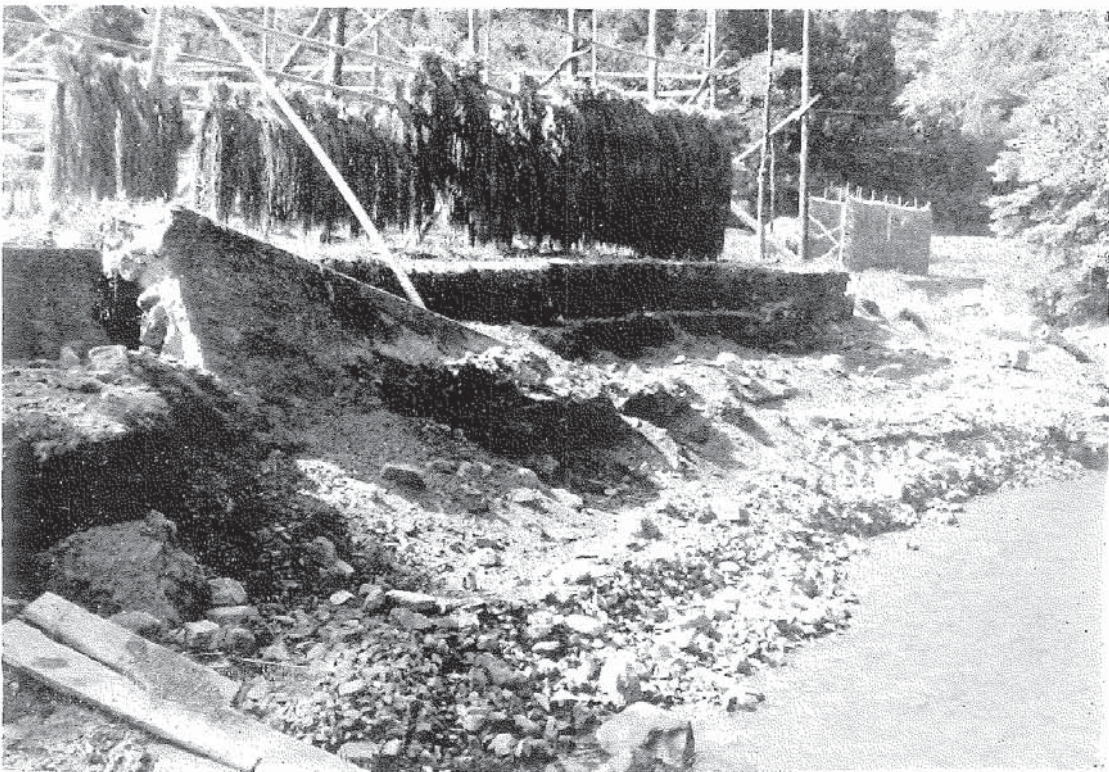
今回の河川災害の特質は大別して二つに分ける事が出来る。一つは異常降雨のため山腹崩壊による河川の埋そく災害。もう一つは連続3回に及ぶくりかえし動作による底水護岸災害である。前者は真名川水系、女神川、鱒川、遠敷川等が上げられいずれも河床の上昇によるえつ流破堤である。また後者は平坦部より河口に亘るもので九頭竜川、日野川、北川、南川、笙の川、天王川等である。全般的に見れば未改良河川に被災が多く 34 災で復旧した打波川および大野市を流れる九頭竜川は皆無といってよい程被災を受けなかった。



渦流に寸断された県各川の爪跡（小浜市）



橋 生 笹 道 県



24号台風による護岸の被害状況（三方郡美浜町）

県管理の河川別被害状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

被害状況			被害状況			被害状況		
河川名	被害状況		河川名	被害状況		河川名	被害状況	
	カ所	被害額		カ所	被害額		カ所	被害額
九頭竜川	52	1,177,332	真名(笹生川) 川雲川	26	2,044,908	水間川	7	23,528
日野川	60	439,550	赤根川	12	31,591	大味川	5	2,048
足羽川	18	88,924	木爪川	1	1,338	織田川	2	2,347
鞍谷川	38	166,591	動堂川	1	497	越知川	2	2,338
天王川	19	80,884	清滝川	51	117,831	木ノ芽川	7	36,627
荒川	3	8,804	打波川	2	2,763	黒河川	18	46,002
羽生川	7	5,377	雲川	2	12,419	笹ノ川	23	59,913
上味見川	2	3,626	滝波川	17	65,117	井ノ口川	23	78,030
野津俣川	1	576	女神川	8	175,000	耳川	42	154,999
芦見川	1	565	浄土寺川	38	71,461	鱒川	23	90,274
一乗谷川	3	2,329	暮見川	30	48,701	南川	34	182,436
江端川	3	49,775	岩屋川	1	4,421	田村川	5	3,008
計石川	1	716	鹿谷川	2	637	多田川	3	1,503
狐川	1	1,392	浅水川	5	30,509	遠敷川	7	8,042
高橋川	2	26,594	河和田川	14	31,699	松永川	24	64,328
志津川	8	163,112	吉野瀬川	1	2,457	北川	24	118,824
末更毛川	7	15,922	穴田川	3	11,384	河内川	5	5,453
滝波川	1	554	鹿蒜川	9	12,924	安賀里川	10	43,432
一光川	10	9,863	田倉川	7	45,147	鳥羽川	10	39,805
平尾川	1	681	奥野々川	20	31,959	野木川	10	26,389
三本木川	11	18,222	阿久和川	22	41,251	飯盛川	14	83,865
山内川	4	3,676	金粕川	8	38,901	本所川	17	37,099
磯部川	1	6,226	牧谷川	20	21,524	佐分利川	14	24,067
定康川	13	22,486	清水川	8	5,387	子生川	3	2,221
五味川	1	349	吉野瀬川	10	49,017	関屋川	2	7,855
田島川	1	484	河野川	21	21,620	前川	1	272
竹田川	5	17,996	魚見川	22	80,237			
権世川	13	22,732	部子川	7	12,568	合計(88河川)	1,042	6,544,644
観音川	6	4,709	東俣川	7	16,537			
七瀬川	25	28,696	月尾川	5	4,957			
高須川	6	21,384	服部川	13	17,951			

12. 砂防の被害

(一) 概況

今次災害で砂防設備は未曾有の大損害をうけたが、又、砂防設備の効果が大きいことも立証された。

嶺北地方では、奥越地域、特に大野郡西谷村が集中的に激甚な災害を受け、九頭竜川の小支川、小溪流の水源地は、随所に山地崩壊が発生し、流出した土砂は、実に65万5千立方米に及び、内17万5千立方米の土砂は中島部落に流れ込み、人家の軒下までを、一瞬にして埋め尽す異状な土砂量を見たのである。濁流に乗った土砂は、溪流は勿論堰堤を埋没し、或は破壊し次第に下流部に移行し堤防を溢流し、破堤し、護岸を欠壊する等、砂防設備に大災害をもたらした。

このため九頭竜川本川の河川設備を破壊し、多くの橋梁を流出し、耕地を埋没し、農業用施設を破壊した。又、沿川の道路も欠壊し、家屋の流出埋没等の惨状を呈したのである。

一方、丹南地域については、山添いに災害が多く発生したが、その被害ヶ所数に比しては、被害額は比較的小規模であった。

これらの嶺北地方に於ける被災ヶ所は、293ヶ所で、被害総額20億19,968千円である。

嶺南地方では、敦賀地域、特に三方町、美浜町が最も大きな災害を受け、三方五湖に注ぐ小河川の溪流部の山地崩壊が随所に発生し、平時は零流の溪流も大河川の流れの様相を呈し、土石を下流に押し流し、上中流部を埋没、護岸等の砂防設備を破壊した。そのため、耕地農業用施設・道路・国鉄小浜線に多大の災害を蒙った。

このように、この地方では多量の土砂流出による護岸の欠壊、河川の埋没が大部分を示めた。その被害ヶ所は、280ヶ所で、被害総額10億5,252千円である。

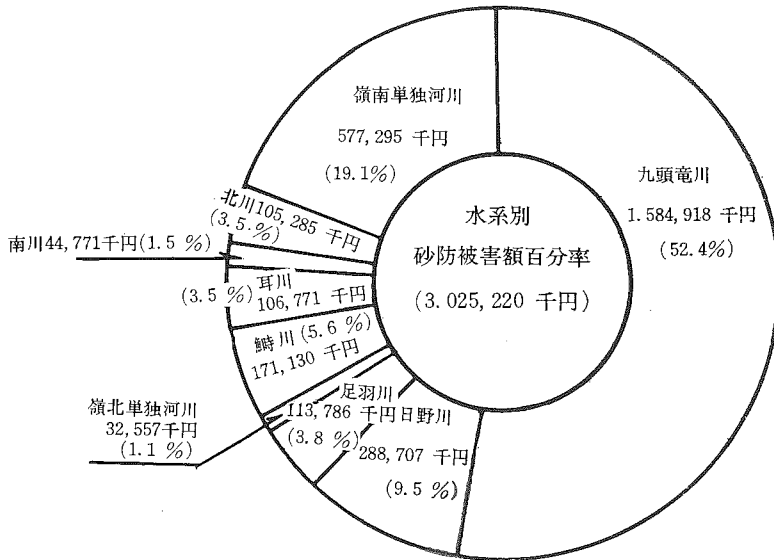


白谷一号北堤



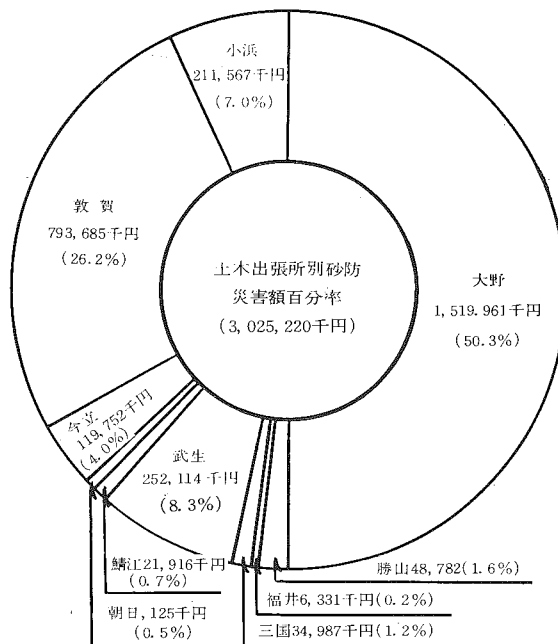
大野市仙翁谷川

(二) 河川水系別砂防被害額

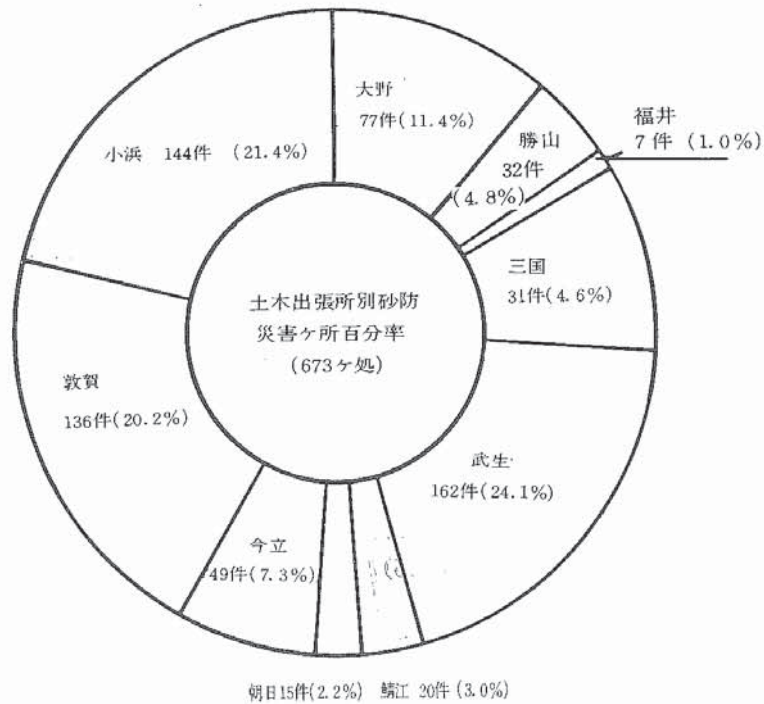


(註) 嶺南単独河川とは直接海岸へ流れている河川をいう。

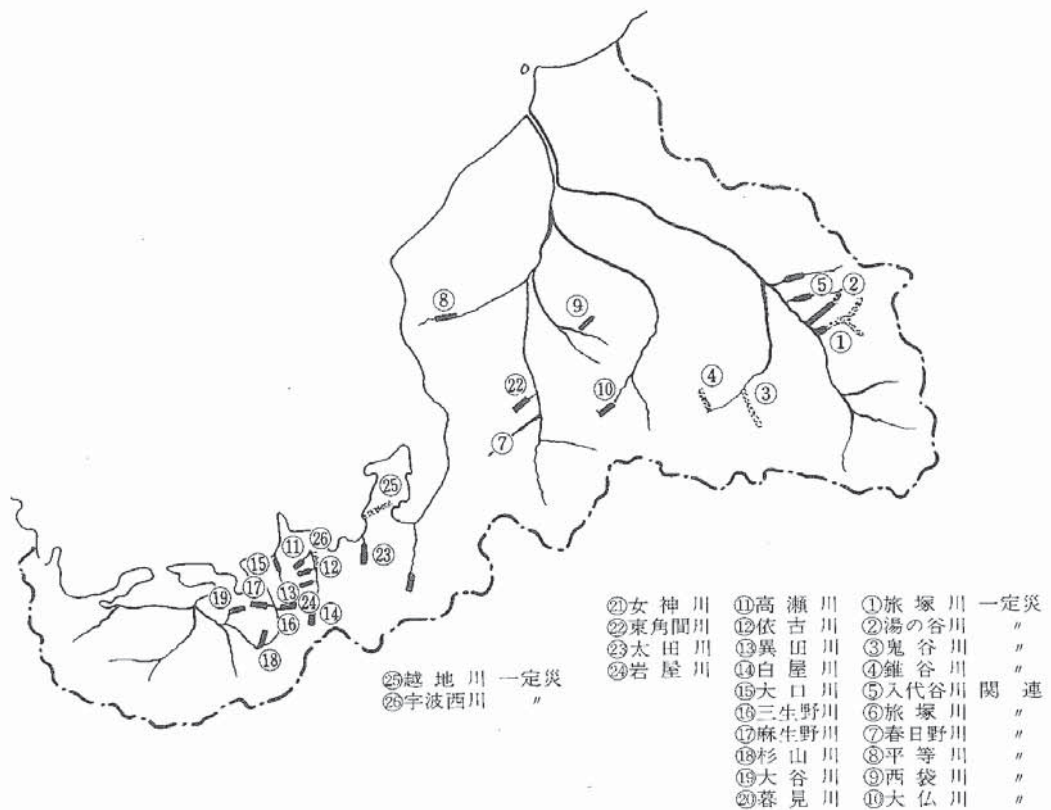
(三) 土木出張所別砂防被害額



(四) 土木出張所別砂防被害ヶ所



(五) 砂防施設の被害ヶ所 (地すべりを含む)



13. 港湾の被害

台風23号は9月10日10時過ぎには、若狭湾沖50軒の海上を気圧966mm/bで通過した。その間、若狭湾沿岸は、南々西の風が瞬間最大風速40m/s、平均風速20m/sとなり平時静おんな小浜湾青戸入江が、大荒れとなり、波高が10米前後となり、犬見和田間2.0軒の護岸に被害をもたらした。

又台風24号によって九頭竜川上流に集中豪雨をもたらしたため、河口の三国港航路に大量の土砂が流出し埋そくし、大型船の航行が不能となった。

被害港湾名	被害程度	被害額
三国港	航路泊地埋そく	19,135 <small>千円</small>
和田港	海岸8カ所	45,155
計	1,679米	64,290

漁港施設の被害

9月17日の台風24号によって小浜湾にそそぐ南川上流に集中豪雨をもたらしたため県管理に属する三種漁港の小浜漁港に土砂および流木が大量に流出した。流出した土砂は道流堤を欠壊し、泊地ならびに航路を埋そくし、漁船の航行に支障を及ぼすとともに、流木は湾内に流出し海岸護岸が少なからざる被害を受けた。被害状況は次の通りである。

被害漁港名	被害程度	被害量
小浜漁港および同海岸	流堤	24米
	海岸護岸	177米



14. 都市の被害

(一) 概況

今次災害により発生した都市災害は、こう水、地すべり等による住宅地の堆積土砂で、街路、公園、下水道および排水施設等の都市施設の被害が皆無に近いことが昭和28年の台風13号と著しく異なる点である。

これは都市施設の整備が一貫して重点的に行なわれてきたものということができる。即ち、施設別都市災害発生状況は次のとおりである。

施設別都市災害発生状況

区分 施設名	市町村数		40.9風水害		台風13号災害	
	40.9	13号	被害カ所	堆積土量	被害カ所	堆積土量
街路	—	2	—	— ^{m³}	3	2,967 ^{m³}
公園	—	1	—	—	1	56
下水道・排水路	—	7	—	—	16	11,989
宅地	8	6	28	234,052	81	205,499

(二) 災害の状況

災害によって発生した土砂の流入、崩壊によって堆積した泥土、砂礫および岩石等の状況は次表のとおりで、西谷村を別にして大野市と三方町の被災区域が広範であったことが目立っている。

都市災害状況調

区分 市町村名	被害カ所	被災面積	堆積土量	都市災害対象 堆積土量	都市災害排土 費
大野市	10	45,532 ^{m²}	44,528 ^{m³}	21,117 ^{m³}	18,666 ^{m³}
勝山市	1	3,039	6,569	5,383	2,865
西谷村	1	57,131	114,197	79,708	41,727
今立町	1	2,690	9,871	6,255	6,427
三方町	11	88,166	43,223	31,759	17,044
美浜町	2	7,260	9,215	4,857	2,149
名田庄村	1	4,493	2,701	899	844
高浜町	1	817	3,746	3,746	2,801
合計	28	209,130	234,052	153,726	92,523

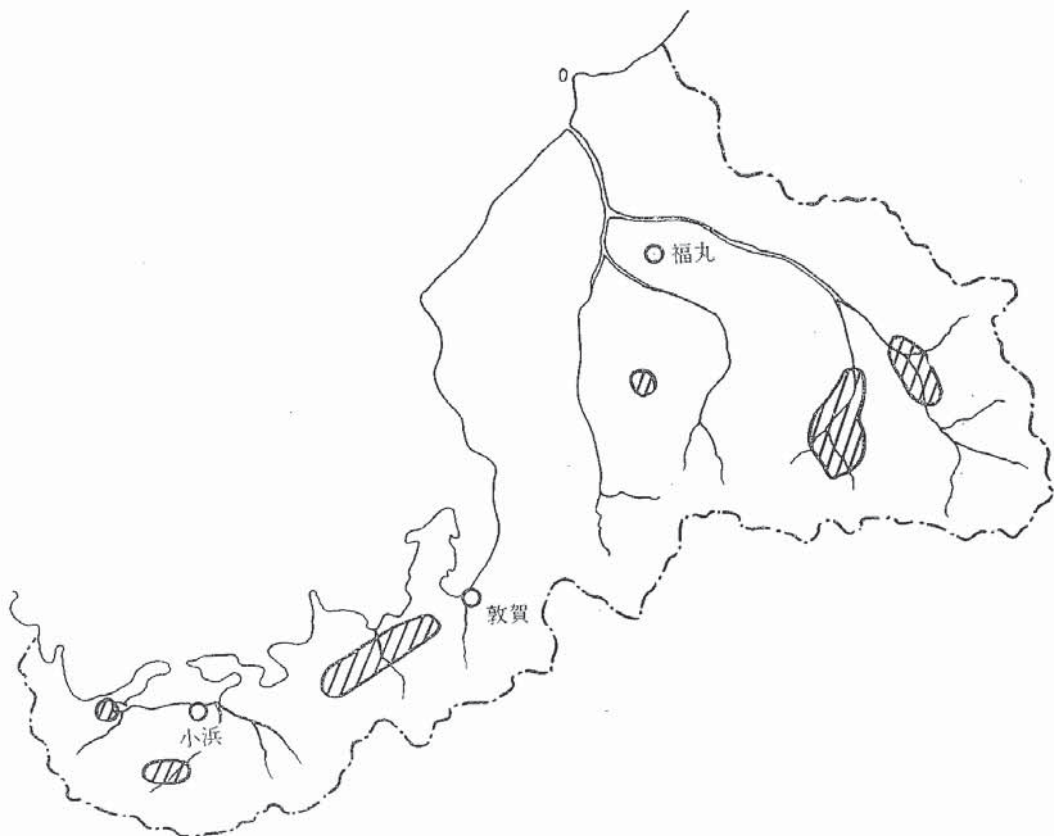
三方町の被災状況



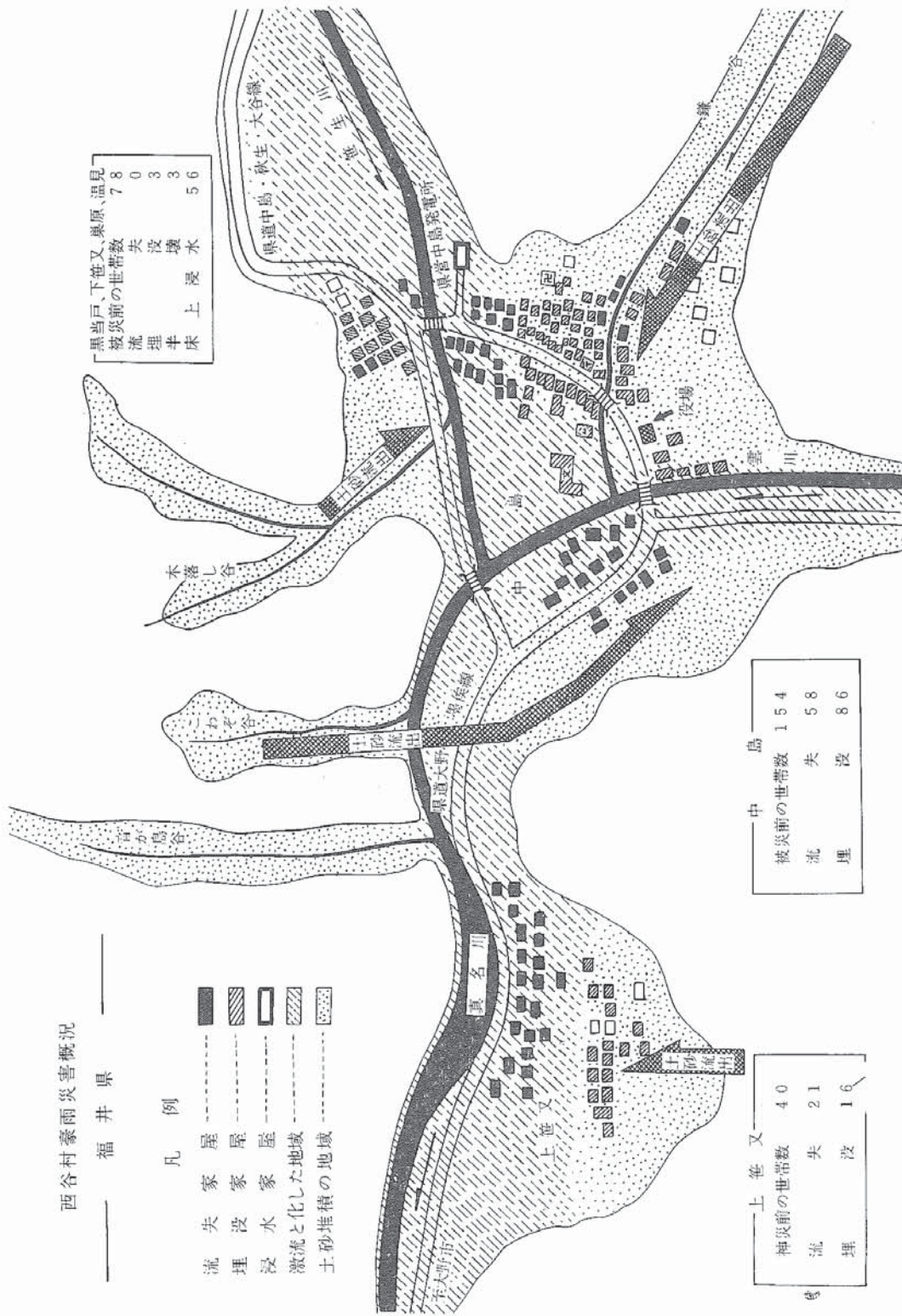


一瞬11棟の家屋倒壊、14名が生埋め（10名は死亡した）になった今立町大滝の被災状況

都市の被害



流失、埋没等全滅に近い西谷村中島付近の災害概況



15. 商工業関係の被害

(一) 被害の状況

今次の三大風水害により県下商工企業に及ぼした被害は、中竜鉱業所5億6,700万円をはじめ勝山電化工業所2億1,000万円および日通勝山倉庫の浸水による織物製品の被害1億4,000万円等被害総額45億4,900万円の巨額に達した。これ等の罹災企業を早急に復旧し操業の再開を促進するため関係金融機関に対し復旧資金の確保を下のとおり要請した。

商工業関係の被害状況は下表のとおりである。

商工業の被害状況一覧表 (単位 千円)

	台風 23 号	豪 雨	台風 24 号	計
商業関係	115,090	201,000	680,000	996,090
繊維関係	43,000	659,000	1,373,000	2,075,000
工鉱業関係	12,910	823,000	642,000	1,477,910
計	171,000	1,683,000	2,695,000	4,549,000

(二) 対 策

(1) 激甚災害に対するための特別財政援助

激甚災害に対処するための特別財政援助等に関する法律関係等について通商産業省に対し要望した。

ア 法律による激甚災害地の指定を図られたい。

イ 法律15条中、中小企業者に対する貸付金1人につき100万円を500万円に、団体に対する貸付金1団体につき300万円を、3,000万円に年6分5厘の利率を5分にそれぞれ改められ、適用範囲に拡大し、且つ中小企業金融公庫及び国民金融公庫を加えられたい。開発銀行については対象1企業5億円以内の貸付として利子は上記同様とされたい。

ウ 中小企業近代化資金の償還期限を延期されたい。

エ 商工業に対する天災融資法の制定を図られたい。

(2) 金 融

ア 設備(再建補修等)および運転資金の円滑なる確保を期するため支府三公庫および一般金融機関並びに開発銀行金沢支店に緊急融資を要請した。

イ 中竜鉱業所、勝山電化工業所等の復旧資金として開発銀行に対し緊急融資を要請した。

(3) 保証料の引下げ

災害救助法が適用される市町村内被害者に対する融資については信用保証協会の保証料を特に3厘とするよう協会に要請した。

期 日	昭和41年3月31日まで
金 額	200万円まで
証 明	市町村長の証明書添付を要する
運転資金	1年以内
設備資金	2年以内

原則として無担保とし、保証人2人を要す。

(4) 県制度融資の活用

県制度融資の活用について管下各商工会議所、商工会所属指導員および各種工業組合ならびに協同組合を通じ活用するよう指導した。

- 商店近代化資金
- 特別保証制度資金
- 緊急操業安定資金
- 観光施設整備資金
- 商工業組合振興資金
- 小規模機業協業化資金

被 害 写 真



中 竜 鉱 業 所



中 竜 鉱 業 所



勝 山 電 化 工 業 所



今 立 町
製 紙 工 場

16. 教育関係の被害

(一) 概 況

教育関係の被害は、文教施設、社会教育施設など総額2億3,000万円に達するもので、特に大野、勝山、鯖江の3市、西谷村、上中町、三方町などで被害が大きく、大野市富田小学校の校舎が23号台風で全壊し、また奥越集中豪雨では、西谷村の中島小・中学校が土砂流入のため校舎と屋内運場場が全半壊した。

これらの災害を通じて、関係者の適切な措置により、児童生徒に被害のなかったのは不幸中の幸いであった。

社会教育施設では、大野市五箇公民館と西谷村公民館が半壊した。

被 害 総 額		233,731千円
文 教 施 設		212,813千円
小 学 校	259校	149,236
中 学 校	85校	41,335
高 等 学 校	36校	12,616
特 殊 学 校	3校	125
幼 稚 園	29校	5,271
厚生施設その他		4,230
社 会 教 育 施 設		20,918千円
公 民 館	40館	19,032
青 年 の 家	1	886
文 化 財	1	1,000



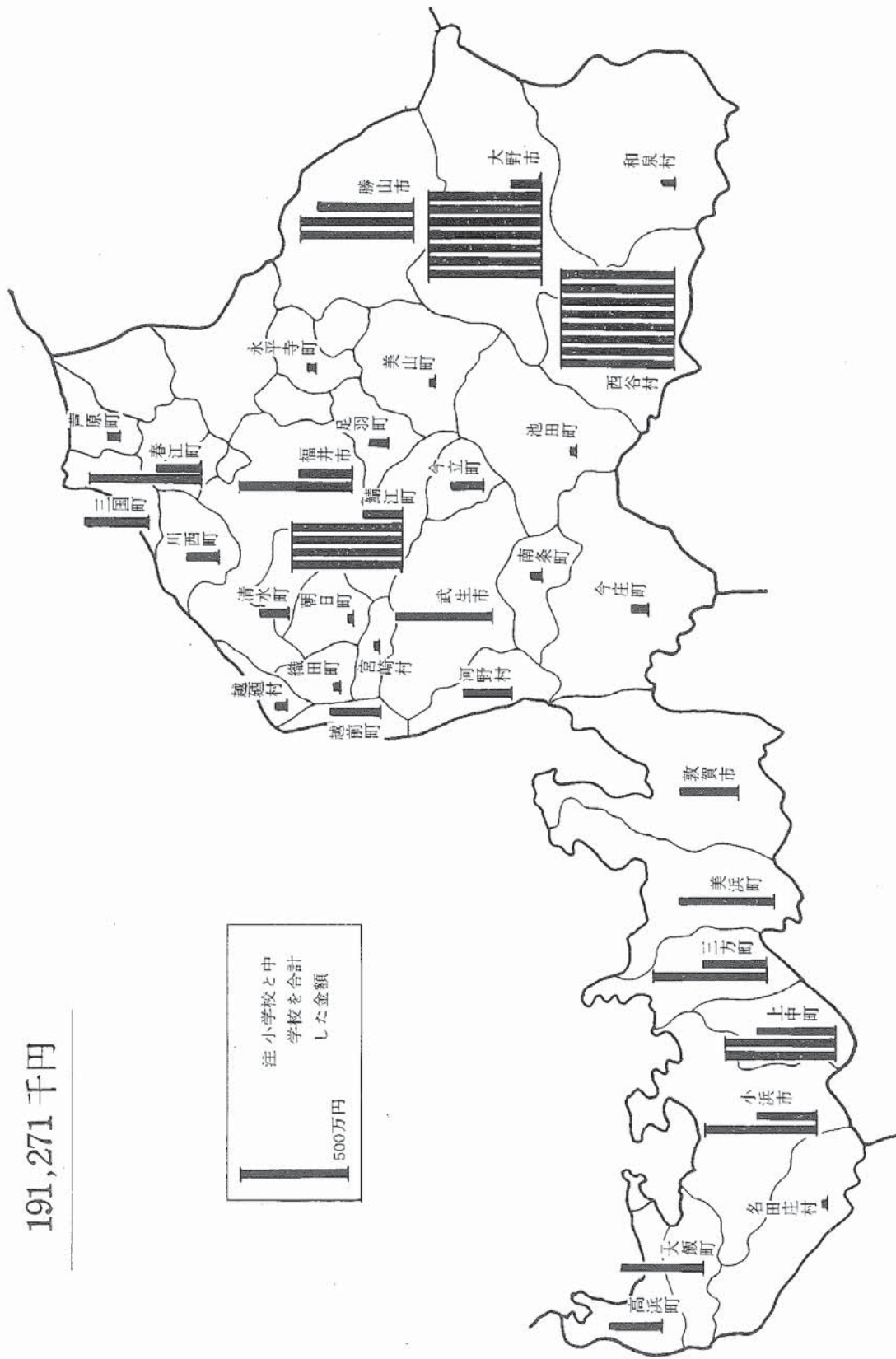
23号台風で倒壊した大野市富田小学校の校舎全景



窓とうい窓は岩石でふさがれた西谷村中島小中学校
(福井県大野郡西谷村中島)

(二) 市町村別の被害状況

191,271千円



小 学 校

(単位 千円)

市町村名			被害校数	被害総額	全 半 壊			大破以下 金額	土地・設備 工作物等 被害
					学校数	坪 数	金 額		
1	福井市		41	3,513				3,413	100
2	敦賀市		17	1,917				1,820	97
3	武生市		9	3,250				2,930	320
4	小浜市		42	5,946				4,860	1,085
5	大野市		24	34,830	1	535	32,100	628	2,102
6	勝山市		6	13,306	1	107	8,025	1,061	4,220
7	鯖江市		11	19,054	2	252	13,690	5,294	70
8	足羽町		1	500				500	
9	美山町		5	95				95	
10	森田町								
11	松岡町								
12	永平寺町		2	29				9	20
13	上志比村								
14	三国町		6	2,100	1	2	150	1,950	
15	芦原町		5	633				570	63
16	金津町								
17	丸岡町								
18	春江町		4	6,640				6,540	100
19	坂井町								
20	川西町		13	1,529				1,489	40
21	西谷村		1	27,753	1	376	20,680		7,073
22	和泉村		4	270				270	
23	今立町		1	1,000				1,000	
24	池田町		2	47				25	22
25	朝日町		3	108				66	42
26	宮崎町		1	40	1	14	140		
27	越前町		5	1,785				1,785	
28	越廼村		3	489				439	50
29	織田町		3	65				50	15
30	清水町		2	1,300				650	650
31	南条町		2	95				95	
32	今庄町		4	428				428	
33	河野村		4	220				220	
34	三方町		5	2,000				2,000	
35	美浜町		7	3,029				3,029	
36	上中町		7	13,482	1	297	12,000	882	600
37	名田庄村		1	130				130	
38	高浜町		15	1,400				1,090	310
39	大飯町		3	2,150				1,800	350
合 計			259	149,236	8	1,583	86,785	45,120	17,330

中 学 校

(単位 千円)

市町村名	被害校数	被害総額	全 半 壊			大破以下 金 額	土地・設備 工作物等 被 害
			学校数	坪 数	金 額		
1 福井市	22	4,052				3,182	870
2 敦賀市	4	906				726	179
3 武生市	4	1,443				1,108	335
4 小浜市	4	928				253	675
5 大野市	5	1,579				1,029	550
6 勝山市	3	1,301				931	370
7 鯖江市	3	3,237	1	18	570	1,308	1,359
8 足羽町							
9 美山町	1	135				129	6
10 森田町							
11 松岡町							
12 永平寺町	1	128				116	12
13 上志比村							
14 三国町	1	1,198				1,168	30
15 芦原町	1	52				52	
16 金津町							
17 丸岡町							
18 春江町	1	150				150	
19 坂井町							
20 川西町	1	90				60	30
21 西谷村	1	12,200	1	200	11,000		1,200
22 和泉村	2	50				50	
23 今立町	1	870	1	11	110	260	500
24 池田町	1	37				4	33
25 朝日町	2	25				3	22
26 宮崎町	2	160				115	45
27 越前町	2	240				240	
28 越廼村	1	45				45	
29 織田町	2	63				35	28
30 清水町	1	113				113	
31 南条町	2	175				175	
32 今庄町	1	230				30	200
33 河野村	2	2,400				2,400	
34 三方町	2	6,000				2,000	4,000
35 美浜町	4	1,265				1,265	
36 上中町							
37 名田庄村	1	100					100
38 高浜町	5	660				560	100
39 大飯町	2	1,500	2	7.5	500	1,000	
合 計	85	41,335	5	236	12,180	18,509	10,646

種別	種類			学校数	被害総額	全半壊			大破以下	土地・設備
	市町村名					学校数	坪数	金額	金額	工作物等
幼稚園 (公立)	鯖江市	江野市	市	7	619				619	
	大野町	三国町	市	1	3,911	1	59	3,540		371
	三條町	南条町	市	1	140				140	
	今庄町	計	市	2	20				20	
				1	55				55	
				12	4,745	1	59	3,540	834	371
県立学校	高等学校			32	11,789	2	22	636	6,622	4,531
	特殊学校			3	125				109	16
私立学校	高等学校			4	827				827	
	幼稚園			17	526				526	
教員住宅	西谷村	谷浜町	村	1	990	1		990		
	高浜計			4	2,240	1		400	1,820	20
				5	3,230	2		1,390	1,820	20
公民館	敦賀市	生野市	市	2	15				15	
	武小	浜野市	市	2	722	1	3	120	602	
	大勝山	江野市	市	8	931				926	5
	鯖春	江野市	市	7	10,170	1	107	6,420	118	3,632
	西谷村	江野市	市	10	626				626	
		江谷町	村	9	294				291	3
		計		1	120				120	
				1	6,154	1	77	5,372		782
				40	19,032	3	187	11,912	2,698	4,422

(三) 応急対策

- (1) 各学校では、建物等の主体構造部にまで被害が及ばないように応急措置を施した。
- (2) 県立学校の復旧費については、災害復旧費国庫負担事業計画の内定を待って、12月県会で補正することとし、緊急を要するものについては既決予算で復旧した。
- (3) 市町村立の学校についても、緊急を要するものは既決予算で復旧した。
- (4) 全半壊した中島小・中学校では、被災した児童生徒が、父兄とともに大野市内にできた仮設住宅に移住し、自宅が被災しなかった児童生徒のためには、文部省の特別の配慮で、仮設住宅敷地内に寄宿舎を建設して、市内の小中学校に分散させて授業を行なった。富田小学校では、体育館と残りの校舎及び尚徳中学校を使用して授業を行なった。
- (5) 被災教職員に対しては、共済組合と互助会から見舞金を支給した。
また孤立した栗原小学校教職員に対しては、ヘリコプターで食糧、日用品等約1ヶ月分を緊急輸送した。
- (6) 被災した高等学校生徒71人に対しては授業料を6ヶ月免除した。

17. 文化財の被害

(一) 国宝・明通寺三重塔 (小浜市門前 明通寺)

国宝明通寺三重塔の正面右横(4メートル)の地盤の一部が幅7メートルにわたり横の谷(高さ20メートル)にずり落ち崩れた。赤土の地盤が雨で弱くなっていたところ、24号台風で長さ20メートル直径50センチのヒノキが2本根元から倒れたので、ガケが崩れ落ち被害が大きくなったもので、地盤がゆるんでいるため、雨が降るたびに土砂がくずれ落ち、国宝三重塔の土台まで4メートルの距離しなくなつたため、このまゝでは「塔」の倒壊する恐れも生じたので、これを未然に防ぐため、盛り土、石垣積み等の根本的応急対策の補強工事の必要に迫られた。このため緊急に文部省文化財保護委員会へ、境内地災害復旧工事費を申請した。

総工事費170万円、この国庫補助金80%144万円で明通寺三重塔境内地復旧工事費が決定したので、早急に文化財保護委員会建造物課へ専門技官の派遣を依頼し、12月8～10日西条技官が現地調査に来寺したので、調査後直ちに現場において設計書を作成した。

崩れた土砂、ならびに倒木を取除き、根本的に基礎をコンクリートで取設り、その上を土留、石垣積みし、また北陸は落雷の恐れがあるためこの際、避雷針を設置することにし、国宝三重塔近くにある樹木に突針を設けて、樹木に導線を銅帯にて緊結することにした。工事期間は12月1日から工事に着手し、昭和41年3月末日までに完了の予定で、現在復旧工事作業中である。



国宝、明通寺三重塔、被害状況

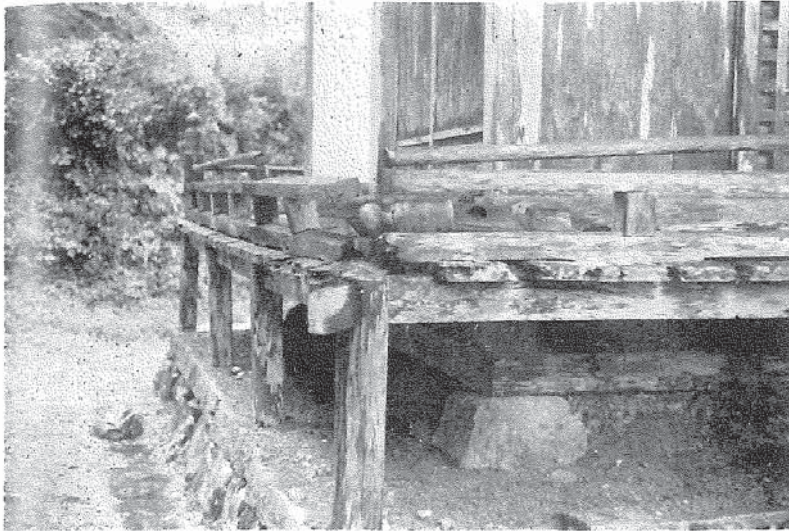
(二) 名勝・萬徳寺庭園 (小浜市金屋 萬徳寺)

萬徳寺本堂裏山の中腹の地盤が豪雨のためゆるみ、24号台風で山の根の大木が4本根元から倒れ、地盤が大きく崩れ、豪雨のため本堂横の谷川が溢流し、土砂、流木等が名勝萬徳寺庭園に流れ込んだ。また庭園の真中に流れている幅1メートル程の小川もこの土砂のため埋まり、このためあふれ出た水と土砂が庭園一面に押し寄せて、名勝庭園は石と泥に埋まってしまった。

大きな石や、流木は寺側で取り除いたが、本堂前正面の庭園、幅12メートル、長さ27メートルの広い範囲が土砂に埋まってしまったため、この土砂を取り除き、庭木の修理、小川の石積み、盛り土等の復旧工事の必要に迫られたため、緊急に文部省文化財保護委員会へ、11月12日、災害復旧事業費の国庫補助金の交付を申請した。

文化財保護委員会記念物課の吉川技官が現地災害状況調査に来寺した結果、総工事費40万円、そのうち、国庫補助金70%が認められたので、石積み、基礎を中心に盛土等を行い、原形に復旧することにし、工事は3月中には完了する予定である。

名勝。萬徳寺庭園被害状況



(三) 重要文化財。神宮寺本堂。神宮寺仁王門

(小浜市神宮寺 神宮寺)

重要文化財、神宮寺本堂屋根、神宮寺仁王門(山門)屋根も24号台風の被害を受けた。本堂は本堂前の大木の枝が24号台風で吹き飛び、それが本堂のヒワタぶき屋根に窓きさより6ヶ所程傷がついたがすぐ取り除いたので大事には至らなかった。

仁王門(重要文化財)の屋根も中心瓦が半分24号大風のため吹き飛び、ヒワタぶきのヒワタも前後8ヶ所まくりあげてしまったので修理の必要があるため、現在小浜市内羽賀寺(重要文化財)本堂解体修理工事実施中で、この工事々務所の専門家、金子技師に神宮寺の被害状況と、これに必要な修理費を見積ってもらったところ、7万円程の小額修理費のため、文化財保護委員会では、地元関係者で修理を実施するよう要望されたため、神宮寺管理者の住職と小浜市とがこの修理予算については検討中である。

なお、本堂正面の参道(幅3メートル、長さ120メートル)が本堂横の谷川が溢流し、裏山から石や砂、流木が押し流され、参道を埋め歩行も困難となったが、寺側や地元民の協力でこれを取り除き参道は復旧した。

小浜市ではこの外、重要文化財の羽賀寺、妙楽寺も裏山の地盤が24号台風でくづれ、土砂、流木が本堂前の参道を埋め歩行困難となったが、地元関係者の協力でこれを取り除き原型に復旧した。

小浜市重要文化財の木造薬師如来が安置されている国分寺本堂も屋根瓦が吹き飛び、豪雨のため白壁の一部が崩れ落ちたが、これも補修費が小額金のため管理者が自から補修した。

また大飯郡大飯町大島、重要文化財不動明王が安置されている常禅寺の堂の横が2メートルの所で、高さ100メートルに崩れ落ち、堂も像も谷川に崩れ落ち流される危険に迫られたので取りあえず重文の不動明王を他の安全な場所へ移転するよう指示し、崩れ落ちた地盤の復旧は地元方大飯町へ協力を依頼し復旧することにした。

その他、名勝指定の敦賀市の柴田庭園、気比の松原の大木が2本、中ほどから真二つに折れるなど、文化財関係の被害は大きかった。

18. 衛生施設関係の被害

(一) 医療施設等の被害

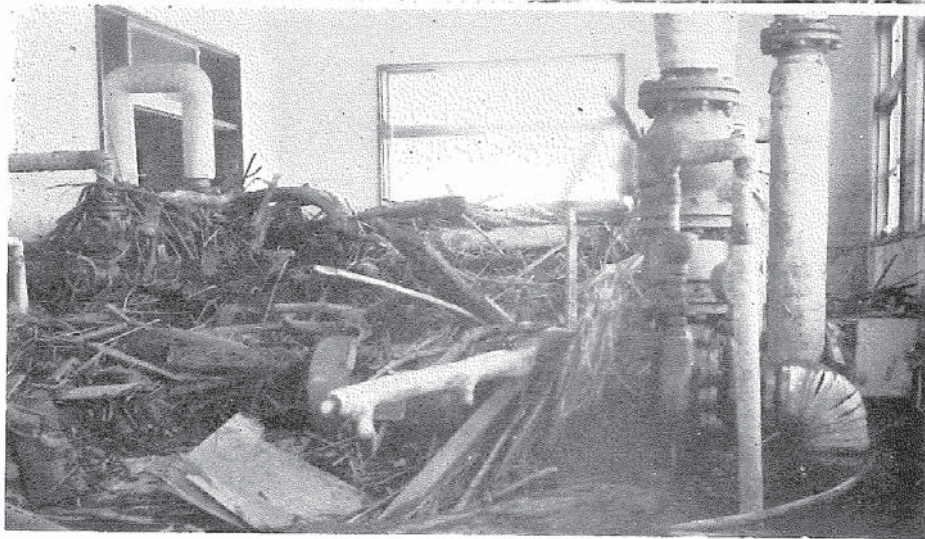
(単位 千円)

区 分	台風 23 号		奥越豪雨		台風 24 号		合 計	
	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額
医療施設の全半壊 (流失を含む)	—		1	14,500	—		1	21,901
” 一部破損	7	1,310	2		8	6,091	17	
公共建物 一部破損	11	1,648	—	—	3	388	14	2,036
保健所	(8)	(1,230)	—	—	(1)	(138)	(9)	(1,368)
病院	(2)	(398)	—	—	(1)	—	(1)	—
衛生研究所	—	—	—	—	(1)	—	(1)	—
高等看護学院	(1)	(20)	—	—	—	(100)	(1)	(120)
合 計	18	2,958	3	14,500	11	6,479	32	23,937

(二) 清掃施設

市町村名	施設名	型式	処理能力	被害額	被害内容
敦賀市	ごみ焼却場	(固)	t/日 18	千円 959	灰倉庫、車庫全壊
大野市	衛生処理場	(消)	kl/日 27	13,798	真名川堤防破壊のためし尿投入室が倒壊、施設内に土砂、流木が流れこみ使用不能、このためし尿投棄場を市内横枕地係に設けてし尿の不衛生処理を行った。
鯖江市今立町 清掃施設組合	衛生処理場	(消)	” 45	1,700	日野川、麻生津川の氾らんにより約1m冠水、投入室、機械室の機械損傷
小浜市	衛生管理所	(消)	” 36	1,031	山くずれの土砂により倉庫、車庫全壊
計				17,488	

大野市
衛生処理場



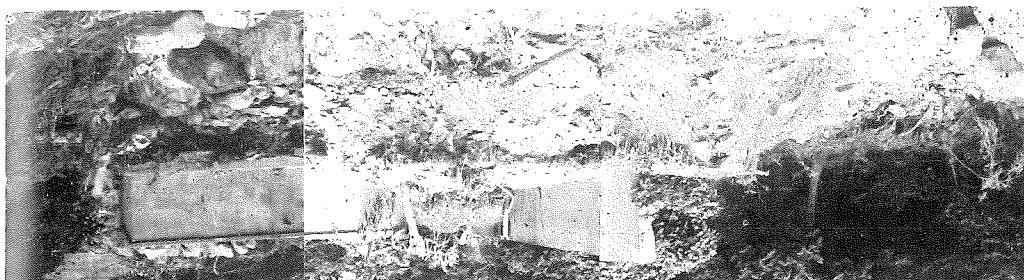
倒壊した投入室

機械室に流れ込んだ流木の類

(三) 水道施設

市町村名	地区名	計 給水人口	現 在 給水人口	被 害 額	被 害 内 容
小 浜 市	小 浜	17,000人	12,777人	1,369千円	南川が氾らん水源ポンプ室に浸水電動機損傷
〃	加 斗	602	602	539	水源地土砂埋没、送水管配水管流失
〃	田 鳥	620	549	558	送水管、配水管流失
三 方 町	三 鳥 方 浜	3,000	2,312	2,981	水源取水口流失、濾過池埋没、送水管、配水管流失
大 野 市	富 田	1,600	1,506	485	水源池、沈砂池流失し 使用不能
〃	藤 生	1,340	1,120	5,609	水源地、導水管、配水管流失 使用不能
和 泉 村	上 大 納	325	265	684	配水本管流失
西 谷 村	中 島	800	540	13,150	全施設流失
計	8 力 所	25,287	19,671	25,375	

三方郡三方町 三方鳥浜地区



濾過地の土砂埋没及び基礎保護石積欠潰状況



配水管流失状況

大野市蕨生地区



配水管流失状況

(四) と 畜 場

市 町 村 名	施 設 名	能 力 規 模	被害額	被 害 内 容
福 井 市	福 井 と 畜 場	1日処理能力 大動物 50頭 小動物 50頭 建 築 面 積 953.49m ²	千円 386	と畜場屋根 鉄板飛散 機械損傷
大 野 市	食 肉 処 理 場	1日処理能力 大動物 8頭 小動物 4頭 建 築 面 積 230.88m ²	227	真名川堤防決壊のため浸水 土砂流木の沈積 機械損傷
敦 賀 市	敦 賀 と 畜 場	1日処理能力 大動物 4頭 小動物 8頭 建 築 面 積 402.6m ²	459	と畜場屋根飛散 と畜場へい全壊
計			1,072	

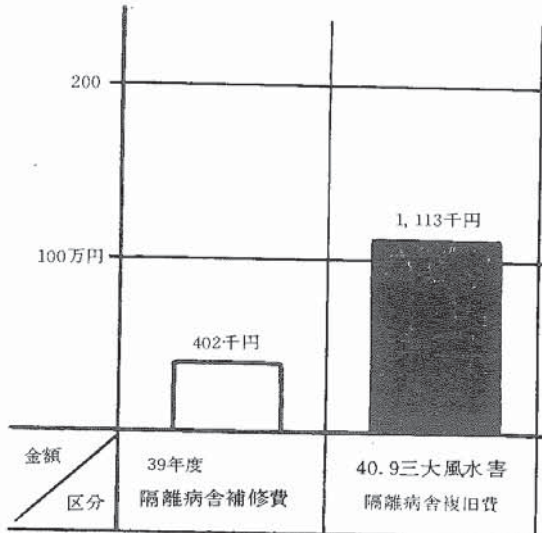
(五) 隔離病舎の被害状況

台風23号24号その間に豪雨と、たび重なる被災のため、県下20の隔離病舎のうち

流 失 1. (西谷村隔離病舎)

をはじめとし、福井市第一隔離病舎ほか7ヶ所が屋根等に被害を受け、復旧所要額は、1,211千円で、前年度の補修費の三倍近い経費を要した。

隔離病舎復旧費と前年度
隔離病舎補修費との比較



(ただし、西谷村隔離病舎復旧費を除く)



隔離病舎復旧所要額調

かくり病舎名	総事業費	収入額	差引額	選定額 (補助) (基本額)	県補助額	備 考
福井市第一隔離病舎	円 157,000	—	円 157,000	円 157,000	円 104,666	
三国町隔離病舎	11,100	—	11,100	11,100	7,400	
清水町 "	198,000	—	198,000	198,000	132,000	
武生市 "	148,500	—	148,500	148,500	99,000	
敦賀市 "	105,955	—	105,955	105,955	70,636	
鯖江市、宮崎村、朝日 町隔離病舎組合	41,490	—	41,490	41,490	27,660	
東部隔離病舎組合	91,660	—	91,660	91,660	61,106	
公立小浜病院隔離病舎 組合	360,000	—	360,000	360,000	240,000	
計	1,113,705	—	1,113,705	1,113,705	742,468	
西谷村隔離病舎	5,700,000	—	—	2,325,000	—	選定額は財務部査定額

41年度において精算補助の見込み

19. 日本国有鉄道の被害

今次の災害は幸いにも県内北陸本線に於ては、被害軽く列車の運休も短時間であったが、小浜線、越美北線の被害は激甚を極め両線だけで被害総額6億8千万円と見積られる。この為、金沢鉄道管理局に於ては、9月17日16時に局長を本部長とする対策本部を設置するとともに、現地復旧本部を同18日16時小浜駅長室に敦賀駐在運輸長を本部長として設置して災害の警戒体制に入り、応急復旧対策を始め各対策が適時発令された。局、現地対策本部ともに9月29日まで経続せられたが、以後はそれぞれの担当官署に於て復旧工事が行なわれた。以下の資料は金沢鉄道管理局から県災害対策本部あて報告された資料から抜粋し整理したものである。



小浜線美浜—三方間の築堤欠壊
軌道延長500米



小浜線八幡山トンネル出口



(一) 損害見積額

(単位 千円)

日本国有鉄道金沢鉄道管理局資料 (40. 9. 24 24時現在)

	小 浜 線	越 美 北 線		小 浜 線	越 美 北 線
減収額(取扱収入)	10,000	1,000	電 力	1,112	—
旅 客	7,500	1,000	信 号	1,646	—
貨 物	2,500		通 信	1,728	—
修 繕 費	203,768	4,972	附 帯 経 費	16,433	805
施 設	199,282	4,972	超 勤	12,068	621
軌 道	176,985	1,644	旅 費	985	134
線工、停工	20,697	3,266	食 糧	880	
建 物	200	62	そ の 他	2,500	50
機 械	1,400		工 事 経 費	432,982	10,952
電 気	4,486	—	合 計	663,183	17,729

(二) 線路復旧作業概況

場 所	発 生 時 刻	被 害 状 況	線 路 開 通 時 刻	記 事
(北陸本線)				
新疋田構内	17日 23:05	増 水	18日 1:40	五井川運転規制
新疋田～敦賀	“ “	“	“ 1:47	絹掛川 “
今庄～湯尾	“ 23:50	冠 水	“ 5:15	76 K 550 M土砂取捨 30m ³
湯尾～鯖波	“ “	増 水	“ 7:15	鯖波川運転規制
鯖波構内	“ 23:00	浸 水	“ 4:00	
鯖波～王子保	“ 23:50	増 水	“ 7:13	王子保川運転規制
王子保構内	“ 23:00	“	“ 3:10	
武生構内	“ “	浸 水	“ 0:30	
鯖江～北鯖江	18日 6:00	“	“ 12:05	新浅見川堤防決壊による運転規制
北鯖江～大土呂	17日 23:00	増 水	“ 4:55	新浅見川橋梁運転規制
南福井～福井	“ 23:30	“	“ 9:00	足羽川橋梁 “
福井～森田	“ 23:00	“	“ 13:00	九頭竜川 “ “
丸岡～金津	“ “	“	“ 10:00	竹田川 “ “
金津～細呂木	“ “	“	“ 1:50	127 K 500 M 線路浸水
(越美北線)				
越前野～越前野	15日 10:14	橋脚傾斜 築堤流失	9月29日始発 より営業開始	真名川B橋脚傾斜 4基 35 K 138 M 翼壁流失 57 m ² 39.645 土砂流入 2 m ³ 40.595 崩壊 26 m ³ 42.125 42.830 崩壊土砂 30 m ³ 崩壊 56 m ³ 43 K 400 崩壊土砂 40 m ³
大越富前田～下唯野	“ 10:14	法面崩壊	“	
下唯野～柿ヶ島	“ 10:14	“	“	
柿ヶ島～勝原	“ 10:14	“	“	

場 所	発 生 時 刻	被害状況	線路開通時刻	記 事
(小浜線)				
敦賀～栗野	17日 19:17	築堤翼壁欠壊	9月28日 5:20	黒河川橋梁 築堤欠壊 4,000 m ³ 翼壁流失 250 m ³ 10 K 110 M 欠壊 800 m ³ 9 K 750 M 土砂堆積 20 m ³ 23 K 770 M 欠壊 3,500 m ³ 道床流失 50 M 上下線土砂混入 500 M " 堆積 200 m ³ 25 K 040 M 欠壊土砂 1,800 m ³ 25 K 700 M " " 800 m ³ 第1鳥羽川B 欠壊土砂 200 m ³ 上下本線土砂混入 800 M 天徳寺川橋梁 土砂堆積 50 m ³ 上下線土砂混入 800 m ³ 44 K 995 道床流失 50 M 築堤欠壊 300 m ³ 50 K 100 土砂 540 m ³ 50 K 300 " 1,000 m ³ 築堤流失 120 m ³ 本所川B堆積土砂 240 m ³ 64 K 575 M=流失 200 m ³ 62 K 430 M 道床流失 50 m ³ 67 K 400 流失道床 220 m ³ 66 K 600 " 100 m ³ 71 K 400 堆積土砂 50 m ³ 75 K 500法面崩壊 40 m ³
栗野～美浜	" 19:17	築堤欠壊	"	
美浜～三方	" 19:00	"	9月30日 1:27	
三方構内	" 19:00	浸水	"	
三方～十村	" 19:00	築堤欠壊	9月29日 4:03	
十村～大鳥羽	" 19:00	"	9月26日 4:02	
上中構内	" 19:00	浸水	9月26日 4:02	
上中～新平野	" 19:00	土砂堆積	"	
新平野構内	" 19:00	浸水	"	
新平野～東小浜	" 19:00	築堤欠壊	"	
小浜～加斗	" 19:00	法面崩壊	9月23日 5:10	
加斗～若狭	" 19:00	築堤流失	"	
若狭～若和	" 19:00	"	9月21日 5:14	
若和～若高	" 19:00	道床流失	"	
若高～松尾寺	" 19:00	土砂崩壊	9月20日 5:40	



越美北線 (清滝川の氾らん)

越前大野駅附近

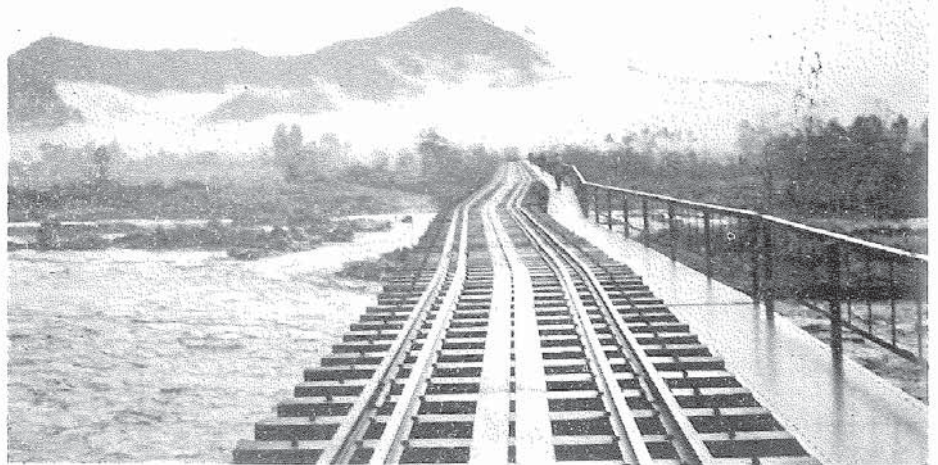


(三) 現地復旧作業要員

越 美 北 線

40. 9. 24 現在

本部別 種別 日 別	越 美 北 線				
	保 線 区		請 負	そ の 他	計
	本 区	現 場			
15	15	35	0		50
16	15	35	10	5	65
17	7	30	11	5	53
18	7	30	8	3	48
19	2	21	12		35
20	3	25	31	4	63
21	4	25	45	8	82
22	4	17	50	5	76
23	4	9	54		67
24	3	10	50	4	67
計	64	237	271	34	606
(計 画) 25	3	15	45	6	69

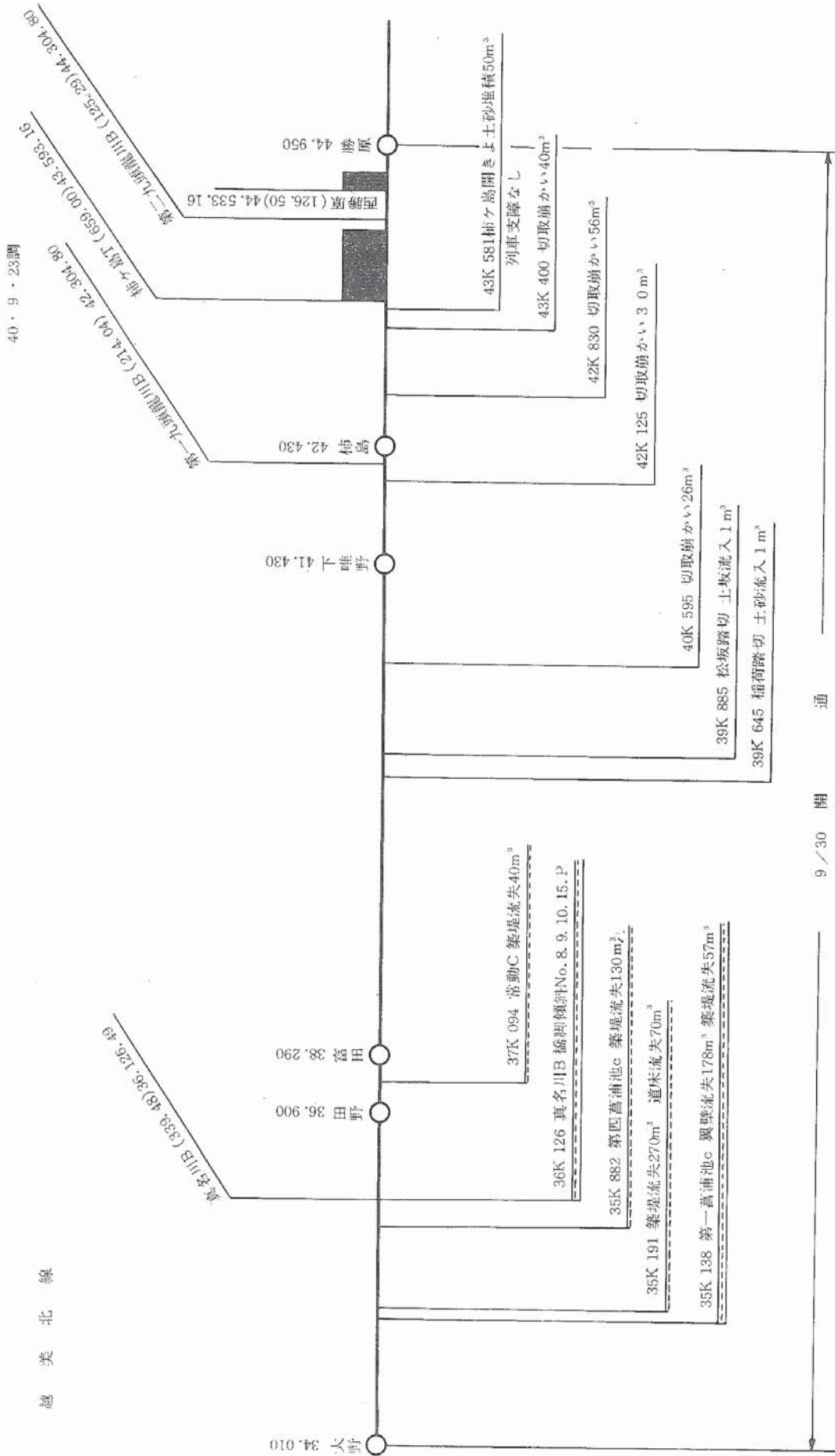


真 名 川 橋 り よ う

小 浜 線

箇 所	月 日		9 月							10 月					延 人 員	記 事				
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1			2	3	4	5
	他 局				33	33	33	33	68	68	33	33	33	33			22			
駅 教 賀 教 賀 第 一 機 関 区							8 2 14	8 2 17										16 4 48	砂利取卸要員	
自 保 線 区	1	2	2	6	10	5	2	2	3	2	1	1	1	4	3	3	1	1	35 6 63 24 14	線路復旧要員
局 建 築 区		1	1	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1						10 6	事 務 補 助
教 賀 電 力 区	4	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	68	2名は自動車運転、4名は電力関係保守
教 賀 信 号 通 信 区	4	10	18	3	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	161	信号、通信関係保守
金 沢 鉄 道 病 院	9	17	25	22	37	37	52	67	67	43	32	34	28	4	3	3	1	1	27	臨時診療所(医師1 看護婦1 事務1)
計														4	3	3	1	1	482	
臨 雇 代 賃 時 員	49	21	48	46	47	48	31	31	38	36	33	35	35						498	線路復旧要員及び放出要員
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						12	小浜駅電話掛繁忙による
福 知 山 局 西 舞 鶴 機 関 区 へ 助 働 (教 賀 第 一 機 関 区)					6	6	6	24	24	24	24	24	24	24	6	6	6	6	210	西舞鶴機関区へ助働を出して東舞へ小浜間の工臨及び営業列車の運転
合 計	58	39	74	102	152	152	150	218	225	186	150	148	148	52	9	9	7	7	1,892	小浜保線区現在員 105名

(四) 災害状況



- 凡例
- 直営施行を示す
 - 請負施行を示す
 - 被害が特に大きいものを示す

20. 私鉄関係の被害

私鉄関係の被害総額は約6千3百万円と見積られるが、その大部分は京福電鉄大野線であり、京福の受けた打げきは、うち約6千万円といわれ、決して少ない金額ではなかった。被害関係の概況は、次の通りである。

(一) 京福電気鉄道(株) 福井支社関係

被害総括表

鉄道・自動車の別	台風23号奥越豪雨の別	被害種別	被害額
鉄道関係	台風23号	土木軌道関係	5,100,000 ^円
		建物関係	1,178,000
	電気関係	299,000	
	小計	6,577,000	
奥越豪雨	土木軌道関係	土木軌道関係	16,934,000
		建物関係	200,000
		車両関係	280,000
	営業損害	10,672,000	
小計	28,086,000		
合計	34,663,000		
自動車関係	台風23号	建物関係	1,373,000
		小計	1,373,000
	奥越豪雨	建物関係	900,000
		営業損害	13,400,000
小計	14,300,000		
合計	15,673,000		
		総計(鉄道自動車)	50,336,000



奥越集中豪雨による京福電鉄勝山駅(福井県勝山市)

(二) 大野交通自動車(株) 関係

項 目	災 害 状 況	損 害 額	復 旧 対 策
1. 路線の被害		円	
イ 西 谷 線	真名川の氾濫により大野市五条方地係以遠西谷村まで(28.0軒)が各所において土砂崩壊、道路決壊、橋梁流失せり		道路管理者の復旧対策による
ロ 六 呂 師 線	大野市松丸地係にて道路決壊約200m		〃
ハ 金 山 線	唐谷川の氾濫で大野市堂島地係の小久保橋流失及び右岸決壊		〃
ニ 荒 島 線	大野市木落～佐開間道路決壊及び佐開橋一部流失		〃
ホ 宝 慶 寺 線	大野市木ノ本～宝慶寺間(5.3軒)で3カ所に互り土砂崩壊		〃
ヘ 勝 山 線	下荒井橋一部、女神橋流失		〃
2. 建物の被害			
イ 家 屋	西谷村中島営業所及び車庫の流失 (113.85m ²)	132,007	
ロ 停 留 所	佐開停留所流失(3.3m ²)	22,389	
3. 車両の被害	バス1両一部埋没(西谷村中島車庫駐車)	164,000	
4. その他の被害	停留所標識 15カ所流失	45,000	
5. 水害による減収額		7,471,065	
6. 施設関係復旧費		2,390,000	建物の新築 1,800,000円 車両の購入(中古車) 500,000円 停留所標識の新設 90,000円
計		10,224,461	



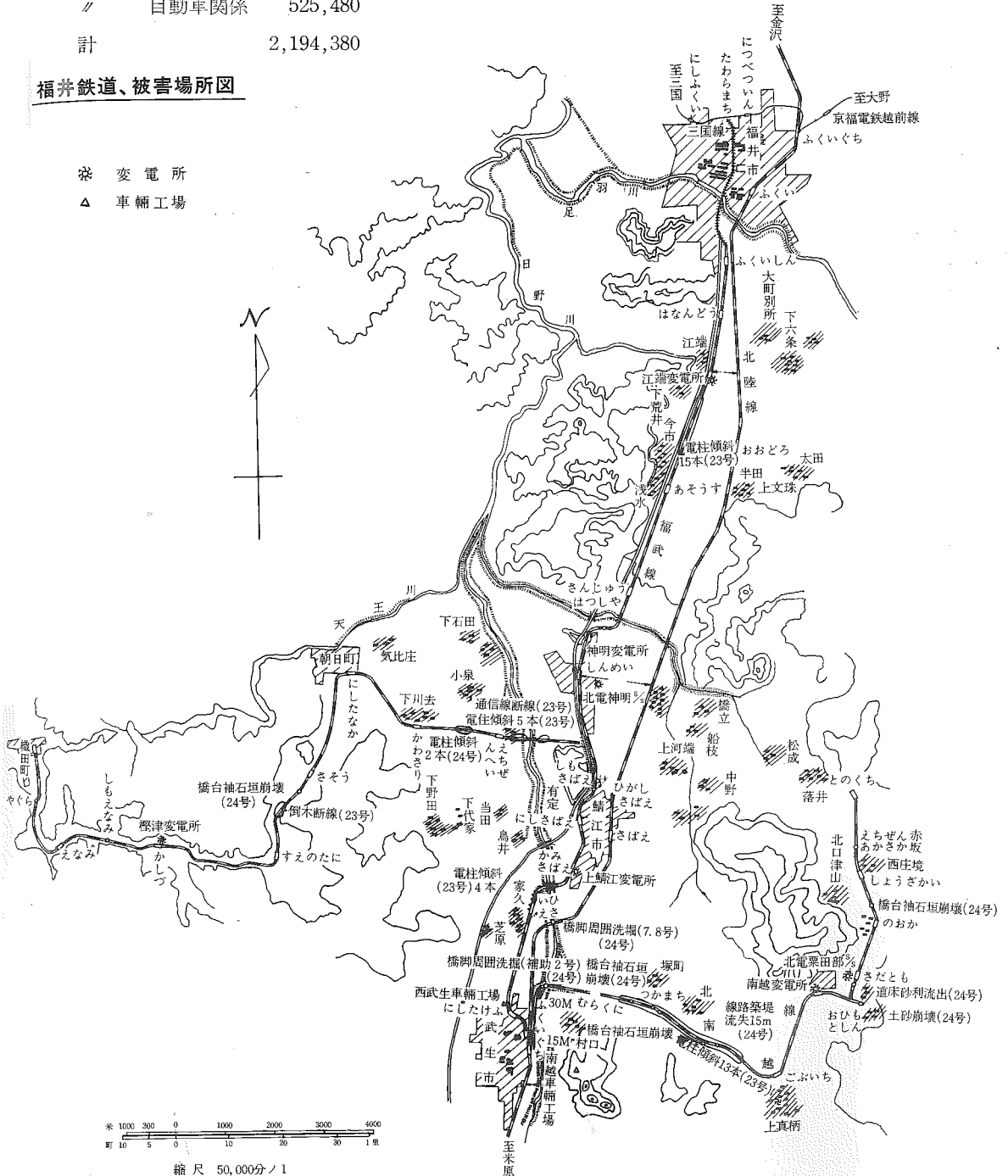
集中豪雨は田畑を流し京福電鉄は運行不能(福井県大野市新在家)

(三) 福井鉄道(株)関係

台風23号によるもの	924,900円
台風24号によるもの	744,000
〃 自動車関係	525,480
計	2,194,380

福井鉄道、被害場所図

- ◎ 変電所
- △ 車輛工場



(四) 不通、開通関係一覧表

(1) 京福関係

線 別	不通区間	被害種別	不通日時	開通日時
(台風23号関係)				
鉄道部				
越前本線	全線	落石、倒木、電柱傾斜	9月10日 11時57分	20時02分
三国芦原線	全線	倒木、電柱傾斜	9月10日 12時13分	17時12分
永平寺線	全線	倒木、電柱傾斜	9月10日 13時24分	20時52分
丸岡線	全線	倒木、電柱傾斜	9月10日 12時40分	19時50分
自動車部				
市内線	全線	強風	9月10日 12時20分	15時40分
市外線	全線	強風	9月10日 12時20分	15時30分
(40.9.15 豪雨関係)				
鉄道部				
越前本線	下荒井～京福大野 越前竹原～京福大野 山王～京福大野	橋梁流失、線路流失 線路浸水石積流失 緊急作業送電中止	9月14日 23時20分 9月15日 全休 9月15日 11時00分	9月15日 12時12分 9月16日 14時14分 9月17日 5時40分 9月17日 18時14分 9月19日
自動車部				
高矢線	全線	強風	9月15日 8時40分	9月15日 15時30分
栃原勝山線	全線	増水	9月15日 9時30分	9月15日 17時30分

(2) 福鉄関係

線 別	運休区間	運休始日時	復旧日時	運休列車本数	運休料
福武線	武生新←→福井駅前	9月10日 12時00分	9月10日 19時20分	急行 30本	604.0 ^K
	水生落←→田原町	" "	" "	準急 17	231.2
	武生新←→福井駅前	" "	" "	普通 30	604.0
	武生新←→福井新	" "	" "	貨物 4	71.2
	田原町←→福井駅前	" "	" 19時30分	ローカル 64	57.6
南越線	社武生←→戸ノ口	9月10日 12時00分	9月10日 21時30分	普通 37 貨物 2	506.1 19.4
鯖浦線	水生落←→織田	9月10日 12時00分	9月11日 3時55分	普通 40	602.1
計				224本	2,695.6 ^k

昭和40年9月17日台風24号による列車運休調

線 別	運休区間	運休始日時	復旧日時	運休列車本数	運休料
福武線	武生新←→福井駅前	9月17日 18時40分	9月18日 8時15分	急行 21本	416.8 ^k
	水生落←→田原町	" "	" "	準急 9	122.3
	武生新←→福井駅前	" "	" "	普通 26	525.9
	武生新←→福井新	" "	" "	貨物 2	35.6
	田原町←→福井駅前	" "	" 8時00分	ローカル 66	118.8
南越線 (バス代行)	社武生←→戸ノ口	9月17日 18時40分	9月18日 14時30分	普通 60 貨物 2	594.7 28.6
	社武生←→北村	9月17日 18時40分	" 8時00分		
	粟田部←→戸ノ口	9月17日 15時30分	" 14時30分		
鯖浦線	水生落←→織田	9月17日 18時40分	9月18日 8時10分	普通 27	407.7
計				213本	2,250.4 ^k

21. 電力関係の被害

北陸電力の被害は特に甚だしく、その額は6億6千万円の巨額に達した。他方三方、遠敷・大飯三郡を区域とする関西電力については、幸い被害軽く復旧も順調に進んだ。両社の被害状況は夫々次のとおりである。

県営中島発電所は5億2千5百万円の被害をうけたが、昭和41年1月29日実に、38日ぶりようやく発電開始となった。

(一) 北陸電力福井支店管内の被害

(1) 被害額総括表

ア、設備別被害額

災害別		台風23号 (千円)	集中豪雨 (千円)	台風24号 (千円)	合計 (千円)
業務		2,637	—	70	2,707
配電		14,945	10,915	3,592	29,452
発電	電気	951	28,608	—	29,559
	土木	—	265,650	7,100	272,750
変電		1,500	—	350	1,850
送電		504	16,658	—	17,162
通信		400	13,116	520	14,036
その他補償費		—	3,000	—	3,000
合計		20,937	337,947	11,632	370,516

イ、損失電力量

災害別	停止電力量 (KWH)	被害額 (千円)	備考
台風23号	1,005,710	4,314	10日～13日まで
集中豪雨	4,368,330	18,740	14日～16日 "
台風24号	6,706,320	28,770	17日～20日 "
小計	12,080,360	51,824	
9月21日以後復旧までの推定	57,084,900	244,894	21日～以後復旧までの推定 富田、五条方、壁倉、栗野各発電所
小計	57,084,900	244,894	
合計	69,165,260	※ 296,718	

※ 39年度1KWH当りの総合単価4円29銭
総被害額 667,234千円

(2) 発電停止電力量

	23号台風による 停止電力量 (10日~13日) KWH	洪水による 停止電力量 (14日~16日) KWH	24号台風による 停止電力量 (17日~20日) KWH	21日以後の予想 停止電力量 KWH	合計 KWH
停止電力量	1,005,710	4,368,330	6,706,320	57,084,900	69,165,260

(3) 発電設備 損害額 機械 22,405千円
土木 272,750千円

	23号台風	洪水	24号台風	計	備考
発電所浸水		2カ所		2カ所	
えん堤破損		10カ所	4カ所	14カ所	
水路		5カ所	2カ所	7カ所	
沈砂池		2カ所	1カ所	3カ所	
その他		6件	4件	10件	
堆砂、出力減退	17カ所	12カ所	16カ所	45カ所	
水路配電線 支持物	1基	1基		2基	
	1基		1基	2基	
		7基		7基	
電線断線	1径間		40径間	41径間	
その他	1件				

(4) 送電線路 損害額 16,962千円

	23号台風	洪水	24号台風	計	備考
支持物	61基			61基	
		2基		2基	
		7基		7基	
その他	2件			2件	
電線	5径間条断線	27径間条減失		32径間条	

(5) 通信関係 損害額 14,036千円

	23号台風	洪水	24号台風	計	備考
不通回線	41回線	14回線	10回線	65回線	
支持物	1基			1基	
	120基	1基		121基	
	5基			5基	
通信線器	164径間条断	85基	148径間条断	85基	
		512径間条断 4件		824径間条断	

(6) 建物関係 損害額 10,911千円

	23号台風	洪水	24号台風	計	備考
業務設備	62件		1件	63件	各営業所および社宅屋根破損他 五条方取入見張所流失および各発電所屋根他 各変電所屋根破損他 各方面事務所屋根破損他
発電設備	19件	12件		31件	
変電設備	19件		1件	20件	
送電設備	18件			18件	
合計	118件	12件	2件	132件	

(7) 配電設備

ア、配電設備被害状況総括表

		台風23号	台風24号	集中豪雨	合計
供給支障状況	施設ファイダー数	170	170	170	170
	延停電ファイダー数	143	47	8	198
	戸数	155,000	48,000	4,700	207,700
	送電完了日時	9/11 18:15'	9/18 15:00'	9/21 17:35'	—
供給支障主要地域	福井県下域全	福井県下域全	大野市、大野郡勝山市	—	
被害状況	流失(本)			113	113
	倒壊(〃)	71	12	21	104
	折損(〃)	40	4	9	53
	その他(〃)	1,177	141	62	1,380
	電線(径間条)	1,572	311	654	2,537
	変圧器(KVA/台)	506.5/56	219.5/22	172.5/25	898.5/103
	その他機器(台)	57	12	6	75
引込線(口)	1,611	259	113	1,983	
作業員(延人)	1,989	671	743	3,403	
機動力(延台)	353	115	83	551	
復旧費(千円)	14,945	3,592	10,915	29,452	

イ、台風23号による停電状況

	供給支障ファイダー数					停電戸数	停電KW
	発生	完了	停電				
			一部	全部			
9月10日 12時現在	14	2	10	2	10,350 ^戸	5,500 ^{KW}	
※ " 15時 "	121	10	12	99	123,000	83,000	
" 18時 "	141	72	34	35	57,000	45,000	
" 21時 "	141	104	35	2	20,000	16,500	
" 24時 "	141	122	18	1	3,330	1,000	
9月11日 9時 "	143	129	14	0	1,720	300	
全送日時	9月11日 18時15分						

※印は最大停電時

ウ、台風24号による停電状況

	供給支障ファイダー数				停電戸数	停電KW
	発生	完了	停電			
			一部	全部		
※9月17日 21時現在	26	9	13	4	7,040 ^戸	3,800 ^{KW}
" 23時 "	40	22	14	4	5,270	2,200
9月18日 1時 "	44	28	16	1	2,480	1,000
" 5時 "	44	33	11	0	1,600	600
" 12時 "	47	39	8	0	650	300
全送日時	9月18日 15時00分					

※は最大停電時

エ、奥越集中豪雨による停電状況

主要被害部落	停電日時	送電日時	送電戸数	全戸数
西谷村 黒当戸	9/14 22*00'	9/21 17*35'	15戸	15戸
" 巢原	" "	9/20 14*30'	48	48
" 中島	" 22*20'	9/19 17*00'	40	106
" 上笹又	" "	9/18 17*30'	10	37
" 下笹又	" "	" "	22	22
大野市 上若生子	" "	9/17 17*00'	42	44
" 下若生子	" "	9/16 17*00'	3	20
" 佐開	" 23*30'	9/16 21*30'	46	48
和泉村 上大納	9/15 10*00'	" 16*30'	55	58
大野市 六呂師,石谷	" 13*18'	" 11*30'	108	108

○全戸数は災害前の戸数である

(二) 関西電力(株)舞鶴営業所管内の被害

(1) 台風23号関係

設備別	被害	復旧	その他
1. 水力発電設備	なし		
2. 送電設備	木柱傾斜 9カ所 支線断線 1カ所 素線切れ 2カ所	9月12日 完了 " " 12月11日 完了	被害総額 ¥ 40,000
3. 変電設備	なし		
4. 配電設備		9月10日~11日 13時 全線送電完了	被害総額 ¥ 850,000 人員 160名

設 備 別	被 害	復 旧	そ の 他
計	電柱倒壊	1	被害総額 890,000 人員 (160名)
	” 折損	2	
	” 傾斜	40	
	電線高圧断混線	47	
	” 低圧断混線	67	
	変圧器	0	
	引込線断混線	153	

(2) 台風24号関係

設 備 別	被 害	復 旧	そ の 他	
1. 水力発電設備	耳川 P/S	発電不能	被害額 4,700,000	
	(1) 堰堤護岸流失延長	50m		12月3日 支水路復旧 41.7. 末 予定 本水路
	(2) 水路欠壊延	130m		
	(3) 水路橋欠壊	2カ所		
	(4) 水路閉塞	3カ所		
	(5) 水路護岸崩壊延長	20m		
	熊川 P/S	2日間発電不	被害額 256,000	
	(1) 第2堰堤損傷			
	(2) 水路閉塞	3カ所		
	(3) 第1堰堤橋流失			
2. 送電設備	木柱傾斜	7カ所	被害額 37,000	
3. 変電設備	被害なし			
4. 通信設備	断線	3カ所	被害額 1,135,000	
	樹木接触	2カ所		
	木柱流失	2本		
	ハインド外れ	2カ所		
5. 配電設備	電柱倒壊	17	被害総額 3,500,000 人員 360名	
	” 折損	1		
	” 傾斜	45		

設 備 別	被 害	復 旧	そ の 他
	電柱流失	15	
	電線高圧断混線	37	
	“ 低圧断混線	22	
	“ 流 失	42	
	変圧器破損	被害なし	
	“ 焼 損	“	
	“ 流 失	“	
	引込線断混線	173	
	“ 流 失	31	
計			被害総額 ¥9,628,000 人員 (360名)

(三) 福井県営中島発電所

発電所所在地 大野郡西谷村中島
 最大出力 18,00キロワット
 年間供給電力量 100,700,000キロワット時

(1) 被害の状況

昭和40年9月14日 停滞不連続線の影響により大野郡西谷村中島を中心に襲った集中豪雨のため、早朝からの降雨は日を徹して降り続き、14日午後6時、発電所全職員を非常召集し発電所構内の防水作業に努めたが、降り続く雨は午後8時30分、遂に水車室に浸水し始め、加えて地下水も所内の井戸、排水口附近から浸入が甚しいため、排水能力を超える状態となり、午後10時30分、水車下部室がまず冠水し、油類が流失し同50分、水車メタルにも浸水し始めたため、危険を感じ運転を停止する止むなきに至った。

この時刻で笹生川の水位は発電所前の路面下50cm程度となり、職員は所内の防水に望みをすてず、逆送受電により、排水ポンプを運転し、発電所内への流入水の封塞に努めた。

一方笹生川ダムの水位も刻々と上昇、15日午前2時10分には満水位のEL528mを突破したので、放流を開始した。午前4時に至り遂に濁流は発電所の玄関入口扉および本館シャッターを押し破り、瞬時にして配電盤、配電機室および発電機室等に流入した。

この時をもって排水活動は絶望となり、無線連絡を保ちつつ状況の確認をはかるのみとなった。午前6時56分所内電源も断絶し外部との連絡はまったく途絶した。

午前9時30分所内の水位は1.5mに達し作業は困難となり危険はつるばかり、所員2名の状況監視要員を残し全員本館屋上より退避した。

午前11時50分、構内の修理工場および予備品倉庫が発電所上流の溪流土砂により崩壊流出し、所内では発電機コイルも冠水し、12時発電機スラストクが中央まで冠水し、同30分屋外照明塔は倒壊、河川の流心は、発電所に向って偏位し、本館建物は河心の濁流中に孤立する状況となった。

午後1時77KVアレスター流出、500KVA所内変圧器は水流に没し、主変圧器も70%冠水し、配電盤室も床上2mに達し最後の職員も危険が迫ったので、本館屋上から足場用(塗装工事中)の丸太を伝って脱出した。

その後水位の上昇は止まったが土砂の推積は著しく前面笹生川の河床は4m上昇し、屋外変電所、発電所屋内は1.5m以上の土砂で埋る状況となった。

この大災害にも発電所職員は沈着に行動したため人的被害は免れたが、家族に死亡1名を出した事は気の毒である。

なお9月14日より15日まで降り続いた雨量は1,044mmとなり、九州諫早地方を襲った災害に次ぐ記録で、被害の大きさをうかがうことができる。

調査の結果中島発電所の被害額は次のとおりである。

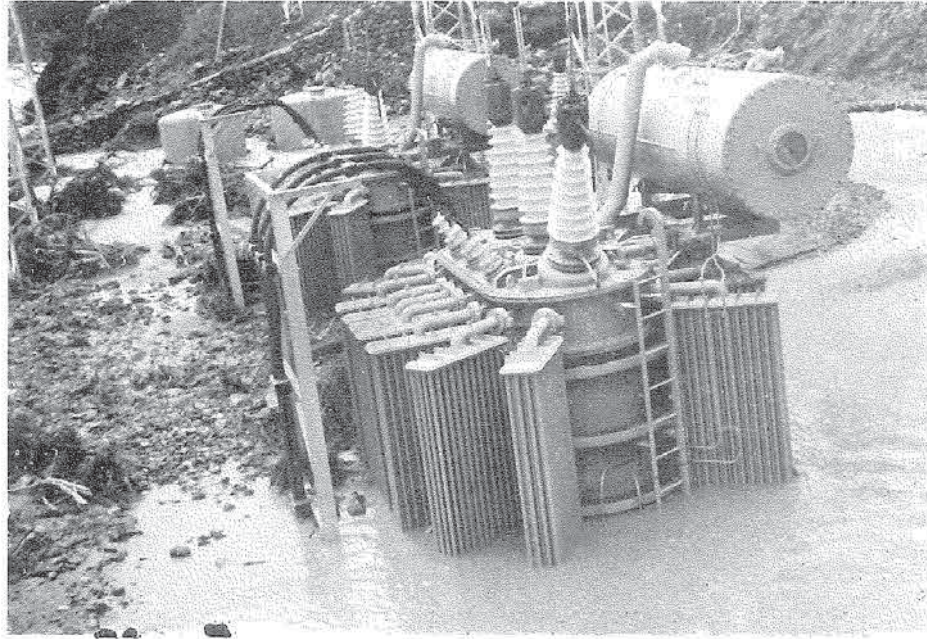
- (1) 電気機器関係 180,000,000円
- (2) 土木関係 110,000,000円
- (3) 県有建物関係 15,000,000円
 - 公 舎(鉄筋コンクリート7戸建) 2階建 階下埋没
 - 〃 (木造 2棟) 2 〃 〃
 - 職員合宿所(〃 1棟) 2 〃 半倒壊階下埋没
- (4) 備品類関係 40,000,000円
 - 車輜船舶類(ジープ・ブルドザー自動二輪車) 埋没流失
 - 電気工具一式 工作機 埋没流失
 - 貯蔵品一式 埋没流失
- (5) 営業中止による料金収入減 180,000,000円
 - 復旧を要する期間 6ヵ月(予定)
- (6) 被害総額 525,000,000円
- (7) 福井県営中島発電所施設概要図
別 紙
- (8) 福井県営中島発電所 被害写真



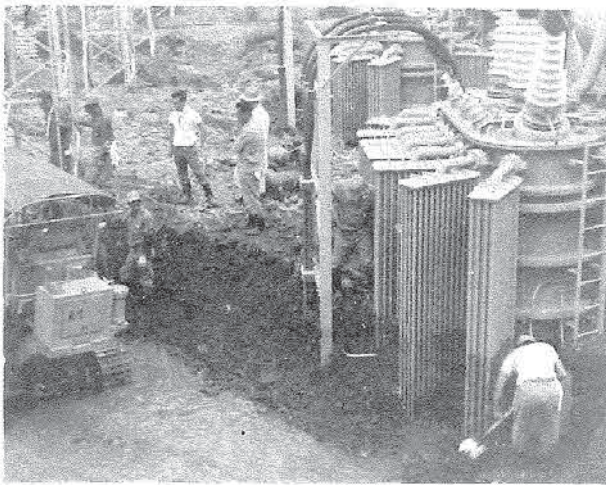
笹生川の流心に孤立した
中島発電所
(鉄管路より望む)



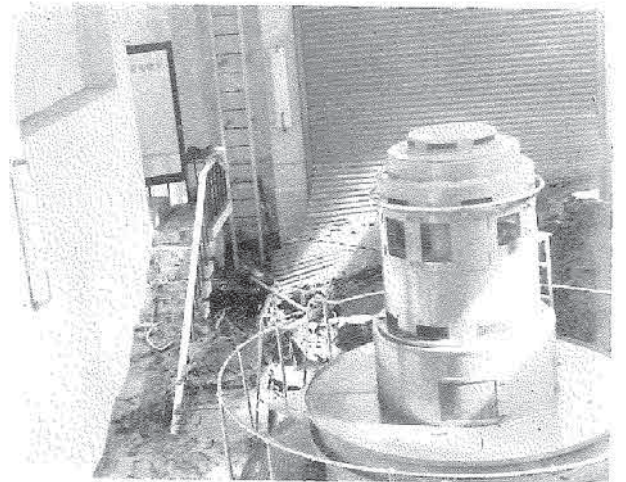
濁流で荒された
発電機室



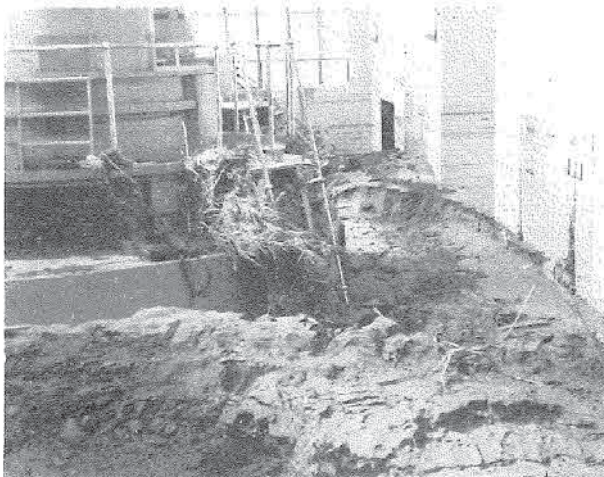
屋外変電所の主変圧器埋没



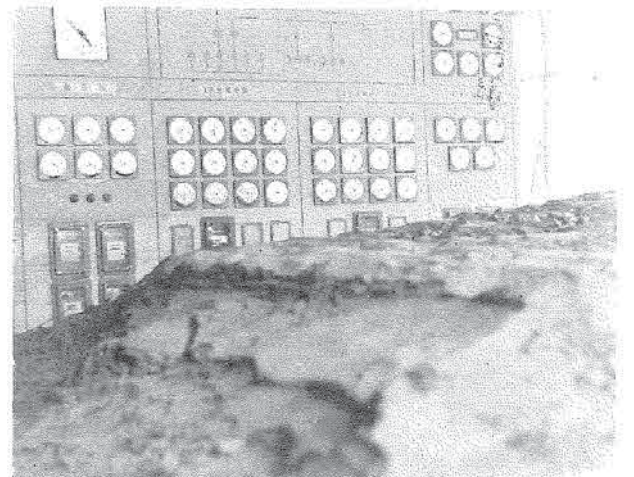
発電機室土砂流れ



屋外変電所主変圧器附近



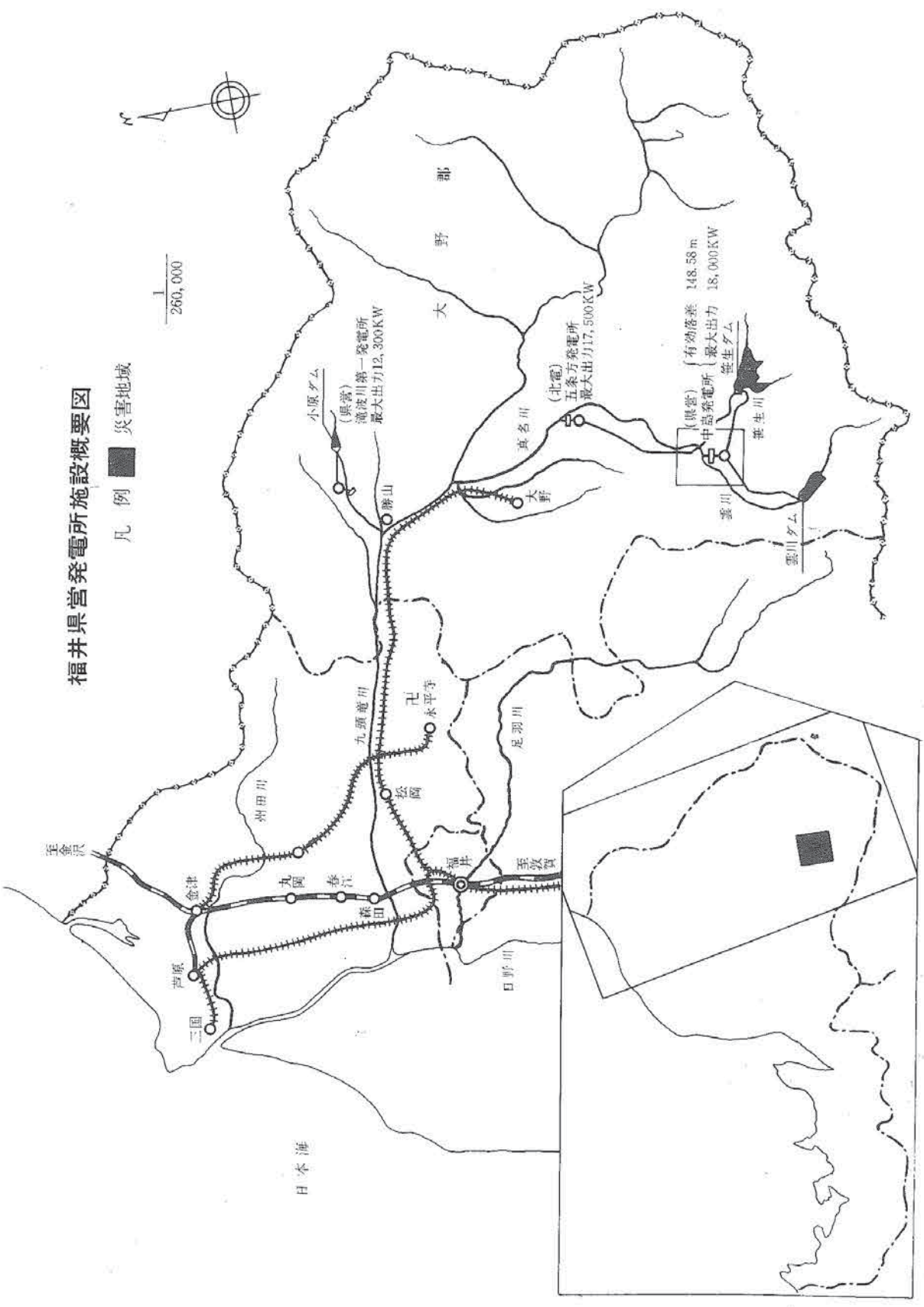
発電機室の土砂流れ



配電室の土砂流入

福井県営発電所施設概要図

凡例 ■ 災害地域



(2) 被害対策と復旧状況

9月14日夜半、中島発電所から集中豪雨により、危険との連絡を受けたので、取りあえず保安上の指示をし翌朝直ちに応援隊を送る旨連絡、15日早朝第一次調査隊（企業局職員にて構成）を編成し現地への派遣準備を整えた。

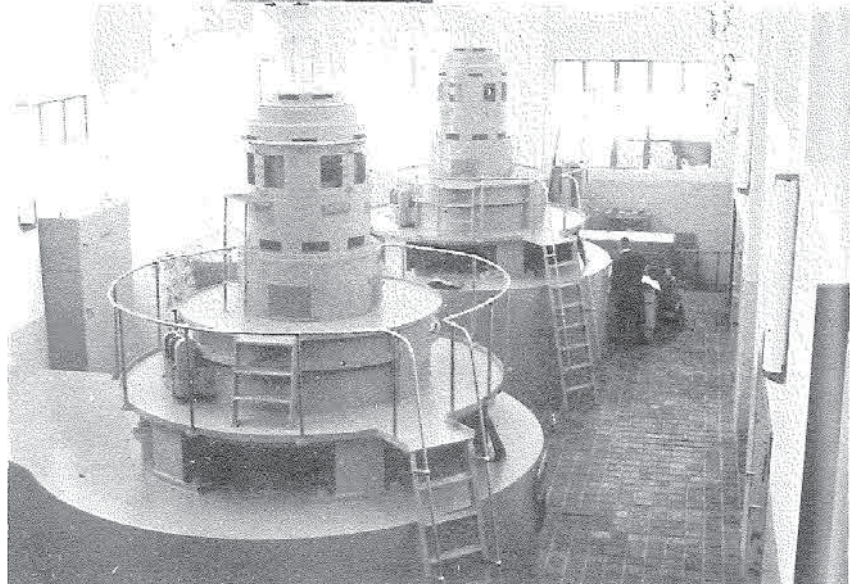
ところが大野市上庄地区の洪水と県道の決壊によって通行不能であるとの連絡で翌16日早朝大野市から出発の止むなきに至り、16、17日の両日現地調査を行ない、17日夕刻福井市に帰着したが、余りの被害の大きさに今後の復旧対策を検討するため、夜を徹して協議を続行した結果、電気土木工事関係業者に連絡をとり、早急に発電開始が出来得る様準備を整えるとともに、本災害復旧事業に関連する資金対策として、急拠融資あつ旋方を自治、大蔵両省に陳情するよう方針を決定した。

なお現地に中島発電所復旧本部を設けるため、企業局電気課長を長とした総員32名（中島発電所職員も含む）を現地に派遣することとし、20日出発した。

土木業者は最初発電所建設（建屋）に従事した酒井建設工業KKに依頼し、電気関係については、発電機その他の納入者である富士電機製造KKに現地調査を依頼し土木工事の進捗をまわって、現地に到着することとなり、土木工事は、9月19日より工事用機材等を空輸し、20日より本格的工事に入ったが、たのみの道路は寸断され種々工事に支障をきたしておったが、10月16日、各関係者の協力と努力によって仮設道路の完成をみ土木工事は急速に進捗し発電機器関係も、冬季間の積雪で通行不能となるを予想して、12月25日までに部品類の輸送を完了、明けて正月休みをも返上して努力した結果、各作業は急ピッチに計どり、当初予定より約1カ月早く復旧工事の完成をみ引続き発電機器関係の諸試験も合格、1月29日138日振りに中島発電所は、40.9三大風水害復旧工事のトップを切って営業運転に踏み出し同発電所の運転再開は災害復旧のゆきなやみにとまどう西谷村民に明るい希望を与えたことは云うまでもなく、この災害復旧事業にたづさわった全職員が一丸となって万全を期したことを忘れてはならない今後このような大災害が二度と起らないよう祈りたい。 福井県営中島発電所 完成写真



138日振りの運転再開
スイッチを入れる森企業局長（昭41.1.29）



完成した発電機室

22. 電信電話施設の被害

(一) 概 況

通信施設は、全県下広範囲にわたり主として屋外の線路設備の被害が発生し、福井電気通信部管内の40・9三大風水害による被害は、改良復旧工事費を含め8,400万円以上の多額にのぼった。台風23号による設備被害が現われた9月10日福井電気通信部では災害対策本部を開設して復旧対策を協議し今回の台風被害が相当大であると予想し、これに対処するため建設工事を一部中止し、請負業者を動員して迅速な応急復旧工事が展開できるよう必要資材や要員の準備を行い、管内各局に発生した強風のためトタンその他飛来物の激突によるケーブルの損傷、電柱倒壊、傾斜による加入電話線、市外電話回線の障害復旧を急いだ。市外電話回線の障害が大半回復した頃、集中豪雨、台風24号が重ねて襲来し、台風23号被害の2倍に及ぶ災害を奥越地方と若狭地方を中心として県下一円におよぼした。



(二) 主 な 被 害

県下の主な通信被害概要および応急復旧の状況は下表のとおりである。

被害項目	被害概要	応急復旧の状況
西谷局孤立	西谷郵便局が雲川、笹生川の合流地点附近に位置していたため幸い局舎は流されなかったが、一階は大小様々な石で埋まり交換機、その他は使用不可能、市内線路、市外線路も壊滅的な被害を蒙り西谷局は孤立した。	9月15日朝、特別復旧作業隊を編成して雨の中を笹又峠越えで下笹又部落に着き、連絡電話線を開通させ、翌日第二次派遣隊と一部交代し濁流渦巻く川にすべり落ちそうな山麓をぬって中島部落に到達し、木立に通信線をひっかけて文字通りの決死的作業により大野西谷線を開通させた。

被害項目	被害概要	応急復旧の状況
大野市君ヶ代橋 添架ケーブル 流失	五箇、坂谷、中龍、下穴馬方面にのびている市外ケーブル(200回線用)と君ヶ代橋以遠に存在する大野局市内加入者を収容している市内ケーブル(400回線用)が君ヶ代橋に添架されていたところ、奥越豪雨により橋の先方側たもとの道路が堤防諸共九頭竜川の増水により押し流されたため、地下管路ケーブルと添架されていた前記ケーブルを引き千切って流失し、市外回線約50回線と市内加入者の100回線以上の障害をだした。	200回線用ケーブルを福井より運搬して架渉し、接続する仮復旧工事を施行し、17日開通させた。
勝山市北折橋附近 市内ケーブル 流失	勝山市内の北折橋が橋のたもとで大きくえぐられたため、橋の一部と添架してあった市内ケーブル(600回線用)が流失し、地下管路の部分まで引張られたので、収容された加入者の300回線程度が障害を受けた。	とりあえずR.Dワイヤーで36加入者を救済できるよう仮開通し、9月22日全加入者が開通できるようケーブルを切替えた。
三国新保橋 添架ケーブル 流失	九頭竜川の氾濫にともない、新保橋にかかっていた三国局市内ケーブル(200回線用)が一部流失し、新保方面加入者100回線程度が不通となった。	臨時に無線機(3回線用)を三国局と新保農協事務所間に設置し、ケーブル復旧までの間通信連絡の用に供した。その後200対ケーブルにて完全復旧工事を行った。
小浜・高浜間 全市外線不通	台風24号により、樹木の倒壊傾斜による裸線の混継線がみられ、小浜より高浜、舞鶴方面への市外電話回線が全回線不通となった。	北陸電気通信局の手配で、金沢工事事務所の線路課職員8名が自動車で小浜局管内に応援隊として駆けつけ、応急復旧作業を行ない、9月18日より19日にかけて全回線の障害を恢復した。

(三) 被害状況

施設別	被害項目	単位	工	程	福井	大野	勝山	三國	芦原	武生	鯖江	敦賀	小浜
内線	電柱	流(焼)失	(6)	68	1	51	9				(1)	1	3
		損壊	(71)	319	39	19	(5) 13	8	(12) 14	22	(4) 39	(9) 55	(3) 110
支線		損傷	(128)	944	243	60	(8) 55	33	(7) 5.3	123	(9) 226	(4) 58	(4) 93
		流(焼)失	(3)	55		53	2						
裸線		損壊	(58)	416	41	29	(2) 5	6	(9) 18	59	(7) 23	(7) 144	(3) 91
		損傷	(29)	184	10	4	23	7	(2) 4	31	(1) 45	(5) 49	(2) 11
RDワイヤー		流(焼)失	(1.1)	6.4		5.4	1.0						
		損壊	(16.4)	161.3	13.5	7.3	1.8	0.5	(3.9) 16.1	28.0	(0.2) 9.1	(0.9) 37.8	47.2
配端子函		損傷	(0.7)	115.2	26.1	19.7	24.1	0.7		1.3	(0.7)	34.6	8.7
		流(焼)失	(0.7)	4.2		3.7	0.2					0.1	0.2
50対以下架空ケーブル		損壊	(5.7)	41.8	3.2	5.4	(0.3) 6.4	2.9	(0.6) 3.5	13.1	(0.2) 3.3	2.8	(0.2) 1.2
		損傷	(1.3)	3.1	2.6	0.2	(0.6)	0.3			(0.4)		(0.3)
800対以下管路ケーブル		流(焼)失		6		6							
		損壊		109	18	6	8	9	3	12	21	16	16
801対以上管路ケーブル		損傷	3	4				1	3				
		流(焼)失	727			727							
51対以上200対以下		損壊	53(7)	11,522.1	4(5)	6	2	5	510	13	5	82	10
		損傷	162.24	9,285.1	51.24	3,084	635	17	2	42	13	4	113
800対以下管路ケーブル		損壊	1	92	1,961.359	88	800	1	1,577	2,177	908	206	1,402
		損傷	28(19)	2,752.281	5(19)	6	2	92		2	11	2	
801対以上管路ケーブル		損壊	199	12,432	87	12	12	3	2	45	30	5	3
		損傷	12	1,229.1	3,718	1,835	1,200	457	67	1,423	1,892	1,128	712
管路		損壊	2	100	2	242.1	861			1	1	100	
		流失	2	213.4		180	33.4						
MH(直2)		損壊	2	134.4		1	1						
		流失	1	1		1	56.4						
電柱		流(焼)失		42	1	35	6						
		損壊	(15)	31	13	8			4	4			2
装荷総輪		損傷	(7)	334	231	4	11	11		12	34	3	28
		流(焼)失	(22)	685	624	17			31	1			12
200対管路ケーブル		損傷		472	463	6				2			1
		損壊		0.1						0.4			0.1
200対架空ケーブル		損傷		107.3	102.4								4.5
		流(焼)失		0.04									0.04
200対架空ケーブル		損壊	2	2		2							
		損傷	1	300		1				1			
54対		損壊	1	1,986		2							
		損傷	3	752		3							
200対架空ケーブル		損傷	1	(474)		1							
		損壊	1	119		64				1			
200対架空ケーブル		損壊	1	233		1							
		損傷	1	(474)		1							
50対		損壊	2	170		2	170						
		損傷	526			526							
30対直埋ケーブル		損傷	1	(173)		1							
		流失	5	64		4							
管内電話機		流(焼)失	1	200m ²									
		流(焼)失		72		24	10	1		29	2	6	
公共電話室		流(焼)失		29	19				1	6	1		
		損傷	1	1								1	
手動交換機		損傷	1	1									
		流(焼)失	50回線	5		西谷							
試験弾器		流(焼)失	20回線	9		西谷							
		損傷	101号B	2		西谷						西田	5
局内ケーブル		流(焼)失	50			西谷							
		損傷	1	1		西谷						西田	71
VR「J」中継線		流(焼)失	6			西谷							
		損傷	2	2		西谷						西田	1
密閉型避雷器		流(焼)失	500			西谷							
		損傷	250			西谷			250				200
PBX		流(焼)失	1	1									
		損傷											

注 () は改良復旧工事の別掲である。

(四) 応急復旧工事工程調書

施設別	復旧項目	単位	工程	局別				内訳				
				福井	大野	勝山	三国	芦原	武生	鯖江	敦賀	小浜
内線	電柱新設	木	371 (8)	32 (8)	68	22	8	14	25	41	56	105
"	"	撤去	319	39	19	13	8	14	22	39	55	110
"	"	修理	944	243	60	55	33	53	123	226	58	93
"	支線新設	糸	469 (22)	41 (22)	82	7	6	18	59	20	144	92
"	"	撤去	416	41	29	5	6	18	59	23	144	91
"	"	修理	184	10	4	23	7	4	31	45	49	11
"	裸線新設	延杆	62.3	4.3	6.3		0.5		2.1		6.0	34.1
"	"	撤去	161.3	13.5	7.3	1.8	0.5	16.1	28.0	9.1	37.8	47.2
"	"	修理	115.2	26.1	19.7	24.1	0.7		1.3		34.6	8.7
"	RDワイヤー	"	61.9 (4.6)	5.9 (3.3)	8.6 (1.3)	6.2	2.9	4.6	17.6	7.4	4.4	4.3
"	"	撤去	41.0	3.2	4.6	6.4	2.9	3.5	13.1	3.3	2.8	1.2
"	"	修理	2.9	2.6			0.3					
"	架渉屋外線	"	0.9 (1.5)			0.2		0.1	0.3			0.3
"	"	撤去	1.0			0.2		0.3	0.3			0.2
"	配端子函	コ	122	18	18	8	9	3	12	21	14	19
"	"	撤去	109	18	6	8	9	3	12	21	16	16
"	"	修理	4				1	3				
"	架空ケーブル	米	1,246 (1,246)	618 (305)	4,290 (941)	1,118	602	2,356	1,173	3,675	932	
"	"	撤去	14,764	618	3,648	2,059	510	2,356	1,173	3,675	934	
"	"	"	190.2		190.2							
"	管路	"	1,584.3	100	497.3	861			26	100		
"	"	撤去	1,329.1	100	242.1	861			26	100		
"	管路	"	347.8		258	89.8						
"	"	撤去	134.4		78	56.4						
"	MH(配)	コ	1	1								
外線	電柱	木	73 (17)	14 (17)	43	6	4	4	4	4		
"	"	撤去	48	13	25		1	4	4			
"	"	修理	276	173	4	11	11	12	34	3	2	2
"	支線	糸	650	576	30		31	1	1			
"	"	撤去	625	576	5		31	1	1			28
"	"	修理	450	441		6		2				12
"	裸線	延杆	0.1									12
"	"	撤去	0.1									1
"	"	修理	108	103					0.4			0.1
"	RDワイヤー	"	(3.5)	(3)	(0.5)							0.1
"	"	撤去	3.5		3	0.5						4.5
"	架渉屋外線	"	(4.7)		(4.7)							0.04
"	"	撤去	4.7		4.7							0.04
"	配端子函	コ	(4)	(1)	(3)							
"	"	撤去	4	1	3							
"	架空ケーブル	米	4,150	3,335	696			119				
"	"	撤去	1,930	1,285	526			119				
"	管路ケーブル	"	297	297								
"	管路ケーブル	米	233	233								
"	装荷線輪	コ	4	3				1				
"	"	撤去	2	1				1				
"	中、高上げ	"	1	1		50						
宅内	引込線	件	1,862	669	181	10	61	39	462	175	40	187
"	"	修理	693	251	28	25	18		161	150		75
"	保安器	コ	1,531	989	85	20	35	15	278	40	6	58
"	"	修理	314	116		2			168	110		
"	地気線	件	464	174	50		18	10	140	70		
"	"	修理	320			10			300			20
"	屋内線	張替	600	340	45	140	36		133	30	6	
"	電池	コ	2,452	516	208	10	165	252	377	218	281	255
"	電話機	取替	72	24		2	1		29	2	6	
"	公衆電話室	取替	29	19				1	6	1		
"	"	修理	1									
手動	磁石式交換機(51号S 50回線)	"	1									
"	"	(50号S 100回線)	1									
"	12号木配線盤	"	2									
"	試験弾器(20回線101号B)	"	3									
"	避雷器(20回線101号A)	"	2									
"	局内ケーブル	"	20									
"	T1静止型信号器	"	116									
"	T2	"	1									
"	その他の	式	2									
"	雜線	"	1									
"	OF 40VAジャック盤	コ	2									
PBX	槽内屋外線	米	250					250				
"	整流器	コ	1					1				

注 上段は仮工程の別掲

() は改良工事の別掲

第三章 救援・救護

第三章 救援・救護

1. 福井県災害対策本部の設置と災害救助の状況

台風23号は9月10日正午ころ、県下各地に主として強風による多大の被害をもたらしながら、本県の沿岸を急速に北上していった。

当日、県では9時30分第1配備を発令、県下全市町村に対して厳重警戒を指示し被害発生防止に努めたが31億以上の被害を受けた。

その後直ちに、これら被害ヶ所の調査を行ないつつ復旧計画を立案中のさなか、9月14日からの前線活動によって奥越地方は1,044mmに達する未曾有の集中豪雨に襲われ、九頭竜川、真名川を始め、同水系の急激な増水により、各所において堤防の破壊、土砂崩れが続発し、同日夜半より刻々報ぜられる被害状況報告に災害救助の万全を期すため必要職員を待機させ緊急事態に備えた。又災害対策に万全を期するため、23時50分「福井県災害対策本部」を設置するとともに奥越地方特に西谷村の被害甚大なる報告に接し、同夜々半緊急本部会議を招集して、現況把握をなすとともに山本出納長を長とする「福井県災害対策本部奥越地方本部」を大野土木出張所内に9月15日に設置し併せて、陸上自衛隊、航空自衛隊に対し、災害派遣を要請した。

9月15日午前2時30分大野市および大野郡西谷村より災害救助法の発動要請に接し、午前4時救助法を適用した。その後勝山市、大野郡和泉村の被害が判明し、両地区に対しても救助法の適用に至り、直ちに、食糧、生活必需品の輸送を始め、各種の救助活動に、全職員不眠不休で救援に当たった。

この様に奥越地方の救助に奔走している最中の9月17日、台風24号がまたも本県を襲い、嶺南から嶺北に至る県下ほとんど全域に被害をもたらし、同日23時30分大飯町への災害救助法適用を皮切りに、次々と被災市町村に対し法を適用し、第1表のとおり14ヶ市町村に及び、県は応急救助を迅速に実施し、民生安定に努めた。

被災市町村は災害発生と同時に、避難所の設置や、炊出しによる食品給与を実施する等、被災民の救済に当たった。被害の甚大であった西谷村、大野市及び三方町に対しては、避難所及び炊出し期間の延長を、特に長期の期間延長を必要とする大野市、西谷村に対しては、炊出し単価の引上げを厚生省に要請する等万全の手配をなした。

災害救助法適用市町村の避難所の設置状況は、第2表のとおり186ヶ所、延収容人員61,608人に達した。

全壊、流失世帯に対する応急仮設住宅の建設は急を要し、且つ、被災民の多くは低所得者で自分の資力では住宅を確保することが困難なため、国の示す基準戸数では救済が万全でないので、厚生省に対し限度引上げを要望し、第3表のとおり170戸を確保し、9月23日には建設に着工することができた。

このように今回の、災害に対して県は、全力を傾注し応急救助の実施にあたり、災害救助法に基づく救助種目を、全面的に活用し、被災地の民生を安定し、災害復旧への意欲を高めるため万全の手配を了したのである。

今次災害に要した救助費の総額は、第4表のとおり40,760千円に及び、福井震災、昭和28年の台風23号に次ぐ救助額となった。

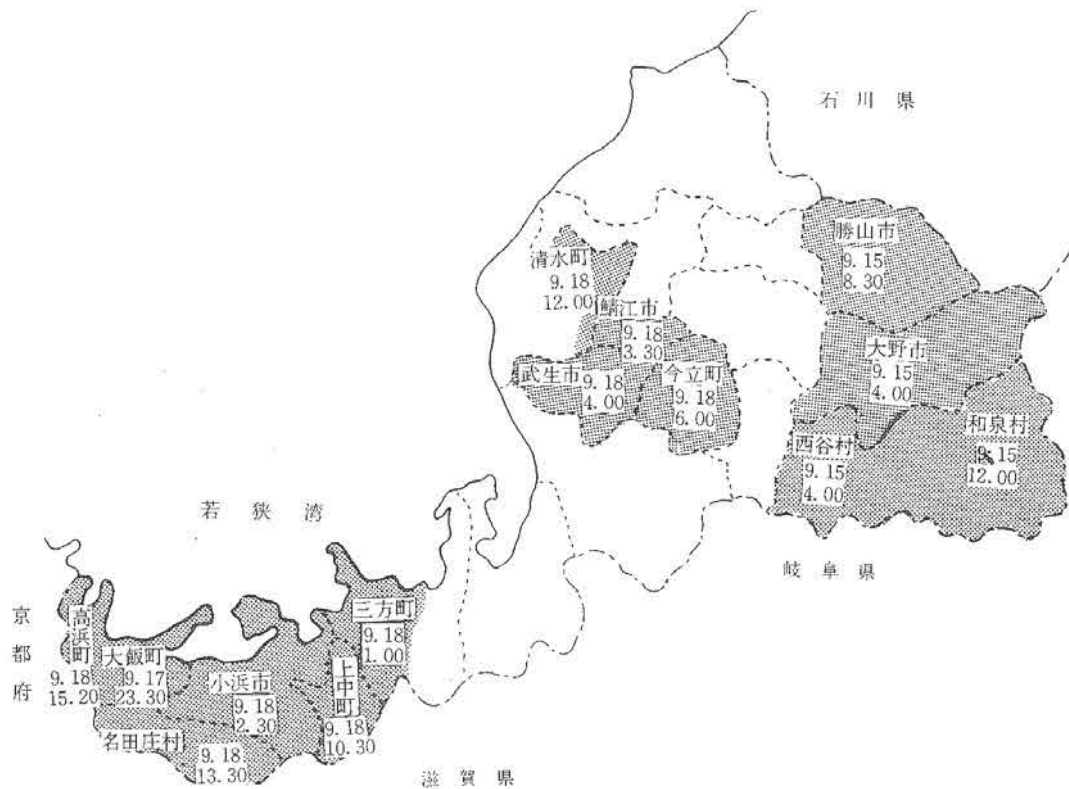


第1表 災害救助法適用状況表

市町村名	適用日時	備考	市町村名	適用日時	備考
西谷村	9月15日 4時	集中豪雨	武生市	9月18日 4時	台風24号
大野市	〃	〃	今立町	〃 6時	〃
勝山市	〃 8時30分	〃	上中町	〃 10時30分	〃
和泉村	〃 12時	〃	清水町	〃 12時	〃
大飯町	9月17日 23時30分	台風24号	名田庄村	〃 13時30分	〃
三方町	9月18日 1時	〃	高浜町	〃 15時20分	〃
小浜市	〃 2時30分	〃			
鯖江市	〃 3時30分	〃	14カ市町村		

災害救助法発動市町村

15市6町3村 数字は発動月日時





西谷村上笹又の被災者収容所

県災害対策本部奥越地方
本部で説明を聞く知事



第2表 避難所設置状況

市町村名	設置箇所数		収 延 人	容 員	日 数	設 置 費	一人当り 平均 設置費
	既 建	野 外 架 設					
武生市	1		84	2	—	—	
小浜市	9		3,797	4	11,200	2.94	
大野市	28		15,206	39	68,325	4.49	
勝山市	10		3,851	7	8,750	2.27	
鯖江市	6	1	262	2	—	—	
西谷村	24		18,241	31	82,040	4.50	
和泉村	3		1,868	4	8,406	4.50	
今立町	2		509	3	2,290	4.50	
清水町	4		1,314	3	5,900	4.50	
三方町	27		10,345	14	46,553	4.50	
上中町	15		1,460	2	3,530	2.41	
名田庄村	20		1,768	3	7,710	4.36	
高浜町	29		1,569	6	7,060	4.49	
大飯町	8		1,334	2	3,085	2.31	
合計	186	1	61,608		254,849	4.13	

2. 応急医療活動

(一) 医療救護活動

災害救助法の発動に伴う医療班は災害救助隊活用計画にもとずき、9月16日大野保健所救護班、所長他三名をヘリコプターにて派遣実状調査に当らせ、9月17より9月22日まで日赤救護班（常備班および現地班）および県立病院救護班が救護に当った。



医療班活動状況

月 日	地 区	受診 人 員	担当医療班	備 考
9. 17	大野市 佐開	18	大野医師会	
"	" 木落	41	日赤医療班	
"	" 下庄小学校	2	大野医師会	
9. 18	" 母子寮	3	"	
"	" 土布子	61	日赤医療班	
"	" 友江			
9. 19	" 本伝寺	46	日赤医療班	
"	" 長勝寺			
"	" 浄勝寺			
"	" 善導寺			
9. 18~19	西谷村 中島	93	日赤医療班	死体検案 1
"	" 上笹又			
"	" 下 "			
9. 20	大野市 浄勝寺、善導寺、 長勝寺、誓念寺、明源寺、 春日、母子寮	40	県立病院医療班	
"	大野市 佐開、木落、蔵生	78	日赤医療班	
9. 21	" 富田地区	58	県立病院医療班	
9. 22	" 誓念寺、善導寺 上五方	54	"	
	計	494		

(二) 緊急医薬品の補給

現地对策本部の要請により緊急薬品を 9月16日西谷村中島地区に、9月17日西谷村巣原地区に9月18日大野市に次のとおり奥越対策本部経由輸送した。

記

クレオソート丸	100丸入	41	繃 帯	5裂	51
健 胃 錠	100錠入	41	絆 創 膏		41
マキユロクローム	25瓦入	61	オキシドール	100cc入	21
アスピリン錠	20錠入	74	アリナミン	100錠	20
硼 酸 軟 膏	500瓦	3	セデス(鎮静剤)	10錠	20
脱 脂 綿	50瓦	42	サ ロ ン パ ス	15枚入	10
ガ ー ゼ	1米	42			

西谷診療所医師の充足について金沢大学に依頼し、同診療所の医師の充足を行った。

3. 防 疫 活 動

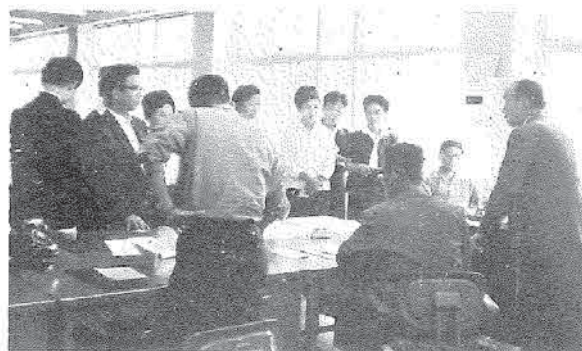
(一) 活 動 方 針

災害発生時における防疫活動は、生活環境の悪化、罹災者の病原菌に対する抵抗力の低下、その他予期せざる社会的悪条件下で行なわれるものであるため、災害対策のうち最も迅速かつ強力に実施する必要がある。今回の大災害発生と同時に福井県災害対策本部公衆衛生班が公衆衛生課に設置された。防疫の方針としては、

- (1) 被害状況の早期把握
- (2) 検病調査と健康診断の実施
- (3) 消毒方法の徹底
- (4) 患者の早期発見と収容
- (5) 予防広報活動の徹底

の5点を重点とし、保健所を通じ市町村を指導した。

なお、防疫作業を計画的に推進するため消毒方法 9月15日から同月28日そ族昆虫駆除21日から10月2日広報活動 9月10日から10月2日と、それぞれ実施の期間を定め、強力斎正な防疫活動を行ない、伝染病の発生防止につとめた。



福井保健所における防疫対策打合せ会風景



消 毒 作 業 (小浜市)

(二) 防疫活動

県下被災市町村においては、所轄保健所職員と協力、迅速かつ強力な防疫作業の推進に当り、伝染病予防に万全を期した。

なお、その状況は次表および次のとおりである。

(1) 消毒方法

県下37市町村17,944戸に対し実施し、これに要した経費は2,519千円と、平年度の一年間に要する経費と比較すると次表のとおりで、約3倍弱に達した。

(2) そ族昆虫駆除

厚生省の承認を得て、県下17市町村13,576戸に対しそ族昆虫駆除を行ない、伝染病の発生防止につとめた。

(3) 検病調査と健康診断

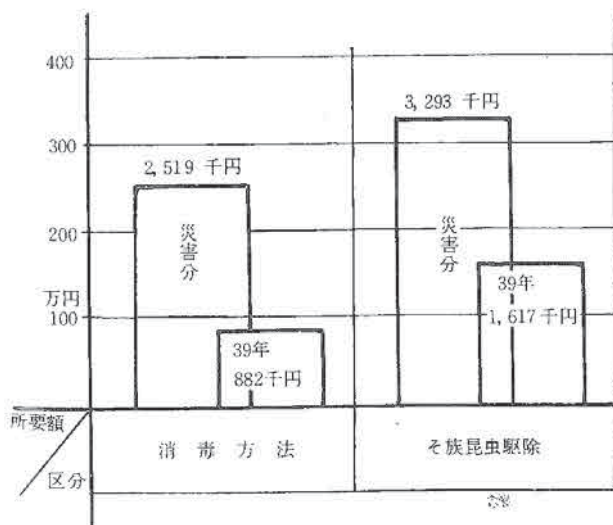
被災地域内における伝染病患者の発生状況を適確に把握し患者、保菌者の早期発見につとめ、患者の収容、汚染物件の消毒その他適切な予防措置を講じるため実施するもので、保健所職員を総動員して延24,426人について検病調査を行ない、そのうち、伝染病の疑いある者403人について健康診断(検便)を行なった。



消石灰到着す(美浜町)



そ族昆虫駆除作業(勝山市)



消毒方法そ族昆虫駆除に要した経費調



検病調査の状況(福井市)

防疫活動状況一覽表

月 日	赤痢患者数			前年赤痢患者発生数			防 疫 活 動 を し て の 防 市 町 村 数	防 疫 活 動 を し て の 健 所 数	保 健 所 職 員 防 疫	水 庁 職 員 の 防 疫	清 掃 方 法 を 行 っ た 戸 数	消 毒 方 法 を 行 っ た 戸 数	そ の 他 の 防 疫 活 動 を し て の 戸 数	人 員 に よ る 伝 染 病 予 防 に 給 う 水 供 給 に よ る 人 員	災 害 救 助 に よ る 人 員	検 病 調 査 人 員	細 数 箇 々 の 実 施 件 数	集 団 避 難 所 数	集 団 避 難 所 の 収 容 人 員	備 考	
	真 症	疑 似	死 者	真 症	疑 似	保 菌 者															死 者
9月15							6	4	41	2		372				254	1,412		61	6,468	
16							7	4	50	2		585				3,624	1,250		61	5,907	
17							31	8	74	10		322				3,809	2,014		146	12,296	
18							32	8	120	9		2,946				4,889	2,590		117	8,774	
19							29	8	115	7		4,305	140			4,704	2,515	2	53	2,766	
20							18	7	101	4		3,682	308			3,942	2,272	80	43	2,385	
21							17	7	83	4		2,476	781			2,624	1,971	50	40	1,814	
22							14	7	70	4		1,665	1,080			2,624	1,922	131	29	1,188	
23							8	5	52	4		1,591	738			254	1,280	46	28	1,773	
24							9	6	51	4			1,461			254	1,460	9	23	1,273	
25							12	6	41	4			1,541			254	1,390	81	23	1,280	
26							10	6	38	2			1,248			254	1,470	2	23	1,283	
27							8	6	38	2			1,430			254	1,530		23	1,280	
28							9	6	36	2			1,845			254	310		18	1,080	
29							7	6	30	3			1,425			254	260	2	18	1,080	
30							5	5	26	2			700			254	260		16	980	
10月1							2	2	10	2			144			254	260		7	260	
2							2	2	10	2			735			254	260		7	260	
計							226	103	986	69		17,944	13,576			29,010	24,426	403	736	52,147	

(4) 予 防 教 育

災害発生時と同時に、新聞、ラジオ、テレビなどにより、伝染病予防について啓蒙するとともに、災害用備蓄チラシ、4万枚を被災家庭に配付し、伝染病の予防につとめた。

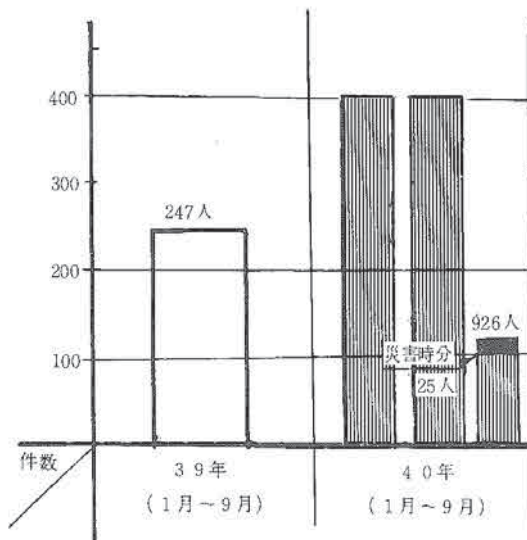
(5) 調 査 指 導

- ア、9月16日 辻川補佐を大野市、稲葉防疫監吏を、とくに被害激甚な勝山市に派遣、被害状況の把握および防疫指導に当たった。
- イ、9月16日 大野保健所長を孤立した西谷村へヘリコプターで急行せしめ被害および防疫の調査指導に当たった。
- ウ、9月18日 厚生省官房長が現地視察のため来福、大協公衆衛生班長が同行、奥越地方の激甚地を視察した。
- エ、9月19日 厚生省防疫課海老原補佐が現地調査ならびに防疫指導のため来福、大協公衆衛生班長、稲葉主事が同行、防疫指導に当たった。
- オ、9月20日、21日、海老原技官、辻川補佐、関主事が若狭地方の被害状況視察ならびに防疫指導に当たった。
- カ、9月24日、大野市土布子部落において、赤痢が発生したため、大協公衆衛生班長、稲葉主事が現地に赴き、防疫指導に当たった。

(三) 伝染病の発生状況

県下の伝染病は、本年に入って各地で赤痢の集団発生があり、今次の災害により、罹災者の病原菌に対する抵抗力の低下、生活環境の悪化などの悪条件により伝染病患者の発生が予想されたが、保健所、市町村職員の努力により最小限にくいとめることができた。

しかし、大野市では、24名、武生市においては、1名の赤痢患者が発生したが、全員隔離病舎に収容し、全員早期に治ゆ、退院をみた。



(四) 災害防疫所要額

(1) 県分

928,661円 (このうち2分の1は、国庫負担)

(2) 市町村支弁分

ア、防疫作業費 6,186,462円

イ、隔離病舎復旧費 1,113,705円

市町村が支弁した経費については、伝染病予防法第24条により、3分の2の県費補助があり、その2分の1は国庫負担となる。

また、「激災法」の適用により防疫作業費については、更に3分の1の国庫負担が行なわれることとなるので、地域指定を受けた市町村は、全額補助されることとなる。

市町村別の伝染病予防事業費の支出状況は、次表のとおりである。

法定伝染病予防事業費(市町村支弁分)調

市町村名	総事業費	収入額	差引額	選定額 ^A (補助) 基本額	県補助額 ^B $A \times \frac{2}{3}$	国庫負担額 ^C $B \times \frac{1}{2}$	備考
福井市	132,800	—	132,800	132,800	88,533		
足羽町	7,110	—	7,110	7,110	4,740		
森田町	34,680	—	34,680	34,680	23,120		
三国町	98,870	—	98,870	28,870	19,246		
芦原町	1,045	—	1,045	1,045	696		
金津町	3,140	—	3,140	3,140	2,093		
丸岡町	13,600	—	13,600	13,600	9,066		
春江町	1,995	—	1,995	1,995	1,330		
川西町	14,100	—	14,100	14,100	9,400		
勝山市	648,580	—	648,580	648,580	432,386		
大野市	1,056,927	—	1,056,927	1,051,727	701,151		
西谷村	112,560	—	112,560	112,560	75,040		
和泉村	35,520	—	35,520	35,520	23,680		
鯖江市	371,836	—	371,836	371,836	247,890		
今立町	252,500	—	252,500	292,500	195,000		
池田町	35,900	—	35,900	35,900	23,933		
朝日町	8,680	—	8,680	8,680	5,786		
清水町	154,040	—	154,040	154,040	102,693		
武生市	608,963	—	608,963	608,843	405,895		
南条町	92,490	—	92,490	92,490	61,660		

市町村名	総事業費	収入額	差引額	選定額 A (補助) (基本額)	B 県補助額 $A \times \frac{2}{3}$	C 国庫負担額 $B \times \frac{1}{2}$	備考
今庄町	40,697	—	40,697	40,697	27,131		
河野村	5,080	—	5,080	5,080	3,386		
敦賀市	85,577	—	85,577	85,577	57,051		
三方町	369,740	—	369,740	369,740	246,493		
美浜町	168,600	—	168,600	168,600	112,400		
小浜市	836,860	—	836,860	836,860	557,906		
上中町	397,570	—	397,570	397,570	265,046		
名田庄村	198,190	—	198,190	198,190	132,126		
高浜町	251,240	—	251,240	251,240	167,493		
大飯町	182,892	—	182,892	182,892	121,928		
30市町村	6,261,782	—	6,261,782	6,186,462	4,124,298	2,062,149	

今次の災害は、その被災地域が殆んど県下全域に及び、とくに大野郡西谷村は甚しいものであった。災害が甚しかったにもかかわらず、災害に基因する伝染病患者の集団発生をみることもなく、また被災隔離病舎の復旧も早急に行なわれ患者の収容に支障を認めなかった。これらは、いづれも各保健所、各市町村防疫担当職員の不眠不休の活動の賜である。

しかし、災害は弱点を突いて繰返し襲うものであることを銘肝して、常に、不時の災害に備えた防疫業務の整備を行なわねばならない。

4. 水防活動

40. 9 風水害は異常気象であったため、県下各市町村水防団および県土木出張所は、早くから準備体勢に入り積極的に水防活動を行い、水災を警戒し、防ぎようし、これに伴う被害を最小限度に止め公共の安全と民生の安定に尽したが、その概況は、次のとおりである。



水防活動状況

水 防 活 動 実 績 表

管理団体名 及 県	水防活動人員		水防活動費			使用(消費)資材費			合計 (A+B)	水防活動を行った主 な河川、海岸湖沼名	水防活動 を行った 期 間	備 考
	水防団 及び消防団	その他	計	出動手当	その他	小計(A)	主要資材	その 他 資 器 材				
福井市	1,598	685	2,283	227,460	206,500	433,960	726,686	175,802	902,488	九頭竜、足羽、日野荒	9.10~9.18	食糧車輻借
敦賀市	305	1,150	1,455	52,000	—	52,000	225,070	2,400	227,470	笨の川、木の芽、井の口川	"	"
小浜市	143	100	243	42,900	—	42,900	51,840	22,135	73,975	日野川、吉の瀬川他	"	"
大野市	162	275	437	—	8,980	8,980	296,600	—	296,600	南川、北川他4川	"	"
大野市	1,747	4,335	6,082	174,700	200,000	374,700	1,912,257	45,540	1,957,797	多田川、清滝川他	"	"
勝山市	1,263	525	1,788	126,300	230,000	356,300	372,590	25,000	397,590	九頭竜川、浄土寺川他	"	"
鯖江市	214	132	346	103,800	—	103,800	121,300	—	121,300	日野川、浅水川、鞍谷川他	"	"
西谷村	56	120	176	—	—	—	210,000	53,000	263,000	真名川、梅生川、雲川	"	"
和泉村	110	250	360	—	168,000	168,000	963,800	243,000	1,206,800	大納川、九頭竜川	"	食糧費その他
三和町	206	604	810	154,400	62,900	217,300	234,000	78,000	312,000	九頭竜川、竹田川、兵庫川	"	"
芦原町	112	170	282	22,400	48,700	71,100	8,700	—	8,700	竹田川	9.10~9.18	"
津町	80	—	80	40,000	4,250	44,250	94,950	3,000	117,950	権世川	"	"
岡江町	70	40	110	42,000	24,000	66,000	20,000	—	20,000	竹田川、兵庫川、田島川	"	"
丸森町	333	165	498	66,600	132,000	198,600	95,000	—	95,000	磯部川	"	"
坂井町	95	40	135	75,000	32,000	107,000	55,000	—	55,000	兵庫川、田島川	"	"
川西町	33	—	33	9,900	—	9,900	31,160	—	31,160	七瀬川、片川	"	"
今池町	42	38	80	4,200	12,000	16,200	28,810	—	28,810	鞍谷川、服部川	"	"
立田町	23	66	89	—	7,500	7,500	21,000	4,200	25,200	水海川、足羽川	"	"
条庄町	51	280	331	—	—	—	62,100	4,900	67,000	日野川他	"	"
南条町	84	240	324	64,000	5,700	69,700	70,390	6,480	76,870	天王川、カヒル川、宅良川	"	"
河野村	80	—	80	40,000	—	40,000	60,200	—	60,200	河野川他	"	"
織田町	100	—	100	30,000	—	30,000	70,050	—	70,050	織田川他	"	"
漕方町	320	500	820	100,000	—	100,000	951,900	—	951,900	日野川、志津川他	"	"
三美町	1,110	1,600	2,710	333,000	34,600	367,600	428,900	83,600	512,500	鱒川他	"	"
美濃町	228	800	1,028	—	—	—	300,150	1,920	302,070	横谷川他8河川	"	"
上中町	610	700	1,310	186,000	—	186,000	120,000	—	120,000	遠敷川、上里川他3川	"	"
名田村	105	275	380	—	45,000	45,000	540,000	—	540,000	南川他4川	"	"
高浜町	200	391	591	—	—	—	80,670	—	80,670	子生川他2川	"	"
大飯町	400	3,502	3,902	—	—	—	152,200	—	152,200	佐多利川他8川	"	"
計	9,880	16,983	26,863	1,894,660	1,222,130	3,116,790	8,325,323	748,977	9,074,300	86河川		
県分							2,451,815	113,600	2,565,415			
合計							10,777,138	862,577	11,639,715			

奥越集中豪雨のときは、県営笹生川ダムの放流も行われたが、その際における県水防本部および土木出張所の水防体制は、次のとおりである。

時刻	項目	水防本部	土木出張所	備考
9月14日 10.30	大雨注意報 (气象台)	第三班勤務 各土木出張所へ連絡	各市町村へ連絡	山添、嶺南地方で70~100所により100~150耗の予報 異状なし
" 17.00	大雨、洪水注意報 (气象台)	第四班を合流し居残勤務 各土木出張所へ同左について指示	各市町村に連絡 水防班待機警戒	山添地方、嶺南で今後更に70~100所により100~150耗の予報 異状なし
21.00	大雨報告 ダム、气象台	ダムの時間雨量70耗の報告あり、气象台と連絡 雨の観測法等について打合せ		
22.00 "	各雨量観測所へ	雨量、水位の状況調査 河川課全員召集 西谷避難開始 ダム放流について指示	各班動員開始	
22.30	水防指令	各土木出張所、企業局、放送局、新聞社、地建、警察 消防々災課へ連絡	各市町村へ連絡 各班警戒に出動	九頭竜川筋洪水の危険あり
23.30	大雨洪水警報	各土木出張所へ連絡、更に 嚴重警戒を指示	各市町村へ連絡	
24.00		中島部落の救出に付き警察と連絡		
"		下流市町村へ危険状態を連絡		笹生川ダム管理事務所職員はその職責を全うする
9月15日 1.00		ダム放流について協議	ダム放流について各市町村へ連絡	
2.30	ダム放流			

台風24号襲来時において、小浜、三方方面において著しい活動が見られた。また9月15日には大野方面、真名川、九頭竜川地域に破堤欠かいのヶ所が続出したため、陸上自衛隊にも、水防の応援を求め、地域住民と一体となって、これにあたった。

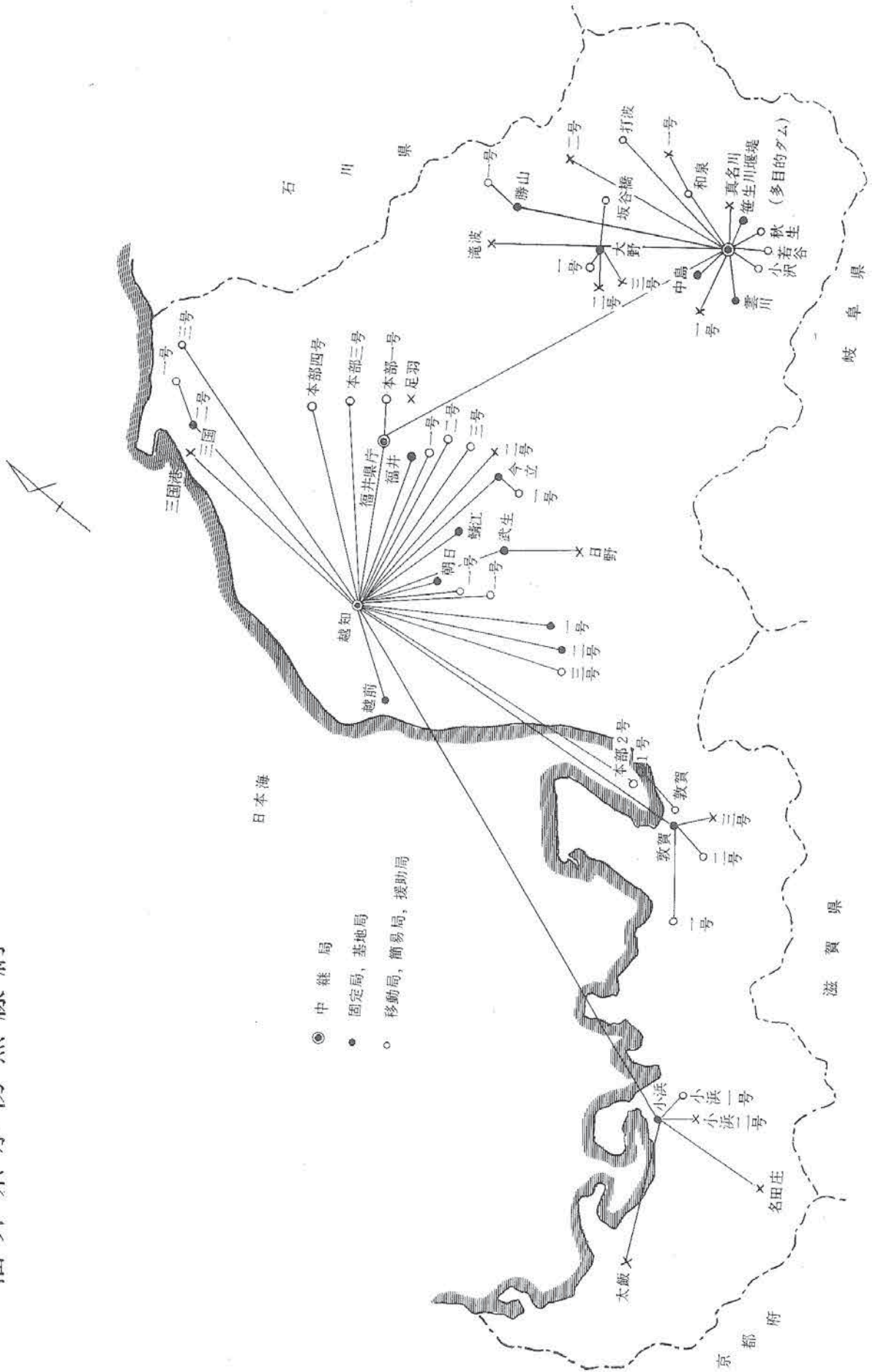
なお県下水防無線網等は次のとおりである。

水防施設現況調

(40.6.25)

区分	38年度	39実施	40計画	計	区分	38年度	39実施	40計画	計
市町村水防倉庫	87	2	5	94	" (ロボット)	1	0	0	1
県 "	2	0	0	2	無線局 (中継所)	2	0	0	2
水位観測所 (自記)	12	1	0	13	" (固定局)	16	0	2	18
" (普通)	40	0	0	40	" (移動局)	24	2	2	28
" (ロボット)	3	0	0	3	投光器	0	7	0	7
雨量観測所 (自記)	16	0	0	16	信号発生器			1	1
" (普通)	7	0	0	7					
【摘要】 昭和39年度購入内訳					昭和40年度予定購入内訳				
水防倉庫	110千円×2棟 = 220千円				水防倉庫	110千円×5棟 = 550千円			
水位観測所	300千円×1 = 300千円				無線局(固定局)	558千円×2 = 1,116千円			
投光器	26千円×6 = 156千円				無線局(移動局)	558千円×2 = 1,116千円			
"	80千円×1 = 80千円				信号発生器	360千円×1 = 360千円			
計	756千円				計	3,142千円			

福井県水防無線網

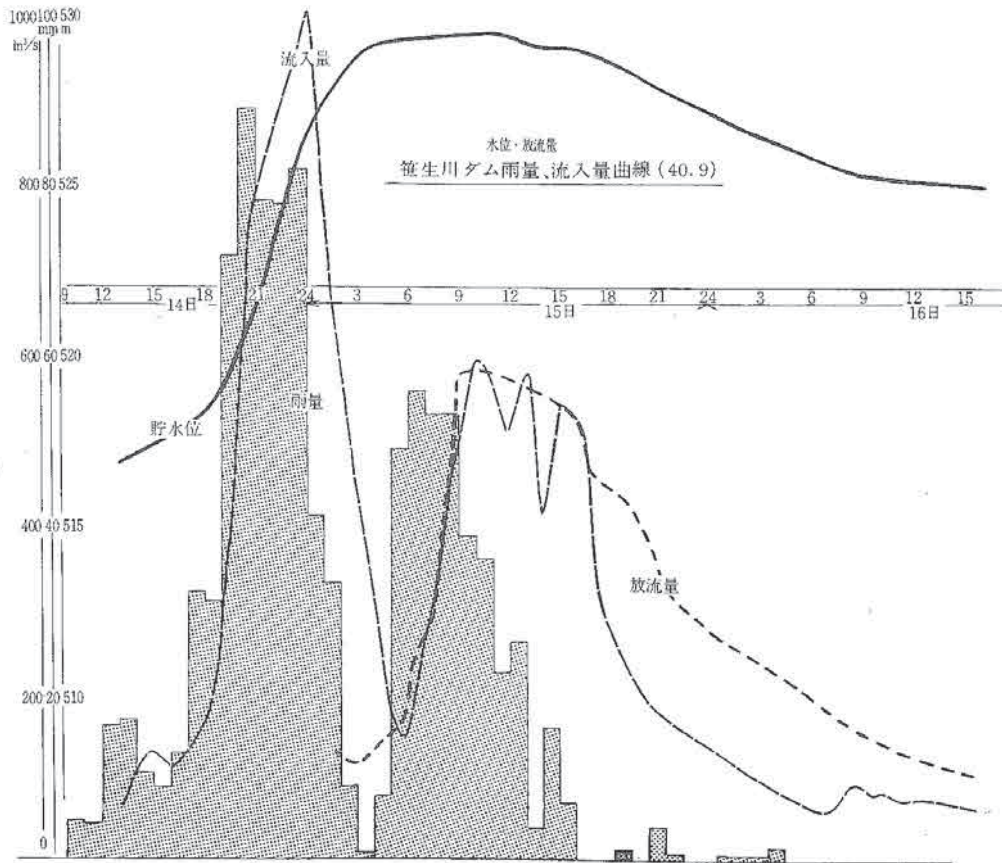


昭和34年度以降水防施設拡充状況

年度別	市町村 水防倉庫	県水防倉庫	県無線機	予備電源	水位、雨量 ポット	備考
34	2		4	0	1	
35	0		4	2		
36	2		6	2		
37	2		4	1	1	
38	2	1	2	1		
39	2		2	1		
40	(5)		(4)	(1)		
40.6 現在	89	2	36	7	4	

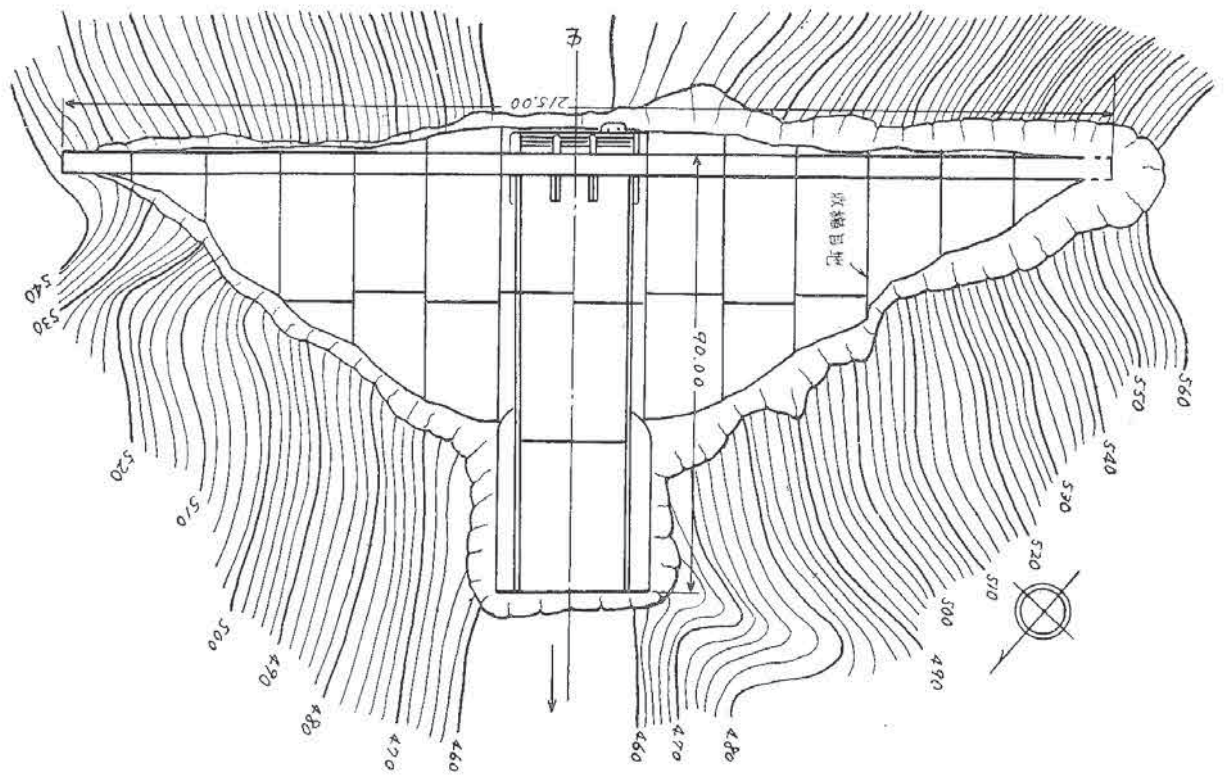
昭和34年度以降水防活動状況

年度別	出水状況	活動状況
34	8. 12~14 台風7号 9. 23~26 伊勢湾台風	和泉死者27名 九頭竜川本川延3,000名
35	6. 27~7.1 梅雨 8. 29~31 台風16号	九頭竜川筋竹田川
36	6. 24~7. 10 梅雨 9. 15~17 第二室戸台風	九頭竜川、日野川、竹田川、南川、北川約2,000名
37	6. 中下旬梅雨 8. 26~28 台風14号	浅水川、鞍谷川、江端川
38	6. 3~5 台風2号と梅雨 7中甸 8. 30 熱低	九頭竜川、日野川他
39	7. 10~21 梅雨 9. 24~26 台風20号	竹田川、吉野瀬川、足羽川 5,000名

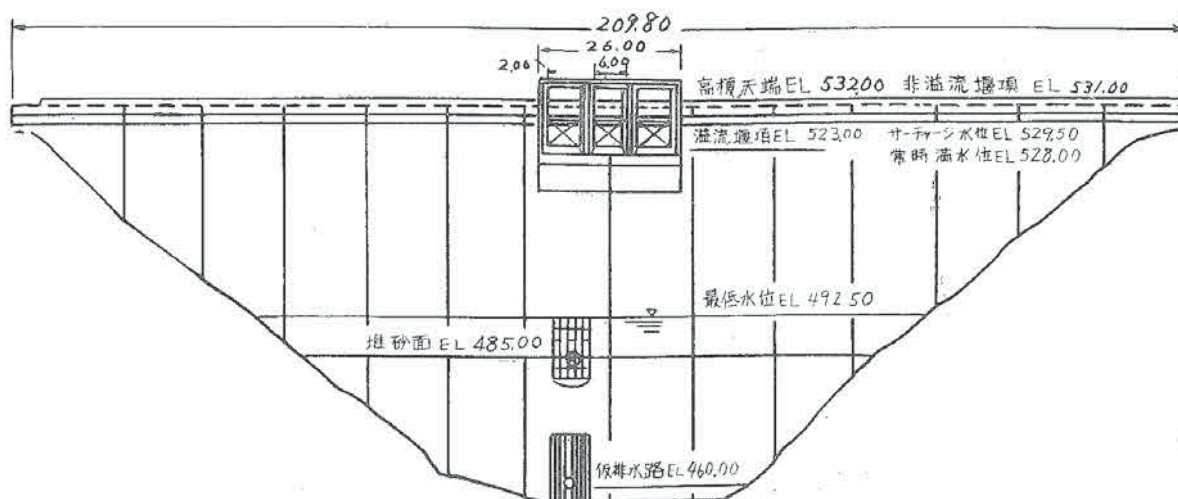




笹生川堰堤附近平面図

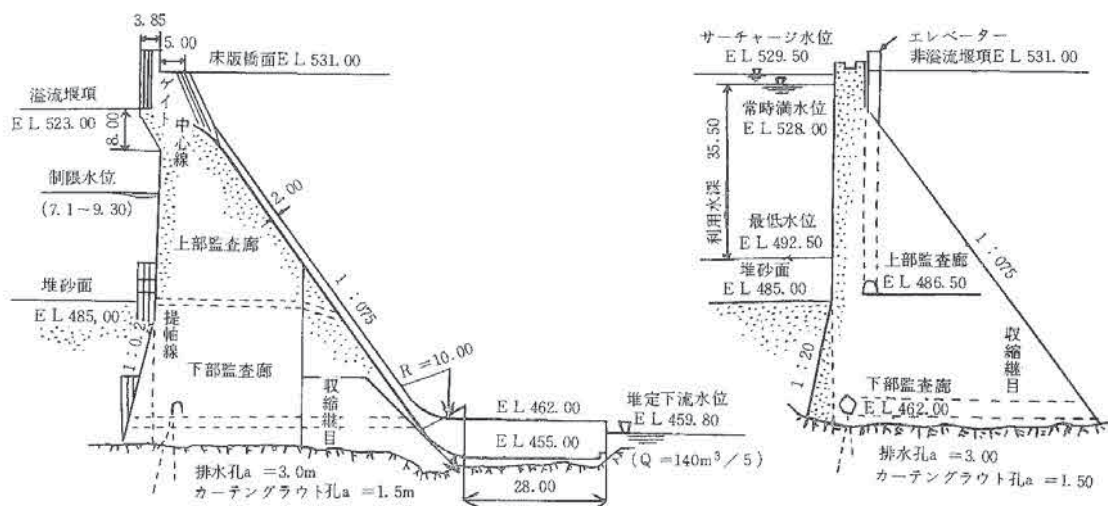


下流正面図 縮尺 1/300



笹生川堰堤溢流所断面図

笹生川堰堤溢非流所断面図



笹生川ダム管理事務所の活動

多目的ダムとして大野郡西谷村に昭和32年11月15日完成を見た県営笹生川ダムが今次災害に際し果たしたその役割は大きい。

この影には、ダム管理事務所の職員が9月14日夜から大自然の暴力と死闘し、沈着冷静に行動をしたからである。

9月に入って台風23号および24号の接近が伝えられていたが、ダムの貯水位は洪水期の制限水位より約15米下っていた。

台風23号は9月10日日本県を通過したが、30 m/s位の暴風を伴っただけで大雨にならなかったが続いて台風24号が9月16、7日頃には襲来の予想があったのでダム管理事務所の全職員が諸機械器具の点検、通信施設ゲート等の整備に努めた。

9月14日10時30分風雨注意報 同日17時洪水注意報が追加発令されたが、同19時頃から雨の降り方は異常なもので時間雨量90を突破する豪雨となった。

ダムの貯水位は、同日18時頃から急激に上昇し始めた。

このまま、放流したならばそれこそ、下流各部落民は、夕食をすませ夜の一家だんらんの家族は、家もろとも流されるだろう、恐しい水の量だし、計量洪水の400 m³/sを、はるかにオーバーして、夜半に入って、1000 m³/sとなった。

ダム管理事務所職員は、ダムが無気味にもウナリ始めたことを察知し、ダム自体に重大な危険が発生しつつあることも判かった。

しかし、放流による洪水はなんとしても喰い止めねばならない、下流部落や、県営中島発電所では、夜半にはもう避難が終った。

ダム管理事務所の水防無線も停電によって不能となったので、発電機を運転しながら通信を保った。その結果県水防本部（河川課）との連絡は絶えることなく確保されていたのが唯一の頼みのつなだった。

9月15日午前2時雨が小降りになった下流部落民は、もう人が避難し終った。

この段階において放流しなかったならダム自体が崩壊のおそれがある。水位はまだ急激な上昇を続けている。ダムゲートの操作、発電機の運転、雨風の中でずぶぬれの作業がつづく、水防本部への連絡、水位、雨量、流入量、放流量等の観測と計算を適確に処理した。

夜が白々と明けることも忘れて大自然との死斗が続いた。15日正午頃になって、漸く、雨は止み間が出て来た。夜に入ってダムの水位は、ようやく落ち着いた。

5. 災害見舞金・見舞品の取扱い

今次の大災害状況が、新聞、テレビ、ラジオ等の報道機関により、いち早く報ぜられるや、全国各地から心あたたまる御見舞の金・品が多数県災害対策本部、日本赤十字社福井県支部、県社会福祉協議会、県内各新聞社に寄託された。特に9月27日には宮内庁から御下賜金として金一封を福井県知事に御下賜になり、被害住民の民生安定と災害地の復旧に対して、努力せよとの有難き御言葉を賜った次第である。

県として取扱った見舞金は236件で総額12,841,641円也の巨額に達したが、県としては、「昭和40.9三大風水害見舞金配分委員会」の議を経て、それぞれ早期に、別表のとほり配分をなし該当者にお渡し願へるよう配慮した。又見舞品の寄託はついても、その都度被害地に対して、適正な配分と速やかな送達をした。



毎日のように寄託された見舞品

(一) 見舞金の配分状況 (県扱分)

配分次回	配分委員会開催	配分月日	配分金額
第一次	昭40. 9. 28日	40. 9. 29	6,610,000円
第二次	昭40. 10. 30日	40. 11. 1	5,055,000円
第三次	昭40. 12. 22日	40. 12. 24	1,176,641円
計			12,841,641円

(1) 配分基準

第1次配分

- ア、死亡者に対して、原則として1人15,000円とした。ただし同一世帯内の家族死亡者に対しては一世帯当たり2万円から5万円の範囲内で調整した。
- イ、重傷者に対しては、1人5,000円とした。
- ウ、全壊世帯のうち、流出世帯に対しては3万円とした。
- エ、その他の全壊世帯(埋没、その他)に対しては、1万円とした。

第2次配分

- ア、全壊のうち流失した世帯に対し、寝具購入費として、1万円を配分した。
- イ、全壊(流出を含む)した世帯の世帯員に対し、一人当たり2千円を生活品購入費として配分した。
- ウ、災害による重傷者30人のうち、配分時なを入院中の者に対して、一人当たり5千円を医療費として配分した。
- エ、西谷村小・中学校児童生徒に対し、一人当たり2,500円を学用品購入費として配分した。
- オ、第1回配分の対象外であった。県営中島発電所勤務の罹災職員について一世帯当たり1万円、独身合宿職員に対して、2千円を配分した。

第3次配分

- ア、流失、埋没および全壊世帯(3,549)に対して正月用もち代として、一世帯当たり3千円を配分した。
- イ、大野市に集団移住している西谷村小・中学校児童、生徒133名に対し、一人当たり「500円」を「お年玉」として配分した。
- ウ、県営中島発電所に勤務している県職員については、西谷村の全壊世帯から除かれているので、一世帯当たり3千円と合宿職員15人に対し、一人当たり500円の餅代を配分した。
- エ、見舞金の最終配分後の残金13,641円を西谷村に配分した。

謹啓

陛下益々清祥の由慶賀の至りに存じます
 このたびの奥越地方をはじめ県下各地を襲
 った昭和四十九年大水害に際し多額の御見
 舞金と御恩賜賜り誠に有難く深く
 感謝致しております
 県におきましては十四日二十三時五十分直ぐ
 県庁警務課本部と設置し大野市西谷村
 勝山市和泉村に対策を講じておりました
 たゞ七月十七日から十八日にかけて更に台風二十
 四号の被害が続出し県下十市町村に災
 害救助法を発動し全組織を挙げ復旧
 対策に万全を期しております
 御厚心の御見舞金は早速罹災者に
 配分し貴心を伝えたいと存じます
 とりあえず県民を代表いたしまして厚
 く御礼申し上げます

昭和四十九年 日

敬具

西井県災害対策本部
 柳田 誠

(2) 見舞金の市町村別配分表

区分 市町村名	第一 次 配 分 額	第二 次 配 分 額	第三 次 配 分 額	総 計
福井市	70,000	48,000	21,000	139,000
敦賀市	5,000	5,000	—	10,000
武生市	115,000	69,000	24,000	208,000
小浜市	90,000	24,000	12,000	126,000
大野市	680,000	463,000	75,000	1,218,000
勝山市	325,000	156,000	30,000	511,000
鯖江市	140,000	88,000	39,000	267,000
森田町	40,000	30,000	12,000	82,000
永平寺町	15,000	—	—	15,000
西谷村	3,455,000	2,890,000	666,641	7,011,641
和泉村	670,000	594,000	78,000	1,342,000
三国町	10,000	6,000	3,000	19,000
芦原町	15,000	6,000	3,000	24,000
金津町	5,000	5,000	—	10,000
丸岡町	10,000	6,000	3,000	19,000
春江町	10,000	5,000	—	15,000
坂井町	10,000	4,000	3,000	17,000
川西町	55,000	36,000	12,000	103,000
今立町	170,000	54,000	12,000	236,000
宮崎村	20,000	6,000	6,000	32,000
越前町	10,000	8,000	3,000	21,000
清水町	15,000	12,000	3,000	30,000
三方町	305,000	260,000	78,000	643,000
美浜町	10,000	—	3,000	13,000
上中町	75,000	34,000	12,000	121,000
名田庄町	20,000	28,000	6,000	54,000
高浜町	260,000	218,000	72,000	550,000
大飯町	5,000	—	—	5,000
合計	6,610,000	5,055,000	1,176,641	12,841,641

(二) 福井市扱分見舞金集計表

受付総数 見舞金 467,521円
見舞品 494梱包 24,700点

見舞品送付内訳

大野市	15梱包	750点
西谷村	171 //	8,550 //
勝山市	8 //	400 //
和泉村	65 //	3,250 //
三方町	102 //	5,100 //
上中町	7 //	350 //
名田庄村	6 //	300 //
小浜市	23 //	1,150 //
高浜町	76 //	3,800 //
今立町	21 //	1,050 //
計	494 //	24,700 //

ほかに福井市に対して福井市建設協会より200,000円福井市営競輪選手一団より2回にわたり42,200円の見舞金がよせられた。

なお今次災害見舞でとくに目立つたものでは湊社会教育会の衣類6,664点、見舞金185,755円が光った。

また福井市では見舞品の受付は4日をもって打切ることとし、見舞金については今しばらく受付ける。見舞金の配分については協議のち近く災害市町村へ分配する。



一日も早く見舞品のトラック輸送

(三) 災害見舞品関係市町村配付内訳 (梱包数及点数)

(県 扱 い 分)

	大野市	西谷村	和泉村	勝山市	鯖江市	清水町	今立町	森田町	嶺 南	梱包数	点 数	備 考
衣 類	30	147	13		8	4	9	3	129	343	16,261	
食 料 品	(65)	(91)	(22)	(9)		(1)	(2)			190	8,540	
果 実	17	15								32	640	20コ入
食 塩	6	11	7	4		1				29	1,160	40コ入
カンパン	3	2								5	500	100袋入
カンズメ		1								1	48	48コ入
醬 油	25	20		5						50	2,500	50コ入
も ち	8	8								16	1,600	100コ入
ラーメン	6	18	15				2			41	492	1打入
酢		16								16	1,600	100コ入
煙 草		2	1	1						4	1,141	
電 球	10	9	1							20	1,000	50コ入
タ オ ル	3	4								7	700	100枚入
毛 布	12	15	2	2			2		9	42	210	5枚入
懐中電灯	1	1								2	46	
ゴム長靴	1	5	3							9	80	
学 用 品	(110) 5	(170) 7	(20) 1							13	300	筆入ノートセット
日 用 品	1	2 5								3	100	洗面器その他
医 薬 品		(2890)								5	2,890	{ 胃腸剤、栄養剤、解 熱鎮痛剤、軟膏剤
学生服外		2								2	77	
布 団		8								8	20	
精 米		3								3		73kg
万能容器		(214) 71								71	214	
枕		(50) 2								2	50	
書 籍		(20) 1								1	20	
計	128	375	43	12	8	5	13	3	138	725	31,649	

6. 県税の減免

40.9 3 大風水害により被災された方に対し、県税について次のような措置をとり、税の減免額は別表のとおり 98 万余円に達している。

(一) 県税の減免

(1) 個人事業税

事業用資産の 2 割以上の損害を受け、事業所得金額が 120 万円以下の方に対して、損害の程度と事業所得金額の割合に応じて、最低 2 割から最高金額まで個人事業税を減免した。

(2) 自動車税

所有または使用している自動車について、3 割以上の損害を受けた場合には、損害の程度に応じて、最低 3 割から最高 5 割まで自動車税を減免した。

(3) 不動産取得税

ア、土地、家屋を取得した直後に災害により滅失したり、損かいた場合には、不動産取得税を全額減免した。

イ、災害により滅失したり、損かいた土地、家屋に代るものとして、災害を受けた日から 3 年以内に他の土地、家屋を取得した場合は、以前の土地、家屋の固定資産台帳登録価格に相当する価格分を減免した。

(二) 期限の延長

次に掲げる地区に限り、40 年 9 月 15 日から 40 年 10 月 14 日までに県税に関して提出しなければならない一切の書類の提出期限、または県税の納付（納入）期限がくるものについては、40 年 10 月 15 日までその期限を延長した。

大野市（旧大野町を除く。）

大野郡西谷村、和泉村

勝山市（旧勝山町を除く。）

三方郡三方町、大飯郡大飯町

(三) 徴収の猶予

災害を受けられた方で県税を一時に納税することができない場合には、原則として、その納期限から 1 年以内に限り、県税の徴収を猶予することがある。

40.9 三大風水害による減免額調

昭和41年1月18日現在

税目別 事務所別	個人県民税		個人事業税		不動産取得税		自動車税		合計	
	件数	減免額	件数	減免額	件数	減免額	件数	減免額	件数	減免額
福井	—	—	3	14,550	—	—	—	—	3	14,550
坂井	—	—	2	23,660	—	—	—	—	2	23,660
大野	603	350,490	5	48,930	3	9,060	23	85,250	634	493,730
南越	62	34,848	14	93,700	—	—	2	46,500	78	175,048
敦賀	285	142,235	24	73,720	—	—	3	11,250	312	227,205
若狭	49	30,530	2	7,000	1	9,500	—	—	52	47,030
合計	999	558,103	50	261,560	4	18,560	28	143,000	1,081	981,223

(注) 個人県民税中、西谷村および和泉村にかかる分は、未処理につき、計上されていない。

7. 災害調査団

調査団名	調査団員	調査日	調査地域
参議院 建設委員会調査団	参議院議員 熊谷太三郎 小酒井義男 大森久司 外 5名	9月16日 9月17日	県庁 大野市 勝山市 三国町
建設大臣 (非常災害対策本部長)	瀬戸山建設大臣 外 7名	9月17日	県庁 大野市佐開地区 勝山市千代田地区
中央防災会議調査団	団長 農林省政務次官 後藤義隆 外 10名	9月21日 9月22日	三方町 県庁 勝山市 大野市 西谷村中島地区 (陸上航空自衛隊のヘリコプター使用)
参議院議員 高橋 衛 北陸開発委員長	左記 外	9月22日	県庁 大野市 西谷村中島地区 和泉村中島地区
農林大臣	坂田農林大臣 北陸農政局長 外 6名	9月24日 9月25日	大野市 勝山市 県庁
衆議院災害対策 特別委員会調査団	衆議院議員 寿原止一 山口丈太郎 玉置一徳 外 1名	9月29日 9月30日 10月1日	県庁 西谷村中島地区 大野市 勝山市 今立町大滝地区 武生市 三方町(敦賀経由)
参議院災害対策特別委 員会調査団	参議院議員 稲浦鹿蔵 武内五郎 外 1名	10月2日 10月3日	西谷村中島地区 大野市 勝山市 県庁 三方町(敦賀経由)

8. 表 彰

(一) 消防庁長官表彰

9月14日夜、濁流の中にとり残された県営中島発電所職員寮の婦人子供10人を、自己の危険を顧みず救助したことにより下記3名が、11月1日消防庁長官より表彰された。

大野郡西谷村中島 波 崎 一 雄
 同 上 中 村 辰 男
 同 上 岡 山 光 男

また、翌15日朝同じく西谷村中島で濁流に飛び込み婦人1名を救助した下記の者が同時に表彰された。

大野郡西谷村中島 角 平 利 夫

(二) 知 事 表 彰

40.9三大風水害に際し、県下各地で個人・団体を問わず、防災作業、人命救助、緊急物資の輸送等諸般にわたる応急対策の推進に多大の活躍があったもののうち、特に功績が顕著であると認められた、個人26名、63団体に、昭和40年11月27日知事より感謝状がおくられ、県の出先機関には賞詞が授与された。功者者(団体、機関)名および功績概要は下表のとおりである。

40.9 三大風水害功労者表彰名簿

表 彰 式 (昭 40. 11. 27 於 県民会館)

功 労 者 (団 体) 名	功 績 概 要
大野警察署西谷駐在所 巡査 滝 波 真 治	西谷村中島地区において、同村々長を扶け地区民を避難誘導し犠牲者を最少限度にとどめ人心の安定、治安の維持確保に尽した功績は大であった。
西谷村消防団分団長 波 崎 一 雄 西 谷 村 中 島 " 中 村 辰 男 " 岡 山 光 男	濁流の中にとり残された県営中島発電所職員寮の婦人子供10人を、自己の危険を顧みず救助した。
西 谷 村 中 島 角 平 利 夫	西谷村中島にて自己の危険を顧みず濁流の中に飛び込んで婦人1名を救助した。
勝 山 市 下 袋 田 酒 井 太 一 勝 山 市 富 田 神 下 敏 男 勝 山 市 若 猪 野 長 谷 川 隆 利	勝山市北郷町下森川地籍において、増水中の九頭竜川に転落し溺死寸前にあった1人を自己の危険も顧みず救助した。
今 立 町 大 滝 堂 野 小 左 衛 門	今立町大滝地区山崩れのため倒壊した家屋の被災者救出作業に献身的な努力をし、その功績は大であった。

功勞者(団体)名	功 績 概 要
高浜町音海 赤尾俊雄	自宅裏山崩壊の危険を察知するや、適切なる判断により人命を救助した。
大野市野中 堀田 肇	自家の浸水をも顧みず、大野土木出張所の水防活動に積極的に協力した功績は大であった。
大野市蕨生 城地 十一	困難なる状況にもかかわらず、卒先して行なわれた大野市佐開地係から木落地係に至る真名川流域の水防活動により木落部落の流失を未然に防止した功績は大であった。
中島中学校 校長 島田 清 親 " 教諭 山田 豊 士 " " 西内 俊 一 " " 松原 為 敏 " " 朝国 学 而 " " 渡辺 孝 子 " " 松田 隆 子 " " 川田 春 枝 中島小学校 教頭 沢山 庄 一 " 教諭 斉藤 孝 一 郎 " " 安川 さ と " " 旭 峯 尾 " 助教諭 竹内 沙都子 " 教員 藤田 貞 子	的確なる状況判断により、児童生徒を安全なる場所に避難誘導し、かつ、長期にわたり寝食をともにし、昼夜の別なく親身をおよばぬ保護にあたったことは他の模範とするところである。
陸上自衛隊 第10師団 自衛隊 福井地方連絡部	派遣要請に応じて県下各地に出動した自衛隊の連絡調整にあたり応急対策活動の円滑化に尽力した。

功勞者（団体）名	功 績 概 要
陸上自衛隊 第14普通科連隊 “ 第316警務隊 “ 第336会計隊 “ 第325基地通信隊 “ 調査隊金沢派遣隊 “ 第101建設大隊 “ 中部方面飛行隊 “ 第302地区施設隊 “ 第322地区施設隊 “ 第417会計隊 “ 調査隊鯖江派遣隊 航空自衛隊 第6航空団 “ 航空救難群小松救難隊 “ “ 芦屋救難隊 大阪府警察本部 愛知県警察本部	災害救助のための派遣要請に応じて、直ちに被災各地に出動し、水防作業、人命救助、緊急物資の輸送等各般にわたる困難な応急対策に献身的な活動を展開し、民生の安定に多大の貢献をした。
中部管区警察局 福井県通信出張所	西谷村中島地区をはじめ、被災各地との通信確保に尽力し、災害応急対策の推進に多大の貢献をした。
福 井 県 警察本部機動隊	被災各地に出動し、水防作業、人命救助、緊急対策に献身的な活動を展開し、民生の安定に多大の貢献をした。
福 井 県 大 野 警 察 署	災害応急対策に当り、連日献身的な活動を展開し、民生の安定、治安の維持確保に尽力した。
福 井 地 方 気 象 台	刻々移り変わる気象状況を不眠不休でキャッチし、適確なる気象情報の提供により災害応急対策に多大の貢献をした。
日本電信電話公社 福井電気通信部	電信電話の早期復旧に努め、通信の確保に多大の貢献をした。

功 勞 者 (団 体) 名	功 績 概 要
日本赤十字社 福 井 県 支 部	被災各地への救護班の派遣や、義援金品の募集運動等、救援救護活動に尽力した功績は大である。
北陸電力株式会社 福 井 支 店	電力の早期復旧に努め、民生の安定に多大の貢献をした。
福 井 市 消 防 団 武 生 市 “ 小 浜 市 “ 大 野 市 “ 勝 山 市 “ 鯖 江 市 “ 和 泉 村 “ 西 谷 村 “ 今 立 町 “ 清 水 町 “ 三 方 町 “ 美 浜 町 “ 名 田 庄 村 “ 高 浜 町 “ 大 飯 町 “	河川の氾濫、堤防の欠壊等を不眠不休の活躍にて未然に防止し、又浸水地域にあっては避難の誘導、人命救助等あらゆる方面に活躍し、その功績が大であった。
日本経済新聞社 福 井 支 局 日本放送協会 福 井 放 送 局 中部日本新聞社 福 井 支 局 時事通信社 福 井 支 局 読売新聞社 福 井 支 局 福井放送株式会社 毎日新聞社 福 井 支 局 福 井 新 聞 社 朝 日 新 聞 社 福 井 支 局 産業経済新聞社 福 井 支 局 共同通信社 福 井 支 局	台風の接近と同時に全機能を結集し、気象状況の適確なる報道により住民の注意を喚起し、災害発生するや直ちに現地に直行、その惨状を逐一報道し、一般社会の救援を喚起して災害救援対策の推進に多大の貢献をした。

功勞者（団体）名	功 績 概 要
ホクエイ産業株式会社 北陸テレビ株式会社	同 上
福 井 県 連 合 青 年 団	被災各地における献身的な労力奉仕や募金活動を展開し、民生の安定に多大の貢献をした。
福 井 県 連 合 婦 人 会	炊き出しによる応急食糧の配付等の献身的な災害救援奉仕活動や募金活動を展開し、民生の安定に多大の貢献をした。
大 野 地 区 婦 人 会	長期にわたり西谷村および大野市若生子地区の避難者の救援活動に積極的な奉仕活動を展開し、その功績が大であった。
西 谷 村 啓 成 会	西谷村中島地区における水防活動ならびに避難誘導に努め、犠牲者を最少限度にとどめ人心の安定に多大の貢献をした。
勝 山 市 北 谷 町 北 六 呂 師 区	山崩れのため倒壊した家屋の被災者救出作業に献身的な努力をした。
電源開発株式会社 九頭竜建設所 鹿島建設株式会社 九頭竜川出張所 佐藤工業株式会社 九頭竜作業所 高砂建設株式会社	困難なる状況下にもかかわらず、率先して和泉村中竜地区の応急救援活動に尽し、その功績は誠に大であった。
大 東 染 工 株 式 会 社	災害応急対策にあたった自衛隊の汚れた衣類の洗濯、乾燥に奉仕し、更に夕食、風呂を提供するなど応急対策活動の促進に寄与するところ大であった。
若 狭 事 務 所	40.9三大風水害に際し、全職員が一致協力して被害状況の調査、設計等、災害復旧業務に連日献身的な活躍をしよくその職務を遂行した。
高 志 福 祉 事 務 所 若 狭 “	40.9三大風水害に際し、全職員が一致協力して被災住民の救護業務（災害救助、救護物資の輸送配分、被災者に対する生活扶助手続き等）に連日献身的な活躍をし、よくその職務を遂行した。
大 野 林 業 事 務 所	40.9三大風水害に際し、全職員が一致協力して被害状況の調査、設計等、災害復旧業務に連日献身的な活躍をし、よくその職務を遂行した。
福 井 耕 地 事 務 所	同 上

功勞者（団体）名	功 績 概 要
大野 土木出張所 勝山 " 武生 " 敦賀 " 小浜 "	40.9三大風水害に際し、全職員が一致協力して水防活動に努めるとともに被害状況の調査設計等、災害復旧業務に連日献身的な活躍をし、よくその職務を遂行した。
笹生川ダム管理事務所	40.9三大風水害に際し、全職員が一致協力して豪雨烈風の中を危険にさらされつつ適切機敏な行動によりダムの保守に努め、よくその職務を遂行した。
中島発電所	40.9三大風水害に際し、全職員が一致協力して豪雨烈風の中を危険にさらされつつ適切機敏な行動により発電機器の保守に努め、よくその職務を遂行した。

第四章 災害復旧計画

第四章 災害復旧計画

1 農林水産関係の応急措置とその経過

(一) 応急措置

県は9月10日台風23号の襲来と同時に直ちに実情調査を始め、別表に掲げるような措置を採った。その主な項目を列挙すると次の通りである。

(1) 実情調査

災害発生と同時に知事、農林部長が現地に急行したのをはじめ、県下各地の農業改良普及所、耕地事務所、林業事務所に非常調査を命じ、各種資料の蒐集に努めた。又それぞれ被害の甚しい大野・勝山・三方地区には本部から応援隊20名を派遣した。

(2) 食糧の緊急手配

西谷村等の孤立した部落に対して米・パン・野菜等を緊急輸送した。

(3) 応急技術対策

災害発生と同時に農産、畜産、園芸の各般に亘っての応急技術対策をラジオ・新聞によって報道させた外、農業改良普及所等出先機関、市町村及び農協を通じて末端滲透を図り、現地指導に当たった。その主な内容は次に掲げる通りである。

ア 稲については、排水に努め倒伏した稲は発芽するから兎に角1日も早く刈取る事を呼びかけ、このための労力斡旋（主として大野地方へ）に努めた。ウンカ等の害虫を認めた時は薬剤を撒布する事を呼びかけた。

イ 濡れた籾の早期乾燥及び刈取り促進のため電力会社等の協力を求めて大野地方を始め冠水したモーターの乾燥、修理をした。

ウ 被害の甚だしい野菜については、大根等の早期播直しを呼びかける外、折れた葉から腐敗を防ぐ為にダイセン等の殺菌剤をまくよう、又天候が回復したら極く少量の肥料を施す様呼びかけた。

エ 倒伏した果樹は直ちに起し、枝の折れたり裂けたりしたものはビニールを塗って腐敗を防ぐ様指導した。

オ 畜舎の修理、浸水畜舎の清掃、消毒、飼料作物の播き直し、浸水飼料の措置等を指導した外、各機関と協力して負傷家畜の販売斡旋を行った。

カ 農林省の現地査定と工事の早期着工

農林省係官の現地視察を要請し、農地災害復旧等の早期着工を図った。

キ 金融措置

取敢えず農林省に対し、自作農資金1億円の融資枠を要望すると同時に、それまでの間県単で繋ぎ資金の措置を講じた。

(二) 経 過

経過についてはつぎのとおりである。

- 9月10日 23号台風襲来と同時に被害農作物の応急技術対策をラジオ、新聞に発表し改良普及所など県出先機関、市町村農協を通じて、農家に呼びかけた。
改良普及所に、被害状況の調査報告を命じ、刻々本部に連絡した。各家畜保健衛生所に対し、畜産関係被害状況の報告を指示すると共に、被災家畜の衛生、防疫の指導を行なわせた。午後3時大型養鶏農家の被害激甚であった美山村に畜産課、福井家畜保健衛生所の職員を派遣して、生存鶏の収容場所の斡旋ならびに損傷鶏の処理販売等について指導した。水産改良普及員に被害調査を指示すると共に、越前町など主要漁港に水産課員を派遣した。
- 9月11日 各種機関を通じて、引続き被災農作物の応急対策を農家に呼びかけた。
河川の増水のため海水のかん度が下がったので真珠、かきの養殖籠を深吊りにして、貝の斃死を最小限に止めるよう指導した。又貝養殖籠の流失・斃死および漁船の流失・損壊等の救済のため、漁業共済組合および漁船保険組合に共済金の支払手続きをとらせた。
- 9月12日 ラジオ、テレビを通じ被災農作物の応急対策を指導した。
- 9月13日 ラジオを通じ被災農作物の応急対策を農家に呼びかけた。
農政普及課長は武生市北日野ビニールハウスの風害を観察し、対策を指導した。水産課員を派遣し、大飯町大島漁港や、小浜湾の真珠養殖の被害等を調査した。開拓地営農指導員を現地に駐在させ被災農家の応急対策の指導を始めた。
- 9月14日 ラジオや各種機関を通じて、被災農作物の応急対策を指導した。前日に引続き、小浜市方面の漁業施設の災害状況を調査し応急対策を指導した。
- 9月15日 大野、勝山地区へ専門技術員及び技術職員10名を激甚農業改良普及所に派遣して、風水害後の被災農作物及び家畜などの応急対策を指導した。農政普及課長は勝山市の被災状況を調査し応急対策の指導を行った。午前中、勝山家畜保健衛生所が洪水のため危険となったので、畜産課員を応援のため急行させると共に、大野、勝山方面の災害現地の調査を行った。美浜町の漁港ならびに養殖施設の被災状況を調査し、応急対策を指導した。
林務課長および課員が大野、勝山方面の林業被害状況の現地調査をした。
開拓地の被災農家の駐在指導を13日から本日まで続けた。
北陸農政局重見建設部長、中尾災害復旧課長、耕地課長等は、大野、勝山市の被災現地の調査を行った。その結果に基づき農林省農地局に、農地の災害状況を電話連絡した。
農林部長、大野市、勝山市方面の災害状況を視察すると共に、現地応急指導の督励を行った。
- 9月16日 豪雨で孤立した西谷村、中島に対して、主食1.125kgを自衛隊のヘリコプターおよび警察により搬送した。9時野菜400kgを西谷村用として奥越災害対策本部（大野市）あて送付した。
13時野菜種子5,000袋を大野市、勝山市用として奥越災害対策本部に送った。
前日に引続き大野勝山方面の農作物、畜産の被害状況調査と応急対策の指導を行った。
林務課長および課員が丹生、大野、勝山方面の被害状況調査および指導を実施した。
農林省農地局災害復旧課石川技官来県し、大野市の被害地現地調査を行うと共に、応急復旧の措置について指示した。
- 9月17日 新聞を通じて、被害農作物の応急技術対策を指導した。

冠水モーターの修理のため北陸配電および農機具業者の協力を求め、主として大野市方面の巡回修理を行った。

林野庁治山課浦井班長来県し、大野市清滝川、真名川、九頭竜川方面の災害状況を調査した。大野市の開拓地に対し開拓課職員を派遣して、現地指導を行わせた。

農林省農地局災害課石川技官は、勝山市方面の農地被災状況を調査し、応急復旧について指示した。

9月18日 西谷村菓原へ主食450kgを急送した。又大野市下若生子へも主食273kgを送った。モーター修理班を勝山市方面に派遣して修理を当らせた。西谷村に対し野菜1.020kgを発送した。

台風24号による水産施設の被災状況の調査を開始すると共に淡水の流入増加によりかん度低下が著しいので養殖籠を深吊して貝の斃死を最少限に止めるよう指導した。又真珠、カキの流失、斃死および漁船の流失、損壊などの救済措置として、漁業共済組合および漁船保険組合に共済金支払いの手続きをとらせた。林野庁治山課浦井班長は、勝山市方面の災害状況を視察した。

9月19日 主食を西谷村中島660kg、上笹又240kg、黒当戸180kgを送った。

テレビ、ラジオを通じ農作物、家畜の応急対策を指導した。

19日から21日の間大野、勝山方面の被災畜舎の消毒と病畜の治療のため畜産課員2名を派遣し、勝山家畜保険衛生所の活動を応援すると共に必要薬品を急送した。

林野庁浦井班長が川西町(市ノ瀬)の災害状況調査を行った。

9月20日 農業改良普及所の巡回指導を強化するため自動車3台を緊急配置した。農政普及課員2名が三方町農業構造改善施設の災害状況を調査し応急対策を指示した。

水産庁太田調査官は、越前町の漁港、漁船の被災状況を調査した。

開拓地被災状況調査のため22日まで農地開拓課員6名を派遣した。

耕地課長、林務課長が若狭方面の農地、林野の災害状況を調査した。

農林部長が若狭方面の被害状況調査ならびに現地指導督励を行った。

9月21日 農林政務次官後藤義隆氏を団長とする中央防災会議の調査団各省庁の一行16名は21日22日の両日三方町、勝山市、大野市、西谷村における被災の状況を調査した。

県議会全員協議会が開催され、引き続き臨時県議会の招集が行なわれ災害対策委員会の設置と災害対策問題がとう議された。

冠水モーター応急修理のため、関西配電および農機具業者の協力を求め、巡回修理を行った。

嶺南地方の被災畜舎の消毒と病畜の治療のため薬品を敦賀、小浜家畜保健衛生所に発送した。

水産庁太田調査官、美浜町漁港、漁船の被災状況調査を行った。

耕地課長、若狭方面の被災状況を調査すると共に応急復旧について指導した。

農政普及課長は鯖江市方面の冠水田における中稲の穂発芽状況を調査した。

9月22日 西谷村中島へ主食420kgを発送した。

水産庁太田調査官が美浜町、小浜市の養殖施設の被災状況を調査指導した。

9月24日 県下の被災地調査のため坂田農林大臣が来県された。

2 農林水産関係の災害復旧対策

40.9三大風水害による農林水産被害は県史始まって以来の損害をもたらし、これらの復旧は本県にとっては勿論、被災地にとっても緊急を要するものとなり、復旧計画の早期作製が望まれ、その為県においては農林部関係課より36名の職員を現地に派遣すると共に農林省に対し農林土木技師の派遣方を要望9県から17名の応援職員を得、その復旧計画の作製に全力を投入した。その結果

(一) 災害復旧事業申請額(補助対象被害額)

50億5,510万2千円 に対し 40億7,137万9千円

の査定額を得て昭和41年度内に

農地復旧……………	全事業量の	75.5%	} 3年～4年計画
農業用施設復旧……………	全事業量の	70.6%	
治山施設復旧……………	全事業量の	86.8%	
林地復旧……………	全事業量の	42.3%	
林道復旧……………	全事業量の	60.6%	
漁港施設復旧……………	全事業量の	100.0%	} 2年～3年計画
農協施設復旧……………	全事業量の	100.0%	

を復旧すべく着々その実績を上げている現況である。

応援職員一らん表

本庁(出先機関)職員					他 県 職 員				
課 名	職 種	人 数	延日数	派 遣 地 区	県 名	職 種	人 数	延日数	
林 務 課	技 師	4	125	若狭地区	青 森 県	技 師	2	60	
〃	〃	11	213	大野地区	岩 手 県	〃	1	30	
耕 地 課	〃	7	303	若狭地区	宮 城 県	〃	1	30	
〃	技 補	1	7	〃	山 形 県	〃	1	30	
〃	技 師	12	458	大野地区	茨 城 県	〃	1	30	
〃	技 補	1	7	〃	群 馬 県	〃	1	30	
					千 葉 県	〃	2	60	
					富 山 県	〃	4	240	
					石 川 県	〃	4	240	
		36	1,113		9県		17	510	
総 計 53人 延 1,623日									

災害復旧事業査定額一らん表

農地	1899件 9億9,522万円 A	58.9%(B/A)
	683件 5億8,625万8千円 B	
	682件 5億6,950万4千円 C	
農業用施設	1402件 22億9,695万4千円 A	97.14%(C/B)
	1402件 22億9,695万4千円 B	
	1389件 21億1,234万2千円 C	
治山施設	30件 7,279万7千円 A	(B/A)100.0%
	29件 7,151万8千円 B	
	29件 6,322万7千円 C	
林地	195件 13億8,044万7千円 A	(C/B)88.40%
	195件 13億8,044万7千円 B	
	161件 8億1,730万円 C	
林道	21件 6億7,086万2千円 A	(B/A)100.0%
	21件 6億7,086万2千円 B	
	21件 4億6,595万2千円 C	
漁港施設	5件 6,239万6千円 A	49.55%(B/A)
	3件 3,092万円 B	
	2件 2,831万7千円 C	
農協施設	19件 1,831万4千円 A	91.58%(C/B)
	19件 1,814万3千円 B	
	19件 1,473万7千円 C	

査定額



補助対象被害費



被害総額



災害復旧計画一から九表 (単位 千円)

災害復旧種目名	総事業費	年度	年事業費	財源				内訳		事業推進率	備考
				国	県	起債	地	元			
農地	569,504	40	172,526	151,305	—	—	—	21,221	30.3%		
		41	257,405	234,495	—	—	—	21,910	75.5		
		42	88,317	80,456	—	—	—	7,861	91.0		
		43	51,256	46,694	—	—	—	4,762	100.0		
農業用施設	2,112,342	40	567,865	513,975	—	—	—	53,890	26.9		
		41	924,243	869,448	—	—	—	54,795	70.6		
		42	432,322	406,591	—	—	—	25,731	91.1		
		43	187,912	177,202	—	—	—	10,710	100.0		
治山施設	63,227	40	26,044	23,440	2,604	—	—	—	41.1		
		41	28,913	26,021	2,892	—	—	—	86.8		
		42	8,270	8,270	—	—	—	—	100.0		
		43	—	—	—	—	—	—	—		
林地	817,300	40	60,000	40,000	20,000	—	—	—	7.3		
		41	302,920	201,946	44,474	56,500	—	—	42.3		
		42	454,380	454,380	—	—	—	—	100.0		
		43	—	—	—	—	—	—	—		
林道	465,952	40	125,048	102,424	688	—	—	21,936	26.8		
		41	157,434	132,094	148	—	—	25,192	60.6		
		42	183,470	183,470	—	—	—	—	100.0		
		43	—	—	—	—	—	—	—		
漁港施設	28,317	40	3,554	3,422	—	—	132	12.53			
		41	24,763	23,755	—	—	—	1,008	100.0		
		42	—	—	—	—	—	—	—		
農協施設	14,737	40	9,380	5,948	—	—	3,432	63.6			
		41	5,357	4,444	—	—	913	100.0			

(二) 共済金支払状況

災害発生と同時に県では水稲被害を重視し県係職員 および農業共済組合連合会係職員を激甚被害地大野、三方、敦賀地区の11市町村に派遣し、水稲収穫皆無地を確認 9月25日調査地区13組合に対し1489万1千円の水稲共済金の仮渡しを行い、その資金の基金借入については、県において利子補給を行った。

ついで農林省農業保険業務課係官の来県を求め現地確認調査を実施、年内共済金支払方を陳情、その大半を年内に支払った。

共済金支払状況

- 建物共済金 123件 323万5千円
- 水稲共済金 41組合 45,741戸 1億7,693万7千円

(三) 復旧資金

(1) 天災融資資金

40.9三大風水害に対し天災融資法が発動され、県においても4億500万円（内特別被害3分資金3億2,000万円）を確保し農林漁業被害者の復旧資金の融資に万全を期した。

現在申請額は3億1,085万円（3分資金3億765万円）で市町村内訳はつぎのとおりである。

融資希望額調査表（40.9.30）

（単位 千円）

	農 業 ()内は 開拓外数		漁 業		林 業		計	
	金 額	うち3分 貸付利率資金	金 額	うち3分貸 付利率資金	金 額	うち3分貸 付利率資金	金 額	うち3分 貸付利率資金
敦 賀 市	(6,200)		1,000	1,000			1,000	1,000
大 野 市	67,200	67,200			13,000	13,000	864,000	86,400
勝 山 市	8,500	8,500					8,500	8,500
鯖 江 市	20,000	20,000					20,000	20,000
西 谷 村	2,500	2,500			52,500	52,500	55,000	55,000
三 国 町	3,500	3,500					3,500	3,500
清 水 町	12,000	10,000					12,000	10,000
美 浜 町	18,200	18,200	5,000	5,000	5,000	5,000	28,200	28,200
三 方 町	70,000	70,000	40,000	40,000			110,000	110,000
上 中 町	28,600	18,600					28,600	18,600
名 田 庄 村					2,000	2,000	2,000	2,000
大 飯 町	4,400	4,400	3,000	3,000			7,400	7,400
高 浜 町	18,600	18,600	7,000	7,000			25,600	25,600
美 山 町	6,500	6,500					6,500	6,500
経営資金計	(6,200)	(6,200)						
事業資金	260,000	248,000		56,000	72,500	72,500	394,700	382,700
西谷農協	10,000		56,000				10,000	
合 計							404,700	382,700

融 資 配 分 申 請 額 (2月末日)

(単位 千円)

	農 業 ()内は 開拓外数		漁 業		林 業		計	
	金 額	うち3分 貸付利率資金	金 額	うち3分 貸付利率資金	金 額	うち3分 貸付利率資金	金 額	うち3分 貸付利率資金
敦 賀 市	(6,200)	(5,000)	2,500	2,500			2,500	2,500
大 野 市	25,000	25,000			5,000	5,000	36,200	35,000
勝 山 市	6,800	6,800					6,800	6,800
鯖 江 市	10,000	10,000					10,000	10,000
西 谷 村	2,500	2,500			52,500	52,500	55,000	55,000
三 国 町	12,900	12,900					12,900	12,900
清 水 町	10,000	10,000					10,000	10,000
美 浜 町	5,000	5,000	4,650	4,650	3,000	3,000	12,650	12,650
三 方 町	70,000	70,000	24,000	24,000			94,000	94,000
上 中 町	16,000	14,000			2,500	2,500	18,500	16,500
名 田 庄 村					2,000	2,000	2,000	2,000
大 飯 町	4,400	4,400	3,000	3,000			7,400	7,400
高 浜 町	19,400	19,400	8,500	8,500			27,900	27,900
美 山 町	5,000	5,000					5,000	5,000
経営資金計	193,200	190,000	42,650	42,650	65,000	65,000	300,850	297,650
事業資金 西谷農協							10,000	10,000
合 計							310,850	307,650

(2) 公 庫 資 金

公庫資金の災害資金について融資枠および認定額はつぎのとおりである。

(i) 自作農維持資金

融 資 枠 1億0,700万円

認 定 額 1億1,593万円

(ii) 林道復旧資金

融 資 枠 1億4,000万円

公共土木災害復旧計画（総括）

（一）概 況

今次災害は、奥越地方の激甚災害を始め各地において道路、橋梁が寸断され、中小河川が山地の崩壊により埋没する等、公共土木施設の被害は県下一円に及んだため、被災の全貌を最終的に把握するまでには、相当な困難を極めた。

しかし、関係職員の涙ぐましい努力によって、孤立した激甚地の状況も判明し、建設省に逐一報告するとともに災害復旧計画の対策を講じていった。

なお、今次災害の復旧事業に対処するため急拠技術職員の増員を計画、県人事委員会と協議のうえ、昭和41年2月19日、福井県技術職員採用試験を行いその確保を図った。

（二）中央関係機関への協力要請

1 日内閣出席のため石川県に来県中の瀬戸山建設大臣に、来福を要請した。建設大臣は9月17日、現に災害が発生しつつある激甚地に臨みつぶさに視察をして、復旧には金目をおしまないと約束した。

引き続き被災地視察のため、来県した建設省関係当局は次のとおりであるが、災害対策および災害復旧事業とこれに関連した諸問題について、強く協力を要請した。



被災地を視察する建設大臣の一行（大野市佐関橋附近）

建設省防災課小川査定官	9月17日（大野）	18日（勝山）
建設省神田海岸課長	〃 17日（敦賀）	18日（小浜、上中、美浜）
建設省古賀河川局長	〃 24日（敦賀、三方、美浜）	25日（大野、勝山）
建設省重兼防災課長	10月20日（勝山、大野西谷、福井）	21日（武生、敦賀三方、小浜）
建設省椎名開発課長補佐	〃 27日（今庄、池田、足羽、西各、大野）	28日（九頭龍川）

(三) 応急復旧

被害カ所のうちまづ道路交通の確保を図るため道路、橋梁の復旧に重点をおき、応急工事を施行し、9月18日には、道路24ヶ所、橋梁1ヶ所を開通させ、残りの重要ヶ所についても10月31日開通を目標として工事を進めた。又増破の危険が予想される河川、砂防被害カ所についても、これと併行して応急工事を進めた。

応急工事箇処表

(昭和40年9月18日現在)

工種	箇処数	金額	摘要
河川	50ヶ処	300,000千円	応急工事の主な施行地係 真名川水系 大野市佐開地係、佐開橋上下流 $\ell = 300m$ 清滝川水系、大野市森山地係 $\ell = 70m$ 赤根川水系、大野市黒谷地係 $\ell = 50m$ 九頭竜川水系、勝山市比島地係 $\ell = 300m$ 動堂川水系、大野市里谷地係 $\ell = 20m$ 女神川水系、勝山市若猪野地係 $\ell = 50m$ 浄土寺川水系、勝山市浄土寺郡地係 5ヶ処 暮見川水系、勝山方滝波地係 10ヶ処
道路	30	150,000	国道157号線、大野市西勝原地係 $\ell = 50m$ 大野墨俣線、大野市下若生子地係 5ヶ処 南六呂師大野線、大野市松丸地係 $\ell = 11m$ 上大納下山線、和泉村下山地係 南六呂師下荒井線、勝山市大矢谷地係 $\ell = 20m$ 国道157号線勝山市谷地係 $\ell = 10m$ 平泉寺大渡線、勝山市赤尾地係 $\ell = 10m$
橋梁	10	20,000	土布子橋 上若生子橋 下笹又橋 下荒井橋
砂防	15	30,000	旅塚川大野市柿ヶ島地係 W 50 m 4ヶ処 湯の谷川大野市落合地係 唐谷川、大野市萩ヶ野地係 女神川、勝山市平泉寺地係 暮見川、勝山市暮見地係
計	105	500,000	

40年災害応急工事施行一覧

(40. 12. 1 日現)

区分		河川		砂防		道路		橋梁		計	
出張所											
福三大勝鯖	井国野山江	25	29,476	1	120	14	14,266	1	2,140	41	46,002
		2	3,158	—	—	3	1,021	—	—	5	4,179
		73	169,874	17	10,700	83	77,365	5	2,958	178	260,897
		54	174,806	4	8,469	11	7,607	3	19,131	72	210,013
		4	5,836	1	273	3	710	—	—	8	6,819
武今朝敦小	生立日賀浜	29	25,604	10	5,200	6	3,503	4	2,073	49	36,380
		13	19,216	6	5,149	5	2,640	—	—	24	27,005
		1	11,517	—	—	—	—	—	—	1	11,517
		16	12,780	33	13,039	11	10,263	4	1,780	64	37,862
		14	26,919	10	9,563	21	24,718	6	7,584	51	68,784
計		231	479,186	82	52,513	157	142,093	23	35,666	493	709,458

(四) 建設省災害査定の状況

有史以来の公共土木施設の災害復旧事業を早急に調査測量の上復旧を計画し、応急復旧を始め、早期にその恒久復旧工事を発注施行しなければならないことは県土木部に与えられた至上命令となったので、取敢えず9月17日から激甚地である大野を始め勝山、小浜、敦賀、武生の各土木出張所に対し本庁土木部各課は勿論、他の土木出張所から技術職員を応援派遣の特別措置をとるとともに事務職員についても他の部局からの兼務を求めその体制を整えた。その概況は、次のとおりである。

土木出張所別	大野	勝山	武生	敦賀	小浜
応援派遣職員数	延 655人	延 134人	延 64人	延 159人	延 60人

公共土木施設にかかる40年災(1月の冬季風浪災害から9月の台風23、24号および集中豪雨による激甚災害まで)全部(3,198ヶ所)について、11月3日から21日までの19日間にわたって、建設省のいわゆる災害査定が行われた。

この災害査定については、建設省では、本県の9月3日大風水害の激甚さにかんがみ、慎重を期し、経験の豊かな中村二郎査定官、藤橋忠事務官等一行14名を派遣(延200人余)してきた。

査定官等一行は、県土木部を始め市町村関係職員が災害発生以来連日連夜に亘り心血を注いで被災地を調査測量し、設計してきた歴大な復旧計画申請書を基にして、夜に日に次いで災害現地に臨み、困難な査定業務を迅速適確に処理された。

査定は現地査定を原則として行われたが1部のものについては、日程等の都合によって机上査定も行われた。

9月の台風および集中豪雨災害等の特性は、1,000耗を越す異常な豪雨によって、大は九頭龍川本川から小は、山腹の小溪流に至るまで、土石の流出に伴う被害が顕著でその様相は、激甚なものであったため、災害復旧計画にあたっては、一定計画災害復旧および砂防災害復旧の申請が極めて多いものとなったのが特徴であるが、一定計画災害復旧の採択は、厳正に調査が行なわれ、県工事分については、大野地方の真名川外10河川、市町村工事分については、大野地方の水上谷川外4河川が採択された。

被害延長等一定計画災害復旧の条件に達しないものについては、関連事業としての調査が行われ、改良復旧としての可能性について検討をするよう指定された。その結果県工事分としては大野地方の真名川、若狭地方の松永川が採択された。

助成災害復旧は、勝山市を流れる女神川外31河川、暮見川外21砂防河川、および雲生橋である。

なお市町村工事として、真珠川外15河川日の出橋外2橋はそれぞれ関連事業として採択された。

更に木造橋を永久橋として採択されたものは、県工事として、主要地方道敦賀三国線、南条郡河野村赤萩橋外3橋、市町村工事として、町道東郷成願寺線、足羽郡足羽町昆沙門成願寺地係昆沙門橋外37橋 合計42橋である。

堤防の漏水災害については、九頭龍川7ヶ所、兵庫川3ヶ所、竹田川1ヶ所、磯部川1ヶ所、天王川2ヶ所の申請をしたが、水防作業で施行された月輪等の仮工事の施行状況写真資料等によって、漏水区間の判定が慎重に行われ、採択された。

大野地方の真名川本川に流出している土砂(約600万立米詳細は調査中)を対象として、4基の土砂留ダムを施行し、一応河床堆積土砂の移動流下を防止する計画および西谷村中島地先の笹生川、雲川合流点附近の2ヶ所を一定災として採択された。また、本川筋の下若生子、上若生子、下笹又の部落附近はそれぞれ単独災害復旧として採択され、主として人家の災害防止に重点が指向され復旧計画を樹てることになった。

公共土木施設災害復旧事業計画総括表

工 種	県 工 事				市 町 村 工 事				計			
	申 請		決 定		申 請		決 定		申 請		決 定	
	箇所数	金 額	箇所数	金 額	箇所数	金 額	箇所数	金 額	箇所数	金 額	箇所数	金 額
河 川		6,544,644		5,853,431		1,817,804		1,574,487		8,362,448		7,427,918
	1,042	220,410	1,044	217,992	651	5,186	665	4,987	1,693	225,596	1,709	222,979
		6,324,234		5,635,439		1,812,618		1,569,500		8,136,852		7,204,939
海 岸		90,693		85,497						90,693		85,497
	10	—	9	—	—	—	—	—	10	—	9	—
		90,693		85,497						90,693		85,497
砂 防 設 備		4,109,474		3,174,334						4,109,474		3,174,334
	701	88,607	739	87,961	—	—	—	—	701	88,607	739	87,961
		4,020,867		3,086,373						4,020,867		3,086,373
道 路		2,217,474		1,282,076		856,798		449,870		3,074,272		1,731,946
	343	29,307	371	25,795	280	4,921	267	3,191	623	34,228	638	28,986
		2,188,167		1,256,281		851,877		446,679		3,040,044		1,702,960
橋 梁		252,477		255,828		428,157		413,665		680,634		669,493
	43	28,084	45	30,454	128	19,319	133	21,049	171	47,403	178	51,503
		224,393		225,374		408,838		392,616		633,231		617,990
計		13,214,762		10,651,166		3,102,759		2,438,022		16,317,521		13,089,188
	2,139	366,408	2,208	362,202	1,059	29,426	1,065	29,227	3,198	395,834	3,273	391,429
		12,848,354		10,288,964		3,073,333		2,408,795		15,921,687		12,697,759

緊急順位別調書

工 種 別	河 川		海 岸		砂 防 設 備		道 路		橋 梁		計		比 率		
	箇所数	金 額	箇所数	金 額	箇所数	金 額	箇所数	金 額	箇所数	金 額	箇所数	金 額	箇所数	金 額	
県	A	53	2,086,582	—	—	6	154,128	38	225,223	11	127,902	108	2,593,835	4.9	25.2
	B	287	1,574,084	1	6,539	206	2,113,051	177	871,119	24	86,850	695	4,651,643	31.5	45.2
	C	703	1,974,382	8	78,958	519	814,434	156	159,939	10	10,622	1,396	3,038,335	63.2	29.5
	D	1	391	—	—	8	4,760	—	—	—	—	9	5,151	0.4	0.1
	計	1,044	5,635,439	9	85,497	739	3,086,373	371	1,256,281	45	225,374	208	10,288,964	100.0	100.0
市 町 村	A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	B	147	929,664	—	—	—	—	64	90,674	77	277,054	288	1,297,392	27.0	53.9
	C	518	639,836	—	—	—	—	203	356,005	56	115,562	777	1,111,403	73.0	46.1
	D	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	665	1,569,500	—	—	—	—	267	446,679	133	392,616	1,065	2,408,795	100.0	100.0	
合 計	A	53	2,086,582	—	—	6	154,128	38	225,223	11	127,902	108	2,593,835	3.3	20.4
	B	434	2,503,748	1	6,539	206	2,113,051	241	961,793	101	363,904	983	5,949,035	30.0	46.8
	C	1,221	2,614,218	8	78,958	519	814,434	359	515,944	66	126,184	2,173	4,149,738	66.4	32.7
	D	1	391	—	—	8	4,760	—	—	—	—	9	5,151	0.3	0.1
	計	1,709	7,204,939	9	85,497	739	3,086,373	638	1,702,960	178	617,990	3,273	12,697,759	100.0	100.0

公共土木施設災害復旧事業土木出張所別決定市町村工事費総計表

(単位 千円)

	出張所別	市 町 村 工 事							
		決 定		河 川		道 路		橋 梁	
		ヶ所	金 額	ヶ処	金 額	ヶ所	金 額	ヶ処	金 額
総 計	福井	34	109,662	7	6,850	22	9,007	5	69,663
	三国	15	9,800	4	2,069	7	3,347	4	4,384
	大野	142	807,867	54	427,019	61	203,29	27	76,919
	勝山	91	131,878	50	58,367	10	93,393	31	70,118
	鯖江	13	33,614	10	31,924	3	1,690	—	—
	武生	90	196,258	41	114,857	29	19,100	10	62,301
	今立	37	148,696	23	142,043	9	2,132	5	4,521
	朝日	29	10,993	10	5,327	15	4,832	2	834
	敦賀	165	467,929	119	422,376	26	16,881	20	28,672
	小浜	449	492,098	337	358,668	83	82,368	29	51,062
計	1,065	2,408,793	655	1,569,500	265	346,679	133	368,474	

公共土木施設災害復旧事業各土木出張所別決定県工事費総計表

(単位 千円)

	出張所別	県 工 事											
		査 定 額		河 川		海 岸		砂 防		道 路		橋 梁	
		ヶ所	金 額	ヶ処	金 額	ヶ処	金 額	ヶ処	金 額	ヶ処	金 額	ヶ処	金 額
総 計	福井	149	532,100	101	487,575	—	—	25	14,485	22	27,802	1	2,238
	三国	125	234,612	79	182,449	—	—	38	41,610	7	4,076	1	6,477
	大野	341	4,396,068	103	2,043,454	—	—	79	1,521,990	143	751,349	16	79,275
	勝山	157	1,024,777	106	891,667	—	—	36	51,181	10	11,996	5	69,933
	鯖江	79	178,341	42	137,987	—	—	31	37,207	6	3,147	—	—
	武生	389	856,040	191	501,980	3	27,733	176	270,087	13	16,398	6	39,842
	今立	147	391,907	74	192,461	—	—	50	120,481	19	73,205	4	5,760
	朝日	59	107,275	26	77,880	—	—	21	18,448	12	10,947	—	—
	敦賀	327	1,388,708	136	452,385	2	10,403	136	793,685	48	129,401	5	2,834
	小浜	435	1,179,136	186	667,601	4	47,361	147	217,199	91	227,960	7	19,015
計	2,208	10,288,964	1,044	5,635,439	9	85,497	739	3,086,373	371	1,256,281	45	225,374	

公共土木施設災害復旧事業計画市町村工事内訳調査書

市町村名	申 請		決 定		工 種 別 内 訳							
	箇所数	金 額	箇所数	金 額	河 川		海 岸		道 路		橋 梁	
					箇所数	金 額	箇所数	金 額	箇所数	金 額	箇所数	金 額
福井市	21	12,538	18	9,330	2	3,592	—	—	14	4,501	2	1,237
足羽町	3	34,112	5	25,945	2	1,393	—	—	2	410	1	24,142
美山町	5	28,551	5	18,996	2	668	—	—	2	1,122	1	17,206
松岡町	1	2,204	1	2,109	—	—	—	—	1	2,109	—	—
上志比村	1	56,402	1	51,220	—	—	—	—	—	—	1	51,220
清水町	4	3,428	4	2,062	1	1,192	—	—	3	865	—	—
金津町	3	4,576	3	2,295	—	—	—	—	2	861	1	1,434
丸岡町	2	1,516	2	1,381	1	189	—	—	1	1,192	—	—
川西町	11	6,196	10	6,124	3	1,880	—	—	4	1,294	3	2,950
大野市	72	803,980	76	462,575	29	158,012	—	—	30	258,413	17	46,150
西谷村	37	166,314	39	82,087	6	26,441	—	—	27	33,494	6	22,152
和泉村	32	278,493	27	263,205	19	242,566	—	—	4	12,022	4	8,617
勝山市	94	134,972	91	131,878	50	58,367	—	—	10	33,393	31	70,118
鯖江市	13	34,038	13	33,614	10	31,924	—	—	3	1,690	—	—
武生市	18	70,299	18	61,045	8	36,146	—	—	6	4,551	4	20,348
南条町	24	62,235	18	44,679	11	19,882	—	—	4	1,797	3	23,000
今庄町	48	82,190	49	88,215	32	58,829	—	—	14	10,433	3	18,953
河野村	5	2,708	5	2,319	—	—	—	—	5	2,319	—	—
今立町	20	17,060	18	14,776	9	10,308	—	—	7	1,630	2	2,838
池田町	19	153,444	19	133,920	14	131,735	—	—	2	502	3	1,683
朝日町	2	429	2	345	—	—	—	—	2	345	—	—
宮崎村	12	4,394	13	4,915	7	2,989	—	—	5	1,573	1	353
越前町	1	414	1	342	—	—	—	—	1	342	—	—
越廼村	3	922	3	921	—	—	—	—	3	921	—	—
織田町	12	5,259	10	4,470	3	2,338	—	—	6	1,651	1	481
敦賀市	55	153,292	59	133,573	47	110,163	—	—	3	1,592	9	21,818
三方町	67	231,863	69	213,547	47	202,086	—	—	15	7,166	7	4,295
美浜町	41	89,287	37	120,809	25	110,127	—	—	8	8,123	4	2,559
小浜市	111	219,897	126	194,259	82	129,208	—	—	33	45,133	11	19,918
上中町	88	143,535	86	100,939	57	81,784	—	—	26	17,165	3	1,990
名田庄村	80	120,321	77	70,434	63	37,351	—	—	6	6,740	8	26,343
高浜町	102	93,291	102	74,041	83	66,543	—	—	13	6,127	6	1,371
大飯町	56	56,738	58	52,425	52	43,782	—	—	5	7,203	1	1,440
合 計	1,059	3,073,333	1,065	2,408,795	665	1,569,500	—	—	267	446,679	133	392,616

(五) 災害関連事業および助成事業の決定状況

近年とみに再度災害防止とその復旧効果を挙げるため「原形復旧よりも改良復旧を」という声が高まってきている。

40年災害についても、特に被害が大きかったため、改良復旧を望む県民の声が大きかった。

県もこれに応じて、事情の許す限り申請をした。その結果、特に被害の大きかった真名川、松永川については、助成事業として又、その代り河川、砂防橋梁等で市町村工事も含めて74ヶ所が関連事業として改良が認められた。その概要は次のとおりである。

イ 助成事業

河川名	事業費			計画概要
	災害費	助成費	計	
真名川	千円 747,247	千円 792,000	千円 1,539,247	延長 10,195.0 m 流路修正、護岸補強 延長 2,242.0 m 流路修正、護岸補強
松永川	54,712	54,000	108,712	
計	801,959	846,000	1,647,959	

ロ 関連事業

県工事

工種別	事業費			計画概要
	災害費	関連費	計	
河川	千円 795,953	千円 729,260	千円 1,525,213	女神川外31河川
砂防橋梁	385,439	368,461	753,900	女神川外21河川
計	1,197,996	1,103,471	2,301,467	笹生橋

町村工事

工種別	事業費			計画概要
	災害費	関連費	計	
河川	千円 113,497	千円 83,737	千円 197,234	真珠川外15河川
橋梁	69,911	42,591	112,502	日ノ出橋外2橋
計	183,408	126,328	309,736	
県町村計	1,381,404	1,229,799	2,611,203	

(六) 昭和40年度施行状況

建設省災害査定結果に基づき直に復旧の本工事に着工すべく40年12月1日に先づ激甚地である大野土木出張所に「災害復旧課」を工事課から独立させ真名川水系流域（大野市佐開地係から上流西谷村一円）に係る県公共土木施設の災害復旧事業および同地域に係る大野市および西谷村公共土木施設災害復旧事業の指導監督事務を当らしめ、その実施体制を確立した。

一方建設業会に対しては、これら公共土木施設災害復旧工事の適正な施工を強く要請し県民が期待しているところに充分応え、公共の福祉に尽すよう喚起した。



災害復旧工事

40年度工種別、災害復旧施行計画調書

(上欄
中欄
下欄)

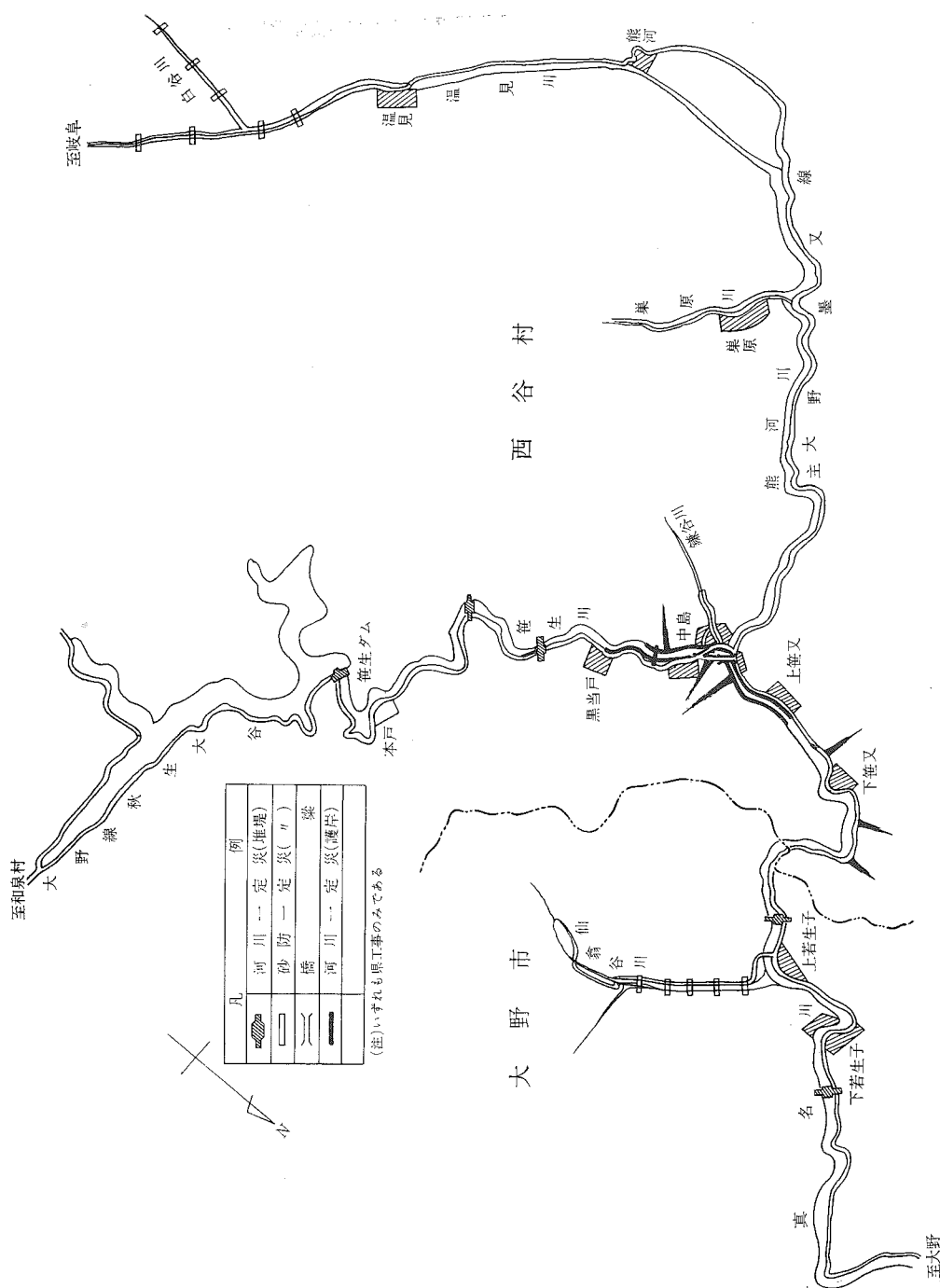
予算内執行額
債務負担行為額
合計額

(昭 41. 1. 5 現在)

土木出張所	河		川		砂		防		道		路		橋		梁		海		計		定	
	ヶ	額	ヶ	額	ヶ	額	ヶ	額	ヶ	額	ヶ	額	ヶ	額	ヶ	額	ヶ	額	ヶ	額	ヶ	額
福井	48	140,793 1,933 142,726	3	1,087	18	24,265	1	2,238											70	168,383 1,933 170,316	149	532,100
三国	57	95,939 18,790 114,729	27	23,922	6	3,023	1	6,464											91	129,348 18,790 148,138	125	234,612
大野	50	272,764 1,253,927 1,526,691	22	81,634 338,344 419,978	102	148,963 135,250 284,213	9	13,313 4,047 17,360											183	516,674 1,731,568 2,248,242	341	4,496,581
勝山	25	308,679 278,733 587,412	11	9,806	10	10,668	4	25,970											50	355,123 278,733 633,856	157	1,034,288
鯖江	20	53,303 10,000 63,303	22	22,986	5	2,798													47	79,087 79,087	79	118,341
武生	84	176,008 26,241 202,249	62	64,180 21,720 85,900	8	6,118 327 6,445	5	21,100 15,641 36,741											162	7,238 20,495 27,733	389	856,040
今立	44	97,311 35,185 132,496	9	20,627 12,662 33,289	9	3,038 14,233 17,271													62	120,976 62,080 183,056	147	391,907
朝日	14	27,933 13,541 41,474	7	3,007	8	6,965 1,571 8,536													29	37,905 15,112 53,017	59	107,275
敦賀	86	200,978 16,000 216,978	56	169,064 296,000 465,064	40	65,541 43,000 108,541	5	2,834											187	438,417 355,000 793,417	327	1,416,087
小浜	66	182,561 182,561	67	68,724	51	104,938	6	10,647											193	7,112 12,380 19,492	435	1,179,136
計	494	1,556,269 1,654,350 3,210,619	286	465,037 668,726 1,133,763	257	376,317 194,381 570,668	31	82,566 19,688 102,254	6	14,350 32,875 47,225									1,074	2,494,539 2,570,020 5,064,559	2,208	10,426,367

西谷村災害復旧図

なお、激基地である西谷村および真名川水系地係の公共土木施設災害復旧計画は、次の略図のとおりである。



なお40年3月7日 県は部長会議に諮り、「公共事業施行促進実施事項」を決め、災害復旧事業を含む公共事業の促進を図り、政府がさきに閣議決定した不況刺激策として、公共事業の上半期60%消化方針を実現することにした。

激甚害災に伴う法第2章関係事業の財政援助額及び嵩上国庫負担率表

市町村名	事業名	所管名	対象事業費	特別財政援助額	嵩上国庫負担率	市町村名	事業名	所管名	対象事業費	特別財政援助額	嵩上国庫負担率
県	1	建	10,547,330	403,781.5	0.038	美山町	1	建	19,945.	1,058.1	0.053
	1	農	81,612	3,124.3	0.038	松岡町	1	建	2,214.	340.3	0.154
	1	運	65,686	2,514.7	0.038		上志比村	1	建	53,781	7,274.6
		小計	10,694,628	409,420.5	0.038	西谷村		1	建	86,191	1,597.8
	2	建	1,569,262	316,188.1	0.201		3	文	55,769.9	14,983.3	0.269
	3	文	11,012.3	1,479.5	0.134	11	厚	2,325.	624.6	0.269	
	6	厚	527	53.1	0.101	14	建	41,727.	16,815.7	0.403	
	11	厚	2,429	326.3	0.134	計		186,012.9	34,021.4		
	12	厚	876	176.5	0.201	和泉村	1	建	276,365.	2,960.	0.011
	計		12,278,734.3	727,644.0			川西町	1	建	6,430.	948.9
	敦賀市	1	建	140,251	7,005.5	0.050		今立町	1	建	15,514.
小浜市		1	建	203,971	26,413.7	0.129	14		建	6,427.	1,491.8
	2	建	36,876	11,369.9	0.308	計		21,941.	3,890.		
	3	文	3,910.4	803.9	0.206	池田町	1	建	140,264.	2,596.9	0.019
	6	厚	105	16.2	0.145		南条町	1	建	46,912.	2,847.9
計		244,862.4	38,603.7		2	建		1,403.	409.5	0.292	
大野市	1	建	484,078	73,245.5	0.151	3	文	551.4	107.3	0.195	
	2	建	4,806	1,540.7	0.321	計		48,866.4	3,364.7		
	3	文	52,630.3	11,247.9	0.214	今庄町	1	建	92,625.	6,674.3	0.072
	14	建	18,666	5,983.8	0.321		2	建	12,152	3,944.3	0.325
計		560,180.3	92,017.9		3	文	693.8	150.2			
勝山市	1	建	138,471	23,494.2	0.170	計		105,470.8	10,768.8	0.216	
	2	建	11,400	3,150.2	0.276	河野村	1	建	2,435.	443.9	0.182
	3	文	4,089.7	753.4	0.784		1	農	1,648.	300.5	0.182
	14	建	2,865	791.7	0.276	小計		4,083.	744.4	0.182	
計		156,825.7	28,189.5		3	文	2,532.	501.2	0.198		
鯖江市	1	建	35,294	4,758.	0.135	計		6,615.	1,245.6		
	3	文	18,676.4	2,496.3	0.134	足羽町	1	建	27,242	4,461.4	0.164
計		53,970.4	7,254.3		3		文	243.4	48.0	0.197	
足羽町	1	建	27,242	4,461.4	0.164	計		27,485.4	4,509.4		
	3	文	243.4	48.0	0.197						

市町村名	事業名	所管名	対事業費	特別財政援助額	嵩上国庫負担率	市町村名	事業名	所管名	対事業費	特別財政援助額	嵩上国庫負担率	
宮崎村	1	建	5,160.	733.5	0.142		1	農	27,398	1,287.6	0.047	
							小計	82,444	3,874.4	0.047		
三方町	1	建	224,224.	4,864.9	0.022		3	文	1,193.7	228.	0.191	
	3	文	2,802.7	596.2	0.213		計	83,637.7	4,102.4			
	14	建	17,044.	5,438.1	0.319							
		計	244,070.7	10,899.2		足羽中学校組合	3	文	223.2	8.8	0.039	
美浜町	1	建	126,849.	6,496.5	0.051		南越中学校組合	3	文	361.5	55.	0.152
	3	文	2,340.9	454.2	0.194							
	14	建	2,149.	625.3	0.291		市町村分計	1	建	2,440,944.	194,760.4	0.080
		計	131,338.9	7,576.			1	農	29,732.	1,633.5	0.055	
上中町	1	建	105,985	4,724.6	0.045		小計	2,470,676.	196,393.9	0.079		
	2	建	2,936	948.4	0.323		2	建	69,573.	21,363	0.307	
	3	文	29,564.8	6,366.9	0.215		3	文	177,270.5	39,132.5	0.221	
			計	138,485.8	12,039.9			6	厚	105.	16.2	0.154
							11	厚	2,325.	624.6	0.269	
名田庄村	1	建	73,955.	1,686.7	0.023		14	建	92,523.	32,221.3	0.348	
	3	文	312.	60.9	0.195		計	2,812,472.5	289,751.5			
	14	建	844.	246.8	0.292		県市町村計	1	建	12,988,274	598,541.9	0.046
		計	75,111.	1,994.4			1	農	111,344	4,757.8	0.043	
高浜町	1	建	77,742.	5,148.2	0.066		1	運	65,686	2,514.7	0.038	
	1	農	686.	45.4	0.066		小計	13,165,304	605,814.4	0.046		
		小計	78,428.	5,193.6	0.066		2	建	1,638,835	337,551.1	0.206	
	3	文	1,374.4	271.	0.197		3	文	188,282.8	40,612.	0.216	
	14	建	2,801.	828.1	0.296		6	厚	527	69.3	0.131	
		計	82,603.4	6,292.7			11	厚	2,429	950.9	0.391	
							12	厚	876	176.5	0.201	
大飯町	1	建	55,046	2,586.8	0.047		14	建	92,523	32,221.3	0.348	
							計	15,088,776.8	1,017,395.5			

- 備考 1. 事業名欄「1」は公共土木施設災害復旧事業、「2」は公共土木施設災害復旧事業、「3」は公立学校施設災害復旧事業、「6」は児童福祉施設災害復旧事業、「11」は伝染病予防施設災害復旧事業、「12」は伝染病事業、「14」は堆積土砂排除事業（公共的施設の区域外）を示す。
2. 所管名欄「建」は建設省、「農」は農林省、「運」は運輸省、「文」は文部省、「厚」は厚生省を示す。
3. 県事業建設省所管施設災害復旧事業費及び財政援助額のうち夫々、112,574千円及び4,309,700円の直轄分を含む。
4. 県事業の6、12は市町村施行分に係る分で合計額は重複しないように集計した。

昭和40年度公共土木施設災害復旧事業費決定額一覽表

(單位 千円)

事業 主体名	所 管 別	一 般 分				激 甚 災 分				計					
		事 業 費		国 庫 額 負担額	国 庫 率 負担率	事 業 費		国 庫 額 負担額	国 庫 率 負担率	事 業 費		国 庫 額 負担額	国 庫 率 負担率		
		工 事 費	事 務 費			工 事 費	事 務 費			工 事 費	事 務 費				
△ 泉	建	76,019	1,651	77,670	0.905	10,212,945	221,811	10,434,756	9,839,974.9	0.943	10,288,964	223,462	10,512,426	9,910,266.2	0.943
	農	25729	559	26,288	0.905	79,877	1,735	81,612	76,960.1	0.943	105,606	2,294	107,900	100,750.7	0.934
	運	14,510	315	14,825	0.905	64,290	1,396	65,686	61,941.8	0.943	78,800	1,711	80,511	75,358.4	0.936
	計	116,258	2,525	118,783	0.905	10,357,112	224,942	10,582,054	9,978,876.8	0.943	10,473,370	227,467	10,700,837	9,866,375.3	0.943
福井市	建	9,330	466	9,796	0.667						9,330	466	9,796	6,533.9	0.667
△ 敦賀市	建	61,045	3,052	64,097	0.667	133,573	6,678	140,251	120,195.1	0.857	133,573	6,678	140,251	120,195.1	0.857
武生市	建										61,045	3,052	64,097	42,752.6	0.667
△ 小浜市	建	5,111	256	5,367	0.790	194,259	9,712	203,971	187,449.3	0.919	194,259	9,712	203,971	187,449.3	0.919
	農	5,111	256	5,367	0.790						5,111	256	5,367	4,239.9	0.790
	計	5,111	256	5,369	0.790	194,259	9,712	203,971	187,449.3	0.919	199,370	9,968	209,338	191,689.2	0.916
大野市	建					462,575	21,503	484,078	442,931.3	0.915	462,575	21,503	484,078	442,931.3	0.915
勝山市	建					131,878	6,593	138,471	119,500.4	0.863	131,878	6,593	138,471	119,500.4	0.863
鯖江市	建					33,614	1,680	35,294	29,611.6	0.839	33,614	1,680	35,294	29,611.6	0.839
△ 足羽町	建					25,945	1,297	27,242	24,163.6	0.887	25,945	1,297	27,242	24,163.6	0.887
△ 美山町	建					18,996	949	19,945	18,708.4	0.938	18,996	949	19,945	18,708.4	0.938
松岡町	建					2,109	105	2,214	1,817.6	0.821	2,109	105	2,214	1,817.6	0.821
上志比村	建					51,220	2,561	53,781	49,424.7	0.919	51,220	2,561	53,781	49,424.7	0.919
△ 西谷村	建					82,087	4,104	86,191	85,846.2	0.996	82,087	4,104	86,191	85,846.2	0.996
△ 和泉村	建					263,205	13,160	27,365	274,154.0	0.992	263,205	13,160	276,365	274,154.0	0.992

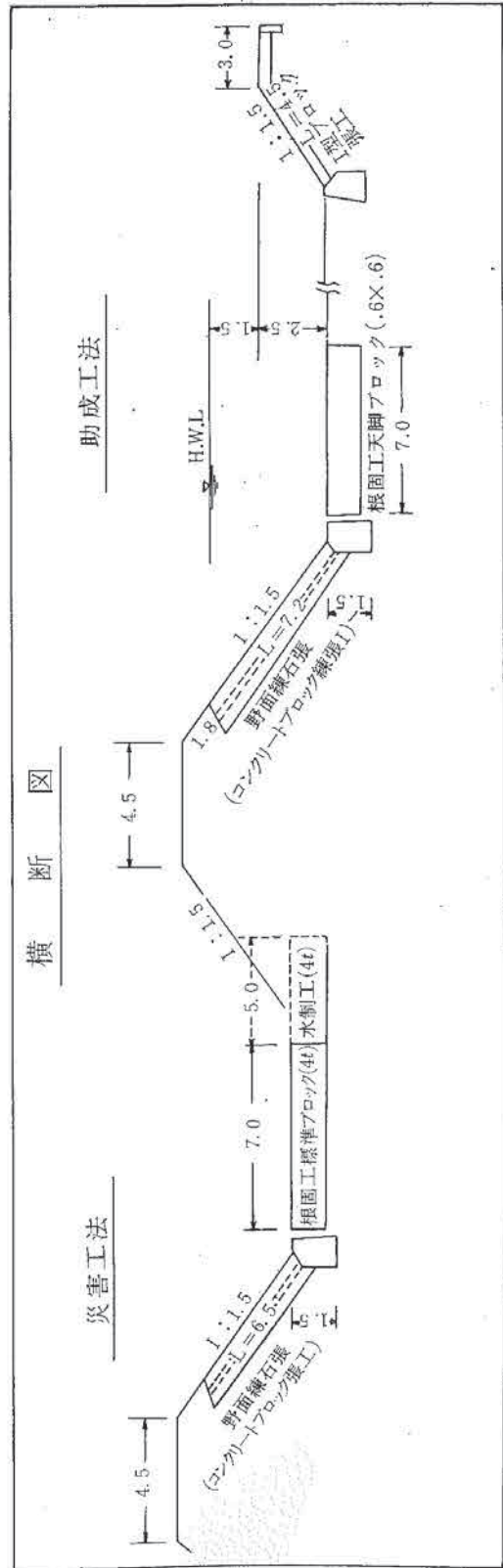
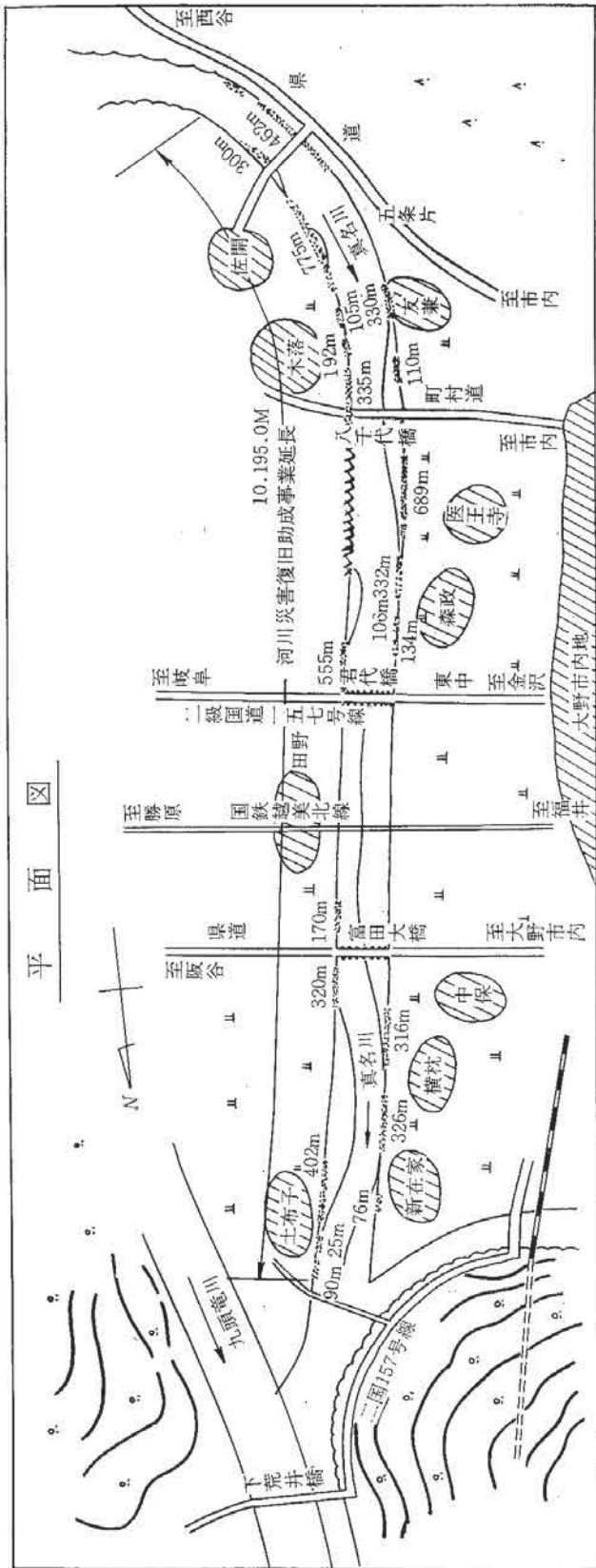
事業 主体名	所管 別	一 般 分				激 甚 災 分				計			
		事 業 費		国 庫 額 負担額	国 庫 負担率	事 業 費		国 庫 額 負担額	国 庫 負担率	業 費		国 庫 額 負担額	国 庫 負担率
		工 事 費	計			工 事 費	計			工 事 費	計		
				工 事 費	計			工 事 費	計			工 事 費	計
金津町	建	2,295	114	2,409	1,606.8	0.667							
丸岡町	建	1,381	69	1,450	967.1	0.667							
川西町	建			6,124	306	6,430	5,471.9	0.851					
今立町	建			14,776	738	15,514	12,752.5	0.822					
△池田町	建	335	17	352	340.0	0.966							
△南条町	建			44,679	2,233	46,912	44,894.7	0.957					
△今庄町	建			88,215	4,410	92,625	89,012.6	0.961					
河野村	建			2,319	116	2,435	2,130.6	0.875					
豊 計				1,570	78	1,648	1,442.0	0.875					
				3,889	194	4,083	3,572.6	0.875					
朝日町	建	345	17	362	241.4	0.667							
宮崎村	建			4,915	245	5,160	4,174.4	0.809					
越前町	建	342	17	359	239.4	0.667							
農 計				1,318	66	1,384	923.1	0.667					
				1,660	83	1,743	1,162.5	0.667					
越廼村	建	921	46	967	644.9	0.667							
織田町	建	4,470	223	4,693	3,130.2	0.667							
清水町	建	2,062	103	2,165	1,444.0	0.667							
△三方町	建			213,547	10,677	224,224	221,533.3	0.988					
△美浜町	建			120,809	6,040	126,849	122,155.5	0.963					

事業 主体名	一 般 分						激 甚 災 分						計					
	事 業 費			国 庫 額	国 庫 負 担 率	国 庫 負 担 額	事 業 費			国 庫 額	国 庫 負 担 率	国 庫 負 担 額	事 業 費			国 庫 額	国 庫 負 担 率	
	工 事 費	事 務 費	計	工 事 費	事 務 費		計	工 事 費	事 務 費	計	工 事 費		事 務 費	計	工 事 費	事 務 費	計	
																		工 事 費
△上中町							100,939	5,046	105,985	103,441.3	0.976	103,441.3	100,939	5,046	105,985	103,441.3	0.976	
△名田庄村							70,434	3,521	73,955	72,771.7	0.984	72,771.7	70,434	3,521	73,955	72,771.7	0.984	
△高浜町							74,041	3,701	77,742	74,165.8	0.954	74,165.8	74,041	3,701	77,742	74,165.8	0.954	
農 計							653	33	686	654.4	0.954	654.4	653	33	686	654.4	0.954	
							74,694	3,734	78,428	74,820.2	0.954	74,820.2	74,694	3,734	78,428	74,820.2	0.954	
△大飯町							52,425	2,621	55,046	53,119.3	0.965	53,119.3	52,425	2,621	55,046	53,119.3	0.965	
建 農 計							26,094	1,304	27,398	26,439.0	0.965	26,439.0	26,094	1,304	27,398	26,439.0	0.965	
							98,519	3,925	82,444	79,558.3	0.965	79,558.3	78,519	3,925	82,444	79,558.3	0.965	
市町村分 計	82,526	4,124	86,650	57,900.3	0.668	57,900.3	2,326,269	114,675	2,440,944	2,297,585.8	0.941	2,297,585.8	2,408,795	118,799	2,527,594	2,355,486.1	0.932	
	6,429	322	6,751	5,163.0	0.765	5,163.0	28,317	1,415	29,732	28,535.4	0.960	28,535.4	34,746	1,737	36,483	33,698.4	0.924	
	88,955	4,446	93,401	63,063.3	0.765	63,063.3	2,354,586	116,090	2,470,676	2,326,121.2	0.941	2,326,121.2	2,443,541	120,536	2,564,077	2,389,184.5	0.932	
農 計																		
建 農 計	158,545	5,775	164,320	128,191.6	0.780	128,191.6	12,539,214	336,486	12,875,700	137,560.7	0.943	137,560.7	12,697,759	342,261	13,040,020	265,752.3	0.941	
農 計	32,158	881	33,039	28,953.6	0.876	28,953.6	108,194	3,150	111,344	105,495.5	0.947	105,495.5	140,352	4,031	144,383	134,449.1	0.931	
運 計	14,510	315	14,825	13,416.6	0.905	13,416.6	64,290	1,396	65,686	61,941.8	0.943	61,941.8	78,800	1,711	80,511	75,358.4	0.936	
合 計	205,213	6,971	212,184	170,561.8	0.804	170,561.8	12,711,698	341,032	13,052,730	304,998.0	0.943	304,998.0	12,916,911	348,003	13,264,914	475,559.8	0.940	

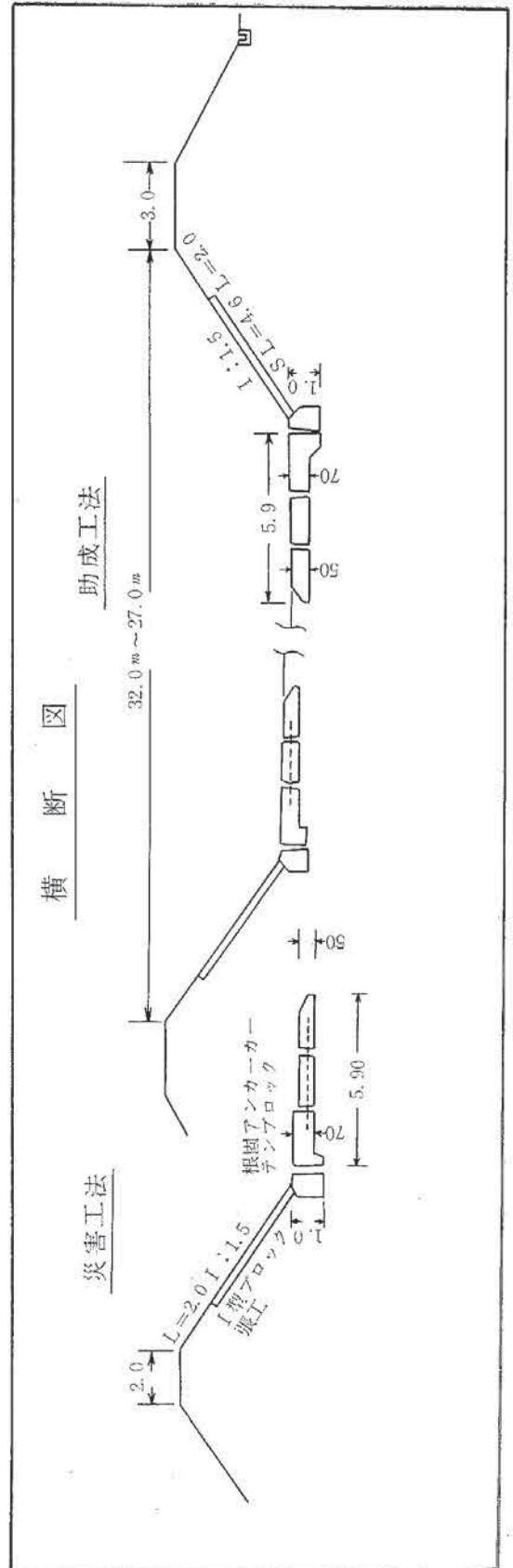
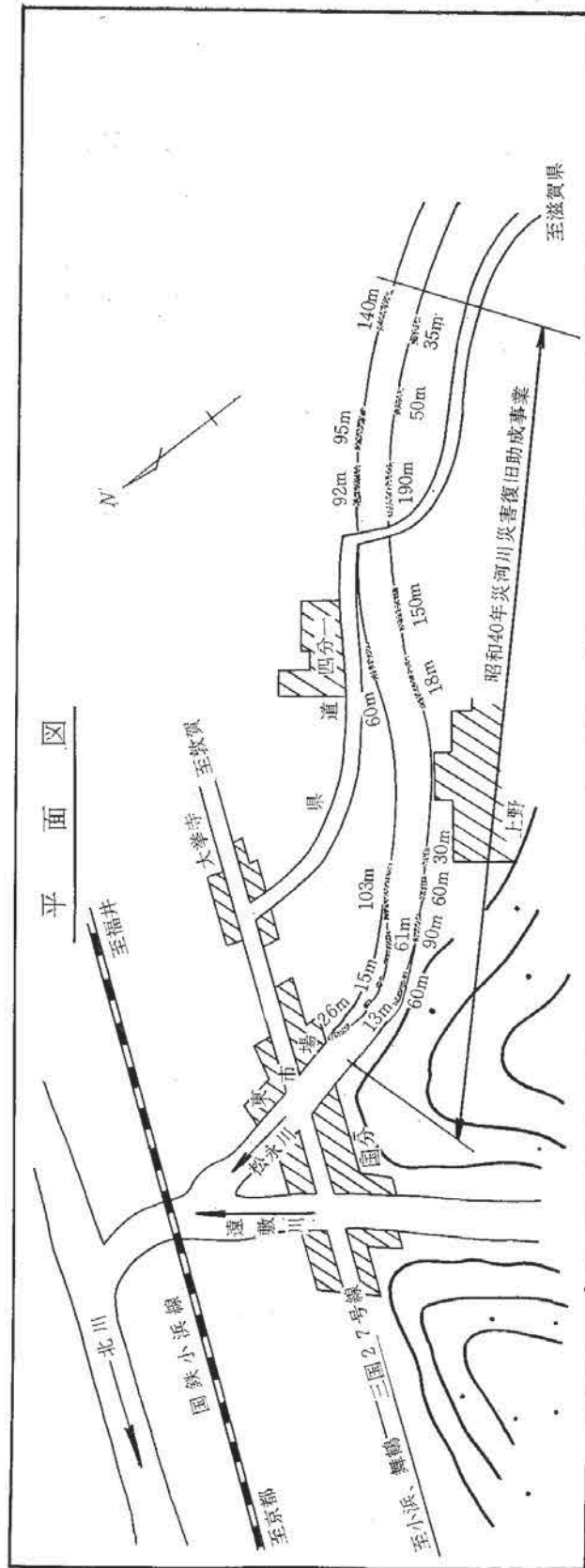
備考 1. 所管別「建」は建設省、「農」は農林省、「運」は運輸省を示す

2. 事業主体名欄の△印は連年災適用（町村合併促進法第20条の2による旧町村での連年災計算を含む。）を示す。

真名川助成事業計画面



松永川助成事業計画画





直ちに取りかかる応急工事の状況

(その1)



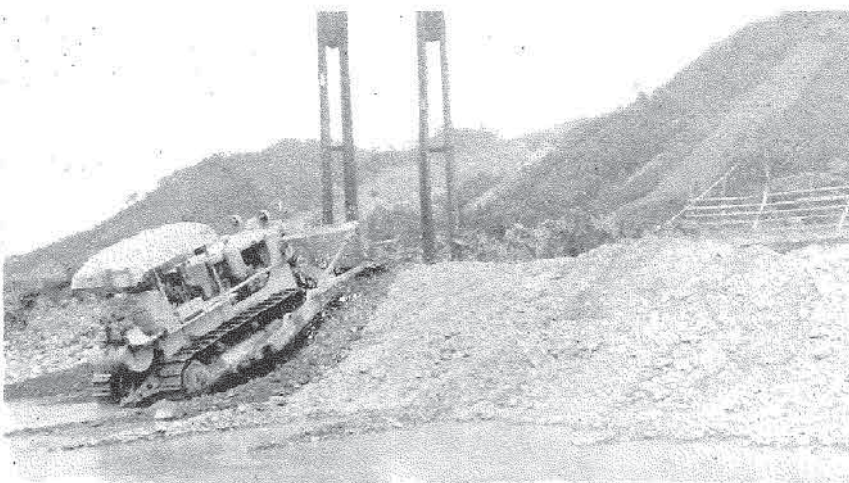
(その2)



(その3)



応急工事決定の全景



真名川佐開地係における応急工事



(その1)



(その2)

4 道路の復旧計画

災害復旧については、11月3日より19日まで17日間にわたり、建設省の現地査定を受け、これが復旧については、改良復旧を強力に推進し、早期復旧に全力を挙げ住民福祉の増進を図りたい。

道路災害復旧事業 40年度起工額調べ

41. 2. 24

	道 路		橋 梁		計	
	ヶ 処	金 額	ヶ 処	金 額	ヶ 処	金 額
福 井	19	24,854	1	2,238	20	27,092
三 国	6	3,023	1	6,085	7	9,108
大 野	109	(436,686) 132,172	10	(7,495) 14,618	119	(444,181) 146,790
勝 山	10	10,668	4	(2,370) 28,340	14	(2,370) 39,008
鯖 江	5	2,798	—	—	5	2,798
武 生	9	8,147	5	(15,641) 21,100	14	(15,641) 29,247
今 立	9	(14,233) 3,038	—	—	9	(14,233) 3,038
朝 日	8	(1,571) 6,965	—	—	8	(1,571) 6,965
敦 賀	40	(43,000) 65,541	5	2,834	45	(43,000) 68,375
小 浜	51	(10,000) 94,938	6	10,647	57	(10,000) 105,585
計	266	(505,490) 357,144	32	(25,506) 85,862	298	(530,996) 438,006

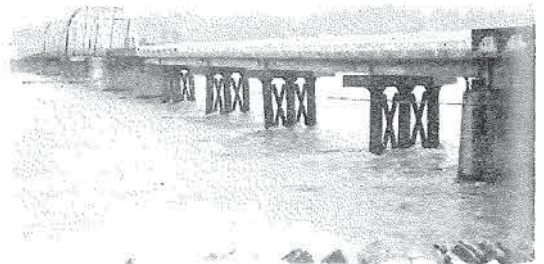
() 内は予算外

40年度着工	道路	266ヶ処	857,634千円	うち	消化見込額	352,144千円
	橋梁	32	111,368		"	85,862
	計	298	969,002		"	438,006



災害地への交通
確保、今日もま
た除雪

40.11.1 完成
下荒井橋



5 河川の復旧計画

県下の2級河川延長、1,044,82 軒、河川数 120 河川のうち、災害を受けた河川 88 河川、被災延長約 180.0 軒で約 18 %に当たる。

この復旧工法としては、災害助成、関連で改良費を加え、更に降雨量計画も 39 年度まで使用していた 40 ~ 60 年確率を、50 ~ 100 年確率に変更し、設計するとともに、護岸工も強度を従来とは増し、根固工を重量を約 1.5 ~ 2 倍とした。

特に被害の激甚であった真名川水系は河川延長 41.0 軒の内被災延長 31.0 軒で全体の約 77 %の災害を受けたので、大野市土布子~五条方間約 10.1 軒を河川助成事業で施行することとし、事業費 1,529,247 千円をもって復旧計画、更に大野市五条方から上流笹生川を含めて西谷村本戸までの間約 21.4 軒を河川一定災害事業で施行することとし、事業費 114,504 千円をもって復旧の計画をした。

なお県下の河川災害復旧の全体計画を図で示すと次のとおりである。

		40年	41年	42年	43年	44年
878ヶ所6926,926千円	単独災害 38 % 841ヶ所 2,675,833千円	25%	40%	20%	15%	
	一定災害 1,077,921 16 % 3ヶ所	20%	40%	30%	20%	
	助成事業 1,647,959 24 % 2ヶ所	15%	30%	20%	20%	15%
	関連事業 1,525,213 22 % 32ヶ所	25%	40%	20%	15%	

→年度区分及進捗率



大災害を受けた各個所は着々と復旧工事が進められている



宇波西川 推積土砂除却

一定災害で採択されたもの

河川路線名	地 係			申請額	原 形 巾員、延長、構造	決定額	復 旧 工 法
	郡市	町村	字				
〔県 工 事〕							
九頭竜川 (支 真名川管生川、 雲川)	大野郡	西谷	本戸 五条方	887,052		181,499	復旧長 40基 堰堤工
"	"	"	中島			内仮工 8,189 744,356 742,867	復旧長 1,433.0m 雲川400.0m 管生川1,047.0m 堰堤工 } 流路工 } 10式 床固工 }
女 神 川	勝山	平泉寺	平泉寺	161,762	W=20.0m L=2,140m 護岸 練石積 空石積	(1,334) 152,066 161,577	W=15.0m L=2,053m 護岸工 野面練石積 (表コ=10cm) 8,140.8m ² 床止工 (1.0m) 19ヶ所 (1.5m) 1ヶ所 帯工 9ヶ所
九 頭 竜 川 支 旅 塚 川	大野郡	西谷	金山 柿ヶ島	内未 7,340 369,260		内末 6,334 248,346	復旧長 3,170.0m 野面練石積 22,084.1m ² 根固 アンカ、コンクリート251組 床固工 18基 帯工 20基
鹿 谷 川 支 右 岸	"		南六呂 師	148,675		93,170	復旧長 1,205.0m 流路工延長 1,125.0m 野面練石積 5,884.1m ² 床固工 10.0基 帯工 19.0基
旅 塚 川 支 湯 の 谷 岸 右	"		叢 道	103,040		内仮 70,944	復旧長 954.0m 流路工延長 954.0m 野面練石積 4,655.6m ² 床固工、帯工 各 16.0基
真名川支仙翁谷	"		上若生 子	489,276		368,151	1号工 L 102m H 12m 2号工 L 72m H 15m 3号工 L 122m H 15m 4号工 L 84m H 12m 5号工 L 116m H 12m
雲川支中島鎌谷	"	西谷	中 島	120,508		92,896	流路工 480.0m 積ブロック 2,995.2m ² 床固工 20ヶ処 堰送堤工 20ヶ処
雲川支 温見川 白谷川 登谷川	"	"	温 見	内未49,502 418,013	温見川堰堤 3基 白谷川 " 24基 登谷川 " 5基	内末 49,503 307,275	温見川 堰堤工 3.0基 白谷川 " 3.0基 登谷川 " 2.0基 輸道路 " 1.0式
魚 見 川 支 阿 久 和 俣 川	今立	池田	魚 見	35,000	L=650.0m 雑石積、天然	26,662	鉄線籠腹付 落差工 4基 帯工 9基
魚 見 川 支 宅 良 俣 川	"	"	"	21,369	L=510.0m 雑石積、天然	15,139	鉄線籠腹付 落差工 1基 帯工 6基
11 件						2,300,504	
〔町 村 工 事〕							
水 上 谷 川	大野		佐 開	17,834	川巾 内肩巾1.5m 延長 725.0m 構造 野面空石積 一部天然向岸	16,954	川巾 内肩巾 2.4m 延長 719.5m 構造 野面練石積
宅 良 俣 川	今立	池田	魚 見	90,550	L=1,970.0m 石積、杭柵、天然	75,286	鉄線籠腹付 落差工 6基 帯工 33基
練 俣 川	"	"	"	14,000	L=405.0m 石積	12,668	積ブロック 落差工 3基 帯工 10基
唐 木 川	"	"	"	21,685	L=555m 石積	22,171	コンクリート三面張 一部石積 落差工 9基 帯工 6基
市 道 谷 線 仙 翁 谷 線	大野		下若生 子	内未 411 469,317	延長 4,100m 巾員 3.6m 橋梁 6ヶ処	内末 内仮 (411) 222,304	復旧長 4,154.0m 橋梁工 8.1ヶ処 巾 員 3.6m
5 件						349,383	

県管理河川の復旧計画（その1）

（単位：千円）

復旧計画 河川名	復旧計画				復旧計画 河川名	復旧計画			
	申請額		復旧計画額			申請額		復旧計画額	
	箇所数	金額	箇所数	金額		箇所数	金額	箇所数	金額
九頭竜川	52	1,177,332	51	684,629	田島川	1	484	1	485
日野川	60	439,550	69	360,943	竹田川	5	17,996	5	14,493
足羽川	18	88,924	17	59,663	権世川	13	22,732	13	19,089
鞍谷川	38	166,591	39	124,561	観音川	6	4,709	5	2,769
天王川	19	80,884	18	76,201	七瀬川	25	28,696	25	27,935
荒川	3	8,804	2	914	高須川	6	21,384	6	19,602
羽生川	7	5,377	5	2,230	真名川 (笹生川)	26	1,077,438	30	1,000,514 1,926,369
上味見川	2	3,626	2	3,626	赤根川	12	31,591	13	30,191
野津俣川	1	576	1	576	木瓜川	1	1,338	1	1,422
芦見川	1	565	0	0	勳堂川	1	497	1	588
一乗谷川	3	2,329	3	1,739	清滝川	51	117,831	50	90,556
江端川	3	49,577	4	36,371	打波川	2	2,763	1	1,030
計石川	1	716	1	716	雲川	2	12,419	3	8,900
狐川	1	1,392	1	546	滝波川	17	65,117	16	57,218
高橋川	2	26,594	2	19,587	女神川	8	175,000	8	165,053
志津川	8	163,112	8	140,534	浄土寺川	38	71,461	35	66,826
未更毛川	7	15,922	7	16,199	暮見川	30	48,701	26	50,011
滝波川	1	554	1	534	岩屋川	1	4,421	1	391
一光川	10	9,863	10	7,566	鹿谷川	2	637	2	642
平尾川	1	681	1	668	浅水川	5	30,509	5	19,914
三本木川	11	18,222	9	12,091	河和田川	14	31,699	1	25,005
山内川	4	3,676	4	2,752	吉野瀬川	1	2,457	1	2,457
磯部川	1	6,226	1	6,225	穴田川	3	11,384	3	3,834
兵庫川	13	22,486	13	19,936	鹿蒜川	9	12,924	9	11,830
五味川	1	349	1	348	田倉川	7	45,147	8	31,347

県管理河川の復旧計画（その2）

（単位 千円）

復旧計画 河川名	復旧計画				復旧計画 河川名	復旧計画			
	申請額		復旧計画額			申請額		復旧計画額	
	箇所数	金額	箇所数	金額		箇所数	金額	箇所数	金額
奥野々川	20	31,956	17	32,143	耳川	42	154,999	43	164,083
阿久和川	22	41,251	22	40,398	鱒川	23	90,274	23	89,134
金粕川	8	38,901	5	39,586	南川	34	182,436	37	156,537
牧谷川	20	21,524	20	24,078	田村川	5	3,008	5	2,987
清水川	8	5,387	6	4,729	多田川	3	1,503	3	1,451
吉野瀬川	10	49,017	10	39,517	遠敷川	7	8,042	8	106,732
河野川	21	21,620	20	15,237	松永川	24	64,328	25	82,653
魚見川	22	80,237	22	77,021	北川	24	118,824	30	106,148
部子川	7	12,568	7	11,139	河内川	5	5,453	5	4,836
東俣川	7	16,537	7	15,529	安賀里川	10	43,432	12	35,504
月尾川	5	4,957	5	5,156	鳥羽川	10	39,805	12	12,118
服部川	13	17,951	12	11,873	野木川	10	26,389	10	24,516
水間川	7	23,528	6	20,568	飯盛川	14	83,865	12	69,823
大味川	5	2,048	5	2,112	本所川	17	37,099	17	39,152
織田川	2	2,347	2	2,563	佐分利川	4	24,067	4	24,205
越知川	2	2,338	2	2,184	子生川	3	2,221	3	1,988
木の芽川	7	36,627	7	30,614	関屋川	2	7,855	2	5,514
黒河川	18	46,002	18	44,868	前川	1	265	1	272
笙の川	23	59,913	23	49,282	合計				
井ノ口川	23	78,030	22	82,077	88河川	1,042	6,544,644	1,044	5,635,439

更に昭和41年度における復旧事業は、70%の完成を目途に次のように計画している。

昭和41年度実施計画内訳

区分	工 事 費										計
	緊 要 事 業					そ の 他 の 事 業					
	助成 計画内	関連 計画内	その他	計	41末 進捗率	助成 計画内	関連 計画内	その他	計	41末 進捗率	
県	129,939	204,411	3,500,000	3,834,350	80	64,873	102,053	224,931	391,857	30	4,264,846
市町村	0	14,541	250,000	864,541	80	0	7,259	209,156	216,415	30	1,080,956
計	129,939	218,952	1,200,000	4,698,891		64,873	109,312	434,087	608,272		5,345,802

九頭竜川の根本的な改修問題

今次風水害に当って九頭竜川の根本的な改修は、本県治水事業上基本的な課題であり、不可欠の問題であることが痛感せられた。

そこで9月28日九頭竜川再改修促進期成同盟会緊急理事会を開催し、これが再改修の促進について協議した。

引き続き9月29日開会中の第126回定例県議会において「九頭竜川再改修の抜本的再検討（上流ダム群の増設、放出路等）と改修事業の飛躍的推進について意見書」について要望決議がなされた。

又40年10月19日1級河川指定について中央関係方面へ請願したが41年度指定が確実視されている。前者については現在真名川に洪水調節ダムを建設すべく、これが基礎調査を建設省直轄事業として進められている。

更に下流の再改修事業費も41年度において、本年度の54%増が見込まれている。

一方河川関係の助成事業については、改修計画が大規模であり綿密な検討を要するので全体計画作成まで相当な時日を要するため、40年度は、取敢えず破堤カ所の復旧を災害復旧費をもって、着工し、堤内の耕地復旧等に支障のないよう民生の安定を考慮した。

又関連事業については、緊急を要するものから35ヶ河川、町村工事9ヶ河川285百万円を消化する予定である。

6 砂防の復旧計画

復旧の方法は主として原形復旧事業であるが、本県は特に激甚地であったため、一定計画事業、災害関連事業および緊急砂防事業と積極的復旧の方法を計画立案して強く中央に働きかける一方、流路の埋没或は、破堤し、今後出水時に危険なものについては、建設省査定を待たず、県下81ヶ所4,600万円で応急復旧工事を施行した。

全体の復旧計画の内容は、先づ砂防設備の被災したヶ所のみを復旧すれば被災前の効用を充分発揮でき得るものについては、原形復旧事業をもって、施行するものとした。それは570ヶ所の12億388,000円である。

次に砂防設備が連続している区間は、原形復旧のみでは効用を期待することができず、再度被災する虞れあるものについては、改良費を投入して災害関連事業をもって施行するものとした。それは22ヶ所の7億5,300万円である。

更に砂防設備の被災した区間が特にいちじるしく、かつその区間が全延長の80%以上あるものについては、未被災区間も含め、抜本的に復旧するものとし、一定計画事業をもって施行するものとした。それは7ヶ所の14億3,865万円である。

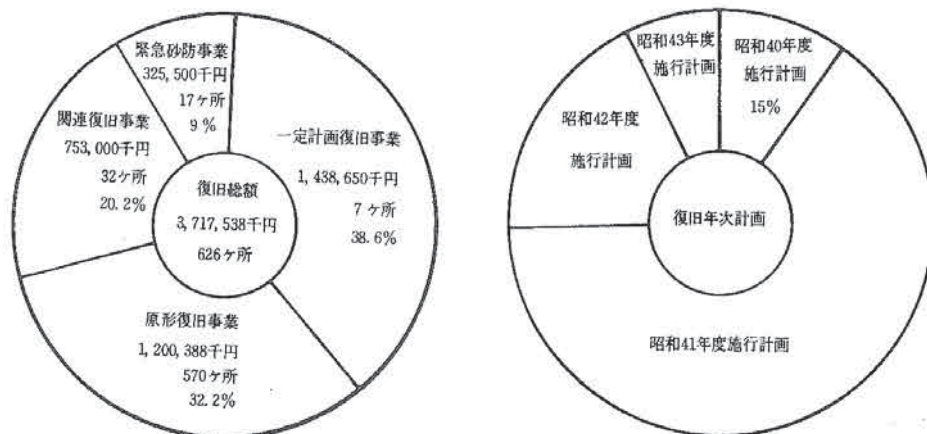
なお普通河川の水源地帯において、山腹の崩れが生じた地域で今後河川を埋没する虞れのあるものについては、新たに砂防地域に指定し、緊急に堰堤を設け、土砂の流出を防ぐ事業を施行するものとした。それは、17ヶ所の3億2,550万円である。

以上の復旧事業の年次計画は次のとおりとなっている。

昭和40年度	全体の15%	昭和41年度	75%
42年度	93%	43年度	100% 完成

又緊急砂防事業についても昭和40年度を初年度として、昭和43年度には完成することになっている。

砂防設備の復旧計画



大災害をくいとめた
大野西谷の「砂防ダム」

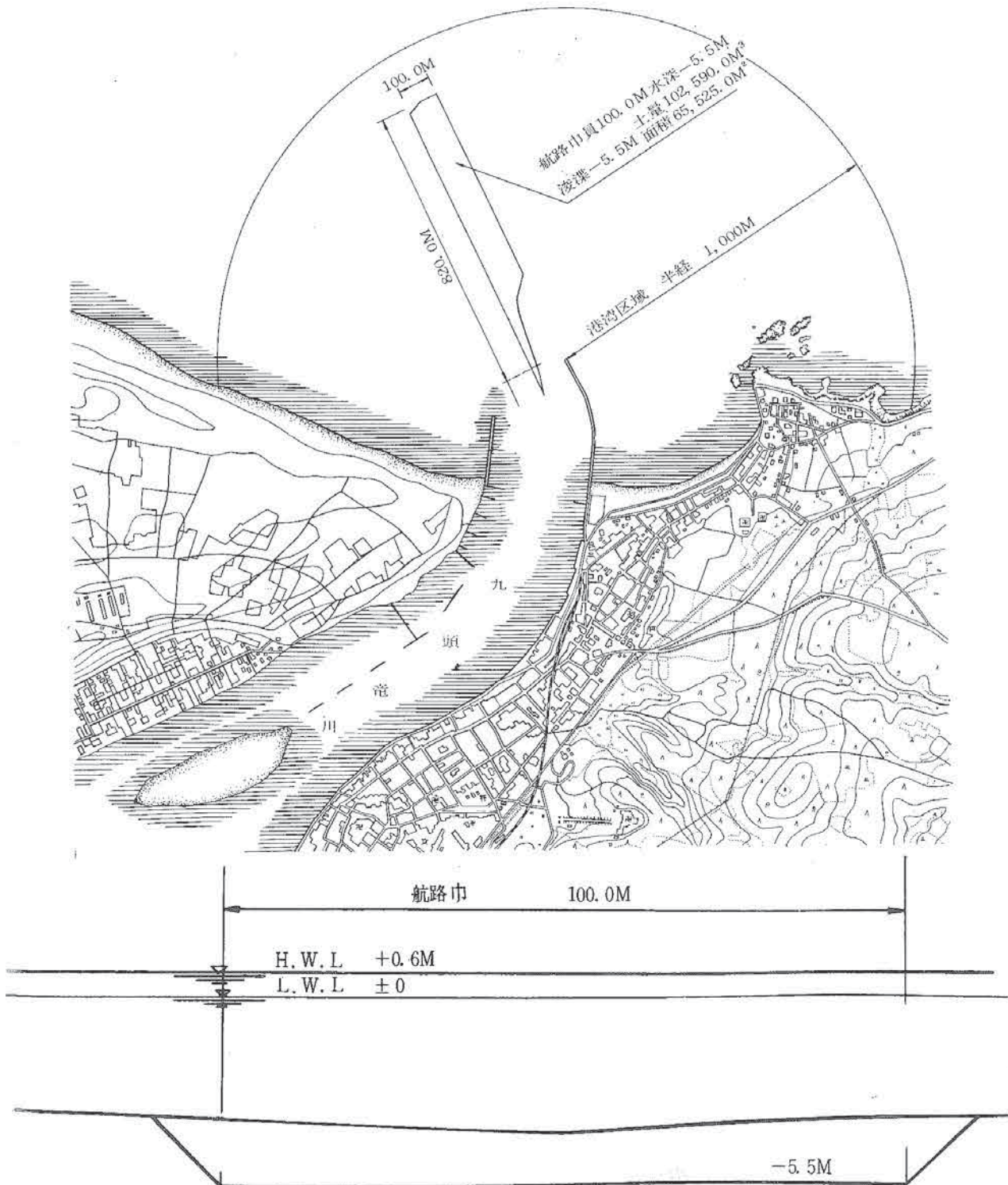
7 港湾の復旧計画

(1) 和田港および三国港の災害復旧計画は次のとおりである。

被害港湾名	復旧計画		
三国港	浚渫 -55米	面積	65,525.0平方米
		土量	102,590.0立方米

500 PS ポンプ船

和田港	護岸雑石空積	延長	1,679.0米
	雑割石練石	扣	35纏



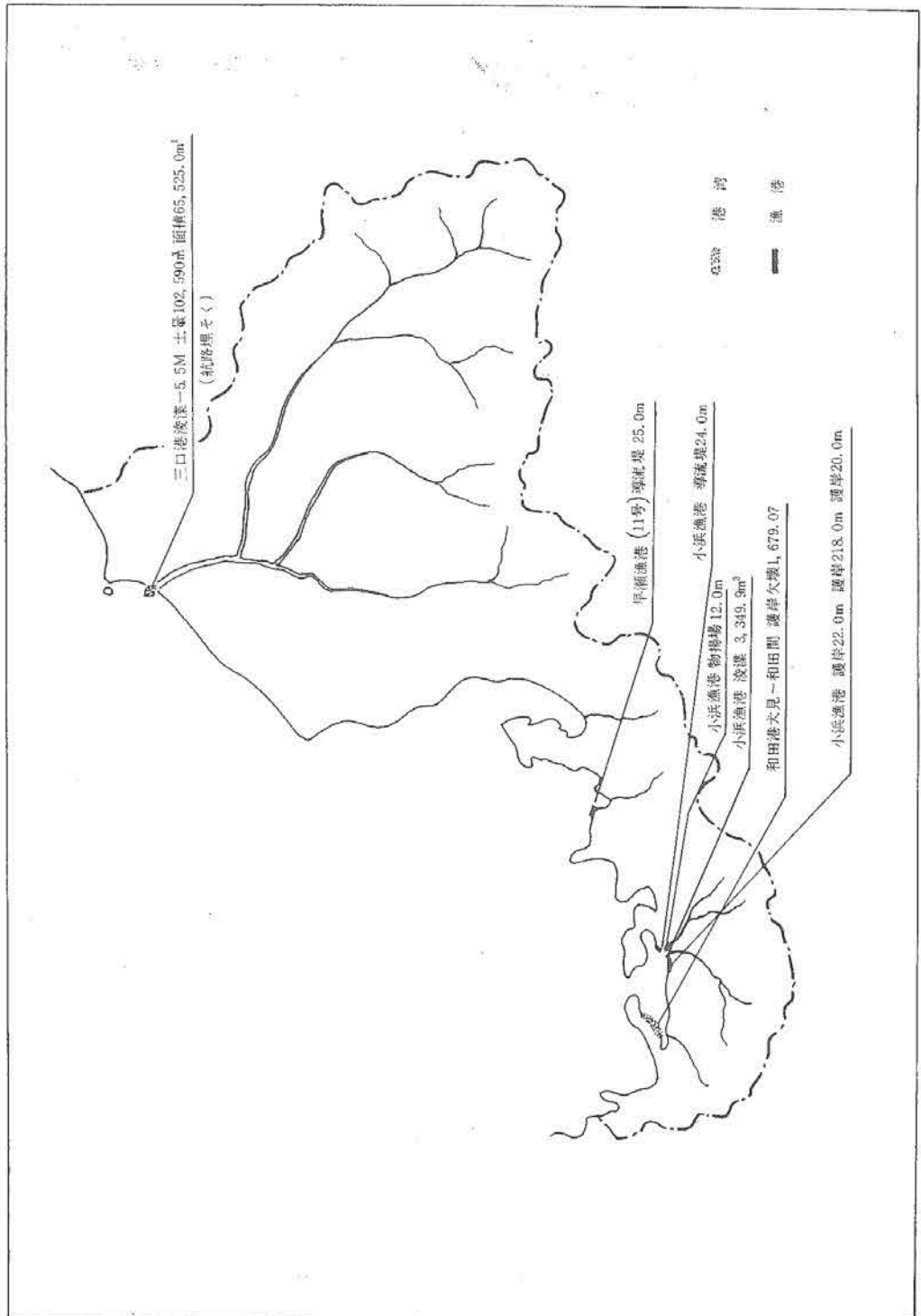
漁港施設の被害
(県管理の漁港を含む)

(2) 漁港施設の復旧計画

小浜漁港の復旧計画については、次のとおりである。

浚 渫	面積 2,820 平方メートル
	土量 3,350 立方メートル
海岸護岸根固	172 米
導 流 堤	24 米
復 旧 費	15,091 千円

なお年度割は、40, 41 年度が各々 4,527 千円、42 年度、43 年度が各々 3,019 千円である。



8 都市の復旧計画

各市町村とも被災後直ちに復旧に着手し、一部を除いて12月中に殆んど排土事業を完了した。

この排土事業に対する国庫補助は、激甚災害法により70～90%、平均85%の補助率の適用を受けることが確定し、一部は既に内示済である。

西谷村の場合は、中島部落が全滅に近い惨状を呈したうえに降雪季を迎えたために復旧は雪解けを待つこととなったが、なおこれと併行して笹又山盆地5ヘクタールを整地して、学校、役場、農協その他の公共施設とともに全部移住計画も進められている。

9 建物の復旧計画

住宅資金の融資認定

住宅金融公庫の融資対象として、被災者の住宅新築または、住宅補修を認定したものは、次のとおりである。

	新 築	補 修	計
福井土木出張所管内	6件	1件	7件
三国 " "	10	3	13
大野 " "	2	7	9
勝山 " "	13	1	14
武生(含今立) " "	3	5	8
鯖江 " "	9	2	11
敦賀 " "	23	29	52
小浜 " "	0	2	2
計	66	50	116

規模、新築については、災害前の大きさまで認められる。

融資金額 { 新築については 1戸当り 59万円まで
補修については 1戸当り 29万円まで

償還期限 { 新築 木造については 18年間
補修 10年間

利率 年利 5分5厘

災害公営住宅の建設計画

公営住宅建設国庫補助金を受けて、災害公営住宅として建設が計画されたものは次のとおりで特に西谷村笹又山ニュータウン計画については、総合的に十分な検討が行われた。

(イ) 昭和40年度

建設市町村名	戸数	種別、構造別	摘要
勝山市	3戸	第2種 木造平家建	一般法
高浜町	7戸	" " "	"

(ロ) 昭和41年度

建設市町村名	戸数	種別、構造別	摘要
西谷村	80戸	第2種 中耐	激甚法 53戸 一般法 27戸

補助率 { 第2種、木造(一般法) ... $\frac{2}{3}$
第2種、中耐(") ... $\frac{2}{3}$
" 中耐(激甚法) ... $\frac{3}{4}$

西谷村災害公営住宅の概要は次のとおりである。

構造 簡易耐火構造、プレキャストコンクリート造

長尺鉄板葺、2階建連続住宅、農山漁村向集合住宅

規模 6畳、4畳、3畳、納戸、台所、便所、作業用上間 約15坪

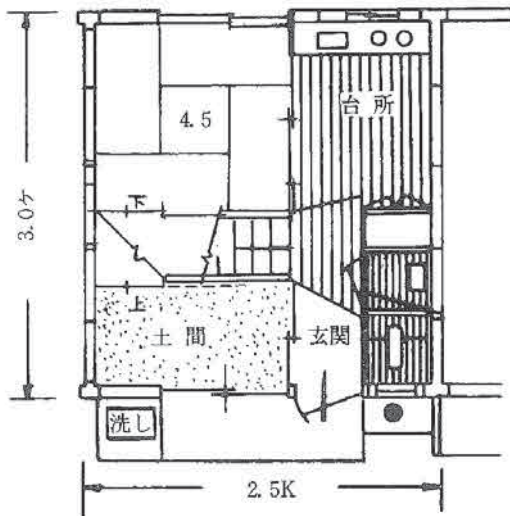
建設戸数 激甚災害公営住宅 53戸（6戸建2棟、5戸建1棟、4戸建9棟）

一般災害公営住宅 27戸（6戸建1棟、5戸建1棟、4戸建4棟）

なお外部給水工事、外部電気工事は、別途で行う。

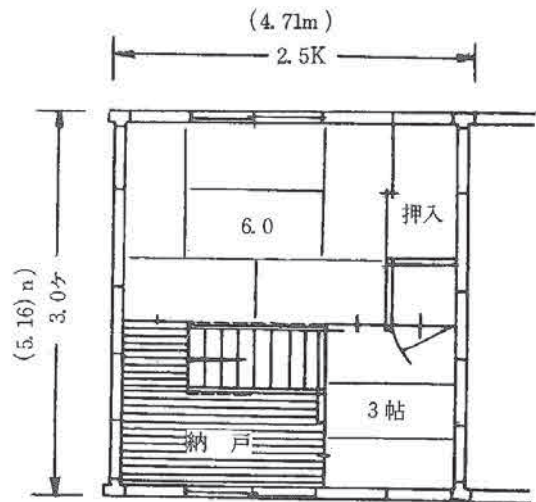
西谷村災害公営住宅平面図

一階平面図



1階平面

二階平面図



2階平面図

昭和41年度 西谷村村営災害公営住宅建設事業費予算

昭和41年2月

区 分	国 庫 事 業 費			備 考
	簡耐2階(数基)	簡耐2階(一般)	計	
戸 数	53	27	80	() は標準建設費
工 事	千円	千円		
費 金	(960)	(960)		
事 務 費	1,200	1,200		
(A) × 3.1%	(50,880)	(25,920)	(76,800)	
計	63,600	32,400	96,000	
	1,576	801	2,377	
	(52,456)	(26,721)	(75,177)	
	65,176	33,201	98,377	
負 担 分				
国 庫	39,342	17,814	57,156	
村	25,834	15,387	41,221	内起債 19,800千円
国庫負担率	3/4	3/5		

注 (1) 1戸当り 50m²≒15坪 坪当り 80,000円とする。

(2) 起債 90%(13,114+8,907)千円×90%=19,800千円

(3) 標準建設費 960千円の内用地取得造成費 96千円 を含む、なお標準建設費は昭和40年度分で計上、昭和41年度分の標準建設費は約10%上る予定。

10 教育関係施設の復旧計画

被害施設に対する文部省の現地調査が、10月25日から11月2日まで行なわれ、復旧事業費として別表のとおり決定した。

小被害施設については、40年度において直ちに復旧を完了したが、西谷村中島小・中学校、鯖江市中河小学校、上中町鳥羽小学校、大野市富田小学校は、被害額が大きいので、再度の災害を防ぐため鉄筋コンクリート造りの永久的施設として、41年度中に完成する。

復旧事業費

	学校数	復旧事業費	国庫負担金
小学校	59	149,456.6	99,635.9
中学校	30	35,192	23,460.5
高等学校	17	11,012.4	7,341.0
幼稚園	4	6,106.9	4,071.2
教員住宅等		2,438.2	1,625.3
		204,206.1	136,133.9

全半壊校の復旧事業計画

	被害額	復旧事業費	国庫負担金
	千円	千円	千円
大野市 富田小	33,639	46,373.8	30,915.8
鯖江市 中河小	13,420	12,072.5	8,048.3
西谷村 中島小	27,753	37,240.8	24,827.2
中島中	12,200	18,529.1	12,352.7
上中町 鳥羽小	12,108	26,844.1	17,896.0

復旧状況 小学校 (単位 千円)

市町村名	学校数	復旧事業費	国庫負担金
1 福井市	1	221.1	147.4
2 敦賀市			
3 武生市	9	3,032.7	2,021.5
4 小浜市	7	3,471.1	2,313.9
5 大野市	1	46,373.8	30,915.8
6 勝山市	1	3,219.9	2,146.6
7 鯖江市	7	15,407.3	10,271.3
8 足羽町	1	243.4	162.2
9 美山町			
10 森田町			
11 松岡町			
12 永平寺町			
13 上志比村	5	1,442	961.1
14 三國町	3	483.7	322.3
15 芦原町			
16 金津町			
17 丸岡町	2	2,686.5	1,791
18 春江町			
19 坂井町			
20 川西町	1	320.1	213.4
21 西谷村	1	37,240.8	24,827.2
22 和泉村			
23 今立町			
24 池田町			
25 朝日町			
26 宮崎町	2	1,581.5	1,054.3
27 越前村	1	288.8	192.5
28 越前村			
29 織田町			
30 清水町	1	521.1	347.4
31 南条町	1	154.5	103
32 今河村			
33 三方村			
34 河野町			
35 美浜町	5	1,797.6	1,198.2
36 上中町	5	29,564.8	19,709.7
37 名田村	1	200.9	133.9
38 高浜町	2	621.1	414
39 大飯町	1	1,063.5	709
合計	59	149,936.2	99,955.7

復旧状況 中学校 (単位 千円)

市町村名	学校数	復旧事業費	国庫負担金
1 福井市	3	1,067.5	711.6
2 敦賀市			
3 武生市	4	1,454.2	969.3
4 小浜市	2	439.3	292.8
5 大野市	1	719.1	479.4
6 勝山市	2	869.8	579.8
7 鯖江市	3	2,800.6	1,867
8 足羽町			
9 美山町			
10 森田町			
11 松岡町			
12 永平寺町	1	154.5	103.0
13 上志比村			
14 三國町	1	700.9	467.2
15 芦原町			
16 金津町			
17 丸岡町			
18 春江町			
19 坂井町			
20 川西町			
21 西谷村	1	18,529.1	12,352.7
22 和泉村			
23 今立町	1	361.5	241.0
24 池田町			
25 朝日町			
26 宮崎町			
27 越前村			
28 越前村			
29 織田町			
30 清水町	1	131.3	87.5
31 南条町	1	396.9	264.6
32 今河村	1	693.8	462.5
33 三方村	1	2,053.3	1,368.8
34 河野町	1	2,802.7	1,868.4
35 美浜町	2	543.3	362.2
36 上中町			
37 名田村	1	111.1	74.0
38 高浜町	2	753.3	502.1
39 大飯町	1	130.2	86.8
合計	30	34,712.4	23,140.7

市町村別 復旧事業債 (小・中学校別)

市町村別 復旧事業費 (小中学校)

市町村名	学校数	100	200	300	400	500万円	1000万円	
1 福井市	4							
2 敦賀市								
3 武生市	13							
4 小浜市	9							
5 大野市	2						4,700万円	
6 勝山市	3							
7 鯖江市	10						1,800万円	
8 足羽町	1							
9 美山町								
10 森田町								
11 松岡町								
12 永平寺町	1							
13 上志比村								
14 三国町	6							
15 芦原町	3							
16 金津町								
17 丸岡町								
18 春江町	2							
19 坂井町								
20 川西町	2							
21 西谷村	2						5,500万円	
22 和泉村								
23 今立町	1							
24 池田町								
25 朝日町								
26 宮崎町								
27 越前町	2							
28 越廼村	1							
29 織田町								
30 清水町	2							
31 南条町	2							
32 今庄町	1							
33 河野村	1							
34 三方町	1							
35 美浜町	7							
36 上中町	5						2,900万円	
37 名田庄村	2							
38 高浜町	4							
39 大飯町	2							
合計	89							

第五章 福井県議会の活動

第五章 福井県議会の活動

40. 9.3大風水害は、県下に大きな被害をもたらしたが、県議会も災害発生と共に、活潑な活動を開始した。

(1) 9月16、17日参議院建設委員の一行と、金沢一日内閣に出席する瀬戸山建設大臣が、大野、勝山方面の現地視察を行なったので、吉村議長外多数の議員も同行し、現地視察をすると共に、災害復旧のため国の強力な援助も強く要望した。

(2) 9月18、19日県議会は、次の通り現地調査班を編成し、被害実情の現地調査を行なった。

大野、勝山地方へ勝見、笠羽、別田、藤堂各議員、嶺南地方には、吉村議長、芝田、斎藤各議員、南越地方には飯田、大戸、渡辺、田中伝、山本治各議員、福井、坂井地方には、杉本、東郷、山本宇、多田各議員を派遣、各班は交通の杜絶した状況で、非常な苦勞をかさねて実情を調査し、被害地元民から当面の復旧対策について切々たる陳情を受けた。

(3) 9月20日全員協議会を開いて各現地調査班の視察結果の報告が行われ、引続き同日午後0時30分から開会された第125回臨時県議会において、今次風水害の調査と復旧対策のため、災害特別委員会の設置と次のような災害に関する決議文を採決した。



40. 9. 20 災害対策全員協議会の風景

災害復旧に関する決議

今次、突如として本県全域を襲った3大風水害によって、現在までに判明しただけでも、33名の尊い生命が奪はれ、家屋の流失および全半壊その他による罹災者18万有余名、被害総額は実に263億余万

円に上る壊滅的な大損害を受けるに至った。

施設の完全復旧と罹災者対策は刻下の緊急問題であるが、県ならびに罹災市町村の財政は相次ぐ災害復旧に疲弊困憊の極に達しており、地方団体独自の財政では到底不可能である。

よって政府においては、この実情をつぶさに認識され、早期に十分な財源措置と抜本的な復旧対策を講ぜられ、従来の復旧事業費3ヶ年分割を2ヶ年に短縮して、早期完成を期せられるよう強く要望する。

上記のとおり決議する。

昭和40年9月20日

福 井 県 議 会

4. 災害対策特別委員会は、全議員をもって構成され、理事者と渾然一体となり、罹災者対策ならびに災害復旧対策のため集中的に且つ精力的に活動を展開した。

主な日程としては

1. 9月21日 中央防災会議調査団
 2. 9月24日 坂田農林大臣大野、勝山災害地現地視察
 3. 9月25日 吉村議長外8名の各議員が国会ならびに中央各省に対し陳情
 4. 同 右 衆議院災害対策特別委員会調査団
 5. 10月2日 参議院災害対策特別委員会調査団
 6. 10月4日 笠原副議長9名の各議員が国会ならびに中央各省に対し2回目の陳情
- なお災害当時における県議会議員の名列ならびに担当分野は次の通りである。

福井県議会の活動

議長 吉村直之（自） 副議長 笠原武（自）

総務常任委員会 10名

委員長 大戸与三兵衛 副委員長 田中伝 委員 寺田儀一 高木正二 山崎正一 辻広善作 多田清志 飯田彦太郎（以上自民） 堀川功 和田直三（以上社会）

厚生文警常任委員会 10名

委員長 渡辺俊夫 副委員長 市村栄 委員 藤野源治郎 別田重雄 高木孝一 増永健 藤堂作衛（以上自民） 古谷正美 三好正志（以上社会） 中島優治（民）

産業常任委員会 10名

委員長 一瀬伊太郎（自） 副委員長 斎藤敬一（社） 委員 川貞純松 坪田守一 勝見厚 田中作太夫 今沢東 西山光治 山本治 吉村直之（以上自民）

土木常任委員会 10名

委員長 芝田竹次郎 副委員長 杉本杉市 山田明 東郷重三 村田伝左衛門 笠羽清右衛門 揚原新十郎 山本宇平 笠原武（以上自民） 野田義夫（社）

電源開発特別委員会 15名

委員長 笠羽清右衛門 副委員長 高木孝一 委員 山田明 東郷重三 寺田儀一 吉村直之 勝見

厚 高木正二 山崎正一 今沢東 山本治 多田清志 藤堂作衛（以上自民） 和田直三 野田義夫
（以上社会）

国体対策特別委員会 16名

委員長 坪川貞純 副委員長 別田重雄 委員 市村栄 笠原武 村田伝左衛門 杉本杉市 田中作
太夫 西山光治 辻広善作 山本治 増永健 飯田彦太郎 芝田竹次郎（以上自民） 古谷正美 齋
藤敬一（以上社会） 中島優治（民）

災害対策特別委員会

委員長 吉村直之 笠原武（自） 委員 全議員（存置期間 昭和40年9月20日より同年12月23日ま
で）

40.9.3大風水害にともなう米の売渡しに関する決議

史上最大と言われる 40.9.3大風水害は本県の水稻作に激甚な被害を与え、米作農民は精神的打撃
と共に、経済的にも巨大な損害を蒙ったことは誠に遺憾とする処である。

目下全県挙げて鋭意これが災害の応急対策と被害状況を調査中である。その被害は極めて激甚で、
尊い多くの人命を初め家屋の流失は勿論、粃や玄米の浸入、稲架の流失、水田の流失埋没などの復旧
作業は、困難を極め、特に泥水により上位等級米は望めず、米作に依存する本県農民の不安と農家経
済の窮迫いよいよ深刻となっている現状である。

よって政府ならびに関係当局においては、この史上最大と言われる風水害の被害にかんがみ、下記
事項について、早急に適切な措置を講ぜられるよう強く要望するものである。

記

1. 災害救助法発動については、時期別格差適用期間を各期15日間延長の措置を講ずること。
2. 上記以外の地域については各期10日間延長の措置を講ぜられること。
3. 水分過多米、発芽米、胴割米、焼米等については、従来の米穀の検査規格を緩和し、政府買上
などの措置を講ずること。
4. 米の予約概算金はすでに渡されているが、災害の実態にかんがみ、利子の減免措置を講ずるこ
と。

上記のとおり決議する。

昭和40年9月27日

福 井 県 議 会

九頭竜川再改修の抜本的再検討（上流ダム群の増設、放水路等）と改修事業の飛躍的推進について
の意見書

九頭竜川は流域面積において、本県総面積の3分の2を占め、産業文化の発展に大きな貢献をなし
てきているが、一旦梅雨期、台風期等ともなれば、水の暴威は猛威をふるい、県勢の発展を阻害する
ばかりでなく、流域全般の住民に大きな恐怖と不安を与えている。

これは九頭竜川中流部より下流および支川日野川下流部の通水断面の不足が一つの大きな原因であ
り、国においては昭和28年9月の台風13号を契機とし、国直轄事業として本川を採択され、昭和31年
度より施行されてきているが、全体計画に対し、その進展は著しく遅々たるものであり、今次の40年
9月の3大風水害（23号、奥越豪雨、24号）にみられるように毎年災害の発生に終始している。

よって国においてはこの際、九頭竜川改修計画を抜本的に再検討の上、既計画の画期的促進と合せ

て、上流ダム群の早期検討と着工、また九頭竜本川を三里浜へ一部切落す放水路の計画の樹立等九頭竜川による水害を根本的に排除することについて、特段の配慮をせられ、早急に施行せられん事を強く要望する。

上記地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和40年9月29日

福 井 県 議 会

提 出 先

内閣総理大臣、大蔵、農林（米の売渡に関するもの）建設（九頭竜川改修）衆参両議院議長、衆参両院災害対策特別委員長、衆参農林水産委員長（米の売渡に関するもの）衆参両院建設委員長（九頭竜川改修）地元選出国會議員、（註）災害決議は理事者と合同陳情をし、各省、関係者に手渡す。

第六章 警察の活動

第六章 警察の活動

1. 台風23号災害

(一) 福井県警察本部および警察署の活動

台風の本県通過が必至と認められた9月10日06.30県下各署長に対し、災害警備の初動態勢の確立を指令し、県、市町村等関係機関と緊密な連絡を保ちつつ事前警戒にあたったが、風は次第に強くなり被害の発生が予想されるにいたったので、08.00県本部に台風23号災害警備本部を設置し、警備対策の万全を期した。

09.50機動隊および県下各署に対し、第1次警備体制を、また、11.00には第2次警備体制を指令し、今後の気象状況のは握と関係機関、団体との連絡協議および警備部隊の事前配備、被害の調査、負傷者の救出、交通規制、広報活動等を強力に推進させたが、主なる活動は次のとおりである。

- (ア) 9日09.50ごろ大野郡和泉村長野国道157号線で落石による重傷事故が発生、届出により直ちに大野署員5名が現場へ急行し、負傷者を土木建設厚生会九頭龍川診察所に收容した。
- (イ) 10日10.00ごろ風は益々激しくなり台風による危険が予想されたので敦賀署管内の各小中学校に対し、気象情報を伝達して注意を喚起するとともに、危険な状態を説明したので、管内の小、中学校では即刻授業を打ち切り、全生徒を帰宅させた。
- (ウ) 10日13.30ごろ武生市姫川町帆山橋南詰付近の大木が倒れ、電柱にもたれている状態で、放置しておく付近の家屋に被害をおよぼすので、電力社員および武生署員1ヶ分隊が現場に急行し、復旧作業に従事した。また武生市蓬萊町電々公舎の建築工事現場の足場が倒壊し、銀座通りが交通不能となったので、武生署員1ヶ分隊が出動し、交通規制を行なうとともに復旧作業に従事した。
- (エ) 三国署では、9日夜半より三国町陣ヶ丘にある福井地方気象台の気象レーダーに署員1名を派遣し、刻々映像される気象状況を本署ならびに県本部に報告、警備体制の万全を期した。
- (オ) 10日10.20ごろ大野郡西谷村檜原地籍を防災パトロール中の自衛隊員の負傷事故が発生したので、直ちに所轄大野署員が出動し、パトカーにより負傷者を急拠病院に收容救護した。
- (カ) 丹生署糸生駐在所巡查高木浩一は、道路上に大木が倒れ、交通がと絶したので、直ちに現場へ急行し、これを取り除くべく大木を切断して交通を確保したが、この作業中、丸太の半分が頭部にあたり、全治1週間の負傷をした。



救助作業に活躍する警察機動隊
(今立町大滝)



10名の犠牲者が出た山崩れて懸命の救助作業をする警察機動隊(今立町大滝)

2 奥越集中豪雨災害

ア 福井県警察本部の活動

9月14日 17.00 福井地方気象台が「大雨洪水注意報」を発表し、被害の発生が予想されたので、直ちに県下各警察署長に対し降雨量の測定と災害警備活動の万全を期するよう指令した。爾来奥越地方の豪雨は益々激しくなり、21.00ごろにいたり、九頭龍川、真名川等主要河川が増水して警戒水位に達している箇所がみられ、事態は愈々深刻の度を増してきたので、同日 21.30 第1次警備体制に入り県本部に「災害警備本部」を設置して指揮命令の一元化をはかる一方被害の実態は握に努めた。また、大野、勝山、松岡、福井各警察署長に対して「管内の状況に応じて警備本部を設置し、関係機関水防団等と協力して危険箇所の警らと補強指導等を実施するほか、全員待機する等警備体制を強化し、災害警備に万全を期するよう」指示した。

その後22.00現在にいたって大野郡西谷村中島で毎時70～80ミリ和泉村大谷で毎時50～60ミリの降雨量を観測し、河川が増水はらんが認められきわめて危険状態となったので、大野勝山両警察署に対し第3次警備体制をその他の警察署に第2次警備体制を指令するとともに、機動隊全員を非常召集し、警備体制の万全を期したが、その頃より奥越地方各地の住家浸水等の被害状況が県本部に報告されたので、直ちに関係機関に連絡するとともに被害は益々増大するものと予想されたので、大野、勝山両警察署長に対し避難命令の伝達、避難警告、避難誘導等関係機関と緊密な連絡をとり、警戒、交通禁止、危険防止等人的被害の防止に万全の措置を講ずるよう指令した。

その後23.30ごろ勝山市猪野口地籍の国道157号線に架設してある女神川橋流失の被害を皮切りに奥越地方各地で橋梁の流失、道路堤防の決壊や道路上の溢水山（がけ）くずれ、家屋の流失、埋没建物の浸水田畑の冠水等の被害が続出してきたので、被災者救助、危険区域の警戒警備被害調査、交通規制等諸般の災害警備活動を強力に推進したが、その主なる活動は次のとおりである。

(ア) 孤立部落の救助活動および警察無線通信活動

A 9月14日22.30大野郡西谷村変電所から専用電話で県へ

「床上浸水中救護乞う」と被害発生連絡があったのを最後として大野郡西谷村は有線無線がと絶し、音信不通となり、以後の状況は全く知る術を失ってしまった。

また陸路も道路の原形をとどめないほど流失・埋没または決壊したほか橋梁流失などがあって寸断され完全に孤立状態となったので大野警察署に前進現地指揮にあっていた佐藤警備本部長は、急拠山越えで救援隊を送ることを決意し、機動隊小隊長を長に機動隊、大野署員通信出張所員等をもって19名の救援隊を編成し、携帯食糧、照明具、医薬品およびPR20型応急無線機発動発電機を携帯15日 10.30 大野署を出発させた。救援隊は降り続く豪雨のなかを標高792メートルの道なき笹又峠を越え、平常では3時間の行程を山くずれや濁流に進路をさえぎられながら10時間を費して20.30 下笹又部落に到着、直ちに応急無線機を組たて21.05 警察本部との無電連絡に成功し、被災地からの第1報を送ったが、通信技術員の不眠不休の活躍により漸く被害の甚大なることを知ることができ警察活動にひ益するところ大なるものがあった。

さらに翌16日救援隊は一部を同地にとめて引続き通信連絡および救助活動にあたらせるととも

に、他は難路を強行して中島部落に向い、半壊の部落公民館に駐在して18日18.00までの4日間決死的な活動を行ない西谷村各部落の被害者の救助、避難誘導などの警備活動にあたった。

B 奥地地方の災害規模増大に伴い15日 10.00応急出動第2班（応急無線機1式応急通信線10巻）が現地に到着災害警備本部および下笹又派遣の第1班との連絡にあたった。翌16日09.10自衛隊ヘリコプターで通信職員2名が応急通信機械を空輸し、同日10.22被災地中島部落の中島小学校に県警応急無線局を開設した。

C この応急無線は、西谷村唯一の通信機関となり 公用通信はもちろん気象情報や重要電報の伝達その他関係機関、団体との重要通信のそ通はこの無線に依存するという大なる効果を挙げることができた。また、り災者の避難誘導や病人負傷者の救出等を警備本部に報告して、これらの被害を最小限度にいとめるための諸政策樹立等に多大の効果を挙げるなどその活動は警察通信の面目を遺憾なく発揮し、下記の警察ヘリコプターの活躍と相まって特筆すべきものがあつた。

D 16日05.00ごろ災害地に赴いた通信職員4名は、西谷村下笹又地籍において、流失した電々公社の電話ケーブル（28対）を発見し、濁流のなかから切断されたケーブル約50回線を引きあげ試験の結果大野署との回線が可能であることが判明し、下笹又区長宅と大野署との接続に成功、直ちに同電話で下笹又部落の被害状況および中島部落の偵察による第1報が大野署に報告されじ後の救援活動に大いに役立った。

E 奥越地方の集中豪雨による災害に際して有線電話の応急架設3回線応急無線局2局ウオーキー18局、可盤無線機2局、その他現有の全通信施設を投入し、災害通信のそ通にあたった。

(f) ヘリコプターの活動状況

交通、通信、電灯はもとより経済的にも完全にと絶し陸の孤島と化した西谷村の被害状況調査と救援活動のため9月15日中部管区警察局を通じて愛知県および大阪府警ヘリコプターの応援派遣を要請したが当日は終日悪天候のため飛来できなかった。

さらに翌16日再び応援要請をして、09.30天候回復により大阪府警から同日 15.30 愛知県警からそれぞれヘリコプター1機が現地に到着した。到着と同時に活動を開始して西谷村各部落への被害調査、負傷者、病人の救護収容および救援物資の輸送にあたったが、断続する大雨のため活動はきわめて困難を伴い、決死的なものであつた。

その主な活動は次のとおりである。

A 西谷村全域は全く通信と絶し、被害の実情すら判明せず救援の対策がとれない状況下にあつたので、まず先着の大阪府警のヘリコプターに佐藤警備本部長が搭乗して孤立部落に着陸、医薬品、救援物資を輸送し、被災民の人心安定をはかるとともに被害の実態調査をした結果り災者のなかに急病人があり、救助を求めている被災住民および食糧状況等被害状況がほぼ判明した。

また警察両ヘリコプターは協力して最も被害の大きかった奥越地方の各地に出動して災害状況の記録写真を撮影したが、悪天候の上に加えて濁流渦巻く中を危険を冒して現場撮影に成功したほか前記の状況は握に基き医師看護婦の輸送、負傷者、病人および避難者の救出輸送、救援物資の輸送等休息の暇もなく縦横の活動を行なつた。その間に輸送したものは西谷村から大野市へ40回112名の避難者を救出したほか、大野市から西谷村へ救援物資 米30キロ、副食物20キロ、医薬品3キロ、乾電池10箱を輸送した。

B 特異活動としては

- (A) 大阪府警ヘリコプターは16日11:30ごろ西谷村中島から「被災地に急病人あり、救助を求めている」との無電に接し、直ちに医師、看護婦を大野市から輸送し治療にあたらせた。また9月17日10:40ごろ「大野市上若生子、下若生子地籍のり災者が再び危険にひんしたので、至急に援助たのむ。」旨の無線連絡があり、同日12:00ごろ大阪府警ヘリコプターが悪天候のなか危険を冒して上若生子部落の病弱者1名、負傷者7名を救助したほか12:30ころ下笹又部落の重病人1名とその母1名を救出した。
- (B) 16日14:30ごろ大阪府警ヘリコプターは西谷村下笹又地籍の山峡で、がけくずれによる重傷者1名を危険を冒して無事救助に成功した。
- (C) 17日06:50ごろ両府県ヘリコプターが西谷村上笹又部落を偵察中同部落の裏山が崩壊し、民家が倒壊、埋没するおそれがあり、救助を求めているのを発見するや直ちに37戸の住民188名に対し避難命令を発するとともに、とりあえず病弱者、老人、幼児22名を選定し、ピストン輸送により同日11:30ごろ全員を大野母子寮に収容した。
- (D) 18日08:00ごろ大阪府警ヘリコプターは極度の疲労と足捻挫のため倒れていた負傷者を、また10:10ごろ重病人1名をそれぞれ発見し大野市内の病院へ収容した。
- また11:20ごろ愛知県警ヘリコプターは「病人あり、救護たのむ。」旨の連絡を受け、身動きのできなかった病人負傷者3名を救助し、大野市内の医院に収容した。
- (E) 西谷村中島部落は殆んど壊滅という大打撃を受けたが、なお降り続く雨のため危険が予想されたので、集団避難させることになり16日午後から両府県警ヘリコプターにより病人、負傷者、老人、子供の順に続々輸送し同日大野市寺下の誓念寺など5つの寺院と母子寮に約200名を収容した。

(ウ) 機動隊の主なる活動

- A 15日07:00勝山市赤根川が増水はらんしたため同市東大月の住民37名が救助を求めている旨の連絡があり、直ちに機動隊長以下1ヶ分隊が出動したが、当時赤根川は濁流が刻々と増水し住民37名の生命は危機にひんして救助が急がれたので、ガス銃を使って救命索を打ちこみ折畳式舟艇3隻を使用して上流からさかまく濁流と流木等の危険をおかして数回にわたり部落民37名を11:20救出し、東大月分教場へ避難させた。
- B 16日11:00ごろ大野市菖蒲池真名川に架設されている君が代橋が増水のため流失寸前となったが、同橋が流失すると電話線も流失し通信がと絶するので、機動隊1ヶ分隊が出動してガス銃によりザイルを張り同橋の流失防止の補強工事作業に従事した。
- C 17日11:30大野市中出部落において水田冠水による利害関係から部落民が対立し集団斗争に発展する危険があり、憂慮される状況下にあったので機動隊副隊長以下2ヶ分隊が現地へ急行し事態の收拾にあたった結果円満解決した。
- D 17日10:40ごろ大野市木落地籍の真名川に架設してある八千代橋に大きな木材がかかり同橋が危険となったので、機動隊副隊長以下11名が現地に急行し、ガス銃を発射してロープを張りさかまく濁流のなかを折畳式舟艇を操作して流木の除去に成功した。

以上のほか機動隊は15日早期から18日夜まで現地において、り災者に対する食糧輸送、道路橋梁

の応急復旧作業、リ災者の避難誘導および救出広報活動、交通規制等の活動に全力を尽し民心の安定に努めた。

(エ) 一般的な応援活動

大野、勝山署以外の各署に対しては、応援派遣を指令、県下警察一体となり警察機能の全力をあげて警備警戒の万全を期した結果、治安は完全に確保された。

奥越地方とくに西谷村は未曾有の豪雨による大水害のため被災地の民心は不安の極に達し、交通通信はもとより経済にも完全に孤立して濁水の中に取残され恐怖におののいていたので、被災地に応援出動した各署の警察官は全力を挙げて避難者の誘導、リ災民の救出救助道路橋梁等の応急復旧作業等にあたるとともに逐次気象情報を伝達してリ災民の注意心を喚起し、かつ安心感を与えるなど強力な広報活動を推進したが、この集中豪雨により出動した警察官は被害発生時より復旧暫定措置が講ぜられるまでの僅か1週間に延1,615名(うち応援1,109名)の多きに達した。

イ 警察署の活動

災害警備に出動した警察官は、自宅の被害や家族のリ災特に肉身死をもかえりみず出動し、リ災者の避難誘導、救出、救援等に主目標をおいて身の危険をもかえりみずに活動を続けたがその主なるものは次のとおりである。

(ア) 14日22.10ごろ勝山市千代田地籍勝山橋上流の九頭竜川左岸堤防が決壊したとの報告を受けた勝山署は直ちに千代田区68世帯の住民に対し避難命令を発するとともに救助部隊1ヶ小隊を現地に急行させ千代田の住民246名余を尊光寺および勝山成器西小学校へ避難誘導したほか、危険と認められた勝山市内の6部落711世帯3,071名に対して避難警告を発し避難誘導にあたった結果死傷者はでなかった。

(イ) 記録的な大雨を降らせた西谷村では16日06.00までに1.035ミリを観測し、このため九頭竜川、真名川など大小河川は急激に増水して平野部でも堤防が決壊するおそれがあったので、14日23.00ごろ大野署員1ヶ小隊、応援部隊1ヶ小隊をそれぞれ現地に派遣して14部落1,264世帯に対し避難誘導および救助活動を実施し、被害の未然防止に努めた。

(ウ) 14日22.15ごろ中竜鉾山の雨量は400ミリを記録し、上大納地籍の中竜鉾山廃土の堆積場(俗にボタ山という)が幅20メートル高さ30メートルにわたって崩壊し始め、中竜部落は倒壊埋設するおそれもあったので、直ちに大野署中竜駐在所員は、上大納川流域の50戸の住民に対し避難の警告を発し住民100名を中竜鉾山施設内へ避難誘導した。

15日05.00ごろ異常な音響とともに排鉍ガスの異臭を含んだ鉄砲水が襲来し、一瞬にして中竜地区の住民等98棟を押し流したが、中竜鉾山社宅および大納部落400戸の住民全員が高台に避難したあとで、死傷者はなかった。また面房堆積場の崩壊当時同所見張所にいた中竜鉾業所員3名が逃げおくれ消息不明となったが、同駐在所員は鉍業所側と協議の上捜索隊15名編成夜あけを待って出動16.00ごろ無事救助に成功した。

(エ) 16日警察学校生徒53名を3班にわけ、大野市五条方、土布子、本落3部落の被災地に派遣し、終日救護応急作業に従事したほか17日12.35ごろから福井、三国、丹生各署の警察官1ヶ小隊は、大野市友兼地籍の堤防決壊箇所の応急復旧作業にあたった。また17日08.00警察学校生徒53名は大野市佐開部落の橋の応急復旧作業に従事したほか大野市孤立部落への食糧等の輸送に終

日従事した。

(㊦) 奥越地方は全域にわたり被害が大きく、とくに交通、通信のと絶した西谷村の被災民は疲労困ぱいその極に達し被害の甚大さに自棄的な言動さえもらすものもあったが、地元警察署は機を失せず連日にわたってこれらの被災民を救助するため身の危険をかえりみず不眠不休道なき山岳地帯、山（がく）くずれの危険地帯あるいは泥海と化した部落を難行して食糧輸送に救出活動に全力を傾注し、被災民の復旧意欲の昂揚に努めた。

(㊧) 15日04.00ごろ勝山市北六呂師野津又山が幅50メートル長さ500メートルにわたって崩壊したため山すその民家2戸が倒壊し、8名が生埋めとなった。直ちに勝山署員20名武生署員2ヶ分隊機動隊1分隊を急派し、地元防犯隊員50名および一般民と協力して、救出作業を強行し、06.00ごろ4名を救出したが、4名とも全治1週間～1ヶ月程度の傷害を負った。

さらに降り続く雨について作業を継続15日06.30ごろ2死体を、同日14.20ごろ残る2死体をそれぞれ発掘した。

(㊨) 避難誘導活動

河川の増水はらん山（がけ）くずれのおそれある危険部落に対し避難警告誘導救出活動を活発に行ない、勝山市170世帯大野市、和泉村、西谷村1,585世帯計8,153名を避難誘導適切な活動により死傷者を最少限度に食い止めた。

3 台風24号災害

ア 警察本部の活動

台風24号災害は、奥越集中豪雨の警備実施さなかに来襲したが、17日16.30福井地方気象台から「暴風雨、洪水、波浪警報」が発令され台風が本県南東を通過することが確実視され、事態は愈々深刻の度を増してきたので、この警報発令と同時に集中豪雨災害の警備本部を、そのまま台風24号災害警備本部に切り替え、各署に対し第2次警備体制を指令し、警備要員の招集、災害発生危険箇所へ前進待機および避難誘導先への実態は握など災害警備活動の万全を期するよう指示した。

17日21.00ごろから県下各地の被害状況が各署から警備本部に報告されたので、直ちに関係機関に連絡するとともに、被害は益々増大するものと予想されたので、被害の実態は握に努めるとともに各署長に対し避難命令の伝達、避難警告、誘導等関係市町村と緊密な連絡をとり警察機能の全力をあげての活動を指示した。

イ 警察通信の活動

(㊦) 台風24号の接近に伴い、17日16.45越智山無線中継所に通信技術員2名および応急資材を急送する一方、奥越集中豪雨の災害現地に派遣した応急無線局に対しては、発動発電機の燃料をヘリコプターで輸送し、通信確保について万全の措置をとった。

(㊧) 今立郡今立町大滝の生き埋め現場との通信連絡のため今立署にウォーキーによる臨時基地局を設置し、現場にパトカーおよびウォーキーによる直通無線回線を設けて適切な通信活動を行なった。

ウ 警察署の活動

17日 21.00 ごろから県下全域にわたって河川の増水はんらん、橋梁の流失、堤防道路の決壊、山（がけ）くずれ、家屋の流失埋没等の被害が続出したので、各署とも堤防決壊により一面泥海と化した県下各地の部落に出動、夜を徹して人命救助、被害調査、被害民の安全な場所への避難誘導等被害を最少限度に止めるよう活動するとともに、これらの被災民に対して気象情報を逐次伝達して広告活動を活発化するなど人心の安定に努めたがその主なるものは次のとおりである。

(7) 人命救助活動

A 今立郡今立町大滝地籍において

裏山の吉崎山が山くずれのおそれがあったので、17日22.00ごろ所轄今立署は署員を現場に急行させて危険家屋住民に対して避難警告を発し、誘導にあたったが、警告10分後に突然、幅100メートル高さ50メートルにわたって山くずれが発生し住宅等7棟をおしつぶした。このため避難におくれた14名が生埋めとなった。直ちに今立署員2ヶ分隊を急派して地元消防団、部落民と協力して救出活動を強行した結果、即日重傷者4名を救出したが、他は埋没甚しく作業は困難をきわめ、夜を徹して作業を続行した。

しかし6名は 18日早朝

3名は // 正午

救助作業もむなしく死体となって発見され残る1名も19日になって漸く死体となって発見された。

B 17日23.00ごろ小浜市大原において西林寺の裏山が突然くずれ僧侶2名が生埋めとなり、直ちに所轄小浜署員2ヶ分隊が現場に急行地元民と協力して救出作業を行なったが、土砂が深く作業は難行し1名は19日何れも死体となって発見された。

C 17日22.00ごろ三方郡三方町三方地籍において2ヶ所の山津波が発生し、住家1戸が倒壊埋没したが、所轄敦賀署では事前に避難警告して同町公氏館に避難させていたため、逃げおくれた1名が犠牲となったのみで、2名は負傷したことにとどまり人身事故を最少限度に食い止めた。

D 17日20.30ごろ坂井郡川西町市ノ瀬地籍で突然裏山が崩れ、住家1棟が倒壊し、逃げおくれた老人1名が下敷となったが、所轄三国署では直ちに2ヶ分隊を急派して地元民と協力して徹夜で救出作業を強行し、18日午後にいたり死体を発見した。

E 17日21.00大飯郡大飯町小黒飯において山崩れが発生し、住宅1棟が倒壊し、1名が生埋めとなったが、所轄小浜署は事前に1ヶ分隊を急派し 避難誘導にあたったので、1名が犠牲となったのみで、他の住氏はいち早く 避難し難を免れた。生埋めとなった1名は即日死体となって発見された。

F 17日21.30ごろ遠敷郡上中町河内でも自宅から避難しようとして2名が激流にのまれて行方不明となった。

所轄小浜署では直ちに 署員1ヶ分隊を急派して 地元氏と協力捜索活動にあたったが、判明せず19日早朝より敦賀海上保安部の協力を要請した結果、同日午後までに1名の死体を発見他の1名は22日三国港沖合8マイルの海上で漁船「朝日丸」に発見された。

(4) 避難救助活動

17日深夜から18日早朝にかけて県下全域にわたり68箇所、4678世帯21,473名を危険地帯から早

期に避難誘導するとともに交通規制を行なって被災地の治安確保に努めたが、その主なるものは次のとおりである。

- A 17日19.00ごろ大野市佐開、五条方今井部落の裏山が集中豪雨に続く24号台風の降雨で崩壊しはじめ再び危険となったので、所轄大野署では署員1ヶ分隊を急派し、部落民159世帯752名をすばやく佐開、西応寺に避難誘導した。まもなく佐開部落の住家に大量の土砂が流れこみ、建物の被害が続出したが、死傷者はなかった。
- B 17日21.00ごろ敦賀市木ノ芽川が増水はんらんし、木ノ芽部落(109世帯352名)が流失するおそれがあったので、所轄敦賀署では署員1ヶ分隊を急派して避難警告を行ない、本郷農協へ誘導被害防止に努めた。
- C 17日24.00ごろ黒河川が増水はんらんし、敦賀市和久野部落(17世帯80名)が浸水の危険状態となったので、敦賀署では署員を急派して地元消防署員と協力して避難警告を行ない、和久野神社および公民館に誘導した。
- D 17日20.00ごろ武生市で日野川支流大塩谷川が増水はんらんし、武生市行松町(25世帯80名)が浸水孤立し、危険状態となったので、所轄武生署では直ちに署員2ヶ分隊を出动させ、舟艇、ゴムボートにより全員を救助し、武生職業安定所に收容した。
- E 17日22.00ごろ鯖江市で文室川と鞍谷川の堤防が決壊したため、合流点の橋立部落ほか4部落(200世帯700名)が床上浸水し孤立状態となったので所轄鯖江署では署員1ヶ小隊を出动させ、舟艇、ゴムボートを使用して病人、幼児、老人の順に避難救出する一方食糧、飲料水等の輸送にあたった。

奥越集中豪雨災害避難警告誘導状況

所轄署	日 時	場 所	世帯数	人 員	避 難 先	備 考
大野署	9.14.22.30	大野市柿ヶ島	57	297	徳善寺	
〃	〃	〃 松丸	59	300	松丸分校	
〃	9.14.23.45	〃 土布子	33	180	白山神社	
〃	〃	〃 新河原	22	135	森目道場	
〃	〃	〃 森目	50	258	〃	
〃	〃	〃 下若生子	20	97	笹原方 島田方	
〃	〃	〃 上若生子	44	197	道場	
〃	9.14.21.00	〃 河上	39	204	附近の高台へ	
〃	〃 22.00	大野郡西谷村上笹又	37	188	道場	
〃	〃 21.00	〃 下笹又	22	109	裏山	
〃	〃 22.00	大野郡和泉村中竜地区	40	154	中竜病院 山ノ手社宅	
〃	〃	〃 西谷村大納新町	10	41	民家	
〃	9.15. 2.00	〃 和泉村中竜社宅寮	19	133	中竜会館	
〃	〃 3.00	〃 〃 中竜郵便局地区	16	108	〃	
〃	〃	〃 西谷村下大納	3	13	下大納道場	

所轄署	日 時	場 所	世帯数	人 員	避 難 先	備 考
大野署	9.15. 0.40	大野市開発	19	94	橋本宅	
"	"	" 東山	26	152	牧島方	
"	" 1.20	" 御給	37	192	千福寺	
"	"	" 友兼	39	208	"	
"	"	" 森政領家	31	175	上庄公民館	
"	9.15. 1.20	" 下五条方	32	175	西応寺	
"	"	" 上五条方	38	170	"	
"	"	" 今井	50	267	"	
"	"	" 中狭	55	262	往家	
"	"	" 友江	29	155	神社	
"	"	" 菖蒲池	79	404	下庄分校	
"	"	" 吉	28	152	春日保育所	
"	"	" 野中	17	87	平沢道場	
"	"	" 東大月	12	65	庄林分校	
"	9.15. 1.50	" 西大月	15	66	"	
"	"	" 平沢	58	303	平沢道場	
"	"	" 佐開	41	240	" 民家	
"	"	" 木落	14	84	道場	
"	9.15. 5.00	" 中保	51	265	下庄小学校	
"	"	" 中津川	66	317	"	
"	"	" 堂本	27	145	大野工業高校	
"	"	" 井ノ口	30	177	塚原方	
"	9.15. 6.00	" 稲郷	76	397	上庄公民館	
"	"	" 横枕	47	243	大野工業高校	
"	"	" 新在家	94	464	下庄小学校	
"	"	" 清滝	76	312	西川方	
"	9.15. 6.00	" 森山	27	168	道場	
勝山署	9.14.22.10	勝山市遅羽町千代田		350	勝山市中後尊光寺	
"	"	"	110	50	" 下元祿成器西小学校	
"	"	"		30	" 勝山署道場	
"	"	"		20	" 勝山市役所	
"	9.14.23.00	" 西高島	20	80	勝山市立石成器南小学校	
"	9.15.02.00	" 鹿谷町発坂出村	12	56	" 鹿谷町発坂南向寺	
"	"	" 荒土町妙金島	9	17	" 荒土町妙金島原田 清市方	
"	" 04.00	" " 新保	10	15	" " 新保竹内茂方	
"	" 01.00	" 北郷町小原	9	15	" 北郷町小原道場	
計			1,755	8,786		

台風24号災害避難警告誘導状況

所轄署	日 時	場 所	世帯数	人 員	避 難 先	備 考
福井署	9.17.17.30	福井市鮎川町地区	1	2	福井市国見町 高橋宅	
〃	〃 17.50	福井市麻生津地区	9	54	福井市生野町 縁光寺	
〃	9.18.00.25	福井市社地区	2	8	福井市南安居町 妙正寺	
〃	〃	〃	1	3	〃 北安居町 陽願寺	
〃	〃	〃	10	60	〃 南小学校	
〃	〃	〃	50	200	〃 北小学校	
〃	〃	〃	39	150	〃 社農業協同組合	
大野署	9.17.19.00	大野市佐開	41	240	大野市佐開 前田方	
〃	〃	〃 上五条方	38	185	〃 西応寺	
〃	〃	〃 今井	50	267	〃	
〃	〃	〃 稲郷	76	397	〃 上庄農業協同組合	
〃	〃	〃 下五条方	31	160	〃 佐開西応寺	
〃	〃	〃 野中	17	89	〃 上庄農業協同組合	
〃	〃	〃 東山	26	152	〃 東山 牧野方	
〃	〃	〃 御給	37	192	〃 友兼 千福寺	
〃	〃	〃 友兼	39	208	〃	
〃	〃	〃 平沢	58	308	〃 平沢地区の神社	
〃	9.17.19.30	〃 葛蒲池	79	404	〃 下庄小学校	
〃	〃	〃 西山	73	384	〃 平沢道場	
〃	〃	〃 中保	51	265	〃 下庄小学校中保分校	
〃	9.17.19.30	〃 堂本	27	145	〃 下庄中学校	
〃	〃	〃 横枕	47	243	〃 下庄小学校	
〃	〃	〃 東大月	12	65	〃 下庄小学校庄林分校	
〃	〃	〃 中狭	55	265	〃 中狭民家	
〃	〃	〃 友江	29	195	〃 大野工業高校	
〃	9.17.20.00	〃 木落	14	84	〃 木落公民館	
〃	〃	〃 蔵生	143	715	〃	
〃	〃	〃 土布子	33	180	〃 土布子神社	
〃	〃	〃 森目	50	258	〃 森目地区公民館	
〃	〃	〃 新河原	22	135	〃	
〃	〃	〃 新田	14	72	〃	
三国署	9.17.17.50	坂井郡川西町長橋	1	4	坂井郡川西町長橋小学校	
〃	〃 18.30	〃 市瀬	12	20	〃 市瀬各親戚宅	
〃	〃 19.30	〃 中区	1	4	〃 中区各親戚宅	
〃	〃 21.30	〃 市王寺	7	27	〃 市王寺区長宅	
鯖江署	9.17.19.30	鯖江市西番、札、北野 三尾野、出作	150	600	立侍小学校、神明公民館	

所轄署	日 時	場 所	世帯数	人 員	避 難 先	備 考
鯖江署	9.17.22.00	〃 松成、吉谷、橋立、舟枝	114	457	中川農業協同組合、中川小学校	養老院のため世帯数なし
〃	〃 23.00	〃 神明染色団地	25	65	神明町の高台へ	
武生署	〃 18.20	武生市庄田町	4	20	公民館	
〃	〃 21.15	〃 吉村町	13	62	〃	
〃	〃 21.50	〃 行松町	27	63	〃	
〃	9.17.22.00	南条郡今庄町稲荷	23	98	今庄小学校	
〃	〃 22.20	武生市芝原町寿楽園		16	進修学園	
〃	〃	〃 芝原町	9	36	武生市芝原町の高台へ	
敦賀署	9.17.21.00	敦賀市中	15	30	中村集会場	
〃	〃	〃 木ノ芽	15	28	日本鋳業社宅	
〃	〃	〃 櫛川	5	15	櫛川公民館	
〃	〃	三方町別所	35	130	田井診療所	
〃	9.17.22.00	敦賀市谷	26	109	威心小学校	
〃	〃	〃 中	69	328	〃	
〃	〃	〃 井川	34	163	〃	
〃	〃	〃 木ノ芽	109	352	東郷公民館追	
〃	〃	〃 深坂	14	50	追分町真正寺	
〃	9.17.24.00	〃 和久野団地	17	48	和久野公民館	
小浜署	9.17.20.00	小浜市竹原、城内	297	1,100	小浜中学校	
〃	〃 18.45	大飯町本郷町全区	250	1,300	適時	
〃	〃 19.45	大飯町石山	12	50	附近の高台へ	
〃	〃 20.00	〃 名田庄村知三	30	130	知三小学校	
〃	〃 19.45	高浜町城山、横町	20	100	高浜小学校 城山荘	
〃	〃 20.15	大飯町全区	355	1,800	適時	
〃	〃	名田庄村兵瀬	10	50	観音堂	
〃	9.17.20.45	〃 佐野	1	5	附近の高台	
〃	〃	〃 中井	4	20	附近の高台	
〃	〃 21.20	小浜市大湊、小湊、北塩屋	20	100	西津小学校	
〃	〃 20.00	上中町、下中、安賀里	20	100	附近の高台	
〃	〃 21.50	小浜市今富	400	1,700	〃	
〃	〃 22.05	小浜市一番町、四ツ屋後瀬	500	2,000	市役所、中学校	
〃	〃 22.30	上中町松永	123	520	法雲寺、隣光院、大光寺	
計			3,941	17,785		

警察官出動状況 (職員を含む)

課 種	署 別	日	本 部	機 動 隊	警 察 学 校	通 信	福 井	松 岡	大 野	勝 山	丸 岡	金 津	三 国	丹 生	鯖 江	今 立	武 生	敦 賀	小 浜	計
			10				158	15	60	25	32	44	37	30	43	20	75	80	62	691
			20	35		70	12	12	54	28	18	20	22	18	11	10	34	33	26	400
			53	35		76	15	15	61	38	11	11	11	11	11	67	34	22	22	430
			58	35	53	34	11	11	62	34	11	11					11	22		359
			32	35	53	34			58	32			11	11						276
									37	16										53
									29	11										40
									18	8										26
									15	5										20
			163	140	106	39	214	38	334	172	40	42	44	40	22	17	79	77	48	1,615
			54				97	19			35	41	25	23	38	20	68	72	67	559
			53	35		9	134	18	21	17	33	23	32	31	42	21	69	68	61	667
			16	35		9									8	15	12	45	45	185
			12													8		26	20	66
			13															23	18	54
			148	70		18	231	37	21	17	68	64	57	54	88	64	149	234	211	1,531
			321	210	106	57	603	90	415	214	140	150	138	124	153	101	303	391	321	3,837
			計																	

第七章 各種団体の活動

第七章 各種団体の活動

1. 自衛隊の活動

1 今次災害に際して知事から自衛隊に対して、派遣要請をしたものは下記の通りである。

要請月日	要 請 先	要 請 人 員	期 間	派 遣 先	摘 要
40. 9. 15	金沢駐とん地司令 浦川 泰一郎	138	15日 06.00から 20日 08.00まで	大野市、勝山市 西谷村	
9. 15	同 上	11	15日 17.30 20日 08.00	西谷村、大野市	
9. 16	同 上	26	16日 09.50 20日 08.00	同 上	
9. 16	同 上	106	16日 12.05 20日 08.00	大野市、勝山市	給水車2輛
9. 16	同 上	67	16日 14.45 20日 08.00	勝 山 市	バケット ローダー台
9. 18	同 上	51	18日 07.30 20日 08.00	今 立 町	
9. 15	第10師団長 平野斗作	ヘリコプター 1機	16日 07.00 20日 08.00	西谷村、大野市	
9. 15	航空自衛隊 小松基地司令黒江保彦	偵察機 ヘリコプター	15日 09.20 19日 17.00	奥越地方	
9. 18	第10師団長 平野斗作	ダンプ 7台 シヨベル31台	19日 から 22日 まで	三 方 町	

2 災害派遣部の状況

部 隊 名	駐とん地名	人 員	延 人 員	機 種 数	延 機 数
第14普通科連隊	金 沢	290	1876		
第302地区施設隊	〃	51	90		
第322地区施設隊	鯖 江	33	172		
第101建設大隊三方作業隊	豊 川	37	148		
中部方面飛行隊	八 尾	4	16	H-19 ①	3
小松救難分遣隊	小 松	13	65	H-19 ① T-6 ①	5 3
芦屋 〃	福 岡	6	12	H-21 ①	2
福井地方連絡部	福 井	2	12		
計		436	2,391	4	13

3 派遣期間

9月15日～9月20日（一部は22日まで三方作業隊）

4 派遣隊の作業内容

- | | |
|---------------------|------------------------------------|
| ① 西谷村への糧食搬送 2,500食分 | ② 大野、勝山両地区における堤防補強作業及び土て造り |
| ③ 笹又峠及び西谷村への道路啓開 | ④ 救出作業 ⑤ 給水作業 |

5 ヘリコプターの空輸状況

① 物 品

品 目	数 量	品 目	数 量
食 糧 品	9,217.5K	事 務 用 品	400K
日 用 品	1,327K	衣 類 品	200K
医 薬 品	160K	其 の 他	198K
機 材	480K	計	11,982.5K

② 人 員

避 難 民 193名

報 道 関 係 其 の 他 29名

計 221名



今立町大滝



護岸工事に活躍する自衛隊員
(大野市佐開橋附近)



西谷村への救援物資輸送
に活躍する陸上自衛隊員
(大野市木ノ本)

6 行 動 の 状 況

月日	部隊	指揮官	人員	地区	任 務
9/15	金沢部隊	高 森 3 佐	◎ 23	大 野	10.00着 木の本一笹又峠一笹又 糧食 1,000食搬送
		副 連 隊長	◎ 66	”	14.00着 益井2尉外19名 糧食 1,500搬送、道路啓開偵察
		上 田 1 尉	◎ 30	勝 山	14.00着 勝山駅附近で注水防止
徳 川 2 尉		◎ 11	大野(7) 勝山(4)	炊事班として 14.00本部着	
	北 村 2 尉	◎ 11	大 野	20.30着 (レンジャー)	
	鯖江	松 山 2 尉	◎ 6	大野(3) 勝山(3)	道路偵察
	小松	石 井 3 佐	◎ 4		福井大学 ⑩ で待機 H-19
松 原 1 尉		◎ 2	大 野	東大月附近の偵察 T-6	
中 俣 1 尉		◎ 7	”	ヘリ用の燃料輸送	
9/16	金沢	北 村 2 尉	29	西 谷	笹又峠一中島 道路啓開 益井隊と合流 人員救出作業
		益 高 森 3 佐	43	大 野	今井南側堤防補修
		上 田 1 尉	30	勝 山	土のう造り 道路啓開
		野 坂 3 佐	◎ 106	大 野	14.00 金沢発 18.00 着
		道 下 1 尉	◎ 49	勝 山	18.45 金沢発
	今 井 3 佐	◎ 18	”	”	
	鯖江	三 輪 1 尉	26	西 谷	仮橋架橋と道路啓開
	八尾	曾 根 1 尉	◎ 4	大 野	8.40 着 中島地区への救援物資輸送 H-19
	小松	松 原 1 尉	2	”	大野地方偵察 T-6
9/17	金沢	野 坂 3 佐	100	大 野	君ヶ代橋上流堤防補修
		高 森 3 佐	43	”	今井部落附近 ”
		三 輪 1 尉	50	西 谷	木の本一中島 人道啓開
		今 村 3 佐	100	勝 山	千代田地区の堤防補強
		八尾	曾 根 1 尉	4	大 野
	小松	石 井 3 佐	3	”	” H-19
松 原 1 尉		2	”	偵 察 T-6	

月日	部隊	指揮官	人員	地区	任 務
9/18	金	野坂 3 佐	51	大野	木落部落附近の堤防の補強
		高森 3 佐	45	〃	君ヶ代橋 〃
		広瀬 3 佐	45	〃	笹又峠の人道啓開
		三輪 1 尉	28	〃	〃
		北村 2 尉	11	〃	下若生架橋援助
	沢	今村 3 佐	55	勝山	小原地区道路啓開
		道下 1 尉	49	〃	上野地区の土のう造り
	今村 1 尉	◎ 51	今立	11.30 大滝地区の救出作業	
9/18	八尾	曾根 1 尉	4	大野	西谷、物資人員輸送 H-19
	小松	石井 3 佐	4	〃	〃
	芦屋	永島 2 佐	◎ 6	〃	〃
9/19	金	三井 2 佐	200	〃	笹又峠—中島 道路啓開
		今村 3 佐	100	勝山	六呂師地区の道路啓開
		今村 1 尉	51	今立	救出作業
	八尾	山本 1 尉	4	大野	西谷、物資輸送
	小松	石井 3 佐	4	〃	9.18 帰航
芦屋	永島 2 佐	6	〃	〃	
豊川	三方町作業隊	◎ 37	三方	災害復旧作業	
9/20	豊川	三方町作業隊	37	三方	災害復旧作業
	金沢	三井 2 佐	351	大野 勝今 山立	8.00 より徹収
	八尾	山本 1 尉	4	大野	〃

◎は投入人員を示す。

2. 日本赤十字社の活動

1. 医療救護の活動について

(1) 救護班の活動

- (A) 9月15日より県災害対策本部に連絡員を派遣し連絡を密にすると共に、福井赤十字病院に於て常備救護班2ヶ班を待機するよう指示した。
そして15日、16日の両日は待機のまゝに終わった。
- (B) 9月17日県災害対策本部より救護班の出動につき指示があり福井赤十字病院に待機中の救護班1ヶ班に西谷村へ出動するよう指示した。
- (C) 西谷村に派遣の決定した救護班は登山用装備に整え、救護用医薬品を携行、9月17日12時30分支部救急車で福井赤十字病院を出発し、大野市にある県災害対策奥越地方本部に到着し指揮下に入った。
同日午後天候不良のためヘリコプター航行不能につき明朝まで大野市に於て待機する様指示があり、大野市に宿泊天候の回復を待った。

第一救護班の編成

班長 副部長	看護婦	〃	主事	運転手
寺尾 正	浅井 恵子	嶽 恵美子	藤田 繁	橋爪 沢志

9月18日7時ヘリコプターにて基地を出発。西谷村中島に7時10分到着8時30分中島小学校に於て救護所を開設、直ちに診療開始午後中島部落の避難所3ヶ所を巡回して診療を行った。

取扱患者数

区 分	内 科	外 科	歯 科	計
患 者 数	41 名	4 名	1 名	46 名

なお同日11時05分郵便集配人沢本仁作(49才)(死因頭蓋底骨折、推定死後60時経過)の屍体検案を行った。9月19日7時より診療開始9時30分より12時30分迄上笹又にて診療、13時より14時50分まで下笹又にて診療、そのとき県災害対策本部より19日中に帰還の指令を受けたので、早速救護を中止して中島に帰り16時00分に中島救護所を閉鎖、16時50分ヘリコプターにて中島を出発18時00分大野市に到着し大野保健所の指揮下に入った。

取扱患者数

区 分	内 科	外 科	計
患 者 数	44	3	47

この2日間の使用医薬品は出勤時携行した外9月18日夜支部に要請した医薬品補充(19日8時00分中島に現品到着)を1回行った。9月19日大野市に宿泊、20日は更に大野市内を巡回して医療救護を行った。

- (D) 大野市に派遣した救護班は9月17日14時25分水害地向きの装備にて支部ジープにて出発し、15時30分大野市役所に到着。大野市災害対策本部の指揮下に入り水害地及び西谷村り災者避難所を巡回して救護を行った。特に台風24号暴風雨の中を20時まで救護を実施、支部帰着は21時30分暴風雨のさ中であつた。

編 成 内 容

班長 医 師	看 護 婦 長	看 護 婦	主 事	運 転 手
金 城 義 人	蜂 谷 幸 子	前 川 好 子	下 中 仁 一	小 川 秀 士

巡 回 場 所

大野市木落 同市 巖生 中休公民館

取 扱 患 者 数

区 分	内 科	外 科	計
患 者 数	35 名	6 名	41 名

9月18日9時50分支部出発11時大野市到着、大野市災害対策本部の指示により早速巡回して救護に当り、19時30分救護業務終了 21時支部帰着。

編 成 内 容

班長 医 師	看 護 婦 長	看 護 婦	主 事	運 転 手
金 森 修 弘	蜂 谷 幸 子	前 川 好 子	下 中 仁 一	小 川 秀 士

巡 回 場 所

大野市友江 同市 土布子

取 扱 患 者 数

区 分	内 科	計
患 者 数	61 名	61 名

9月19日9時出発10時大野市到着 大野市災害対策本部の指示により 前日同様大野市の避難所を巡回して救護に当り、16時30分 救護業務終了17時30分支部帰着。

編 成 内 容

班長 医 師	看 護 婦	”	主 事	運 転 手
石 川 稔 見	柳 瀬 京 子	田 村 正 子	塀 忠 雄	小 川 秀 士

巡 回 場 所

大野市下若生子、同田子寮、同長勝寺、同誓念寺

取 扱 患 者 数

区 分	内 科	外 科	眼 科	耳 鼻 科	計
患 者 数	35	8	2	1	46

9月20日西谷村から大野市に引揚げた寺尾班長以下4名に更にジープを配乗したため小川運転手が加わり、計5名9時20分大野市災害対策本部に到着直ちに大野市内のり災害避難所を巡回して救護に当り、16時30分救護業務終了 18時10分支部帰着。

巡 回 場 所

大野市佐開、同木落、同中ノ出

区 分	内 科	外 科	眼 科	計
患 者 数	71	6	1	78

(2) 現地医療班の活動

(A) 9月15日勝山市北谷町北六呂師に於て、豪雨のため山崩れがあり、1世帯4棟が全半壊し、8人が生埋になり、日赤勝山市地区長の要請により現地医療班3ヶ班が現地に 出動下記の通り救護に当たった。

編 成 内 容

出 動 月 日	救護の場所	職	住 所	氏 名
9月15日	北谷町北六呂師	班長 医 師	勝山市 郡	武 藤 邦 雄
"	"	看 護 婦	"	三 井 富 美 子
"	"	医 師	勝山市 立川	松 村 寛 治
"	"	班長 医 師	勝山市 北谷町	荒 井 俊 雄

取 扱 患 者 数

区 分	外 科	計	屍 体 検 査
患 者 数	5	5	2

(B) 9月15日未明よりの奥越地方の豪雨により真名川、九頭竜川が氾濫、堤防決潰等により孤立した部落及びり災者避難所に巡回救護のため日赤大野市地区長の要請により9月17日及18日現地医療班4ヶ班が現地に 出動下記の通り救護に当たった。

編 成 内 容

出 動 月 日	救護の場所	職	住 所	氏 名
9. 17	中野町 下庄 小 学 校	班長 医 師	大野市 中野町	松 田 理 一 子
"	"	看 護 婦	"	藤 原 照 子
"	大野市 佐 開	班長 医 師	大野市 東一番	齊 藤 馨 枝
"	"	看 護 婦	"	井 上 静 枝
"	"	班長 医 師	大野市 上神明	村 井 国 夫 治
9. 18	大野市 春 日 野	班長 医 師	大野市 五 番	尾 崎 清 治
"	"	看 護 婦	"	広 場 笑 美 子

取 扱 患 者 数

区 分	内 科	外 科	計
患 者 数	11	1	12

(C) 9月17日今立町大滝に於て台風24号のもたらした豪雨のため、山崩れが家屋4世帯10棟が全半壊し14名が生埋となり、日赤今立町分区長の要請により現地医療班3ヶ班が出動下記の通り救護に当たった。

編 成 内 容

出 動 月 日	救護の場所	職	住 所	氏 名
9. 17	今立町 大 滝	班長 医 師	今井町 新在家	高 木 輝 雄
9. 18	"	看 護 婦	"	高 木 徳 子
9. 18	"	班長 医 師	今立町 粟田部41 の3	法 幸 治郎三郎
9. 19	"	医 師	"	藤 田 俊 太 郎
"	"	看 護 婦	"	壬 生 登 勢
"	"	"	"	内 藤 久 子
"	"	"	"	大 野 砂 智 子
"	"	"	"	藤 井 洋 子

取扱患者数

区 分	内 科	外 科	計
患 者 数	7	2	9

(D) 9月17日台風24号の風水害により名田庄村全域に被害が続出したので、日赤名田村分区長の要請により9月18日及び19日現地医療班2ヶ班出動下記の通り、災害者の救護に当たった。

編成内容

出 動 月 日	救 護 の 場 所	職	住 所	氏 名
9. 18	名田庄村 下、井上、納田終	班長 医 師	名田庄村 久坂	矢 田 部 浩
9. 19	"	看 護 婦	"	島 田 梅 子
"	"	班長 医 師	名田庄村 井上	近 藤 正 巳
"	"	看 護 婦	"	片 又 正 子

取扱患者数

区 分	内 科	計
患 者 数	15	15

(E) 9月17日台風24号の風水害により高浜町青郷地区に被害が続出したので、日赤高浜町分区長の要請により9月18日より3日間現地医療班1ヶ班が青郷地区に出動下記の通り、災害者の救護に当たった。

編成内容

出 動 月 日	救 護 の 場 所	職	住 所	氏 名
自 9月18日 至 9月20日	高浜町青郷地区	医 師	高浜町 若 宮	吉 井 博 信
"	"	看 護 婦	"	鳴 戸 ト シ 子
"	"	"	"	寺 西 二 三 子

取扱患者数

区 分	内 科	外 科	計
患 者 数	9	18	27



2. たき出しについて

(i) リ災者のためのたき出しは大野市等において赤十字奉仕団の作業で実施したのであるが、この材料は当支部が平素から各地区、分区に配置してあるハイゼックス袋を使用し且つ次のとおり補充した。

大野市	ハイゼックス袋	4,000枚
勝山市	〃	5,000枚

3. 赤十字備蓄救援品の交付

9月15日、16日は前線豪雨被災者に17日、18日はその追加分そして更に台風24号被災者を対象として下記の通り支部備蓄品を送付した。

地区分區別	毛布	中故衣料	地区分區別	毛布	中故衣料
福井市	10枚	梱	清水町	3枚	梱
武生市	1〃	〃	三方町	30〃	
小浜市	5〃	〃	美浜町	1〃	
大野市	23〃	8〃	上中町	5〃	
勝山市	15〃	10〃	名田庄村	2〃	
西谷村	160〃	20〃	大飯町	10〃	
和泉村	20〃	8〃	高浜町	20〃	
川西町	2〃				
今立町	10〃		計	317枚	46梱

尙さきの台風23号被災者には福井市以下4市10町2村に毛布47枚を送付した。

4. 奥越豪雨水害義援金(品)受付運動について

前線豪雨の被害は奥越地方に甚大な被害を受け、リ災者の窮状洵に同情に堪えないものがありこのとき県民の同情を集めて救援すべきであると判断して、日赤福井県支部災害対策地方委員会義援金品部会に諮り、義援金品募集運動を展開することにした。受付状況と金品の送付状況は次表の通りである。

昭和40.9風水害義援金品受付状況

募集期間 9月15日～10月14日迄

41.1.30日現在

郡市別	義援金	義援品			郡市別	義援金	義援品		
		支部扱	直送	計			支部扱	直送	計
福井市	314,927円	520梱	梱	520梱	坂井郡	728,591円	432梱	梱	432梱
敦賀市	249,019		34	34	今立郡	3,000			
武生市		14		14	南条郡	2,900			
勝山市	20,200				丹生郡		8		8
鯖江市	17,182	1		1	三方郡	11,260	7		7
足羽郡	4,150	85		85	県外	293,140	176		176
吉田郡	178,207	61		61	計	4,322,596	1,304	84	1,338

昭和 40.9 風水害義援金品送付状況

市町村別	配分比	義援金	義援品	市町村別	配分比	義援金	義援品
大野市	9.2	161,300 ^円	102	三方町	11.3	198,100 ^円	120
勝山市	7.2	126,100	88	高浜町	12.6	220,900	127
西谷村	47.4	900,576	610				
和泉村	12.3	215,600	103	計	100.0	1,822,576	1,150 ^梱

- 注 1. 本表中、「直送分」とあるは地区、分区より災地に直送した分である。
 2. 本表の義援品梱数は支部又は地区分区に於て輸送のために改装した梱数であるから醸出者より受けた義品の梱数援より少くなっている。

3. 県連合青年団の活動

(一) 西谷村へ愛の救援米運び

40.9 風水害で壊滅的打撃をうけた大野郡西谷村へ、米を運搬するため県連合青年団（豊岡北士団長）の団員 54 人は、9 月 26 日午前 4 時、大野市木の本から笹又峠を越えて、中島へ約 8 百キロの米を背負ってがんばった。このころ、西谷村は、まだ完全に孤立しており、ヘリコプターによる空輸も打ちきられ救援物資の輸送は困難だった。特に主食の米は、1 人 1 日 3 百グラム 平均で、9 月一ぱいどころかもちこたえる状態であった。この話を聞いた大野市連合青年団（笹島弘三郎団長）は、さっそく県連青を通じて全県下の青年団員に協力を呼びかけた。その結果、当時各青年団では三方町救援活動（別掲）にもとりこんでいたが、足羽町より 14 人、森田町 2 人、福井市より 14 人、それに大野市より 23 人、県連青理事 1 人と、合計 54 人がかけつけ、米の輸送隊を編成した。

（隊長、加藤正晴県連青副団長）、米は県販購連があっせんし、1 人当り 15 キロの米袋をかついで笹又峠越えて中島へはいった。西谷村民の感謝をうけ、夜遅く大野市に戻った。



西谷村へ米をかついで
出発する青年団員

(二) 三方町救援に汗の労力奉仕

被災地をたすけよう！ という県連合青年団（豊岡北土団長）の呼びかけに応じて県内の若い青年たちは一輪車、スコップなど作業具をもって参集した。そのうちわけは、芦原町（5）美浜町（16）三方町（77）高浜町（8）大飯町（6）三国町（13）福井市（20）武生市（25）敦賀市（27）小浜市（29）今庄町（42）県連青役員（9）と合計 277 人の救援隊（隊長豊岡北土団長）になった。

9月25日早朝救援隊は車を出発した。そして三方町の県立青年の家本部（宿舎）に三方町の災害対策本部の救援計画に従って、9月25日、26日、27日の3日間にわたって被災した民家の跡かたづけや、道路の補修作業を行なった。この277人の中には女子団員6人が含まれており、彼女たちは男子団員の食事の準備をなし作業能率のあがるよう世話を行なった。こうした汗の活動に対し知事、三方町長から感謝状がおくられたが、跡かたづけをしてもらった民家からも、団員あてに喜びのお礼状が数多くとどけられた。



三方町の救援活動にとりくむ県連青団員

4 県連合婦人会の活動

9月16日福井県の山間部をおそった風水害は、その後刻々入るニュースにより福井県来曾有の大水害となり、その被災範囲も嶺北嶺南におよぶ広範囲のもので、水害や山崩れで家を流され土砂にうまり家屋が倒壊するなどその惨状は目もあてられないものと知り、県連合婦人会では直ちに役員を非常召集してその救援活動について緊急協議を行った。

会長はじめ役員は、直ちに慰問金と救援物資を持って現地に駆けつけ、被災地の人々を励まして、現地の人達は思いがけぬ役員らの慰問に感激し、災害の中にあつた。

救援募金活動

これと同時に県連婦は全会員に指令して、1人10円のカンパを行ない、10月末現在で541,787円が募金された。この募金は災害の状況により配分を行い各被災地におくった。

また、各被災地において、それぞれの郡市単位婦人会により救援活動を行なうようにはかり、各地において次のようなめざましい救援活動が行なわれた。

先ず被災の激甚な大野市においては、大野市連合婦人会が毎日60人ずつ16日間、動員数延960人におよぶ人々により炊き出しにあたった。例えば春日区では、朝昼晩の3回にわたって婦人会が1ヶ所集まって炊きだしを行ない、4番の婦人会では各自宅でお米をわけて毎日3回づつの炊きだしを行なうなど、それぞれの方法で炊きだしを行ない、一部ではこの他、会員の自発的な意志により、みそ汁

やおかずなどもつくって配給したので非常によろこばれた。これらの婦人会の行為は市全体の賞讃のもとになり感謝のことばを与えられた。

同様に勝山市連合婦人会では、15人ずつ4日間延動員数60人

結江市連合婦人会では、下河端、舟板、橋立地区において1日ではあるが67人の人が炊きだしを奉仕した。

山津波で全壊家屋を出した今立町大滝部落では150人の炊出しのため今立郡連合婦人会では20人ずつ4日間、80の人を動員し、災害の跡始末に10人ずつ3日間延30人お手伝いとして出した。

また会員からフトンを集めて被災者に贈ったり孤児となった児童のため募金運動を行なうなどめざましい活動があった。

三方郡連合婦人会では、災害を受けた翌日設置された災害対策本部や、町公民館や民家に避難した人達に炊きだし奉仕、家屋の土砂搬出作業道路の整備などに奉仕した。一番よろこばれたことは、10数日にわたり会員が交替で炊き出しに奉仕したことだった。

その他災害のあと始末のため大飯郡の婦人会が30人を出したり、岡安畑、川村、事持地区の山崩れと床上浸水100戸のため炊き出し配分を行なうなど各地においてそれぞれの活動を行なった。

これらの救援活動は被災者に光明を与え、奮起させ、「打ちひしがれた心に一光明を与えられ人の世の情厚きを感じ元気に立ち上ります」などの沢山の礼状を受けた。



三方町婦人会の奉仕作業

5 県社会福祉協議会の活動

県社会福祉協議会では、今次三大風水害の発生とともに対策会議を開き、その救援対策を決定、推進し、被災住民の民生の安定に努めた。主な活動状況は下記のとおりである。

(一) 義援金品の受付

県内外各地より暖かい救いの金品が多数寄せられた。概況は次のとおりである。

義 援 金 総額 147,518 円 (26件) に達し、うち西谷村小学校指定の 3,976 円を除き、他は西谷村はじめ全壊世帯 259 戸に均等配分した。

義 援 品 総数は 11,600 点余に達しその内訳（概数）は次のとおり。

種 類	衣 類	食 品	雑 貨	計
点 数	7,000	2,000	2,600	11,600

また、改装のうえ 216 梱包を下記のとおり分配した。

配 付 先	西 谷 村	和 泉 村	大 野 市	若 狭 地 方	計
梱 包 数	145	3	20	48	216

（二）世帯厚生資金の貸付

風水害により流失、全壊、半壊したものを重点に、床上浸水、浸下浸水にあつては家財道具に損害を受けたもの等に対し、3 千万円（国 3/5、県 1/3）の融資を受けて貸付け（年利 3 分、1 年据置き、5 年償還）を行った。昭和 41 年 3 月 3 日現在の貸付状況は次のとおりである。

災 害 援 護 資 金	232 件	22,780 千円
更 生 資 金（災 害 分）	27	2,700
住 宅 資 金（災 害 分）	28	2,650
計	287 件	28,130 千円

（三）臨時福祉施設の建設

災害救助活動の一つとして日本自転車振興会から補助を受け、県社協が設置主体となって行なったものである。この制度は、災害救助法発動市町村のうち特に被害甚大な市町村に建設されるものであり、本県で適用されたのは今回の風水害が最初である。日本自転車振興会より補助金として、447 万 8 千円の配分決定を受け、大野市および西谷村に建設された施設の概要は下記のとおりである。

市 町 名	設 置 場 所	施 設 内 容	規 模
大 野 市	大 野 市 藤 生	保 育 所	プレハブ建築 40 坪 50 人収容
西 谷 村	大野市下掘西谷村 設住宅団地	共同浴場、保育所	プレハブ建築 60 坪

10 月 25 日着工 11 月 11 日開所

（四）被災者心配ごと相談所の開設

社協職員が中心となり、民生委員、役場職員の協力を得て、災害救助法発動市町村に 14 ヶ所設置され、被災者の生活相談、災害援護資金の貸付業務等被災住民の安定に努めた。設置市町村は次のとおりである。

大 野 市	勝 山 市	小 浜 市	鯖 江 市	武 生 市
西 谷 村	今 立 町	清 水 町	三 方 町	高 浜 町
大 飯 町	上 中 町	名 田 庄 村		

第八章 資料編

第八章 資料 編

1 40・9三大風水害陳情書

この陳情書は昭和40年9月23日知事、県議会議長が政府各省庁国会、各政党に対して陳情した時のものである。

1. 陳情の趣旨

9月10日、福井県を襲った23号台風は、その瞬間風速^{高浜町48・6米}_{福井市42・5米}に達する本県としては、未曾有の烈風のため、その被害総額31億余万円の巨額に達した。その応急復旧に努めていたところ、9月14日からの前線活動による集中豪雨は岐阜県境、奥越地方に、これ又14日から15日迄の約36時間において福井地方気象台創設以来未曾有の1,044ミリの雨量をもたらしたために本県を従断する真名川、九頭龍川は決壊し、特に大野、勝山両市と西谷、和泉の両村を含む奥越地方は壊滅的打撃を受け、その被害は156億余万円の巨額に達し、県では直ちに前記4市町村に災害救助法を発動し、自衛隊の応援を受け、応急復旧に努めている際、更に三たび三重苦ともいべき台風24号の大災害となった。即ち9月17日志摩半島に上陸した本年最大の24号台風は県下全土に猛威をふるい嶺南、南越を中心にまたまた全県下に大被害を生じ、その被害額は163億余万円の尨大な額に達したのである。以上の3大災害により死者33名と被害額は今日までに判明した公共事業において211億余万円を始め被害総額実に計351億余万円（個人財産も推定）に達したのであります。

これらの相つぐ大災害の復旧は、県および市町村の貧弱な財政をもってしては全く不可能であります。また本県、特に奥越地方は豪雪地帯でもあり、災害の早期復旧は真に緊急を要するものであります。

よって右事情ご推察のうえ緊急これが復興対策の実現につき政令の早期制定、早期調査、査定、高率国補決定等格段の御配慮を賜りますよう左記要望事項を添え情陳いたします。

昭和40年10月

福井県知事 北 栄 造

殿

記

政令の早期公布の制定について

「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」（昭和37年法律第150号）をして県下災害地全域に適用する政令を早期制定公布されたいこと。

その他左記事項について特別の御高配を願いたい。

県、市町村に対する財政金融の特別措置

特別交付税の増額、単独災害復旧費の措置および元利補給、災害融資

被災者救助の諸対策の即時実施

応急住宅の建設、世帯更生資金、母子福祉資金等の増枠および高率補助

公共災害の早期査定および調査実施

農林商工金融の特例措置

天災融資適用政令の公布、自作農維持資金、中小企業近代化資金等の政府資金枠の増額と償還延期、農林商工等金融公庫の資金枠の増額

各省別要望事項

大蔵省関係

- 1 国税の減免
- 2 県および被災市町村の災害復旧債の元利償還期間延長

文部省関係

- 1 公立文教施設災害の早期復旧
- 2 罹災児童、生徒、通学不能者の就学援助費（集団収容あるいは遠方交通に要する経費等）について特別助成
- 3 被災学校給食設備等についての特別助成

4 被災公民館の特別助成

厚生省関係

- 1 世帯更生資金、母子福祉資金の増額
- 2 応急仮設住宅の限度引上および早期建設
- 3 災害救助費の限度引上および期間延長
- 4 福祉施設に対する復旧費の助成
- 5 環境衛生施設に対する復旧費助成
- 6 世帯更生資金の特例について「激甚災害に対処するための特別財政援助等に関する法律」の適用措置

農林省関係

- 1 農地等の災害復旧事業に対する特別助成
- 2 天災融資法適用政令の公布
- 3 公共災害復旧事業の高率補助適用
- 4 自作農維持資金の増額および長期低利資金の融資
- 5 被災農家に対する制度借入金償還の繰延
- 6 技術要員の充実（他府県よりの派遣）
- 7 農業共済保険金概算払の促進
- 8 漁港、海岸災害復旧工事の2ヶ年完了
- 9 天災融資法の被害組合に農林水産業法人（木炭生産者組合、養蚕共同飼育組合等）の適用
- 10 農業共済の対象拡大（果樹、樹苗）

（食糧庁）

- 1 品質低下米に対する検査規格の設定
- 2 時期別格差制度における出荷期限の延長
- 3 被災農家に対する配給米の措置

（林野庁）

- 1 治山、林道工事の繰越承認
- 2 炭ガマの災害復旧に対する特別助成

通産省関係

- 1 「激甚災害に対するための特別財政援助等に関する法律」第15条の改正

(イ) 融資限度の拡大と利率の引上げ

中小企業者1人に付	100万円を500万円
中小企業団体に付	300万円を3,000万円
利率	年利 6分5厘を5分

(ロ) 融通機関の拡大

現行の商工組合中央金庫に中小企業金融公庫、国民金融公庫、開発銀行を加え開発銀行の融資限度を5億円

- 2 中小企業に対する財政融資の増大、担保力の軽減、償還期間の延長
- 3 中小企業近代化資金の償還期限延期
- 4 商工業に対する天災融資法の制定

運輸省関係

- 1 国鉄越美北線、小浜線の早期復旧
- 2 鉄道道床および橋梁の復旧については線路そのものが河川洪水時に洪水流出の防壁となっている現況を考慮し之が根本的な改良をすること
- 3 港湾災害復旧事業の2ヶ年完了

建設省関係

- 1 公共土木施設災害復旧工事の2ヶ年完了
- 2 激甚被災地の一定災としての採択
- 3 橋梁災害復旧は永久橋としての採択

- 4 応急工事は全額国補として採択
- 5 被災低所得者住宅建設補助枠の拡大、補助率の増大
- 6 家屋および宅地への流入土砂の排除
- 7 辺境地被災者（農林業家）の住宅等復旧に対する特別助成

自治省関係

- 1 県、市町村に特別交付税の大巾増額
- 2 県、市町村に単独災害復旧債、融資等の措置、元利償還の完全補給
- 3 被災地方公営企業施設の災害復旧について「激甚災害に対処するための特別財政援助等に関する法律」の適用措置

2. 福井県臨時議会決議事項

災害復旧に関する決議

今次突如として本県全域を襲った3大風水害によって、現在までに判明しただけでも33名の尊い生命が奪われ、家屋の流失および全半壊その他による罹災者18万余名、被害総額は実に263億余万円に上る壊滅的な大損害を受けるに至った。

施設の完全復旧と罹災者対策は刻下の緊急問題であるが、県ならびに罹災市町村の財政は相次ぐ災害復旧に疲弊困乏の極に達しており、地方団体独自の財政では到底不可能である。

よって政府においては、この実情をつぶさに認識され、早期に充分な財源措置と抜本的な復旧対策を講ぜられ、従来の復旧事業費3カ年分割を2カ年に短縮して早期完成を期せられるよう要望する。

上記のとおり決議する。

昭和40年9月20日

福 井 県 議 会

九頭龍川再改修の抜本的再検討（上流ダム群の増設、放水路等）と

改修事業の飛躍的推進についての意見書

九頭龍川は流域面積において、本県総面積の3分の2を占め、産業、文化の発展に大きな貢献をなしてきているが、一旦梅雨期、台風期等ともなれば、水の暴威は猛威をふるい、県勢の発展を阻害するばかりでなく、流域全般の住民に大きな恐怖と不安を与えている。

これは、九頭龍川中流部より下流および支川日野川下流部の通水断面の不足が一つの大きな原因であり、国においては昭和28年9月の台風13号を契機とし、国直轄事業として本川を採択され、昭和31年度より施行されてきているが、全体計画に対し、その進度は著しく遅々たるものであり、今次の40年9月の3大風水害（23号、奥越豪雨、24号）にみられるように毎年災害の発生に終始している。

よって、国においてはこの際九頭龍川改修計画を抜本的に再検討の上、既計画の画期的促進と合せて、上流ダム群の早期検討と着工、また、九頭龍本川を三里浜へ1部切落す放水路の計画の樹立等九頭龍川による水害を根本的に排除することについて、特段の配慮をせられ、早急に施行せられんことを強く要望する。

昭和40年9月29日

福 井 県 議 会

3. 被害の概況

死 者	33人
23号台風	3人
奥越豪雨	11人
24号台風	19人
被害総額	35,104百万円
23号台風被害総額	3,178百万円
奥越豪雨被害総額	15,624百万円
24号台風被害総額	16,302百万円

災害救助法発動14市町村（5市、6町、3村）

奥越豪雨（9月15）

大野市、勝山市、西谷村、和泉村

24号台風（9月17日、18日）

大飯町、小浜市、鯖江市、武生市、三方町、今立町、上中町、清水町、高浜町、名田庄村

40・9 3 大 風 水 害

区分	災 害 別	額	摘 要	
木	23号台風	232百万円	23号台風 最大風速 福井市 42・5米 高浜町 48・6米	
	奥越豪雨	8,563百万円	奥越豪雨 最大雨量 真名川西谷村本戻 1,044ミリ	
	24号台風	7,110百万円	24号台風 最大雨量 北 川 上中町熊川 507ミリ	
土	計	15,905百万円	河川の決壊破堤 1,025ヶ所 橋 梁 の 流 失 38ヶ所 山 腹 崩 壊 142ヶ所	
	農	23号台風	1,978百万円	田 畑 冠 水 29,427ha 林 道 の 決 壊 1,450ヶ所
		奥越豪雨	3,330百万円	林地（治山施設を含む）崩壊 461ヶ所 中 晩 稲 倒 伏 18,275ha
24号台風		4,493百万円	農 業 施 設 3,135百万円 林 産 関 係 2,354百万円 農 業 関 係 3,970百万円 漁 業 162百万円	
林	計	9,621百万円		
	そ の 他	23号台風	1,148百万円	商 工 業 関 係 4,549百万円
		奥越豪雨	3,731百万円	学 校 お よ び 教 育 施 設 222百万円
24号台風		4,699百万円	公 共 建 物 165百万円 県 営 発 電 施 設 335百万円 家 屋 4,307百万円	
合 計	23号台風	3,178百万円		
	奥越豪雨	15,624百万円		
	24号台風	16,302百万円		
計	計	35,104百万円		

被害概況内訳

（単位 百万円）

区 分	23 号 台 風	奥 越 豪 雨	24 号 台 風	合 計
死 者	3人	11人	19人	33人
罹 災 者	55,535人	86,260人	60,742人	202,537人
家 屋 全 半 壊 (流失を含む)	1,262戸	2,973戸	3,037戸	7,272戸
家 屋 1 部 破 損	37,707戸	8,001戸	11,379戸	57,087戸
被 害 総 額	3,178	15,624	16,302	35,104
一 公 共 土 木	232	8,563	1,710	15,905
河 川	(39ヶ所) 143	(164ヶ所) 3,078	(822ヶ所) 2,671	(1,025ヶ所) 5,892
砂 防	(4ヶ所) 4	(83ヶ所) 1,253	(557ヶ所) 1,775	(644ヶ所) 3,032
道 路	(10ヶ所) 12	(123ヶ所) 1,840	(186ヶ所) 434	(319ヶ所) 2,286
橋 梁	—	(18ヶ所) 119	(20ヶ所) 53	(38ヶ所) 172
海 岸	—	—	(4ヶ所) 91	(4ヶ所) 91
県 単	24	1,130	1,005	2,159

区 分	23 号 台 風	奥 越 豪 雨	24 号 台 風	合 計
県工事計	183	7,420	6,029	13,632
市町村工事	49	1,143	1,081	2,273
二 農 林 水 産	1,798	3,330	4,493	9,621
1 農 業 施 設	26	1,756	1,353	3,15
農 地	(30ha) 3	(2,897ha) 1,248	(470ha) 408	(3,397ha) 1,659
施設その他	(37ヶ所) 23	(676ヶ所) 508	(817ヶ所) 945	(1,530ヶ所) 1,476
2 林 産	138	825	1,391	2,354
林 道	(22ヶ所) 4	(471ヶ所) 440	(957ヶ所) 784	(1,450ヶ所) 1,228
林地崩壊	—	(37ヶ所) 215	(320ヶ所) 519	(357ヶ所) 734
治山施設	—	—	(10ヶ所) 25	(10ヶ所) 25
林産物施設	130	49	36	215
炭がま	(77ヶ所) 3	(220ヶ所) 11	(540ヶ所) 25	(837ヶ所) 39
苗	(4ha) 1	(74ha) 110	(30ha) 2	(108ha) 113
3 農 産	1,552	749	1,669	3,970
田畑冠水	(18,275ha) 1,042	(424ha) 626	(10,728ha) 1,355	(29,427ha) 3,023
果 樹	(212ha) 46	—	(377ha) 110	(589ha) 156
そ 菜	(932ha) 93	(211ha) 67	(305ha) 91	(1,448ha) 251
そ の 他	371	56	113	540
4 漁 業	82	—	80	162
漁 船	(48隻) 4	—	(22隻) 2	(70隻) 6
養 漁 場	9	—	34	43
施 設	69	—	44	113
三 商 工 業	171	1,683	2,695	4,549
四 学 校 及 び 教 育 施 設	125	62	35	222
五 公 共 建 物	44	121	—	165
六 県 営 発 電 施 設	—	335	—	335
七 家 屋	808	1,530	1,969	4,307

4. 気象の概況

(イ) 台風23号

8月31日グアム島附近で発生した台風23号は、急激に発達し本年最強の台風となり時速25キロメートル、中心気圧945ミリバールで北上9月10日朝四国安芸市附近に上陸その後スピードを増し時速60キロメートルで近畿地方を斜断し、日本海沖合を通過北海道方面に去った。

此の間4時間に亘り猛威をふるい、福井地方気象台始まって以来の最大瞬間風速高浜町48・6メートル福井市42・5メートルを記録し、雨量も、小浜市南川上流で155ミリに達した。

このため家屋の倒壊、農作物の被害続出し、それに加え若狭地方では、雨による被害をまねき県下各地に大災害をもたらした。

(ロ) 前線活動による奥越豪雨

9月13日太平洋上にあった不連続線が台風24、5号の影響で日本中部山岳地帯に北上し、特に福井、岐阜県境で活発に活動そのため本県奥越地帯の九頭龍川上流ならびに真名川流域では9月13日午後より16日午前9時迄に有史以来の1,044ミリの雨量を記録した。

雨は短時間に降ったため急激な洪水と、山崩れを生じ人家、橋梁の倒壊、流出と河川の護岸、道路の決壊相つぎ特に西谷村は孤立する等県下に大災害をもたらした。

奥越豪雨水位

水系	観測所名	所在地	警戒水位	最高水位	起日時
九頭龍川	中角	福井市	7.50 ^m	9.85 ^m	15日 3時
	布施田	〃	4.50	5.95	15日 4時
	比島	勝山市	2.50	4.80	15日 1時30分
日野川	下市	福井市	5.80	7.36	15日 5時
	佐佳枝	〃	5.00	4.76	15日 5時
九頭龍川	岸水	〃	5.20	7.26	15日 4時
笹生川	ダム	西谷村	洪水位529.50	529.42	15日 10時

奥越豪雨雨量表 (単位 耗)

河川名	観測所名	所在地	13日	14日	15日	計
足羽川	福井	福井市	30	51	2	83
	緑谷山	池田町	29	120	31	180
	稲荷	池田町	30	48	6.6	84.6
九頭龍川	大野	大野市	46	256	39	341
	大谷	和泉村	37.5	97	57.5	192
日野川	木無山	〃	—	223	57	280
	笹ヶ峰	今庄町	26	78	25	129
真名川	今庄	〃	36.5	55.5	4	96
	本戸	西谷村	41	844	159	1,044
笙の川	敦賀	敦賀市	41	85	3	129

(c) 台風24号

福井県地方では台風が潮岬に達した17日夕刻頃から暴風雨となり特に嶺南地方、南越地方で大雨となり、上中町熊川では日量400ミリに達した。

このため洪水と山崩れが各地で生じ人家の倒壊、橋梁の流失、河川の護岸、道路の決壊相つぎ、特に嶺南の主要幹線たる国道27号線は寸断され、嶺南地方は孤立する等県下に大災害をもたらした。

24号台風水位表 (単位 米)

河川名	位置	指定水位			日時	最高水位
		通報	警戒	洪水		
九頭龍川	中角	5.00	7.50	10.00	18.04	7.84
	平木	1.20	1.50	1.80	18.05	1.98
	岸水	4.50	5.20	6.00	18.04	7.80
日野川	下市	5.00	5.80	7.75	18.02	9.72
	姫川	1.50	3.00	4.00	17.23	3.00
足羽川	佐佳枝	4.50	5.00	6.50	18.02	7.75
	宿布	2.50	3.00	3.80	17.23	4.10
荒川	豊島中	2.80	3.80	4.50	18.03	5.55

河川名	位置	指定水位			日時	最高水位
		通報	警戒	洪水		
竹田川	六日寺	3.00	3.50	4.70	18.03	4.44
天王谷川	宝泉	2.10	3.50	4.20	17.22	3.10
鞍谷川	松成	2.00	2.80	3.80	17.23	5.00
"	粟田	1.30	1.50	2.00	17.21	2.91
北南遠	高塚	1.30	1.80	4.50	17.22	4.00
遠敷川	和久里	1.20	1.80	3.60	17.22	5.60
	遠敷	1.50	2.10	2.70	17.22	3.00

24号台風雨量表(口) (単位 耗)

河川名	地名	日時		計	
		官庁	16日 9時—9時		17日 9時—9時
足羽川	福井	気象台	26	163	189
笹の川	敦賀	"	73	207	280
九頭龍川	大木	"	32	102	134
"	無谷	"	—	—	—
足羽川	緑山	"	31	142	173
日野川	笹ヶ	"	37	213	250
"	今庄	警察	46	212	258
足羽川	稲荷	"	31	168	199
九頭龍川	大三	"	42.6	109	151.6
"	熊谷	県	21	190	211
北南遠	熊川	警察	88	416	507
南遠	小浜	"	60	265	325
笹の川	敦賀	"	68	242	310
真名川	本戸	"	26	135	161

5. 40.9 三大風水害対策の経過

- 40年9月14日 17時00分 大雨洪水注意報
 22時30分 西谷村中島部落雲川の増水により床上浸水救援乞うの無線連絡県にあり
 22時30分 県水防指令
 22時50分 県災害対策本部設置
 23時50分 大雨洪水警報
 24時00分 九頭龍川水系市町村に対し避難命令
- 9月15日 1時35分 各自衛隊に対し連絡幹部派遣要請
 2時00分 建設省水防指令
 4時00分 航空自衛隊連絡幹部到着
 大野市、西谷村に対し災害救助法を発動
 6時00分 陸上自衛隊災害派遣決定 100名
 7時00分 福井県災害対策本部奥越地方本部を設置(大野土木出張所内)
 8時30分 勝山市に対し災害救助法発動
 9時00分 県警機動隊大野市佐開地係に無線基地設定
 福井市底喰川水害対策本部設置
 11時10分 西谷村へ食糧輸送 千食分
 12時00分 和泉村に対し災害救助法発動

- 12時20分 陸上自衛隊 勝山市 30名、大野市 66名、夫々応急対策活動に従事する
- 15時00分 西谷村へ航空自衛隊食糧空輸
- 9月16日 7時00分 県警、県、陸自レンジャー班、県議等31名中島に向け出発
- 10時22分 警察無線基地西谷村中島に開設
- 12時50分 県借上ヘリコプター大野到着救援に当る
- 14時30分 知事、参議院建設委員現地視察
- 14時10分 建設省小川査定官、農林省石川査定官外三名、林野庁浦井査定官夫々緊急査定調査のため17日来県通知あり
- 18時10分 大雨注意報発令
- 9月17日 6時30分 陸上自衛隊派遣総数 勝山地区 97名
大野地区 256名 計 353名
- 建設大臣災害地視察来県
- 15時00分 防災気象連絡協議会開催
- 16時30分 暴風雨、洪水、波浪警報発令
- 17時00分 第3配備指令、県庁職員全員警戒配置につく
- 17時10分 西谷村中島、笹又より255名大野市に避難
- 19時30分 奥越被災地へ「ろ過器」設置を指示
- 20時20分 奥越災害対策本部を大野職業安定所に移転
- 20時20分～22時10分
鯖江市、敦賀市、三方町、大飯町、南条町、上中町、今立町の1部住民に避難命令を発令
- 23時30分 大飯町災害救助法発動
- 9月18日 1時00分 三方町災害救助法発動
- 2時30分 小浜市災害救助法発動
- 3時30分 鯖江市災害救助法発動
- 4時00分 武生市災害救助法発動
- 6時00分 今立町災害救助法発動
- 7時30分 第10師団長現地視察来県連絡
- 8時45分 厚生省官房長、北陸開発委員長来県連絡あり
- 10時30分 上中町災害救助法発動
- 12時00分 清水町災害救助法発動
- 12時25分 今立町へ自衛隊派遣作業開始
- 13時20分 中央防災会議現地視察団21日来県連絡あり
- 13時30分 名田庄村災害救助法発動
- 14時00分 農林大臣、災害調査官来県連絡あり
- 高浜町災害救法発動
- 自衛隊第14連隊長来県
- 9月19日 災害の名称を40.9 3大風水害と決定
- 厚生省施設課長補佐、防疫官現地視察指導のため来県
- 大阪通産局総務部長外6名現地視察来県
- 9月20日 災害対策臨時県議会開催
- 災害対策特別委員会の設置(議会)
- 9月21日 中央防災会議調査団現地視察来県
- 9月22日 文部省助成課係官教育施設災害査定のため来県の連絡あり建設省河川局長、近畿地建河川部長現地視察のため24日来県連絡あり

2. 応急対策の経過

日 時	気象及び被害発生の概況	応急対策の概況
昭40年9月 日 時 分 9. 14.00	大雨注意報（台風23号）	
10. 06.30	台風情報第1号	
〃 07.00	風雨注意報 波浪注意報	
〃 08.45	台風情報第2号	
〃 09.30	暴風雨波浪警報 洪水注意報	第1配備体制 県下各市町村に対し災害対策に万全を期するよう指示
〃 10.30	台風情報第3号（防災気象説明会）	県水防指令
〃 12.00	県下各地で暴風に「ハサ」倒壊が急激に増加 大野市富田小学校倒壊 国鉄急行、準急、普通列車の一部運休	被害状況の収集に全力をあげる 庁内電話を増設 防災関係機関と情報収集伝達を緊密にする
〃 12.20	台風情報第4号	県下各市町村に対し台風情報伝達
〃 12.30	私鉄一部運休、バス全線運休 県下で約60,000戸停電	自衛隊各部隊に対し情報伝達をひんばんに行なう
〃 12.45	台風情報第5号 県庁舎の屋根（トタン）吹飛ば	県下各市町村よりの被害報告が急増
〃 13.00	上中町にて新築中のアパート全壊	
〃 13.30	福井市内で織業場全壊 和泉村で電発工事飯場全壊 1人死亡	
〃 13.43	福井で瞬間風速42.5m（福井地方気象台開設以来最大）を記録	
〃 14.00	武生市で住宅倒壊 鯖江市西福寺本堂倒壊	
〃 15.30	台風情報6号	県下各市町村に対し台風情報伝達
〃 16.20		中央防災会議、消防庁へ被害状況速報 報道機関に対し被害状況の中間集計を発表
〃 16.35	風雨注意報 波浪注意報 洪水注意報	県下市町村に対し各注意を伝達し、被害状況を早急には握するよう指示
〃 21.45	台風情報7号	
〃 23.00		県下の被害状況集計（速報）
11. 05.00	風雨、波浪、洪水注意報解除	
〃 08.30		県下市町村に対し被害状況の早急取まとめを指示
〃 12.00		被害状況報告収集の集計

日 時	気象及び被害発生の概況	応急対策の概況
〃 15.30		県下の被害中間集計 死者 3人 重傷 18人 軽傷 60人 被害額 2,145百万円 中央防災会議、消防庁へ速報報道機関に発表
〃 17.00		第1配備解除
〃 21.00		県下の被害状況集計結果 死 3 重 18 軽 60 被害額 2,501百万円
13. 16.00		県下の被害状況集計結果 死 3 重 21 軽 69 被害額 3,154百万円
14. 10.30		県下の被害状況最終集計 死 3 重 21 軽 69 被害額 3,178百万円 中央防災会議、消防庁へ報告
〃 10.30	大雨注意報（奥越豪雨）	
〃 17.00	大雨注意報 洪水注意報	関係市町村に対し警戒指示
〃 17.00	西谷の雨は特に激しくなる	後の調査で判明したもの 当時電話不通で状況把握出来ず
〃 19.00	奥越の河川急激に増水 中竜鉾山面草たい積場取水坑土砂に埋まる	
〃 21.40	〃 雨水が溢れはじめる	
	笹生川ダムの雨量 15日 17 18 19 20 21 22 23 0 1 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 18 19 20 21 22 23 24 1 2 32m 32 72 89 79 78 82 41 33	
〃 22.30	西谷村長より「救援タノム」の要請を水防無線を通じて県河川課が受理	
〃 23.50	大雨警報 洪水警報	消防防災課員非常召集 県水防指令 県災害対策本部設置 第2配備指令 関係職員非常招集
〃 24.00		九頭竜水系市町村に対し、特に避難に的確を期すよう指示 県下各市町村に警報、災対本部設置を通報 防災関係機関に対し情報収集の緊密化を連絡 自衛隊各部隊に対し情報伝達
15. 00.00	勝山市で通行中のタクシーかん没 1名死亡	

日 時	気象及び被害発生の概況	応急対策の概況
// 00.15	建設省水防指令	
// 01.10	西谷村の状況水防無線にて入るが極めて悪化しつつある	
// 01.35		自衛隊（14連隊、322地区施設隊、第6航空団）に対し連絡幹部の派遣要請
// 01.40	大野市内も各地で破堤しつつあり事態は悪化	
// 02.00	建設省水防指令 勝山市内にも被害続出	自衛隊災害派遣必至とみて陸上自衛隊第10師団司令部に情報連絡 航空自衛隊に対し偵察要請（夜明けと共に飛ぶと了解）
// 02.30	和泉村中竜鉸業所面草たい積場流失	（後で判明）
// 03.40		県災害対策本部緊急本部会議を開催（消防防災課内）本部長（知事）以下全員出席
// 04.00		大野市、西谷村に対し災害救助法適用
// 05.55	勝山市北谷町で山崩8人生埋4人死亡	
// 06.00		陸上自衛隊に対し災害派遣要請（大野、西谷138名）
// 06.45	西谷村との通信途絶	
// 07.00	大雨情報	福井県災害対策本部奥越地方本部設置（大野土木出張所）
// 08.30		勝山市に対し災害救助法適用
// 09.00		県警中管へヘリコプター要請（大阪、愛知）
// 09.00		県警機動隊西谷村救援に出発 // 大野市内で救援開始
// 10.10		航空自衛隊偵察機奥越方面へ向うも視界不良のため偵察不可能 同ヘリコプター福井に到着したが奥越地方の飛行不能
// 10.50		陸上自衛隊第14連隊先発隊大野市到着（23名）
// 11.10		同上自衛隊1,000食分の食パンを笹又峠経由西谷村へ運搬のため出発
// 12.00		和泉村に対し災害救助法適用
// 12.45		消防庁、中央防災会議に被害速報
// 13.00		陸上自衛隊46名大野市到着、直ちに応急対策に従事
// 14.00		// 30名勝山市到着、直ちに応急対策に従事
// 15.00	大雨情報	航空自衛隊ヘリ西谷村へ飛ぶ

日 時	気象及び被害発生の概況	応 急 対 策 の 概 況
〃 16.10		陸上自衛隊に対しレンジャー部隊の派遣要請(大野、西谷11名)
〃 16.20	大雨洪水注意報	
〃 20.15		陸上自衛隊第10師団司令部に対しヘリコプターの派遣要請
〃 20.35		陸上自衛隊第14連隊レンジャー部隊大野市に到着
〃 21.05		下笹又地区に県警無線基地局開設
16. 05.30	大雨洪水注意報解除	
〃 07.00		県警、県、陸上自衛隊レンジャー部隊、県議等31名中島に向け大野出発
〃 09.00		参議院建設委員長一行来県
〃 09.40		大阪府警ヘリ大野到着救助開始
〃 09.50		陸上自衛隊ヘリコプター空輸開始(大野～中島間)
〃 09.50		陸上自衛隊に対し災害派遣要請西谷(26名)
〃 10.22		航空自衛隊ヘリコプター中島に到着 中島に警察無線基地開設
〃 10.45		陸上自衛隊員20名中島到着食糧手渡
〃 12.00		航空自衛隊偵察機奥越地方の偵察状況通信筒にて県庁へ投下
〃 12.05		陸上自衛隊に対し災害派遣要請(大野、勝山106名)
〃 14.30		知事、参議院建設委員一行現地調査
〃 16.00		民間ヘリコプター借上決定
〃 16.00		愛知県警ヘリ大野到着救助開始
〃 17.20		県警機動隊中竜部落の孤立者3名救助
〃 18.10	大雨注意報(台風24号)	
〃 19.24		陸上自衛隊増援隊員106名 大野市到着直ちに応急対策に従事
〃 23.30		同上45名福井市到着直ちに勝山市へ
17. 02.00		第10師団司令部より高崎二佐来庁派遣部隊の総合調整を行なう
〃 10.15	台風情報1号	
〃 10.30		建設大臣来県奥越地方へ出発
〃 12.10	風雨波浪洪水注意報	
〃 14.45	台風情報2号	

日 時	気象及び被害発生の概況	応急対策の概況
〃 15.00	防災気象連絡会	
〃 16.30	暴風雨洪水波浪警報発令	県下各市町村に厳重警戒を指示
〃 17.00		第三配備指令 (県庁職員全員待機)
〃 17.10		中島および上笹又より 255 名大野市に避難完了
〃 18.30	川西町市の瀬で山崩 1 名死亡	
〃 18.55	台風情報 3 号	
〃 19.06	福井:瞬間最大風速 28.0m	
〃 19.34	鯖江市避難命令を出す	
〃 20.00	敦賀市 //	
〃 20.20	県庁内 1 時停電ローソクで執務 嶺南地方の電話ふくそうして来る	奥越地方本部大野職安に移転
〃 20.20	三方町 避難命令を出す	
〃 20.24	大飯町 // (佐分利川はんらん)	
〃 20.45	台風情報 4 号	
〃 21.10	南条町 避難命令を出す	
〃	上中町 //	
〃	国鉄大鳥羽駅で列車立往生	
〃 21.20	三方町において山津波発生 国道 27 号不通	
〃 21.30	今立町避難命令を出す	
〃 21.30	上中町河内で河川はんらん 2 名死亡	
〃 22.00	勝山市避難命令を出す	
〃 23.00	今立町大滝で山崩 14 人生埋め 10 人死亡	第 2 配備に切替
〃 23.02	敦賀で瞬間最大風速 26.1m	
〃 23.15	美浜町 避難命令を出す	
〃 23.30	台風情報 5 号	大飯町に災害救助法適用
18. 00.15	水防警報第 2 号	
〃 01.00		三方町に対し災害救助法適用
〃 01.30	洪水警報、風雨波浪注意報	
〃 01.40	九頭竜川水防警報第 3 号	
〃 01.55	清水町日野川堤防決壊	

日 時	気象及び被害発生の概況	応急対策の概況
// 02.30		小浜市に対し災害救助法適用
// 03.30		鯖江市 //
// 03.40	武生市日野川堤防決壊	
// 04.00		武生市 //
// 06.00	洪水注意報	今立町 //
// 06.40	水防情報第1号	
// 07.30		陸上自衛隊に対し災害派遣要請 (今立51名)
// 08.45		厚生省官房長来県
// 09.15		県警機動隊今立町へ出発
// 09.30		北陸開発委員長来県
// 10.30		上中町に対し災害救助法適用
// 11.40		陸上自衛隊員今立町で救助作業開始
// 12.00		清水町に対し災害救助法適用
// 13.30		陸上自衛隊第10師団長来県
// 13.30		名田庄村に対し災害救助法適用
// 15.20		高浜町に対し災害救助法適用
// 19.20	洪水注意報解除	
// 19.30		陸上自衛隊に対し三方町への自衛隊派遣要請 (三方37名)
19. 8.00		警察ヘリコプター徴収
// 8.30		厚生省施設課長補佐外来県 大阪通産局総務部長外来県
// 12.00		自衛隊各部隊に対し明日を期し徴収要請 (三方を除く) 航空自衛隊ヘリ徴収
// 17.00		
// 17.00	北電中島へ送電開始	県は本災害を40.9三大風水害と命名
20. 08.00		陸上自衛隊各部隊徴収(ヘリを含む)
// 10.00		臨時県会
// 11.30		三方町へ自衛隊到着38名
// 13.50		西谷村大野市に対し災害救助法適用期間延長

日 時	気象及び被害発生の概況	応 急 対 策 の 概 況
21. 13.40		中央防災会議調査団一行ヘリコプターにて三方町到着 ～県庁～福井市泊
22. 07.40		中央防災会議調査団一行福井出発～勝山～大野～西谷
〃 13.10		三方町派遣自衛隊徹収要請
23. 13.45	大野市にて赤痢発生	奥越本部にて緊急措置
24. 08.00		知事、議長上京し陳情
〃 10.00		農林大臣来県
〃		建設省河川局長来県
25. 12.00		奥越地方本部大野県税へ移転
28. 17.10		消防庁係官来県
29. 16.00		衆院災害対策特別委員調査団一行来県
10月		
2. 14.20		参院災害調査団来県
4. 16.30		県災害対策本部同奥越地方本部廃止

3. 災害対策本部の活動状況

1. 県災害対策本部の設置（21日間）

昭和40年9月14日 23時50分 から

昭和40年10月4日 16時30分 まで

準ずるもの（第1配備）（5日間）

昭和40年9月10日 9時30分 から

昭和40年9月14日 23時50分 まで

若狭支部（21日間県本部と同一期間）

2. 県災害対策本部奥越地方本部の設置（20日間）

(1) 期間 昭和40年9月15日 7時 から

昭和40年10月4日 16時30分 まで

(2) 場所 大野市 大野土木出張所（15日 07.00分から下記まで）

大野職業安定所（17日 20.20分から下記まで）

大野県税事務（25日 12.00分から閉鎖まで）

(3) 担当区域 西谷村、大野市、和泉村、勝山市（初期のみ）

(4) 組織 本部長 山本出納長 副本部長 中島税務課長

本部長 本庁（消防防災課長補佐外関係課職員）16名

地元県出先機関各課長以下全員

(5) 活動の重点

真名川水系各部落（中島、上笹又、下笹又、上若生子、下若生子、佐開、木落等）の被災者の救助作業ならびに水防活動および防疫活動等応急対策の実施と各機関との総合調整

応 急 対 策 の 状 況

主な項目	期 間	概 要	担 当 班
各種被害状況の収集、報告および市町村に対する総括的な連絡指導	9月10日 10月4日	各災害ごとの被害状況を収集し、これを、中央防災会議等へ東京事務所を通じて速報し、併せて広報班を通じて報道機関へ広報した。 市町村に対し気象警報等の伝達を行ない、また被災の状況により各応急対策の指導を行なった 被害状況の受理回数 720件 〃 報告 〃 40件 市町村に対する指示 630件	消防防災班 広 報 班 東京事務所 河 川 班 奥 越 本 部
自衛隊の災害派遣要請および受入	9月15日 9月22日	西谷村、大野市、勝山市、今立町、三方町の要請に基づき、それぞれ自衛隊の派遣を要請し、応急対策活動を行ないまた県本部には連絡幹部の派遣を求めて活動の円滑を期した。 要請件数9件 実人員436人 延2,391人 航空機2機ヘリコプター11機	消防防災班 救援隊受入れ第1、第2班 土木部連絡班 奥 越 本 部

主な項目	期間	概 要	担 当 班
水 防	9月14日 ～ 9月18日	<p>奥越豪雨に際しては、水位雨量その他気象情報、水防指令等の送受の他、孤立した西谷村の唯一の通信手段として水防無線を活用した。また各河川、堤防の欠かいヶ所について、水防指導を行った。</p> <p>その後24号台風の際は特に日野川筋及び三方、美浜、小浜市等嶺南地方の各水防工法指導を行った。</p> <p>水防団総出動延人員 26,863人 水防資器材 23,829人</p>	河 川 班 土 木 部 各 班 各土木出張所 奥 越 本 部
災害救助法の適用	9月15日 ～ 10月23日	<p>大野市、西谷村、勝山市、和泉村、大飯町、三方町、小浜市、鯖江市、武生市、今立町、上中町、清水町、名田庄村、高浜町の計14市町村に適用した。</p> <p>また厚生省に要請して応急仮設住宅戸数と大野市、西谷村の炊出し等の期間に特別の措置を行った。</p> <p>避難所設置 187ヶ所、応急仮設住宅 170戸 (大野 8、西谷 142、勝山 4、三方 4、高浜 5 外)</p> <p>炊出し給与 38,4882名、飲料水 4,117人、被服寝具 1,719世帯、医療助産 161人、救出 58人 住宅修理 21戸、学用品小 324人、中 216人、埋葬 19体、死体捜索 6 体、死体の処理 18 体、障害物除去 80 戸、輸送費、人夫借上、日赤補償合計 40,760千円</p>	救助連絡班 各福祉事務所 若狭支部 医 務 班 教 育 部 奥 越 本 部
ヘリコプターによる緊急輸送	9月15日 ～ 10月4日	<p>自衛隊ヘリコプター 3機 16日～20日 警察ヘリコプター 2機 // 民間借上ヘリコプター 1機 17日～10/4日</p> <p>上記のヘリコプターを手配し、大野市有終中グラウンドを基地として孤立した中島等の救援に当った。</p> <p>被災地の偵察 12回 避難民、復旧要員、調査団の輸送 650人 緊急物資、資器材の輸送 約 50トン</p>	消防防災班 公安警備部 救助連絡班 奥 越 本 部
防 疫	9月14日 ～ 10月2日	<p>9月22日大野市土布子部落から赤痢の初発患者が発生し、引続き24名の患(保菌)者が発見され、他の地区でも1名計25名発生したが、ただちに隔離病舎に収容し、適正な治療を加えたので、全員治癒退院した。</p> <p>実施事項 予防宣伝、検病調査、患者処理、飲料水の確保および井戸の消毒、被災家屋の消毒、そ族、昆虫駆除、避難所の防疫指導、し尿処理の指導、噴霧器5基購入、 防疫作業費 県 929千円、市町村 6,358千円</p>	公衆衛生班 各保健所 奥 越 本 部
応 急 教 育	9月15日 ～ 10月4日	<p>中島小学校(宿舎大野市長勝寺) 1、2、3年児童は有終西小において2教室 3学級とし9月20日より授業開始 4、5、6年児童は有終南小において2教室 3学級とし //</p> <p>中島中学校(宿舎大野市浄勝寺) 1、2、3年生徒は有終中において中島中を開設9月20日より授業開始 その後宿舎は10月21日に開散し、大野市下掘地区の住宅団地と母子寮(後で寄宿舎完成収容)へ移った。</p>	教 育 部 救 助 連 絡 班

主な項目	期間	概 要	担 当 班
		<p>若生子小学校 下若生子地区小学校児童11名は有終西小へ転入 " 中学校生徒10名は有終中へ転入</p> <p>上庄小五条方分校 佐開橋不通のため佐開の児童1、2、3年を佐開の寺で仮教場 小学校4年以上及び中学生は上庄中の寄宿舎に入る。</p> <p>富田小学校 1、2、4、5、6年児童は残った校舎と体育館を使用、3年児童は尙徳中で授業開始(9月20日より)</p> <p>北谷小小原分校 9月20日より小原部落の道場で授業開始</p> <p>熊川小学校 河内部落の4、5、6年児童24名を河内分校に収容(約1ヶ月)</p> <p>上中中学校 河内部落の中学生27名を中学校寄宿舎に収容</p> <p>小浜第二中学校 上根来方面の11名を二中寄宿舎に収容</p> <p>教科書 写用品の給与 教科書 35校 224人 137,385円 学用品 43校 717人 143,205円</p>	
見舞金の受取配分	9月17日 12月20日	<p>受入 236口 12,841,641円</p> <p>配分先(全市町村) 第1次 9月29日 6,610,000円 (全市町村のうち西谷村 3,455千円) 第2次 11月1日 5,055,000円 ("のうち西谷村 2,890千円) 第3次 12月24日 1,176,641円 ("のうち西谷村 666,641円)</p> <p>主な配分額 西谷村(7,011,641円) 和泉村(1,342千円) 大野市(1,218千円) 三方町(643千円) 高浜町(550千円) 勝山市(511千円) 鯖江市(267千円) 今立町(236千円) 武生市(208千円)</p>	出 納 班
見舞品の受取配分	9月17日 10月31日 (以降分については日赤県友部へ)	<p>受入 24種 725梱包 31,649点</p> <p>配分先 西谷村 24種 375梱包 大野市 14 " 128 " 和泉村 8 " 43 " 勝山市 4 " 12 " 鯖江市 1 " 8 " 清水町 2 " 5 " 今立町 3 " 13 " 森田町 1 " 3 " 嶺南地区 2 " 138 "</p>	保 育 班
県営発電所の被災に伴う措置	9月14日 10月4日	<p>9月14日21時40分発電所は被災し、同22時50分発電不能となり、地上約2mの濁流に洗われたため2台の発電機等は土砂に埋った。その後調査を行ない、被害額約4億円、運転休止による損失約1億5千万円と推定された。9月19日より</p>	企 業 部

主な項目	期間	構 要	担 当 班																												
農 林 対 策	9月10日 } 10月4日	<p>り直ちに復旧作業を開始した、人員資材はヘリコプターの借上げにより輸送した。 土木関係は酒井建設、電気関係は富士電気等に行なわせ、41年1月29日より第1号機、第2号機ともに営業運転を開始した。</p> <p>食糧の緊急手配を西谷村寺孤立部落に対して行なう。 応急技術指導を稲、粃、野菜、畜産等に行ない被害の拡大を防ぐ。 農林省に対し現地視察を要請し、災害復旧の早期着工を図る。 金融措置として農林省に自作農資金の導入を要請し、それまでの間県単でつなぎ資金の措置を講じた。</p>	農 林 部 各 班																												
道 路 対 策	9月14日 } 10月4日	<p>寸断された国道157号線、県道大野墨俣線については直ちに応急仮橋等を架設して通行を確保した。 また土砂に埋まった国道27号線については早急に土砂を取除いた。</p> <table border="0"> <tr> <td>国道 157</td> <td>10月1日復旧</td> </tr> <tr> <td>// 27</td> <td>9月21日復旧</td> </tr> <tr> <td>県道 大野墨俣線</td> <td>10月20日復旧</td> </tr> <tr> <td>// 上大納下山線</td> <td>9月30日復旧</td> </tr> </table>	国道 157	10月1日復旧	// 27	9月21日復旧	県道 大野墨俣線	10月20日復旧	// 上大納下山線	9月30日復旧	道 路 班 各 土 木 出 張 所																				
国道 157	10月1日復旧																														
// 27	9月21日復旧																														
県道 大野墨俣線	10月20日復旧																														
// 上大納下山線	9月30日復旧																														
調 査 団 の 受 入	9月16日 } 10月4日	<table border="0"> <tr> <td>参議院建設委員長</td> <td>9月16日</td> </tr> <tr> <td>建設大臣</td> <td>9月17日</td> </tr> <tr> <td>厚生省 官房長</td> <td>9月18日</td> </tr> <tr> <td>北陸開発委員長</td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>厚生省施設課長補佐</td> <td>9月19日</td> </tr> <tr> <td>大阪通産局総務部長</td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>中央防災会議調査団</td> <td>9月21日</td> </tr> <tr> <td>農林大臣</td> <td>9月24日</td> </tr> <tr> <td>建設省河川局長</td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>消防庁係官</td> <td>9月28日</td> </tr> <tr> <td>衆院災害対策特別委員調査団</td> <td>9月29日</td> </tr> <tr> <td>参院災害調査団</td> <td>10月2日</td> </tr> <tr> <td>陸上自衛隊第10師団長</td> <td>9月18日</td> </tr> <tr> <td>航空自衛隊第6航空団司令</td> <td>//</td> </tr> </table> <p>中央防災会議調査団（ヘリコプター陸上、航空各1） 団長 農林省政務次官 団員 総理府審議室参事官、警察庁中管警備課長、大蔵省主計局主計監査官、文部省初等中等教育局教科書管理課長、厚生省社会局施設課長補佐、農林省農地局建設部災害復旧課長、通産省中小企業庁計画部振興課長、建設省河川局砂防課長、自治省財政局指導課長、農林政務次官秘書。</p>	参議院建設委員長	9月16日	建設大臣	9月17日	厚生省 官房長	9月18日	北陸開発委員長	//	厚生省施設課長補佐	9月19日	大阪通産局総務部長	//	中央防災会議調査団	9月21日	農林大臣	9月24日	建設省河川局長	//	消防庁係官	9月28日	衆院災害対策特別委員調査団	9月29日	参院災害調査団	10月2日	陸上自衛隊第10師団長	9月18日	航空自衛隊第6航空団司令	//	調査団受入第1班 消 防 防 災 班 連 絡 財 政 班 各 部 関 係 班
参議院建設委員長	9月16日																														
建設大臣	9月17日																														
厚生省 官房長	9月18日																														
北陸開発委員長	//																														
厚生省施設課長補佐	9月19日																														
大阪通産局総務部長	//																														
中央防災会議調査団	9月21日																														
農林大臣	9月24日																														
建設省河川局長	//																														
消防庁係官	9月28日																														
衆院災害対策特別委員調査団	9月29日																														
参院災害調査団	10月2日																														
陸上自衛隊第10師団長	9月18日																														
航空自衛隊第6航空団司令	//																														
広 報	9月10日 } 10月4日	<p>報道機関に対し被害状況を毎日定時発表し、特異事項についてはその都度発表した。 中央防災会議等中央諸官庁に対しては、東京事務所より緊密に情報連絡を行なった。</p> <p>(作成資料) 広報写真 災害特報1、2、3部各800計2,400枚 // 小型掲示用 20種 4,000枚 // 全 紙 20枚 // 半 紙 10枚</p>	広 報 班 消 防 防 災 班 連 絡 財 政 班 東 京 事 務 所																												

主な項目	期 間	概 要	担 当 班
		資料写真 キヤビネ 20種 3,000枚 " 手 札 " 2,000枚 陳情書 3種 各 800部 2,400部 上記資料を各界へ配付するとともに、陳情先や調査団に手渡した。 その他テレビ、ラジオの取材に協力し、またニュース等映画を2巻作成、上映して積極的な広報を行なった。	

自 衛 隊 活 動 状 況

1. 連絡幹部派遣

(1) 県 本 部

部 隊 名	氏 名	期 間	備 考
陸上自衛隊第10師団司令部	高 崎 二 佐 外1	40. 9.17. 02.00	途 中 交 替
		" / " 20. 08.00	
陸上自衛隊第14連隊	木 口 一 尉 清 水 一 尉 外1	40. 9.15. 05.30	
		" / " 20. 08.00	
陸上自衛隊第322地区施設隊	菅 原 二 曹 外1	40. 9.15. 02.00	
		" / " 20. 08.00	
航空自衛隊第6航空団	小 関 三 尉 外1	40. 9.15. 04.00	
		" / " 16. 11.00	
自衛隊福井地方連絡部	林 一 尉	40. 9.15. 08.30	
		" / " 20. 08.00	

(2) 奥越地方本部

部 隊 名	氏 名	期 間	備 考
陸上自衛隊第14連隊	谷 口 一 尉	40. 9.16. 09.50	
		" / " 20. 08.00	

2. 自衛隊師団長、司令等巡視

部 隊 名	氏 名	月 日	巡 視 先
陸上自衛隊 第10師団	第10師団長 平野陸将	9. 18	へりにて県下一円
陸上自衛隊 第14連隊	第14連隊長 浦川一佐	9. 18	奥越及び今立
航空自衛隊第6航空団	第6航空団司令黒衛一佐	9. 18	奥越

3. 災害派遣

(1) 隊員

区 域	期 間	人 員	延人員	車 輛	応 急 対 策 概 要	部 隊 名、指 揮 官
大野～西谷 勝山	9月 15. 06.00 } 20. 08.00	138	690		大野より西谷への食糧輸 送笹又峠の通路開設 次壊堤防の復旧	14連隊 三津井副連隊長 高森三佐 上田一尉
大野～西谷	9月 15. 17.30 } 20. 08.00	11	55		レンジャー部隊 中島部落民救出	14連隊 北村二尉
大野～西谷	9月 16. 09.50 } 20. 08.00	26	104		笹又峠の通路開設	322 地区施設隊 三輪一尉
大 野	9月 16. 12.05 } 20. 08.00	106	424	給水車 2	水防および給水	14連隊
勝 山	9月 16. 14.45 } 20. 08.00	67	268	バケット ローダー 1	北六呂師および小原の土 砂崩れ復旧	14連隊 302施設隊 道下一尉
今 立	9月 18. 07.30 } 20. 08.00	51	102		大滝生埋め救出	今村一尉
三 方	9月 19. 19.30 } 22. 18.30	37	148	ダンプ 3 シャベル 1	三方の民家道路の土砂取 除	101施設大隊 坂柳二尉
計		436	2,391			

(2) 航空機、ヘリコプター

区 域	期 間	航 空 機	ヘリコプター	活 動 概 要	部 隊
大野～西谷	9月 15. 08.20 } 19. 17.00	偵察機 1 (延 2)	2 (延 6)	西谷村救援	航空自衛隊
〃	9月 16. 07.00 } 20. 08.00		1 (延 5)	同 上	陸上自衛隊
計		2	11		

市町村の活動状況

1. 災害対策本部の設置

市町村名	台風23号時	豪雨および台風	災害救助法適用	備考
	設置月日	24号時設置月日		
	月日 時分	月日 時分	月日 時分	
福井市		9. 15. 09.00		底喰川 (避難命令)
敦賀市		// 18. 00.00		
武生市		// 17. 17.00	9. 18. 04.00	
小浜市	9. 10. 10.30	// 17. 17.00	// 18. 02.30	
大野市	// 10. 13.30	// 15. 01.00	// 15. 04.00	
勝山市		// 14. 22.00	// 15. 08.30	
鯖江市		// 17. 16.30	// 18. 03.30	
森田町	// 10. 13.00			
西谷村		// 14. 22.30	// 15. 04.00	
和泉村		// 15. 11.50	// 15. 12.00	
三口町		// 18. 03.00		
芦原町	// 10. 15.00			
丸岡町	// 10. 13.00			
今立町		// 17. 20.00	// 18. 06.00	
今庄町		// 17. 20.00		
清水町		9. 17. 17.30	9. 18. 12.00	
三方町	9. 10. 11.00	// 17. 17.00	// 18. 01.00	
美浜町		// 17. 17.20		
上中町		// 17. 19.30	// 18. 10.30	
名田庄村		// 17. 18.00	// 18. 13.30	
高浜町	9. 10. 10.30	// 17. 03.00	// 18. 15.20	
大飯町		// 17. 18.00	// 17. 23.30	

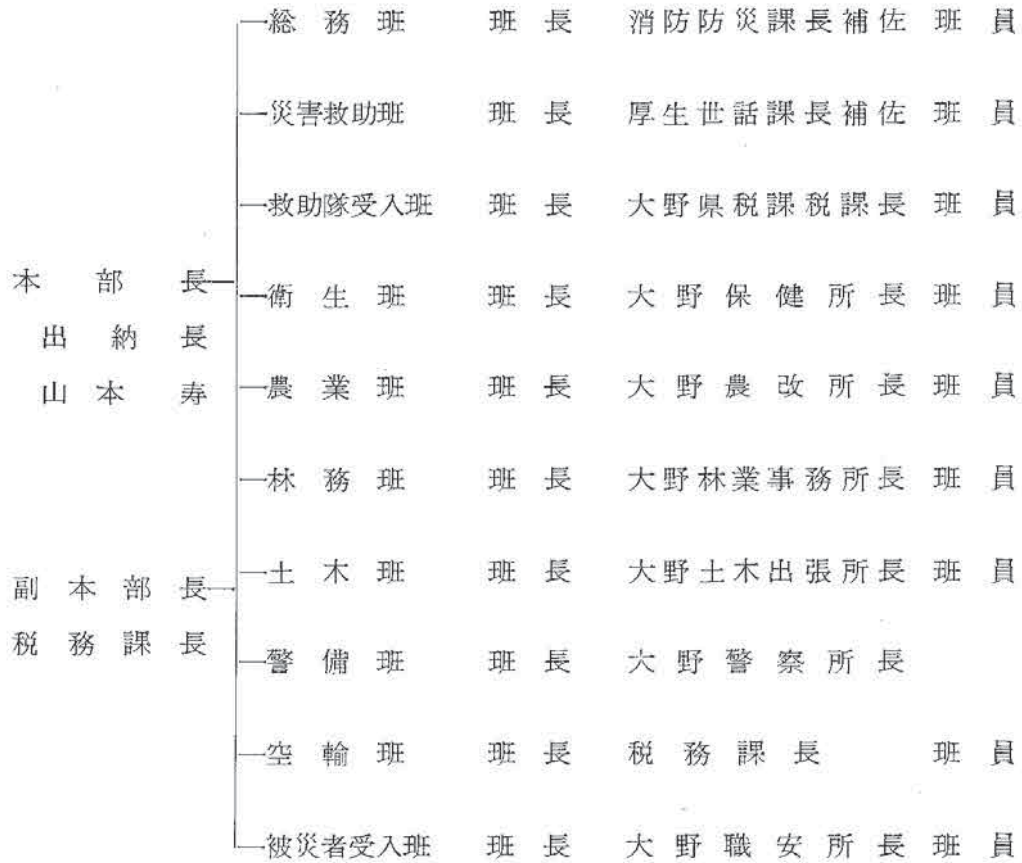
2. 市町村長の避難の指示、勧告の状況

- (1) 避難命令を発した市町村数 上掲 22
- (2) 避難のか所 245
- (3) 避難の対象世帯、人員
8,245 世帯 約 35,900人

3. 消防機関等の活動状況

福井県災害対策本部奥越地方本部組織図

9月16日現在



4. 消防機関の活動状況

(1) 消防職員の災害出動

市町村数 37 消防職員 延 777名 計 延 9,953名
 消防団員 延 9,176名

(2) 活動内容（主として人命の救出、救助及び避難の誘導等）

市町村名	部落名	日 時	救出、救助及び避難の別	救出、救助の人員数 又は避難誘導人員数	左に從事した消防職員の数	避難の誘導、救出、救助の具体的な方法及内容	左に使用した機材等
小浜市	飯盛	9.17. 15.00	救助	82	70	飯盛川へ2名転落行方不明となったので舟2隻を借上げ捜索していたが、19日の午前9時頃教賀港において発見した。	動力船 1 無動力船 1 巡視船 1
	大原	9.17. 23.00	救出	70	70	国道27号線の工事現場で山崩れがあり西林寺本堂が埋没し住職外1名が生埋となったため巡視していた消防団員70名が懸命の救出作業をしたが死体となって発見された。	スコップ 50 トビロコ 10 ノコギリ 5 カケヤ 5 救急車 1
武生市	北町	9.10. 13.30	救助	3	3	武生市北町を通行中稲かけが倒れその下敷となった為救急車を出動させ病院に収容したが死亡した。	救急車 1
		9.10	救助	12	12	調 査 中	
	行松町	9.17. 20.40	避難誘導	60	60	口野川の決壊により行松町が孤出したため今後の増水状況を周知させ避難するよう指示した。	ゴムボート 1 鉄 舟 1
	北郷本町	9.10. 13.17	救助	3	3	歩行中突風で倒れた立木の下敷で腰部打撲で重傷を負ったのを救急車で病院へ収容	救急車 1
	林国町	9.10. 14.25	"	3	3	立木の下敷で腹部打撲じんぞう出血のため救急車で病院へ収容	救急車 1
	国高町	9.10. 15.54	"	3	3	台風で傾いた自宅をロープで復旧中ロープの滑車が頭に落ち頭部裂傷したのを救急車で病院へ収容	救急車 1
	押田町	9.10. 23.15	"	3	3	台風により瓦が頭に落ちて頭部裂傷した為救急車で病院へ収容	救急車 1
敦賀市	井川町 谷口町 木ノ芽町 和久野町	9.17. 19.00	避難誘導	30	23	河川の溢水により堤防決壊のおそれが生じたためマイクロバス等を出動し避難させた。	マイクロバス 1
		"					
		9.17. 21.00	"				
大野市	清滝	9.15. 6.00	避難誘導	20	20	赤根川が溢水し決壊の危険にさらされたので消防車1台ジープ1台を使用し所定の場所に避難誘導をした。	消防車 1台 ジープ 1台
	東大月	9.15. 1.50	"	21	21	赤根川が溢水し決壊のおそれが出て来たため団員より下庄小学校庄林分枝に避難誘導	
	上若生子	9.15. 1.00	救助	3	3	堤防決壊により住宅の浸水等で病人が出たので救急車で病院へ収容1(3名)	救急車 1台
	下若生子	9.15. 1.00	"	3	3		
	小黒見	9.15. 5.00	"	23	23	自宅倒壊の下敷となったため救出するとともに救急車で病院へ収容	救急車 1台
	堂島	9.15. 7.00	"	13	13	近くの川に流され救出したが全身打撲で病院へ収容	救急車 1台

市町村名	部落名	日 時	救出、救助及び避難の別	救出、救助の人員数	左に就いた消防団員の数	避難の誘導、救出、救助の具体的な方法及内容	左に使用した機材等
	上若生子	9.10. 10.30	救 助	3	3	通行中落石により顔面裂傷のため病院に収容	救 急 車 1台
勝山市	上 袋 田	9.15. 0.00	捜 索	50	50	タクシーで自分の会社の工事現場に向う時川に転落したものを救助のため捜索したが現在不明 運転手はいはい上り重傷	
鯖江市	和 田	9.10. 17.00	救 助	3	3	台風でこわれた2階を修理中誤まって転落したため救急車で病院へ収容頭蓋骨骨折	救 急 車 1台
	五 郎 丸	9.10. 14.00	〃	3	3	自宅付近で立木が倒れ頭を強打したため救急車で病院に収容頭蓋骨亀裂	救 急 車 1台
	西 番 本	9.17. 19.30	避難誘導	10	10	ジープ2台で避難場所等をマイクで広報し老人子女を搬送した。	ジ ー プ 2台
	上 杉	〃	〃				
	三 尾 野	〃	〃				
	下 杉	〃	〃				
	北 本 野	〃	〃				
	吉 谷 成	9.17. 22.00	〃				
	松 成	〃	〃				
西谷村	中 島	9.14. 21.40	〃	20	20	県営発電所に設置してあるサイレンを利用して避難の合ずをしお寺の避難場所に誘導した。	
	上 笹 又	9.14. 21.50	〃	9	9	集合場のサイレンを利用し避難の合ずをなし集合場に避難誘導した。	
今立町	大 滝	9.17. 18.00	救 出	169	98	大滝部落の裏山が崩れおち民家13戸が倒壊14名が生理となった為消防団員、警察、自衛隊の出動で4名救出10名は死体となって救出された。	スコップ 100丁 トビグチ 20丁 ノ コ 10丁 網 10本
清水町	片 山	9.18. 0.30	避難誘導	48	48	舟を借上げ孤立した住民を避難誘導した。	舟 1隻
三方町	三 方	9.17. 20.40	救 出	25	15	国道27号線寄りの山が崩れ青年会館等が倒壊し生理があったので消防団員は救助に当り2名救出後自衛隊の出動を要請した。	スコップ 25
上中町	末 野	9.17. 17.35	救 助	3	3	自宅の屋根を修理中、強風のため転落し重傷を負ったので救急車にて病院へ収容	救 急 車 1台
高浜町	大 西	9.17. 18.00	避難誘導	30	30	子生川が氾濫し折からの暴風に海は荒れ川は逆流する有様で家屋の浸水甚だしくなったので大西会館に誘導した。	ボ ー ト 2隻
	〃	9.17. 20.10	救 出	6	3	自宅にとり残され救助を求めている3名を濁流の中に飛び込みロープを張り背に負って救出した。	ロ ー プ 1巻
大飯町	本 郷	9.17. 18.40	避難誘導	20	20	海は満潮時で河川は氾濫し浸水が甚しくなったので高台に誘導した。	

(3) その他の活動状況（例えば水防活動、警戒、障害物の除去等）

市町村名	部落名	日 時	水防活動 警戒、障害物の除去の別	水防活動 警戒、障害物の除去人員数	左に従事 した消防 職団員の 数	水防活動、警戒、障害物の除去 の具体的な方法及び内容	左に使用した 機 材 等
福井市	福前守杉橋野津居谷守屋中池谷 江下下喜南南江守淵 門下若狐東西久北南合南舞江種西 加茂河原	9.14. 23.00	堤防補強	705	605	14日午前10時頃から各河川の上流の集 中豪雨により増水の傾向にあり各河川 の堤防、水開門の監視に署団員を派遣 し、警戒態勢を整え河川水位の観測を 開始し水開門の木扉等に蓄積する木材 等の除去ならびに土のうを作り堤防の 補強をなし決壊を喰いとめた。	俵 1,450枚 縄 58玉 鉄 420枚 丸 70kg 杭 100本 たみ 75本 レー 30枚 ジャッキ 4本 1ヶ
		16. 7.00	物除去				
		9.17. 19.00	堤防補強				
		9.17. 21.00	警戒				
		9.17. 21.00	警戒				
		9.17. 21.00	警戒				
		9.17. 21.00	警戒				
		9.17. 21.00	警戒				
		9.17. 21.00	警戒				
		9.17. 21.00	警戒				
敦賀市	三島一丁 川口 中ノ芽坂 木深原久の 和御駄坂奥	9.17. 19.00	堤防補強	305	305	木ノ芽川、井の口川、黒河川、五反田 川、会下川、ふけたか川、長谷川、吉 河川の各河川が溢水し決壊のおそれが 生じたため住民に避難させるとともに 堤防の補強を実施した。	むしろ 580枚 かます 630枚 俵 3,125枚 丸 73玉 太袋 10本 布 200枚 竹木 50本 小 10本 型トラ 4台 大 1台 型トラ 1台 乗用車 8台
小浜市	7 河川		堤防補強	409	409	小浜市内を流れる7河川が溢水し危険 水位を突破したためこれが補強に全力 を注いだ。（飯盛川、遠敷川、南川ほ か）	ブルト 1台 ローザ 2,480枚 俵 1,500枚 かます 20枚 むしろ 71玉 丸 115本 太 400本 竹
大野市	野上東御友開 政領家滝月川 森清東西中 新在在家枕 西横堂友中 中葛森西平 今佐上五 稲	9.15. 1.20	堤防補強	12 65 25 35 30 23 65 20 21 25 15 20 20 15 20 20 75 75 25 20 13 13 20 30 60 137 65	12 65 25 35 30 23 65 20 21 25 15 20 20 15 20 20 75 75 25 20 13 13 20 30 60 137 65	真名川 のはんらんによる浸水 清滝川 防止および堤防補強等 真名川 " " " " 赤根川 " " 清滝川 " " 真名川 " " 清滝川 真名川 " 山崩れによる土砂流出防止 " " 真名川 " " 清滝川	指 5 揮車 30 消防車 1 ブル 10 広報車 21 トラック 一輪車 600 ジャカゴ 1,323 タワラス 1,800 カマ ス 120 材 2,900本 木 ク 6,000本 イ 4,900 袋 50kg 鉄 線
		9.17. 19.00	溢水防止				
		9.17. 19.00	の2回				
		9.17. 19.00	の2回				
		9.17. 19.00	の2回				
		9.17. 19.00	の2回				
		9.17. 19.00	の2回				
		9.17. 19.00	の2回				
		9.17. 19.00	の2回				
		9.17. 19.00	の2回				
		9.17. 19.00	の2回				
		9.17. 19.00	の2回				
		9.17. 19.00	の2回				
		9.17. 19.00	の2回				
		9.17. 19.00	の2回				

市町村名	部落名	日 時	水防活動 警戒、障 害物の除 去の別	水防活動 警戒、障 害物の除 去人員	左に從事 した消防 職員の 数	水防活動、警戒、障害物の除去 の具体的な方法及び内容	左に使用した 機 材 等
大野市	下五条方 森政地財 方 吉 木 落 藤 生 新 河 新 森 土 布 川 上 田 野 井 ノ 柿 ケ 松 堂 小 黒 西 勝 計					35 真名川 20 // 20 清滝川 105 真名川 90 中ノ王川 13 真名川 13 // 10 // 52 // 35 動堂川 52 真名川 52 // 40 旅塚川 45 唐谷川 25 旅塚川 20 // 15 九頭竜川	
勝山市	千代田 高島見 春田村 保妙金 妙 郡 大 後 渡	9.14. 22.05	堤防補強 溢水防止	消防職団 自衛隊 1,470 418	1,470	九頭竜川 // 暮見川 九頭竜川 // // // 女神川	消防車 2 投光器 2 マイク 5 その他 水防資材
鱈江市	西番町 上杉本 三尾野 出作町 下杉本 北の町 吉谷町 松成町	9.17. 22.00	堤防決壊 防 止	77	77	口野川 堤防決壊防止 // // // // 鞍谷川 //	広報車 2 ジープ 2 水防資材多数
足羽町	足羽川 沿 線	9.10. 12.00	台風警戒 水 防	354	199	足羽川警戒	
永平寺 町	九頭竜川 上志比 村	9.14. 23.00 // //	水 防 // //	240 32	240 32	九頭竜川警戒 //	水防資材 カマス 100外
和泉村	下大納 上中大 中 島 上 笹 又	9.14. 22.00	水 防	386	386	大納川堤防決壊防止	水防資材 カマス 580外
西谷村	中島 上 笹 又	9.14. 21.40 // 21.50		29	29	真名川、雲川水防活動不能	
三国町	九頭竜川 沿 線	9.18. 02.30	水 防	205	205	九頭竜川浸水、溢水防止	消防車 3 小型四輪 10 タワラ 600 麻 袋 110 繩 5
芦原町	竹田川 沿 線	9.10. 12.00 9.17. 24.00	台風警戒 水 防	282	282	竹田川 堤防決壊防止	カマス 180 ナ ワ 30
金津町	各河川 沿 線	9.17. 13.00		120	120	観生川 //	カマス 550 繩 16 杭 100本
春江町	九頭竜川 磯部川 沿 線	9.10. 12.00 9.15. 01.00 9.17. 24.00	台風警戒 水 防	118	43	磯部川 //	消防車 2 俵 120 たたみ 12
坂井町		9.10. 12.00	台風警戒	50	50		

市町村名	部落名	日 時	水防活動 警戒、障 害物の除 去の別	水防活動 警戒、障 害物の除 去人員	左に従事 した消防 職団員の 数	水防活動、警戒、障害物の除去 の具体的な方法及び内容	左に使用した 機 材 等
坂井町	九頭竜川 田島川	9.17. 12.00	水 防	100	100	田島川堤防決壊防止	カマス 100 その他
川西町	九頭竜川	9.18. 02.00	水 防	59	59	警戒	消防車 2
今立町	鞍谷川 月尾川 水間川 服部川	9.17. 21.10	水 防	98	98	鞍谷川の水防警戒	
池田町	魚見川 沿線	9.17. 20.00	水 防	65	65	魚見川の堤防決壊防止	竹 材 20 木 材 40
南条町	鑄物師	9.17. 19.00	水 防	75	75	牧谷川の "	タワラ 300 縄 6 その他の資材
今庄町	大南八合久稻孫 今乙 門庄女波喜荷谷	9.17. 20.30	水 防	84	84	日野川の "	タワラ 180 木 材 50 竹 20
		9.10. 12.00	台風警戒	30	30		小型自動車 1
河野村	河野川 沿線	9.17. 24.00	水 防	40	40	河野川の堤防決壊防止	
宮崎村		9.10. 14.00	障害物除 去	55	55	被災住家の残始末	
越前町	全 部 落	9.10. 12.00	台風警戒	135	135	河川および土砂崩れの警戒	
		9.17. 24.00	"	130	130		
越廼村	葉浦居赤大 崎生倉坂味	9.10. 13.30 9.18. 07.30	台風警戒 障害物除 去	195	195	水防、県道の土砂除去、倒木の処理	
織田町	織 田	9.10. 13.00	障害物除 去 台風警戒	80	80	倒木の除去等	消防車 2
清水町	片新下清和 殿 山保下水田	9.18. 00.30	水 防 土砂取除	48	48	志津川、日野川の堤防決壊防止	舟 艇 1 小型自動車 3
三方町	36 部 落	9.17. 24.00	水 防 土砂取除	自衛隊 111 消防団 370 その他 2,000	370	小河川の溢水防止 土砂除去	カマス 3,450 縄 30 杭 100 タワラ 1,500 消防車 1
美浜町	南 市	9.17. 20.30	警 戒	229	229	耳川の水防警戒	
上中町	12 部 落	9.17. 17.00	水 防	310	310	水防のいとまがなかった	

市町村名	部落名	日 時	水防活動 警戒、障 害物の除 去の別	水防活動 警戒、障 害物の除 去の別 去人員	左に從事 した消防 職員の 数	水防活動、警戒、障害物の除去 の兼体的な方法及び内容	左に使用した 機 材 等
名田庄村	12 部落	9.17. 18.30	水 防	144	144	南川の堤防決壊防止	自動車 1 水防資材多数
高浜町	全部 落	9.17. 18.00 9.17. 19.30	水 防	863	857	小河川の溢水防止	
大飯町	30 部落	9.17. 18.40	水 防	470	470	小河川の溢水防止	カマス 1,600 縄 165 スコップ 500 杭 500 竹 流 1,000
朝日町	全部 落	9.17. 24.00	水防警戒	65	45	和田川の溢水警戒	消防車 1
森田町	九頭竜川 沿 線	"	水防警戒	149	42	九頭竜川の警戒	
松岡町	"	9.10. 12.00	"	27	27	九頭竜川警戒、溢水防止	消防車 6
		9.14. 24.00	"	72	72		トラック 3
		9.17. 15.00	"	19	19		投光器 2 カマス 90 縄 4 杭 20 針 金 20kg 丸 太 19
計					118		

5. 40.9 三大風水害についての所見

9月29日より10月2日までの4日間、昭和40年9月14日、15日の前線活動による豪雨災害ならびに、同9月16日、17日の台風24号による災害現地を調査したが、その所見を取りまとめれば次のとおりである。

もちろん短時間の調査であるから細部については誤りがあるかもしれないが、これは今後の調査によつて訂正したい。

昭和40年10月2日

建設省土木研究所

村野義郎

科学技術庁国立防災科学技術センター

大石道夫

大八木規夫

§ 1. 今立町大滝 大滝川支川神宮川

大滝川の崩れは地すべりというよりむしろ崩壊である。風化土層の厚いことは、崩落崖面にもあらわれているが、この土地が杉の美林であったことから、同時に水分にも恵まれていたことを物語っている。

9月14日の5時20分～30分頃に小崩壊があり、これが大滝川の水をせきとめたために崩壊地内の地下水位を高め辛うじて保った安定を3時間でくずし、8時30分の大崩壊をみたものと思われる。しかも、小崩壊上流側の湛水のため、崩土にさらに水分を供給し、また水面上で抵抗が少なかったため、崩土が対岸に遠く、速い速度で流れ被害を大きくしたものと思われる。

崩壊地付近の地質は変朽安山岩と、これから風化した粘土からなっている。変朽安山岩は新第三紀の中新世に北陸から東北にかけて広範にわたって活動した海底火山作用で、できたもので、そのときすでに著しい変質作用を受けていたので、現在の地表付近での風化作用によって、容易に粘土化して、厚い土層をつくり地すべりを発生しやすい性質をもっている。大滝の崩壊地付近はとくに粘土化が進んでいるようで、今後も近接地域での崩壊の危険性があるように見うけられた。

§ 2. 大野市勝原、九頭竜川支川白谷

本川は九頭竜川に注ぐ急勾配の小溪流であって、下流部には、二級国道金沢一岐阜線が横断する個所の上下流に堰堤工が3基施工されている。

この付近の河床は厚い堆積砂礫によって構成され、また右岸は厚さ20m以上と推定される崖錐、あるいは土石流堆積物であって、災害前の河床面はスギで覆われていた模様である。

最上流の堰堤は長さ60～70mであったと思われるが、その水通しの位置はこの堆積層の中に作られた滯筋を基準にして決定され、また堤高や袖取付部の形状も谷全体の形とは別に、当時の河床面および滯筋にしたがって設計されていたようであって、階段堰場工全体としての法線はやや左岸側に偏していた。

今回の土石流は非常に規模が大きかったので、この滯筋とは関係なく、谷全体を覆って直進し、かつ土砂の一部は最上流堰堤の上流側に高く堆積したために大部分の土砂と流水は右岸側に偏り、堰堤袖部を越流すると共に軟かい右岸側谷壁を欠壊せしめ、谷幅を拡大しつつ流下したものと思われる。

そのため堰堤および国道橋はそのまま残り、谷は右岸側に30m以上拡幅されている。

結局は予想以上に多量の土砂が流出したために著しい被害が発生したのであるが、このように土石流堆積物の異常に多い溪流においては、一時的な流路の位置にまどわされて計画法線を決定することは非常に危険であって現在の谷の性格や、全体的な谷の方向などについて十分な調査を行うことが必要であると思う。

白谷を埋積している物は主として荒島岳の山体をなしている細粒の花崗閃緑岩と、土である。他地方の花崗閃緑岩は風化してまきになりやすい、(島根県加茂町付近の例)が、白谷付近のものは、あまり風化していないようで、流出物の中に「まき」はほとんどみられなかった。そのかわり、機械的作用による大きな角礫化が進んでいたことは、花崗閃緑岩の角礫と、土とからなる厚さ5m以上の洗掘された崖錐が右岸にあることから明らかである。現在、大きな(20cm～100cm)角礫(角はややとれているが)が国道付近に多量に埋積しているが、災害前は上流のいくつかの個所に、これらの角礫が埋積していたはずである。その大部分は、今回の災害によって、国道付近まで下ったが、この岩石の特徴から考えると、再び短い年月のうちに上流にそのような岩礫の堆積ができるものと思われる。

§ 3. 大野市真名川流域、西谷村中島附近

真名川流域は、下流は飛騨片麻岩、中上流は主として中生代ジュラ紀の手取層群がしめ、この間に断層で挟みこまれている古生層が分布している。手取層群の中・下部灰色の礫岩、砂岩を主とし、この地域では頁岩はごくわずかしかない。この礫岩、砂岩は硬く、風化はあまり進んでいないが、この地域は断層（略南北系と略東西系）が発達しており、さらに節理系がよく発達しているので、岩石は10cm～2mのオーダーの岩片、角礫になりやすい特徴をもっている。手取層群の上部は西谷村中島を埋めた赤色の礫岩で、これも、機械的力に対して特にもろく、簡単に礫になる。この特徴のために、短い年代で多量の砂礫を生産して下方の谷、斜面に厚い崖錐を形成している。西谷村中島の災害はこうしてできた崖錐層の再移動に一つの原因があったようである。

真名川流域中島までの支川の流出物は、ほとんど手取層群中・下部の礫岩、砂岩で上記のような原因で出来た崖錐の再移動を思わせる。

1. 笹生川（主として鎌谷について）

全般的に今回のような異常豪雨時にはこのような災害のおこるのはどこも同じで、特に特異な現象であるとも思えず、ちょっと書くのに困る。

ヘリコプターで上から見た範囲では大規模な山腹崩壊の発生が原因しているとは考えられず、莫大な流量が谷を流下し、その侵食によって基岩まで洗われ、この土砂が谷の出口に氾濫したものと考えられる。崩れの規模やタイプについて一般的に次のようなことが云える。

- ① 基岩の浅深と集水面積の大小により崩れた規模に大小がある。
- ② 下若生子から中島部落に至る道路沿いでみた範囲では崩れの底面に基岩が露出し、その土の風化土層との境界に湧水のみられるものが多い。
- ③ 山腹（壁）の稜線近くの傾斜の遷移点に崩落崖をみせ、そこから崩落したものもあり、なかには崩落崖直下にブロック状に崩土の一部を残したものもある。（中島下流楮谷）
- ④ 山麓部に厚い崩積土をもつ斜面では崩れの規模が（土量が）大きくなっている。
- ⑤ 谷底部に堆積崩土の多い場合にも④と同じく流下した土量が多い。（鎌谷）

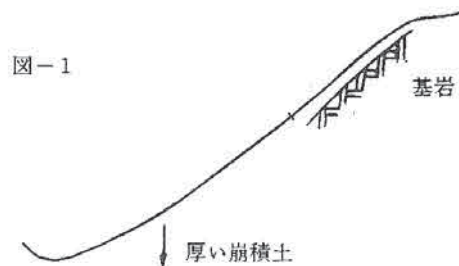


図 - 1

2. 鎌谷について

鎌谷流域は山腹傾斜が緩で溪床勾配は上流で緩、中流部より下流で急である。ヘリで見ると山壁も単調で女性的な感じがする。そして、下流鎌谷堰堤がフローティングであること、その下流右岸にみられる3段の畑の痕跡などから⑤にのべた崩積土層（あるいは堆積土層）が厚いことが特徴的であるように思われる。また、中島部落ののっている扇状地は、昭和36年災で校庭に土砂流が流下したことをも考え併せ、この扇状地そのものがまだ若い面であろうと想像される。すなわち、上流の河床勾配が緩で、（標高600m附近より上流）それより下流で急となっていることは、侵食の若返りがこの辺で行なわれている若い溪流と考えられ（図-2）、老年期的な扇状地の上流の勾配とは逆の姿を示している。従ってこの扇状地は上流よりの生産土砂抑止の対策が十分樹てられた上で利用されなければならないと考えられる。

対策としては鎌谷堰堤より上流部の侵食の若返りが行なわれる区域までに何らかの対策を立て、より侵食の進行することを防止しなければならない。

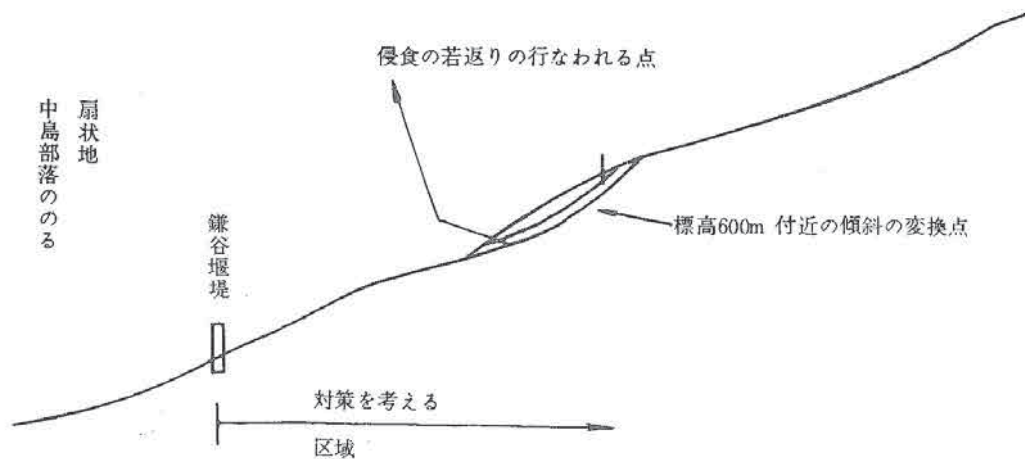


図-2

以上は標高600m付近から更に侵食が進むであろうという前提から考えたものであるが、このあたりの溪床に基岩があらわれ、これが抵抗となってこのような勾配の変化点が生じているとすれば、それほど危険な状態は考えられないので、こうした観点から上流部を調査する必要がある。

§ 4. 三方町内国道27号線周辺

雲谷山（787m）を中心とする花崗岩山地の西面に発する市川、中山川、古川、観音川、清水川、今古川などの諸溪流は17日21時30分頃土石流を発生して国道27号線を閉塞し、かつ、その下流の人家、耕地を埋没流失せしめた。

今後の調査によらなければ明らかではないが、清水川上流左岸山腹に発生した崩壊地を除けば、一般に崩壊土砂よりも溪床の洗掘による流出土砂量の方が多かったものと思われる。国道の下流側は人家が密集し、かつ水路の幅が著しく狭かったので、それほど土砂量は多くなかったにもかかわらず、大きな被害を発生せしめている。

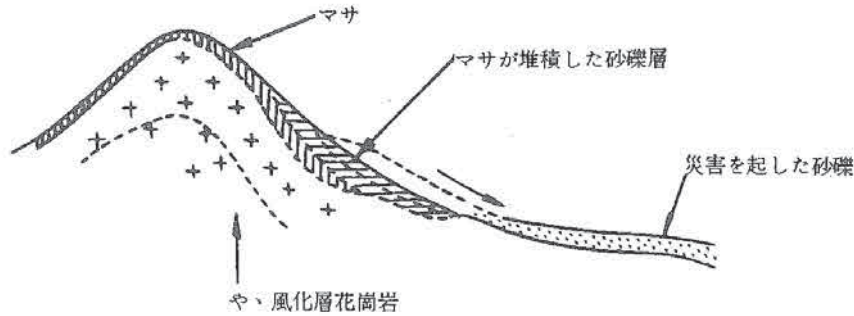
市川、中山川、古川などでは、国道が横断する上流側に高さ2～3mの床固工が施工されている。これらの床固工によってそれより上流側の河床洗掘は防止されているが、床固工が谷の開いた部分に位置すること、土石流に比較して床固工が小規模に過ぎたために土砂はこれよりずっと広い幅で越流している。これらの床固工は道路に付帯して施工されたものであるから、これに土石流阻止を期待することが出来ないのは明らかである。

今回のような災害は、いままで発生したことがなかったと地元民は言っているが、地形から見れば、異常豪雨の際にはこのような災害の発生することはある程度予想できたのではなかろうか。しかし、事前に対策を講じておくべきであったとしても、従来の砂防予算の規模では実施は困難であったものと思われる。

土石流の発生を予想することは困難である場合が少なくないが、昭和13年の表六甲地方の災害を想起するまでもなく、このような地域の溪流に対して今後防災施設を完備してゆきたいものである。

この地域の地質は古生層とこれに貫入した白雲母花崗岩とからなっている市川、中山川では、国道付近は粘板岩、チャートからなる古生層が分布し、白雲母花崗岩はずっと上流に分布する。古川から清水川までは国道付近まで白雲母花崗岩が分布している。同岩は雲谷川の山体を構成しているらしく、市川から清水川にかけて各沢の流出物は、白雲母花崗岩と、これからもたらされた「まさ」または「まさ質土」からなっている。この白雲母花崗岩は風化がかなり進んでおり、流出した礫（20cm～10cm）はほとんど内部まで風化して、弱い打撃によっても簡単に「まさ状」に分離するし、「まさ化」の特徴が著しい。この点は、大野町白谷の花崗閃緑岩とは特徴が異なっている。

山地の上部では、「まさ状」になったものはすぐ下方へ流下したり、小崩壊して稜線からやや下った所（谷の上流）に堆積して砂層ないし砂礫層を形成しやすい（島根県加茂町の例）が、集中的降雨のときには、各谷から流下して合流し、河川を埋積する多量の土砂量をもたらすケースが多い。市川～清水川上流の白雲母花崗岩は、かなり風化しているところから、上記のようなケースになったものと考えられる。これに対する対策には、山体の「まさ」の層の厚さ、谷上流の堆積土砂の量をしらべる必要がある。



§ 5. 勝山市暮見 暮見川

○埋積谷中の流路工について

暮見川は狭長な埋積谷をもつ溪谷で、今回の出水では暮見部落で右岸側の道路が欠潰した。

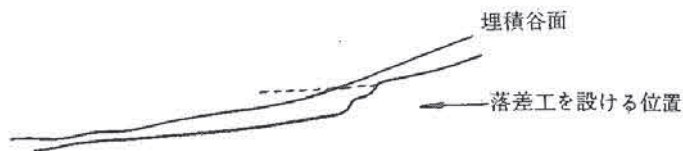
一般に埋積谷を流れる溪流の対策はむずかしい。

災害時でなくても溪岸の平坦面（田圃の面など）と河床との比高は上流から下流に至る全区間で多少とも変化している。これは上流からの土砂の供給量の変化、河床材料の部分的な移動が時間とともに（降雨毎に）変化すること、また特に異常出水の場合には上流からの流量、土砂量の変化に応じて河床溪岸の粗度や断面積などが局所的に極端に変化するためであろう。

原則的には過去の異常出水時に形成された埋積谷面の勾配と、それより規模の小さい各種の洪水流砂量あるいは平水流量を流下させる流路の河床勾配とは一致しないのが当然で、異常出水時に形成された面の方が常に急勾配である。

扇状地などの例では、扇中央部では河床は低く（下刻されている）、扇中央部をある程度離れた位置で扇面と河床面とが交わるようになる。そしてここで氾濫するのが普通であるように思われる。落差工をもった流路工がここで施工される例もまま見受ける。

埋積谷の溪流でもこれと同じような理由から同じような観方をする必要があるのであるが、落差工を設ける位置をどこにするかは過去の出水時や、平水時の河床の高低を観察することによってその溪流に個有な位置と高さを見出すことができるのではないだろうか。



§ 6. 勝山市矢谷 弁財天川

○本流域の地形的特徴と工法

本流域は現地の一部を観た経験から、1/50,000地形図によって推察すると中流部に3～4つの平坦面をもつものと思われる。すなわち

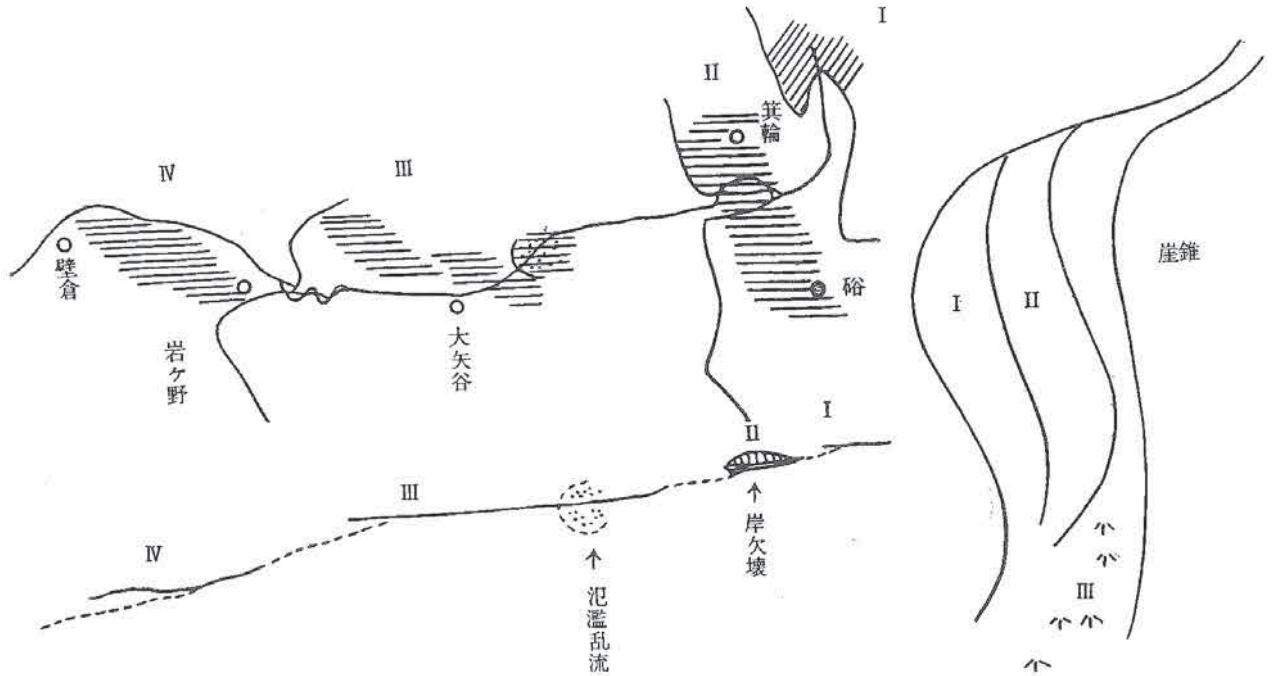
- ① 標高600～640mの水源部
- ② 北に箕輪部落をのせ、そこから南に向ってやや傾斜して俗部落に続く平坦面、この標高は北で500～520m、南で420～440m
- ③ 大矢谷部落ののる360～390mの平坦面
- ④ 岩ヶ野から壁倉に下る緩斜面

である。

本川は600～640mの平坦面にみられる湿地帯を下刻して南流し、箕輪の南で②の箕輪面を下刻する。そのため箕輪の南側では下方侵食が著しく、斜面は不安定となり、今回の出水では大矢部から箕輪に至る新道は右岸岸欠決のため被災している。

大矢谷面に出たところでは急に勾配が緩となるので、流速が弱まり、そこまで侵食し運搬してきた土砂を堆積して田圃に氾濫している。また土砂を失った流水は再び集まって水衝部を侵食し、この土砂が更に下流で氾濫している。

大矢谷面より岩ヶ野面に下る急勾配の河床には床固工が一基設置されているが、この区間では溪岸の側侵食がみられた。これはこの谷も比較的広く開析されていて流水が直接山脚を洗うことがなかったためと思われる。



対策としては

- ① 平坦面と平坦面との間には低堰堤（床固工）を段階的に計画し（この谷地形が比較的開析が進んでいて、田圃に利用されているため高いものはできない）、その間の縦侵食を防止し、また水衝部の側侵食を防止するため護岸工を設ける。
- ② 平坦面内ではいずれにせよ蛇行させなければならず、帯工を伴った護岸工、落差工を伴った護岸工を必要とする。（暮見川

でのべたと同じ理由による）

§ 7. 三方町河内 別所川

別所川上流部の谷の出口は左岸側、崖錐によって河流が右岸側によせられ狭窄部では左岸側が不安定であり、また付近の勾配は急に急勾配となっている。

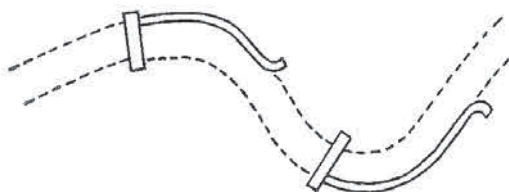
この点から下流右岸側には畑になっている高位段丘(I)と、その下に果樹の植えられた段丘(II) (I、IIとも土石流段丘)があり、さらに現河床となっている氾濫原(III)がある。IIIには竹林があって伏流水の存在とその流動をものがたっている。

このあたりでは一応安定した山腹が接近している。

しかし、狭窄部より下流に出ている破碎された粘板岩、礫質砂岩の基岩はここでは潜っている。

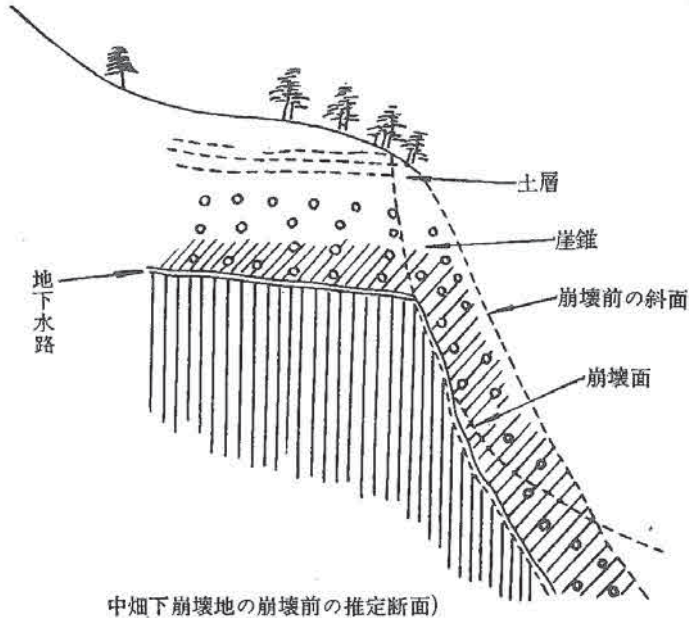
竹林の下流50~60m(?)で、現在の河床は古い氾濫原である現在の耕地と交錯し、ここで土砂の氾濫がみられる。

この付近の左岸山際を流れる支川もこの辺りでは深い、やがて田圃の面との比高をまくし道路を欠決してはらんしている。



§ 8. 小浜市中畑、上根来

中畑、上根来にいたる地域は古生層からなっている。福井県下の古生層は他の地方の古生層と比較して断層破碎と風化が著しい印象をうけたが、この地域ではとくにそれが著しい。断層は地形、崩壊にも表われている。中畑から西の根来川右岸にみられる崩壊の頂部には鉛直に切り立つ崖がのこったがこれは古生層のチャートを切る鉛直な断層群にかこまれて破碎された部分から崩壊したものと考えられ、断層が崩壊に直接的に影響した一例と思われる。

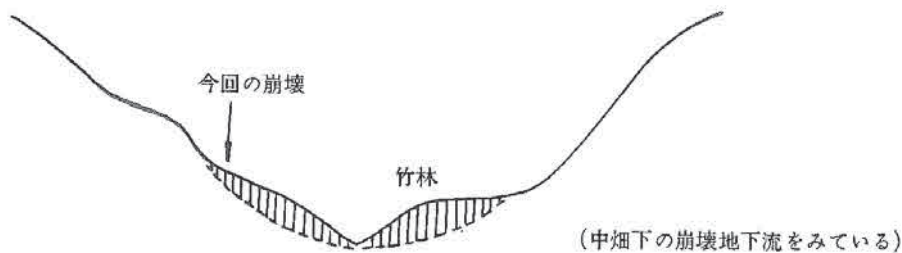


破碎と風化が著しいために急崖と、その下方への崖錐、土層の発達が進んでいるが、それは斜面にみられる杉林の状態からも推定され、崩壊地の露頭でうらずけられる。崩壊面の断面を考えると、破碎された粘板岩の角礫は厚い(10m以上)崖錐層をつくり、その上にこれらの風化によってできた土層も厚く堆積しているようである。これらの下の古生層は不透水層になると考えられ、降雨が著しいときは、地下水位は上って、斜線の部分あたりに上って全体のバランスをくずしたと考えられる。

頂部と左側はまだ安定していないと思われる右岸の竹林におゝわれたコブ状地(下図)は、その上のコンケイブ状の急斜面とあわせ考えると過去の崩壊地と思える。しかも、竹林におゝわれているので、かなりの地下水の流動が考えられるので、右岸側の工事を行うと

きはわれ十分な調査をすることがのぞましい。この付近は、厚い崖錐、土層がある上に、安定した斜になっていないので、今後も別の個所で崩壊が生じる可能性があると思われる。

中畑部落の神社のクラックは、基岩の上の礫まじりの土の小規模ながけくずれで、くずれを防止するには切り取りが良いと思う。



§ 9. 今後の調査について

今回の災害については、今後それぞれの分野から各種の調査が実施されるものと思うが、これらの調査の基礎資料として、また山地災害に対する調査として、下記の調査を是非実施する必要があるものと思われる。

1. 空中写真の撮影図化

県下全般について 山地災害の激しかった地域全体を空中撮影し、またこれから可能な限り広範囲の地形図(縮尺 1/500~1/10,000)を作成すること。

これによって崩壊地の発生状況、河川の荒廃状況を知り、災害復旧計画の資料とするのみならず、この災害の実情を永遠に記録し、かつ今後の砂防および治山計画の改訂、あるいは樹立に対する基礎資料とするものである。

2. 降雨量測定資料の収集

気象台および県管轄の観測所のみならず、中小学校、鉄道、発電所、鉱山、国有林など、県内に存在する全観測所の測定値を収集整理すること。

これは単に災害復旧計画に対する説明資料として必要なのではなく、今回の山地災害の実態を把握するための基礎資料となるものであるから、県内のみならず、隣接各県の観測資料も収集して正確を期するようにしたい。また非公式な観測所の測定値はとかく散逸しがちであるから、早急に収集することが必要である。

3. 堆砂量の測定

貯水用ダムの堆砂状況を知り、また関係河川の流出土砂量堆定ならびに今後の土砂流出に関する研究の基礎資料として利用するため県営、北電を問わず、貯水池堆砂量の実測を行うことが必要である。

§ 10. 総括

今回の災害の特徴のうち主なものをあげれば次のとおりである。

1. 被害の割合に死傷数の少なかったこと。

今回の災害によって、33名の死者が出たのは誠にいたましいことであるが、昨年発生した出雲地方の災害に比較すれば、避難の警報が早かったのでこの程度の被害に止めることが出来たものと思われる。

2. 災害が河川の上流部にさかのぼっていること。

たとえば九頭竜川下流部の災害はそれほど著るしくはなかったが、これに比して山間部の土砂害は著るしかつたように思われる。特に真名川上流部、三方町周辺その他にみられるように山裾の地帯および谷の出口における崩壊や土石流による被害が目立つ。

3. 砂防工事の効果

遠敷川の大崩壊や根来川水源の崩壊からの流出土砂はその下流部にある砂防ダムによって、相当量が調節されたので、下流部の被害は可成り軽減されているように思われる。

また、降雨量についてもっと調査しなければ明らかではないが、砂防工事の完備していた打波川のように土砂の流出がほとんどなかった例、あるいは西谷村、鎌谷のように砂防ダムがあったために土砂の流出が著るしく遅延させられたと思われる例など、砂防工事の効果をます実例が少なくなかった。

以上

6. 九頭竜川水系を一級河川に指定する政令の一部改正に 対する請願書

福井県の嶺北一帯を貫流する九頭竜川水系の諸川はその数100に及び、県の西北端において日本海に注いでおりますが、その源を遠く県境に発し、流域は、県内面積の70%以上(約3,000平方杆)に及んでおります。本水系にかかる改修問題は関係方面から強く要望されているところであり、治水上においても数多くの難問を包蔵していることは、過去累次にわたる災害によっても瞭かにされているところでありまして、九頭竜川、日野川本流の1部約70杆にわたっては、建設省の直轄工事として治水工事が実施されつつありますが、その進捗は遅々たるものであって、伊勢湾台風、北美濃地震、第2室戸台風をはじめ、今次の40・9三大風水害に際しては、巨額に及ぶ災害を誘発して諸公共施設をはじめ、県民の生命・財産に激甚な被害を加えたことは御承知のとおりであります。もとより県といたしましては、これらの災害復旧あるいは、防止対策については国の協力の下に最大の努力を払っておりますが、このままの状態では、災害の根本的防止を図り治水の完璧を期して民生の安定を図ることは到底望み得ないところでありまして、76万県民の不安、焦燥はその極に達しております。

幸い新しい河川法が本年4月から施行され、1級河川指定の途が開かれたことはわが福井県にとって、一縷の光明であります。前記のとおり、わが九頭竜川水系は、新法に示された1級河川に指定されるべき要件を備えながら未指定の儘であることは遺憾至極に存じます。

以上の事情を御賢察の上、本年度内に本川水系を1級河川として御指定の上、災害の復旧・改良工事の実施・治水事業の推進について、早急御措置下さるよう格段の御取り計らいを御願い致したく請願申し上げます。

昭和41年10月 日

福井市御本丸1丁目101番地

福 井 県 庁

福井県知事 北 栄 造

建 設 大 臣 殿

第42号議案

九頭竜川水系を1級河川に指定する政令の一部改正に対する意見について

河川法(昭和39年法律第167号)第4条第3項の規定により、次のように建設大臣あて意見を述べるものとする。

昭和41年3月5日提出可決

福井県知事 北 栄 造

記

九頭竜川水系を河川法第4条第1項の水系に、同水系に属する別紙河川を1級河川に指定する政令の一部を改正する政令の制定については、異議はない。

提 案 理 由

九頭竜川水系を1級河川に指定することについて建設大臣より意見を求めてきたので、河川法第4条第3項の規定により、この案を提出する。

九頭龍川水系

名 称	区 間	
	上 流 端	下 流 端
九頭竜川	左岸 福井県大野郡和泉村大字上半原35字北深瀬3番の1地先 右岸 同村同大字6字番屋37番の29地先	
竹田川	左岸 福井県坂井郡丸岡町大字上竹田43字抜出3番の3地先 右岸 同町同大字47字大平13番地先	九頭竜川への合流点
兵庫川	左岸 福井県坂井郡丸岡町大字牛ヶ島13字1番地先 右岸 同町同大字儀間11字1番の1地先	竹田川への合流点
熊坂川	左岸 福井県坂井郡金津町大字熊坂71字下池ノ尻15番地先 右岸 同町同大字70字五反田8番地先	竹田川への合流点
権世川	左岸 福井県坂井郡金津町大字権世野々9字中水上2番の1地先 右岸 同町同大字十字奥水上9番地先	竹田川への合流点
田島川	左岸 福井県坂井郡丸岡町大字巽町1番地先 右岸 同町同大字霞町5番地先	竹田川への合流点
五味川	左岸 福井県坂井郡丸岡町大字田屋75字大水口41番の甲地先 右岸 同町同大字6字新向田5番地先	竹田川への合流点
片川	左岸 福井県坂井郡三国町大字米納津35字大縄江添6番地先 右岸 同町同大字43字大縄上2番割28番地先	九頭竜川への合流点
七瀬川	左岸 福井県坂井郡川西町大字河内33字村腰41番地先 右岸 同町同大字32字村上2番地先	九頭竜川への合流点
磯部川	左岸 福井県坂井郡丸岡町大字羽崎11字外五反田10番地先 右岸 同町同大字10字正達29番地先	九頭竜川への合流点
日野川	左岸 福井県南条郡今庄町大字大河内14字宮の下地先 右岸 同町同大字13字北村地先	九頭竜川への合流点
底喰川	左岸 福井市開発町40字南黒苗52番の2地先 右岸 同市大願寺町12字上川田21番地先	日野川への合流点
足羽川	左岸 福井県今立郡池田町大字河内字向平28番地先 右岸 同町同大字字前田70番地先	日野川への合流点
荒川	左岸 福井県吉田郡松岡町大字上吉野字竹後西4番地先 右岸 同町同大字字竹後20番地先	足羽川への合流点
古川	左岸 福井市丸山町39字17番地先 右岸 同市同町同字16番地先	荒川への合流点
一乗谷川	左岸 福井県足羽郡足羽町大字浄教寺43字天内1番地先 右岸 同町同大字字小滝14番地先	足羽川への合流点
鹿俣川	左岸 福井県足羽郡足羽町大字鹿俣60字尾ヶ市14番地先 右岸 同町同大字同字11番地先	一乗谷川への合流点
大谷川	左岸 福井県足羽郡美山町大字字坂大谷52字20番の2地先 右岸 同町同大字58字4番地先	足羽川への合流点
三万谷川	左岸 福井県足羽郡美山町大字三方谷七字浄土54番地先 右岸 同町同大字6字庄谷口13番の1地先	足羽川への合流点
芦見川	左岸 福井県足羽郡美山町大字皿谷字善ヶ谷16番地先 右岸 同町同大字字芦谷9番地先	足羽川への合流点
羽生川	左岸 福井県足羽郡美山町大字南西俣16字庵之下11番地先 右岸 同町同大字同字21番地先	足羽川への合流点
縫原川	左岸 福井県足羽郡美山町大字縫原一字毘沙門3番地先 右岸 同町同大字同字4番地先	羽生川への合流点
計石川	左岸 福井県足羽郡美山町大字川上14字向山1番地先 右岸 同町同大字12字村舌1番地先	羽生川への合流点

名 称	区 間	
	上 流 端	下 流 端
東 俣 川	左岸 福井県足羽郡美山町大字東俣47字大滝4番地先 右岸 同町同大字2字菰3番地先	羽生川への合流点
上 味 見 川	左岸 福井県足羽郡美山町大字河内字清水久保21番地先 右岸 同町同大字字落合22番地先	足羽川への合流点
野 津 又 川	左岸 福井県足羽郡美山町大字南野津又4字追分30番地先 右岸 同町同大字同字29番地先	上味見川への合流点
部 子 川	稗田川の合流点	足羽川への合流点
水 海 川	左岸 福井県今立郡池田町大字水海字藁脇139番地先 右岸 同町同大字字上小郎138番地先	足羽川への合流点
魚 見 川	左岸 福井県今立郡池田町大字魚見字村内79番地先 右岸 同町同大字字向川90番地先	足羽川への合流点
東 俣 川	左岸 福井県今立郡池田町大字東俣字上落合51番地先 右岸 同町同大字字正カラ27番地先	魚見川への合流点
狐 川	左岸 福井市板垣町37字南中川13番地先 右岸 同市同町27字田所11番地先	日野川への合流点
未 更 毛 川	左岸 福井市末町81字1の滝3番の1地先 右岸 同市同町75字大滝西3番の15地先	日野川への合流点
志 津 川	左岸 福井県丹生郡清水町大字清水畑字藪之下10番地先 右岸 同町同大字字柵田13番地先	日野川への合流点
山 内 川	左岸 福井県丹生郡清水町大字笹谷123字47番地先 右岸 同町同大字29字1番の1地先	志津川への合流点
滝 波 川	左岸 福井市白滝町29字奥馬場2番地先 右岸 同市同町61字庄宮谷3番地先	志津川への合流点
平 尾 川	左岸 福井県丹生郡清水町大字平尾11字島33番地先 右岸 同町同大字同字25番地先	志津川への合流点
江 端 川	左岸 福井県足羽郡足羽町大字東大南40字立石11番地先 右岸 同町同大字39字商古23番の2地先	日野川への合流点
高 橋 川	左岸 福井市主計中町4字半畔23番地先 右岸 同市銚ヶ崎町22字高橋39番地先	江端川への合流点
浅 水 川	左岸 武生市上大坪町7字川除地先 右岸 同市文室町124字糠塚地先	日野川への合流点
鞍 谷 川	左岸 武生市入谷町4字紺屋の下地先 右岸 同市同町5字仲ノ町地先	浅水川への合流点
河 和 田 川	左岸 鯖江市上河内町43字向大比良7番地先 右岸 同市同町44字庄ノ谷口8番の1地先	鞍谷川への合流点
天 神 川	左岸 鯖江市河和田町35字洲田31番の1地先 右岸 同市同町21字岩ヶ町13番の2地先	河和田川への合流点
服 部 川	左岸 福井県今立郡今立町大字西河内10字北樺1番地先 右岸 同町同大字9字樺岩6番地先	鞍谷川への合流点
水 間 川	左岸 福井県今立郡今立町大字水間20字滝谷4番地先 右岸 同町同大字23字繩布10番地先	服部川への合流点
中 山 川	左岸 福井県今立郡今立町大字野岡31字2の町10番地先 右岸 同町同大字30字江ヶ町1番地先	鞍谷川への合流点
月 尾 川	福井県今立郡今立町大字烏字バマノ木1番地先の県道月尾橋	鞍谷川への合流点
穴 田 川	左岸 武生市高木町65字水替田9番の1地先 右岸 同市同町66字上樋越4番の2地先	浅水川への合流点
天 王 川	左岸 武生市千合谷町字村中38番地先 右岸 同市同町同字26番地先	日野川への合流点

名 称	区 間	
	上 流 端	下 流 端
和 田 川	左岸 福井県丹生郡宮崎村大字寺5字20番の1地先 右岸 同村大字宇須尾21字7番地先	天王川への合流点
越 知 川	左岸 福井県丹生郡朝日町大字上糸生字向出7番地先 右岸 同町同大字字前田4番地先	天王川への合流点
織 田 川	左岸 福井県丹生郡織田町大字四ツ杉3字堂前1番地先 右岸 同町同大字同字15番地先	天王川への合流点
吉野瀬川	当ヶ峰川の合流点	口野川への合流点
河 濯 川	左岸 武生市高瀬町14字垣の内7番の1地先 右岸 同市栄町3字中島8番の5地先	吉野瀬川への合流点
清 水 川	左岸 福井県南条郡南条町大字清水34字足谷3番の1地先 右岸 同町同大字35字庄四谷2番地先	日野川への合流点
牧 谷 川	左岸 福井県南条郡南条町大字上牧谷字追分2番地先 右岸 同町同大字字清水谷川11番地先	日野川への合流点
金 粕 川	左岸 福井県南条郡南条町大字金粕39字南武反田6番地先 右岸 同町同大字40字北武反田4番地先	日野川への合流点
阿 久 和 川	左岸 福井県南条郡南条町大字中小屋86字馳出14番地先 右岸 同町同大字85字樋爪8番地先	日野川への合流点
奥 野 々 川	左岸 福井県南条郡南条町大字奥野々94字野坂下3番地先 右岸 同町同大字93字下庄平谷13番地先	日野川への合流点
田 倉 川	左岸 福井県南条郡今庄町大字瀬戸214字中道下地先 右岸 同町同大字15字百真階地先	日野川への合流点
鹿 蒜 川	大桐川の合流点	口野川への合流点
芳 野 川	左岸 福井県吉田郡森田町大字栗森20字上番通り43番の1地先 右岸 同町同大字同字70番の1地先	九頭竜川への合流点
五 領 川	九頭竜川からの分派点	九頭竜川への合流点
永 平 寺 川	左岸 福井県吉田郡永平寺町大字志比23字永平西下垣内22番の2地先 右岸 同町同大字27字永平東下垣内22番地先	九頭竜川への合流点
岩 屋 川	左岸 勝山市北郷町岩屋8字小場出37番地先 右岸 同市北郷町岩屋7字岩淵5番地先	九頭竜川への合流点
鹿 谷 川	左岸 勝山市鹿谷町矢戸口12字寒830番地先 右岸 同市鹿谷町矢戸口13字吹原3番地先	九頭竜川への合流点
皿 川	左岸 勝山市荒土町細野口4字上河原2番地先 右岸 同市荒土町細野口同字1番地先	九頭竜川への合流点
滝 波 川	左岸 勝山市北谷町小原66字牧30番地先 右岸 同市北谷町小原58字上谷33番地先	九頭竜川への合流点
暮 見 川	左岸 勝山市村岡町寺尾4字境川原7番地先 右岸 同市村岡町寺尾3字古宮1番地先	九頭竜川への合流点
浄 土 寺 川	勝山市芳野170字奥山1番の1地先	九頭竜川への合流点
女 神 川	勝山市平泉寺町平泉寺212字10月1番の4地先	九頭竜川への合流点
真 名 川 (笹生川を含む)	左岸 福井県大野郡西谷村大字上秋生24字北見谷1番地先 右岸 同村同大字22字坂見谷3番地先	九頭竜川への合流点
清 滝 川	左岸 大野市大字木木1字上妙谷口2番の5地先 右岸 同市同大字同字1番の5地先	真名川への合流点
赤 根 川	左岸 大野市大字下黒谷10字メ田7番地先 右岸 同市大字下吉44字絶景7番地先	清滝川への合流点

名 称	区 間	
	上 流 端	下 流 端
木 瓜 川	左岸 大野市大字中荒井24字寺後6番地先 右岸 同市同大字27字橋本2番の2地先	赤根川への合流点
堂 動 川	左岸 大野市大字田野字上大門20番の1地先 右岸 同市同大字同字12番地先	真名川への合流点
雲 川	左岸 福井県大野郡西谷村大字温見16字トワナ1番の1地先 右岸 同村同大字4字芦洞1番の1地先	真名川への合流点
熊 河 川	左岸 福井県大野郡西谷村大字黒河12字桐平1番の7地先 右岸 同村同大字20字中山1番の3地先	雲川への合流点
小 沢 川	左岸 福井県大野郡西谷村大字小沢34字東西真加瀬2番地先 右岸 同村町大字同字1番地先	真名川への合流点
上 川	左岸 福井県大野郡西谷村大字小沢30字真瀬戸3番の1地先 右岸 同村同大字同字4番の4地先	小沢川への合流点
蠅 帽 子 川	左岸 福井県大野郡西谷村大字下秋生47字東ヶ麓山3番地先 右岸 同村同大字同字1番地先	真名川への合流点
旅 塚 川	左岸 大野市大字小黑見16字坂谷口2番地先 右岸 同市大字上金山1字庚申塚42番地先	九頭竜川への合流点
打 波 川	左岸 大野市大字上打波12字上中山10番の1地先 右岸 同市同大字11字向中山3番地先	九頭竜川への合流点
亥 向 谷 川	左岸 大野市大字上打波15字ヒョビ2番の3地先 右岸 同市同大字174字水無2番の3地先	打波川への合流点
美 濃 俣 川	左岸 大野市大字上打波83字口中水1番の2地先 右岸 同市同大字90字風吹1番の3地先	打波川への合流点
失 高 沢 川	左岸 大野市大字上打波143字失高1番の2地先 右岸 同市同大字145字小倉1番地先	打波川への合流点
事 小 鍋 川	左岸 大野市大字上打波137字道林3番の3地先 右岸 同市同大字141字上事小鍋2番の1地先	打波川への合流点
大 納 川	左岸 福井県大野郡和泉村大字上大納字藤倉38の31地先 右岸 同村同大字同字38番の8地先	九頭竜川への合流点
石 徹 白 川	岐 阜 県 境	九頭竜川への合流点
智 那 洞 谷 川	左岸 福井県大野郡和泉村大字角野38字小筋蔵山1番の3地先 右岸 同村同大字45字小谷山1番地先	石徹白川への合流点
三 面 谷 川	左岸 福井県大野郡和泉村大字三面181字三面山1番の4地先 右岸 同村大字朝口前坂19字小谷続2番の2地先	石徹白川への合流点
越 戸 谷 川	左岸 福井県大野郡和泉村大字長野39字下山谷49番地先 右岸 同村同大字41字倉ヶ股3番の2地先	九頭竜川への合流点
此ノ木谷川	福井県大野郡和泉村大字大谷68字高平1番地先	九頭竜川への合流点
伊 勢 川	左岸 福井県大野郡和泉村大字伊勢5野々尻26番の9地先 右岸 同村同大字6字向野19番の1地先	九頭竜川への合流点
久 沢 川	左岸 福井県大野郡和泉村大字久沢24字崎矢1番地先 右岸 同村同大字50字堤ヶ谷7番地先	伊勢川への合流点
面 谷 川	左岸 福井県大野郡和泉村大字持穴27字開所赤谷天狗洞1番の27地先 右岸 同村同大字26字悪ル洞長嵯峨1番の2地先	九頭竜川への合流点
荷 暮 川	左岸 福井県大野郡和泉村大字荷暮13字中廻地40番の2地先 右岸 同村同大字75字向山2番の4地先	九頭竜川への合流点
林 谷 川	左岸 福井県大野郡和泉村大字下半原23字青檜1番地先 右岸 同村同大字60字草ヶ谷18番地先	九頭竜川への合流点

九頭竜川の1級河川指定に係る建設大臣管理区間

- I
1. 上流端 左岸 丸岡町大字宇随12字向田19
右岸 " " 6字前田20
 2. " 左岸 清水町大字朝宮32字17
(日野川) 右岸 福井市種池町27字勸要道30番の71
 3. 下流端 海 (日野川は九頭竜川合流点)
- II
1. 上流端 左岸 和泉村大字上半原35字北深瀬3番
の1
右岸 " " 6字番屋37番
の29
 2. 下流端 左岸 和泉村大字朝日14字宮ノ森1
右岸 " " 鷺13字中ヶ谷1の1
 3. 上流端 左岸 和泉村大字伊勢5野口尻26-9
(伊勢川) 右岸 " " 6字向野19-1



7. 中島小. 中学校発行 風水害特集号

「西谷の子」作文集より

こわかった日

小1 くりした ななえ

おかあさんが、
「まっつおが、ながれるつ。」
と、かなしそうに、いいました。
「まちべが、ながれるつ。」
と、もっと、かなしそうにいいました。
「ひけもんが、ながれるつ。」
と、つらそうに、いいました。
「じよもん(わたしのうち)が、ながれるつ。」
と、なきそうなこえで、いいました。
わたしは、
「わっ。」と、なきました。
ふとしくんの、おとうさんが、
「じよもんだけ、ながれる
んでないで、よそのもんも
ながれるんやで、なくな。」
と、いいました。



四年 山本 こうじ

夜九時ごろ、おとうさんに、ゆりおこされた。ぼくは、びっくりして「とうちゃん、なんじゃ。」と、あわてて聞いた。すると、おとうさんは、ぼくを外へつれ出して「孝治、寺へ行っとれなっ。」と、いってふたたび家の中へかけこんだ。

ぼくは「ザーザー」とふりしきる雨の中を、つっぱした。寺には、ぼくよりも早くひなんして来た人もいた。その人たちは、あごを、がくがくして、ふるえていた。

それから、すこしたって、ぼくを、しんるいの家へつれて行った。そして、しんるいの家で一日とまった。

一日たっても、雨はおさまらず、いきおいを、ますばかりだった。そしてぼくは、自分の家の方へ、走っ

て行った。そしたら、おとうさんがいた。おとうさんは「これが孝治の家やぞ。」と、いって、なみだをひからせた。ぼくも、心の中ではないでいた。

それから、家や木がたくさん流れて、みんなは、立ち上がる力もなく、しょぼんとしていた。

二日目の夜を、むかえた。それでぼくは、寺にねた。でも少ししか、ねむれなかった。

三日目の朝には、死んだ人もいるかも、しれないというわさがでた時には「どうか神様、だれも死なさないで下さい。」とおいのりをした。それから、まもなく、沢木のおじさんが、死んだという知らせが、入った時には「神様のばかやろう。」と口の中でいったでも死んだ人は、生きかえらないんだと思つた。けれども、ぼくの目には、なみだが、あふれ出て来た。

中2 道下 鈴代

9月14日、火曜日、私はテレビを見て、宿題をやりかけた時である。川の音は、はげしい。雨はまだまだ降っている。不吉な予感がしたので下へ行って見ると雲川の水があふれ、雲川の近くの親類の家の人が、私の家へ避難して来た。少しの間、私達はこわくてふるえていると、母は又、親類の家へ出かけた。やっと母が帰って来たら、今度は私の家まで避難命令がでた。私は、あわてて二階へ勉強の道具を取りに行くとしたら、母にしかられた。私は妹を背負って、金庫をかかえて寺へ避難した。その時は、もう老人などで寺はいっぱいだった。こんなことは、私は生れて初めだ。11時、12時、なかなか時間がたたない。こんな長い夜は初めてだ。夜は夜で西山へ避難しようか、お宮へ避難しようか眠れたものではない。みんなの顔は青ざめた色だ。あの口、あんなに元気よかったあの人もあの子ども、全部顔色は青白かった。こうして長い恐怖の一夜が過ぎ去った。

朝だ。こんなに朝が待たれた事はなかった。外へ出て見ると、角平の家の前は、水がうずをまいている。私達は、一個のおにぎりを、一口、一口かみしめて食べた。午前10時ごろ、次々と家は流れいく。「あっ私の家が流れる。」私はその場に立ちすくみ、涙も出なかった。私は、走って家の方へいった。すると、幾人かの人が、手渡しして荷物を藤田へ運んでいる。私は、そこでずっと見ていると、私の横の電信柱が揺れ動い

た。私は、力いっぱい寺の方へかけていった。するとみんなが、避難すると言って、手に手に荷物を持って外に出ている。泣いている人もいる。私が寺に入っていくと、妹が泣いているので、妹を背負って、大切な荷物を持って外へ出た。

母も、父も、家の荷物を出しに行っているの、私と妹だけだ。妹は泣いている。私も涙が出そうになった。父の姿が見えた。私は安心してそこへ、すわってしまった。

でも、父は心臓病なので、あまり激しい事やショックをうけると体によくはないそうだ。私のそばへ来た父の顔色は赤かった。心臓病は顔が赤くなるといけないそうだ。私はこわかった。父は息もしにくいようにその場にすわった。少したつと母が来た。母が来た時は私も思わず涙が出た。すると、又、「大丈夫だ。」と言って寺の中へ入った。こうして、15日は私達を苦しめ夜がふけていった。又、長い夜が始まる。夜になれば夜で、赤ちゃんは、かわりばんこに泣くのである。

又、長い夜が終って朝だ。雨はまだまだ降る。「あっ、ヘリコプターだ。」誰かがさげんだ。私達は、どっと外へかけ出して行った。ヘリコプターは学校の方へおりたらしい。私は友達と学校の方へ行って見た。その時だった。私の学校、8年間勉強し、遊んだ学校が半分しか見えない。

私は、ヘリコプターの方へ行った。そうしたら、理科室が見えた。薬品はめっちゃくちゃ。昨日までその理科室で勉強したのに、今はもうあわれな姿になってしまった。私達の学校は、半分土砂に埋っている。何ということであろうか。みんなが楽しみにしていた運動会も出来ない。

みんなは、ヘリコプターの方へ行っている。見ると、病人、赤ちゃんをつれた人、ショックで乳が出なくなった人もいる。夕方、休の悪い父と幼い妹をむりやりたのんで、ヘリコプターに乗せてもらった。そして又、一口、今日は班にわかれて、残っている家で眠る事になった。ものすごく雨が降るので私と母は大切なものを腰に縛りつけて眠った。そして無事に一夜を終えることができた。

朝になったら、子供はヘリコプターに乗って、大野へ避難するらしかった。私は、カバンと父の薬を持って学校へ行った。私達は中学生なので、その口の最後のヘリコプターだった。大野へつくと父と妹のいる親類の家へ行った。それからは大野の生活である。

今では住宅に入り、学校へ通っているが、あの日の事は頭にはっきり焼きついている。今は何一つ残る物はない。友達の写真や、修学旅行の日の思い出の写真さえ残っていない。残っているのは、生々しい自然の

姿だけだ。中島の土をふめば、あの事がすべて頭に浮んでくる。私のほほをつたって流れた涙は土の奥底までしみこんでいった。こんな涙は、もう二度と流したくない。私達の幸福な家庭。心から笑えるような口は再びおとずれるであろうか。私達は幸福な家庭を求めて、今日も一日一日を過ごしていく。

つめあと

小6 松本典子

みんなは、あれ果てた村を見てただ、ぼうぜんと立ちすくんでいる。

家があらされないでほしい。

これをどんなにねがったことか。

でも、このも願いもむなしく家はつぎつぎに流れ、わずかに残っている家はほとんど土砂にうずもれてしまった。

どうして私達だけが水害にあわなければならないの…そんな不公平さ。この世に神様ってあるのかしら…雨のばか、雨のばか、もとの西谷にして。

みんなの願いもきっとそれにちがいない。

これからどうすればいいのか？

だれも、かれも頭をさげている。きっと思案にくわえているのだろう。

みんなは、どんなに情けないことか。

ことばでは表されない。

あの青ざめた顔がいつまでもちらつく。

ヘリコプターで

小1 なかいふとし

あめがやんだときヘリコプターが1だきました。

おとうさんが、

「おーいおーい。」とよびました。

ぼくはうれしかった。

またヘリコプターが1だきましたが、下へおりませんでした。

りへの、おとうさんが「ヘリコプターにのるっ。」てゆうたので下へおりてきました。

ヘリコプターのおじさんが、

「しもで、はつちえが、てきねえ。」といたので、まきました。

雨がふらんとおもったら、またふってきました。

かすみ、だんだん下へおりてきました。

ぼくは、だいぶんまきました。

ぼくは、たかしくんと、あそびました。

ヘリコプターが1だいおりてきました。
ぼくは、のして、もらえませんでした。
はじめに、としよりが、のりました。
こんどは、ぼくの、おばあさんが、のりました。
たけゆきさんと、たつおくと、みちをくんが、中じ
まへあるいていきました。
雨が、ざあざあ、ふりました。
ヘリコプターが、なんでこんにやろうと、おもいま
した。
そのぼんに、ろうそくを、とぼして、ねました、
あさになりました。
りへのおかあさんが、ヘリコプターが、おりたと、い
ったので、はしって、いきました。
プロペラを、ばたばた、させました。
そして、ふうふうあがって、いきました。
ふんや、ふんやとしました。
山のでっぺんで、すやふんとして、おもしろかった。
そして、がっこうにつきました。
やす川先生がいたので、うれしかった。



大野市へ避難する「西谷の子」

小4 角野勝二

ぼくたちは、自分の生れた土地をはなれるのが、ど
んなにつらいことか、このさいがいにあって、はじめ
で、わかりました。

おとうさんや、おかあさんが、手をふるとキューと
むねがあつくなります。おとうさんや、おかあさん
と、はなれる気持は、なんともいえない、かなしさで
した。とうざかつていく自分の生まれた土地を見ると
なみだがでます。

そして、有終中学校という学校の校庭へおりました。
そこへ、中学の先生らしい人が「早くきなさい。」
といて、ふくがべたべただったので、かえてくれま
した。

「寒いでしょう。」といて、ふくをかえてくれる人
のことを考えると、なみだがでるくらいです。

そしてマイクロバスで、長勝寺という、寺へいきま
した。

山 越 え

中2 穴田トシエ

私達は、もう避難する場所がなくて、今度は、笹又
峠を越して、木ノ本まで出る事になった。これは、
すぐ逃げられないと悪いからと言って、中学生徒と55
才から60才位の人25名ぐらいが峠越しをする事だ。

峠を越せない老人とか、小学生、子持ちの人は、ヘ
リコプターで大野の方へ出る事だった。村には、すぐ
どこへでも逃げられる若い人ばかり残ることになりま
した。

私は、父母が若くないので、父母と一緒に峠を越せ
るので、うれしいやら、ほっと安心した。こんどは、
人数をかぞえて村を出る事にした。私達は学生である
から、カバンを、しっかり背負い、まだボーとした心
持ちで歩いた。そして、下笹又まで来た。そこで親類
のおばさんが見えたなせか、とっとうれしかった。
そして、少しの間話しをした。そして、別れの時は、
私は涙が出た。なぜか永久に会えないような気がし
て。

上笹又と下笹又との間の流れようは、ものすごいも
のだった。毎日見ていたあの谷はきれいで、澄みきっ
ていた。でも、あの日の谷は、あばれ馬が飛びまわ
ったような姿だった。これは、現場を見た人でないと理
解してもらえないような気もする。

私達は、おばさん、下笹又、西谷と涙の別れだっ
た。私達は又歩き出した。一歩進むごとに、これで西
谷とも別れる日が来たのかという気持ちがだんだんと濃
くなって来るのだった。又、涙がとめどもなくあふれ
た。山から見る西谷は、もう立ち上れないのではない
のだろうか、と思わせる。

思えば、毎日通った、なつかしい学校への道、泣き
ながら帰ったこともあったっけ。何か、とっとうれし
くて、走って帰ったこともあったっけ。いえ、道ばか
りではない。雪をかむっていた山、つばき、つつじ、
もみじなど、たくさんの美しい花がさいたあの山も、
今では荒れ切ってしまった。この様な事を思いなが
ら歩いているうちに、私もつかれてきた。でも、どう
しても木ノ本まで行かねばならないと思うと、みんな
と一緒に歩いて行く。

この山の中で自衛隊の人を見て、本当に頭が下っ
た。

何ともいえない有がたさだ。この様なことにでも、
いやな顔一つもしないで私達を見守って下さった。山
の中を歩く間、私は話もせず、今の状態を思いながら
歩いた。歩いた者のつらかった事は書き表わせない。

こうして私達は、もう木ノ本が見える山まで来た。とってもしつこいものである。その近くにカメラマンがいた私達学生は、たのまれてかたまって少しの間山をおりた。山からおりた所に、マイクロバスがとまっていた。私達は無事に山を越し、マイクロバスで、有終中学校へ向った。

風水害罹災日誌

中 島 小 中 学 校

【40.9.14】(雨)

夜9時50分、避難命令の電話あり。非常持出書類を階上に、体一つで専光寺に避難す。濁流は既に運動場を40センチメートル位の高さに流っていた。

朝国、松原、斉藤、西内各教諭奮闘す。学校を全員出たのが10時5分。

【40.9.15】(雨)

一夜の不安を寝られぬままに過す。夜明けになって鎌谷川は激流となって村を寸断し学校に近づけない。

午後4時頃、リコプター飛来。学校近くの土砂の広場に着陸。一同ほっとする。校舎の一階は土砂に埋まり、まだ校舎内を濁水は流れている。雨はやみそう。炊事婦の沢本貞子さん重傷の山聞く。

【40.9.16】(雨)

ヘリコプター飛来。食糧救援物資等続々来たる。病人、老人を搬出す。

台風24、25の報あり。人心動揺す。毎日おにぎり一ケの生活、でも食べられることは有難い。土砂に埋没した家々、流失して跡かたもないあとを眺めて、自然茫然、明日の計画がたたない。

夜、大野市に出たい者の調査あり。巢原校より見舞に先生及生徒来校。

【40.9.17】(雨)

食糧の不足、台風の不安は生命への不安にとつながる。手足まといの子供は大野市へ避難決定。児童生徒はヘリにて搬出。

雨模様の天気で、全員運べそうにないので、中学生男子12名、職員10名山越えに決め、10時45分出発、途中、下笹又中学生6名を加えて、4時前木ノ木着。ゾーブで有終中へ、長勝寺に着く。

【40.9.18】

児童生徒父兄は母子寮、明源寺、善導寺、長勝寺、浄勝寺の5ヶ所に収容さる。

午前中県教委へ中島学級開設要請。午後村長と市教委へ同じく要請。

有終西小へ小1、2、3の3学級、有終南小へ、小4、5、6の3学級、有終中へ中1、2、33学級と事務室を厚意ある受入れの快諾あり一同ほっとする。

【40.9.19】

5ヶ所に分散収容されている児童生徒を、長勝寺へ小学生、浄勝寺へ中学生をまとめて収容、教師による生活指導をする態勢をとる。

寮母4名を村へ要請。

【40.9.20】

長勝寺に小学生60名、浄勝寺に中学生38名。親類等に外泊する者児童11名、生徒は21名。

先生は小中別に分れて各寺に宿泊。お寺は隣同志で何かと都合よく、生活時間表を作る。

【40.9.21】

3校に分散中島学級の開設、各校とも対面式挙行。罹災後1週間目なり。

40.9 三大風水害の記録

昭和41年3月20日印刷 昭和41年3月31日発行

編集 福井県開発局調査主幹

発行 福 井 県
福井市御本丸町101番地

印刷 吉田印刷株式会社
福井市東日之出町2ノ201
